

平成 30 年度

**「市民による市政評価」
結果報告書**

平成 30 年 11 月

大仙市 企画部 総合政策課

1 はじめに

1.1 市政評価について	4
1.2 調査の種類	4
1.3 調査の手法	5
1.4 調査票	5
1.5 調査期間	5
1.6 集計上・分析上の注意事項について	5

2 市民による市政評価

2.1 調査対象	8
2.2 回収率	8
2.3 回答者の属性	8
2.4 満足度及び重要度	10
2.4.1 満足の度合い	10
2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合	12
2.4.3 満足度における属性別比較	13
2.4.4 重要の度合い	17
2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合	19
2.4.6 重要度における属性別比較	20
2.4.7 項目別要望度	24
2.4.8 満足度、重要度の総括	26
2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較	27
2.5 さらに推進すべき取り組み	29
2.5.1 産業分野に関する設問について	29
2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について	32

2.5.3	健康福祉・スポーツ分野に関する設問について	35
2.5.4	環境安全分野に関する設問について	38
2.5.5	都市基盤分野に関する設問について	41
2.5.6	教育・交流分野に関する設問について	44
2.5.7	地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について	47
2.5.8	さらに推進すべき取り組みの総括	50
2.6	大仙市の住みやすさについて	53
2.6.1	「大仙市は住みやすいか」について	53
2.6.2	「大仙市に住み続けたいか」について	54
2.6.3	大仙市の住みやすさについての属性別比較	55
2.7	経年比較	58
3	市民による個別事業評価	
3.1	市民全体を調査対象とした個別事業評価	72
3.1.1	市の広報活動について	72
3.1.2	コミュニティFM（FMはなび）の利用について	81
3.1.3	敬老の日事業について	96
3.1.4	住宅リフォーム支援事業について	112
3.2	事業対象者層を調査対象とした個別事業評価	119
3.2.1	母子保健事業について	119
3.2.2	成人保健事業について	135
4	自由意見	152
5	資料	
5.1	平成30年度「市民による市政評価」調査票	179
5.2	平成30年度「市民による個別事業評価」【母子保健事業】調査票	195
5.3	平成30年度「市民による個別事業評価」【成人保健事業】調査票	201

1 はじめに

1.1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さんの評価や意見を伺い、今後の市政運営や協働のまちづくりを進めるため、「市民による市政評価」を平成 18 年度から継続的に実施してきました。

平成 28 年度からは、個別事業に関する評価や意見を調査する「市民による個別事業評価」を実施し、市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めてきた。

個別事業評価について、今年度は、広く市民の皆さんを対象とする調査と、制度の利用者など特定の層を対象とする調査に区分し、前者を市政評価に組み込み実施した。

1.2 調査の種類

調査は、次の区分により実施した。

(1) 市民による市政評価

第 2 次大仙市総合計画基本構想に示している体系（「施策の柱」、「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、次の事項を調査した。

- ◆満足度（本市の現状に対してどのくらい満足しているか。）
- ◆重要度（本市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか）
- ◆今後さらに推進すべき取り組み
- ◆本市の住みやすさ

(2) 市民による個別事業評価

市が実施している次の事業について、認知度、利用度、意識等を調査した。

- A. 市民全体（年代・性別を問わない）を調査対象とした事業 4 事業
- B. 事業対象者層を調査対象とした事業 2 事業

No.	種別	事業名
1	A	広報活動事業
2	A	コミュニティFM（FMはなび）事業
3	A	敬老の日事業
4	A	住宅リフォーム支援事業
5	B	母子保健事業
6	B	成人保健事業

1.3 調査の手法

郵送アンケート（無記名回答）方式

1.4 調査票

本調査は、次の3種類の調査票により、それぞれの対象者に対して実施した。

- ◆平成30年度「市民による市政評価」（「市民による個別事業評価」の種別Aの4事業を含む）
- ◆平成30年度「市民による個別事業評価」 「母子保健事業」
- ◆平成30年度「市民による個別事業評価」 「成人保健事業」

1.5 調査期間

平成30年6月1日（金）～6月22日（金）

1.6 集計・分析上の注意事項について

- 本調査では、各調査の属性においては無回答を含めた回答者数を「N」とし、その他の調査項目においては、有効回答内での割合を求めるため、無回答を除いた有効回答者数を「N」として表記しており、各設問により母数となる回答数「N」は異なっている。
- 各区分における集計では不明者を除いているため、区分ごとの集計対象者の合計と、全体の集計対象者の合計は一致しないことがある。
- 市政評価での満足度、重要度及び要望度の平均値については、小数点第3位以下を、その他設問での構成比（%）については、小数点第2位以下を四捨五入して表記している。
- 単一回答の設問における構成比（%）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。
- 複数回答の設問における構成比（%）は、集計対象者に対する回答者数の比率を示すものであり、その合計は100%を超えることがある。

2 市民による市政評価

2 市民による市政評価

2.1 調査対象

18歳以上、85歳未満の市民の中から無作為に抽出した1,000人（性別、年齢、地域については考慮）

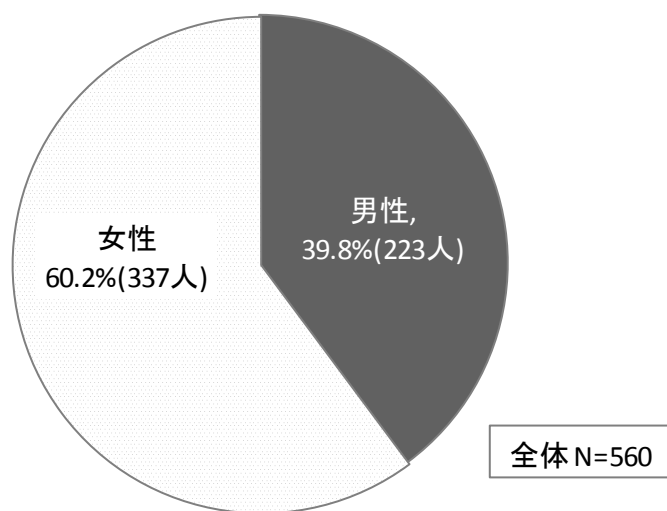
2.2 回収率

回収数・・・560

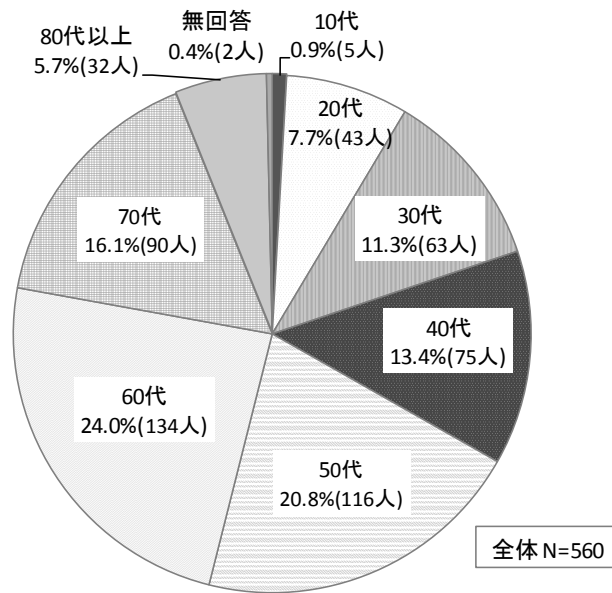
回収率・・・56.0%

2.3 回答者の属性

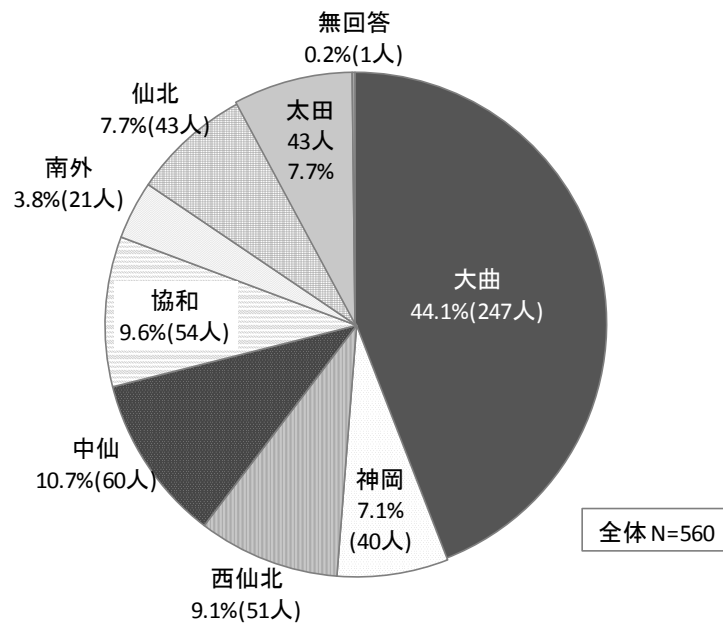
図表1 回答者の性別の内訳



図表 2 回答者の年齢の内訳



図表 3 回答者の居住地の内訳



2.4 満足度及び重要度

2.4.1 満足の度合い

満足度の高い項目は、昨年度と同様、「花火産業構想」が3.57（昨年度：3.65）と最も高く、次いで「自然・衛生環境」が3.40（昨年度：3.40）、「上・下水道」が3.38（昨年度：3.29）となっている。

一方、満足度の低い項目は、「雇用・就労」が2.41（昨年度：2.34）で昨年度と同様最も低く、次いで「空き家対策」が2.57（昨年度：2.59）、「観光」が2.60（昨年度：2.60）となっている。

昨年度と比較すると、全体的に小幅な変動があるものの、上位及び下位の10項目に昨年度と大きな変化は見られない。

いずれの項目でも0.15以上の増減は生じなかったが、昨年度と比較し満足度が最も大きく増加した項目は、「上・下水道」で0.09、「保健・医療」で0.08の増加、反対に最も大きく減少した項目は、「学校教育」で0.14、「地域活性化」で0.09の減少となっている。

図表 4 満足度（点数順）

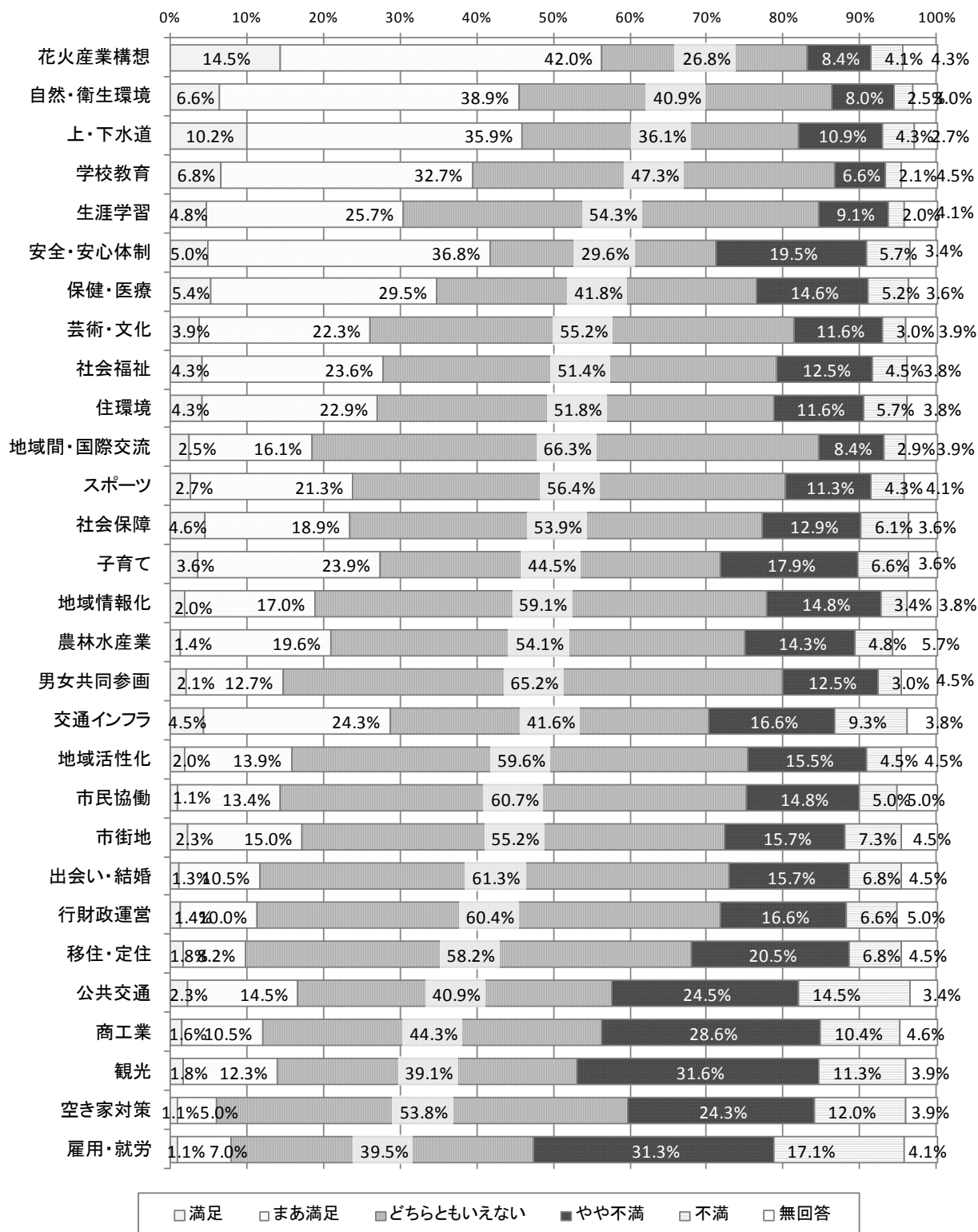
順位		項目	満足度 ※			
H30	H29		H30	H29	増減 (H30-H29)	
1	1	【花火産業構想】 さまざまな分野における大曲の花火ブランドの戦略的推進について	↗	3.57	3.65	▲ 0.08
2	3	【自然・衛生環境】 緑豊かな自然環境の保全と環境にやさしいまちづくり	←	3.40	3.40	0.00
3	4	【上・下水道】 快適な暮らしの基盤となる上・下水道等の整備について	↖	3.38	3.29	0.09
4	2	【学校教育】 学習意欲と能力を養う学校教育の充実について	↗	3.37	3.51	▲ 0.14
5	5	【生涯学習】 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	←	3.23	3.27	▲ 0.04
6	6	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化について	↗	3.16	3.23	▲ 0.07
6	8	【保健・医療】 健康増進にすすんで取り組める環境や医療体制について	↖	3.16	3.08	0.08
8	7	【芸術・文化】 芸術、文化活動、文化財に触れる機会の創出について	←	3.13	3.12	0.01
9	11	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	↖	3.11	3.04	0.07
10	9	【住環境】 市営住宅や宅地、公園、緑地の整備について	←	3.09	3.06	0.03
11	10	【地域間・国際交流】 地域間ネットワークの強化や国際化の推進について	←	3.07	3.05	0.02
11	14	【スポーツ】 スポーツ機会の充実やスポーツを通じた地域のにぎわい創出、交流人口の拡大について	↖	3.07	3.01	0.06
13	15	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度等の適正な実施について	←	3.03	2.99	0.04
14	19	【子育て】 安心して子育てできる社会環境の整備について	←	3.00	2.96	0.04
15	15	【地域情報化】 情報基盤の整備と地域の情報発信の推進について	←	2.99	2.99	0.00
16	18	【農林水産業】 農畜水産物の消費拡大や生産基盤整備などの取り組み・支援について	←	2.98	2.97	0.01
16	12	【男女共同参画】 男女共同参画意識の醸成と女性の参画推進について	←	2.98	3.03	▲ 0.05
16	15	【交通インフラ】 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	←	2.98	2.99	▲ 0.01
19	13	【地域活性化】 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	↗	2.93	3.02	▲ 0.09
20	20	【市民協働】 市民と行政などが協働により推進する地域づくりについて	←	2.90	2.94	▲ 0.04
21	22	【市街地】 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の整備について	←	2.89	2.85	0.04
22	23	【出会い・結婚】 出会い・結婚の促進に向けた取り組みについて	←	2.83	2.79	0.04
23	21	【行財政運営】 市の行財政運営の効率化等について	←	2.82	2.86	▲ 0.04
24	24	【移住・定住】 市の魅力発信等による、移住・定住の促進について	←	2.77	2.77	0.00
25	26	【公共交通】 長寿社会に対応した公共交通の確保について	↖	2.65	2.59	0.06
26	26	【商工業】 魅力ある産業の創出や地場産業への支援及び企業誘致について	←	2.63	2.59	0.04
27	25	【観光】 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	←	2.60	2.60	0.00
28	26	【空き家対策】 空き家の適正管理と利活用の推進について	←	2.57	2.59	▲ 0.02
29	29	【雇用・就労】 地元の若者やAターン希望者などの就業希望者に対する各種支援について	↖	2.41	2.34	0.07

※満足度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↖	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↗	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表 5 満足度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.3 満足度における属性別比較

性別による上位及び下位の項目は、多少の前後はあるものの、全体と比較して大きな変化はない。全般的に、女性の満足度の方が高い。

年代別に見ると、全年代において「花火産業構想」が上位に挙がっており、80代を除く年代においては「自然・衛生環境」が、10代を除く年代においては「上下水道」、「学校教育」も上位に挙げられている。また、10代と80代では「保健・医療」、20代では「社会福祉」も上位に挙げられている。

一方、下位項目については、全年代において「雇用・就労」、「空き家対策」が挙げられており、20代を除く年代では「公共交通」も挙げられている。また、10代では「出会い・結婚」、「子育て」、20代と30代では「移住・定住」も挙げられている。

地域別に見ると、全地域において「花火産業構想」、「自然・衛生環境」が上位に挙げられており、中仙地域では「保健・医療」と「芸術・文化」、協和地域では「住環境」も挙げられている。下位項目については、全地域において「雇用・就労」、「空き家対策」が挙げられており、中仙地域では「出会い・結婚」、仙北地域では「移住・定住」も挙げられている。

図表6 性別による満足度

【満足度】

■男性

(上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.52
2	上・下水道	3.37
3	自然・衛生環境	3.34
4	学校教育	3.32
5	安全・安心体制	3.20

(下位)

順位	項目	満足度
24	移住・定住	2.65
	公共交通	2.65
26	観光	2.56
27	空き家対策	2.53
28	商工業	2.50
29	雇用・就労	2.36

■女性

(上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.60
2	自然・衛生環境	3.45
3	学校教育	3.40
4	上・下水道	3.38
5	生涯学習	3.28

(下位)

順位	項目	満足度
25	商工業	2.71
26	公共交通	2.64
27	観光	2.63
28	空き家対策	2.60
29	雇用・就労	2.45

図表 7 年代別による満足度

■10代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	4.60
2	花火産業構想	4.40
	スポーツ	4.40
	自然・衛生環境	4.40
	住環境	4.40

(下位)

順位	項目	満足度
22	子育て	3.00
	安全・安心体制	3.00
	公共交通	3.00
	地域間・国際交流	3.00
	行財政運営	3.00
	27	出会い・結婚
29	空き家対策	2.80
	雇用・就労	2.60

■20代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	4.07
2	自然・衛生環境	3.70
3	上・下水道	3.53
4	学校教育	3.42
5	社会福祉	3.33

(下位)

順位	項目	満足度
25	移住・定住	2.74
26	商工業	2.72
	空き家対策	2.72
28	観光	2.67
29	雇用・就労	2.30

■30代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.54
2	自然・衛生環境	3.37
	上・下水道	3.37
4	学校教育	3.32
5	生涯学習	3.21

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.63
26	観光	2.62
27	移住・定住	2.60
28	雇用・就労	2.49
	空き家対策	2.49

■40代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.62
2	自然・衛生環境	3.44
3	学校教育	3.31
	生涯学習	3.31
5	上・下水道	3.21

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.73
26	空き家対策	2.63
27	観光	2.60
28	商工業	2.56
29	雇用・就労	2.46

■50代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.44
2	上・下水道	3.42
3	自然・衛生環境	3.41
4	学校教育	3.37
5	生涯学習	3.16
	芸術・文化	3.16

(下位)

順位	項目	満足度
25	空き家対策	2.58
26	公共交通	2.57
27	観光	2.53
28	商工業	2.49
29	雇用・就労	2.22

■60代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.56
2	学校教育	3.37
3	自然・衛生環境	3.32
4	上・下水道	3.31
5	生涯学習	3.22

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.59
26	観光	2.51
27	商工業	2.50
28	雇用・就労	2.48
29	空き家対策	2.44

■70代 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.51
2	花火産業構想	3.46
3	学校教育	3.44
4	安全・安心体制	3.43
5	自然・衛生環境	3.40

(下位)

順位	項目	満足度
25	商工業	2.78
26	空き家対策	2.73
	公共交通	2.73
28	観光	2.64
29	雇用・就労	2.53

■80代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.48
2	保健・医療	3.44
3	学校教育	3.36
4	芸術・文化	3.31
5	上・下水道	3.30

(下位)

順位	項目	満足度
24	子育て	2.85
	男女共同参画	2.85
26	商工業	2.77
27	雇用・就労	2.48
28	空き家対策	2.44
	公共交通	2.44

図表 8 地域別による満足度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.65
2	学校教育	3.36
3	上・下水道	3.35
4	自然・衛生環境	3.33
5	生涯学習	3.25

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.68
26	商工業	2.63
27	空き家対策	2.61
28	観光	2.55
29	雇用・就労	2.42

■神岡地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	学校教育	3.68
2	上・下水道	3.62
	生涯学習	3.62
4	花火産業構想	3.55
5	自然・衛生環境	3.54

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.81
26	商工業	2.66
27	観光	2.65
	雇用・就労	2.65
29	空き家対策	2.64

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.56
2	学校教育	3.41
3	上・下水道	3.30
4	自然・衛生環境	3.20
	生涯学習	3.20

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.59
26	商工業	2.51
27	観光	2.41
28	空き家対策	2.39
29	雇用・就労	2.12

■中仙地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.35
2	花火産業構想	3.23
3	学校教育	3.21
4	保健・医療	3.14
5	芸術・文化	3.12

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.67
26	観光	2.62
27	公共交通	2.58
28	空き家対策	2.56
29	雇用・就労	2.42

■協和地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.91
2	花火産業構想	3.63
3	学校教育	3.51
4	自然・衛生環境	3.40
5	住環境	3.36

(下位)

順位	項目	満足度
25	観光	2.65
26	空き家対策	2.57
27	雇用・就労	2.56
28	商工業	2.53
29	公共交通	2.38

■南外地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.53
2	自然・衛生環境	3.47
3	社会保障	3.33
	安全・安心体制	3.33
5	学校教育	3.28

(下位)

順位	項目	満足度
24	出会い・結婚	2.83
	公共交通	2.83
26	空き家対策	2.81
27	観光	2.78
28	商工業	2.67
29	雇用・就労	2.50

■仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.69
2	花火産業構想	3.64
3	上・下水道	3.52
4	安全・安心体制	3.45
5	学校教育	3.34
	生涯学習	3.34

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.87
26	移住・定住	2.79
27	空き家対策	2.66
28	商工業	2.55
29	雇用・就労	2.46

■太田地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.73
2	花火産業構想	3.42
3	安全・安心体制	3.26
4	住環境	3.22
5	学校教育	3.17
	芸術・文化	3.17

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.66
26	観光	2.65
27	空き家対策	2.39
28	公共交通	2.24
29	雇用・就労	2.23

2.4.4 重要の度合い

重要度の高い項目は、昨年度と同様、「雇用・就労」が4.41（昨年度：4.44）と最も高く、次いで「安全・安心体制」が4.36（昨年度：4.26）、「子育て」が4.33（昨年度：4.36）となっている。

一方、重要度の低い項目は、「市街地」が3.52（昨年度：3.54）で最も低く、「スポーツ」（昨年度：3.42）、「地域間・国際交流」（昨年度：3.50）がともに3.53となっている。

昨年度と比較すると、昨年度上位だったの項目が減少する中で、「安全・安心体制」のみが増加していることから、「安全・安心体制」の順位が上昇している。その他、「花火産業構想」が大きく減少していることから、下位に後退している。

昨年度と比較し重要度が最も大きく増加した項目は、「スポーツ」で0.11、「安全・安心体制」で0.10の増加、反対に最も大きく減少した項目は、「花火産業構想」で0.18、「地域活性化」で0.09の減少となっている。「花火産業構想」の0.18の減少は、昨年度との比較の中で最も大きい変化となっている。

図表 9 重要度（点数順）

順位		項目	重要度 ※			
H30	H29		H30	H29	増減 (H30-H29)	
1	1	【雇用・就労】 地元の若者やAターン希望者などの就業希望者に対する各種支援について	←	4.41	4.44	▲ 0.03
2	4	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化について	↗	4.36	4.26	0.10
3	2	【子育て】 安心して子育てできる社会環境の整備について	←	4.33	4.36	▲ 0.03
4	3	【保健・医療】 健康増進にすすんで取り組める環境や医療体制について	←	4.26	4.30	▲ 0.04
5	5	【商工業】 魅力ある産業の創出や地場産業への支援及び企業誘致について	↘	4.15	4.21	▲ 0.06
6	6	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	←	4.13	4.16	▲ 0.03
7	7	【学校教育】 学習意欲と能力を養う学校教育の充実について	←	4.11	4.10	0.01
8	7	【公共交通】 長寿社会に対応した公共交通の確保について	←	4.09	4.10	▲ 0.01
9	9	【農林水産業】 農畜水産物の消費拡大や生産基盤整備などの取り組み・支援について	←	4.03	4.03	0.00
10	10	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度等の適正な実施について	←	3.99	3.96	0.03
11	11	【上・下水道】 快適な暮らしの基盤となる上・下水道等の整備について	←	3.96	3.93	0.03
12	11	【交通インフラ】 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	←	3.93	3.93	0.00
13	13	【観光】 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	←	3.91	3.91	0.00
14	15	【行財政運営】 市の行財政運営の効率化等について	←	3.87	3.87	0.00
15	20	【空き家対策】 空き家の適正管理と利活用の推進について	↗	3.82	3.73	0.09
16	16	【移住・定住】 市の魅力発信等による、移住・定住の促進について	←	3.81	3.83	▲ 0.02
17	14	【出会い・結婚】 出会い・結婚の促進に向けた取り組みについて	↘	3.80	3.89	▲ 0.09
18	17	【生涯学習】 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	←	3.78	3.77	0.01
19	17	【自然・衛生環境】 緑豊かな自然環境の保全と環境にやさしいまちづくり	←	3.77	3.77	0.00
20	22	【市民協働】 市民と行政などが協働により推進する地域づくりについて	↗	3.74	3.66	0.08
21	21	【地域活性化】 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	←	3.68	3.67	0.01
22	23	【地域情報化】 情報基盤の整備と地域の情報発信の推進について	←	3.64	3.62	0.02
23	24	【住環境】 市営住宅や宅地、公園、緑地の整備について	↗	3.62	3.56	0.06
24	19	【花火産業構想】 さまざまな分野における大曲の花火ブランドの戦略的推進について	↓	3.58	3.76	▲ 0.18
25	24	【男女共同参画】 男女共同参画意識の醸成と女性の参画推進について	←	3.57	3.56	0.01
26	26	【芸術・文化】 芸術、文化活動、文化財に触れる機会の創出について	←	3.56	3.55	0.01
27	28	【地域間・国際交流】 地域間ネットワークの強化や国際化の推進について	←	3.53	3.50	0.03
27	29	【スポーツ】 スポーツ機会の充実やスポーツを通じた地域のにぎわい創出、交流人口の拡大について	↗	3.53	3.42	0.11
29	27	【市街地】 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の整備について	←	3.52	3.54	▲ 0.02

※重要度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↗	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↘	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合

図表 10 重要度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.6 重要度における属性別比較

性別で見ると、全体と比較して上位、下位の大きな違いは見られないが、上位において男性では「商工業」、女性では「社会福祉」、「公共交通」が挙げられている。また、下位においては、男性では「花火産業構想」、女性では「男女共同参画」が挙げられている。

年代別に見ると、全年代で「雇用・就労」、「安全・安心体制」が上位を占めており、70代以上を除く年代では「保健・医療」も挙げられている。また、10代では「農林水産業」も挙げられている。

一方、下位項目については年代によりばらつきがあるが、70代を除く年代において「スポーツ」が挙げられており、30代以下の年代では「地域情報化」、40代、50代、70代では「住環境」も挙げられている。

地域別に見ると、地域ごとに大きな差は見られず、全地域において「雇用・就労」、「安全・安心体制」、「子育て」が上位に挙げられており、神岡地域では「学校教育」、中仙地域では「公共交通」、仙北地域では「社会保障」も挙げられている。下位項目については、大曲地域以外で「市街地」、南外地域以外で「地域間・国際交流」が挙げられており、大曲地域と太田地域では「地域情報化」も挙げられている。

図表 11 性別による重要度

■ 男性

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.41
2	子育て	4.31
3	安全・安心体制	4.28
4	商工業	4.18
5	保健・医療	4.14

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.49
27	スポーツ	3.48
	市街地	3.46
28	地域間・国際交流	3.44
29	花火産業構想	3.40

■ 女性

(上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.41
2	雇用・就労	4.40
3	子育て	4.34
	保健・医療	4.34
5	社会福祉	4.20

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.60
26	地域間・国際交流	3.59
27	市街地	3.56
	男女共同参画	3.56
	スポーツ	3.56

図表 12 年代による重要度

■10代 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	5.00
	保健・医療	5.00
	安全・安心体制	5.00
4	学校教育	4.80
5	農林水産業	4.60
	商工業	4.60
	交通インフラ	4.60
	上・下水道	4.60
	移住・定住	4.60

(下位)

順位	項目	重要度
25	スポーツ	3.60
	地域情報化	3.60
27	社会保障	3.40
	空き家対策	3.40
	住環境	3.40

■20代 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.72
2	安全・安心体制	4.67
3	保健・医療	4.51
4	雇用・就労	4.50
5	社会福祉	4.40

(下位)

順位	項目	重要度
25	空き家対策	3.84
	芸術・文化	3.84
27	スポーツ	3.79
28	地域情報化	3.74
29	市街地	3.63

■30代 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.56
2	安全・安心体制	4.51
3	雇用・就労	4.40
4	保健・医療	4.33
5	社会福祉	4.32

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域情報化	3.57
26	出会い・結婚	3.56
27	市街地	3.52
28	男女共同参画	3.49
29	スポーツ	3.38

■40代 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.45
2	子育て	4.39
3	保健・医療	4.36
4	安全・安心体制	4.21
5	商工業	4.19

(下位)

順位	項目	重要度
25	住環境	3.52
26	スポーツ	3.51
27	地域間・国際交流	3.49
28	男女共同参画	3.36
29	花火産業構想	3.33

■50代 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.65
2	安全・安心体制	4.45
3	商工業	4.36
4	子育て	4.30
5	保健・医療	4.27

(下位)

順位	項目	重要度
25	住環境	3.56
26	スポーツ	3.51
27	地域間・国際交流	3.47
28	花火産業構想	3.44
29	市街地	3.42

■60代 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.32
2	雇用・就労	4.29
3	子育て	4.25
4	商工業	4.23
5	保健・医療	4.19

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.56
26	スポーツ	3.54
27	市街地	3.44
28	芸術・文化	3.43
29	地域間・国際交流	3.41

■70代 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.18
2	安全・安心体制	4.14
3	子育て	4.09
4	公共交通	4.06
5	保健・医療	4.04

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.58
26	地域間・国際交流	3.54
27	住環境	3.53
	芸術・文化	3.53
29	花火産業構想	3.41

■80代 (上位)

順位	項目	重要度
1	社会福祉	4.25
2	安全・安心体制	4.23
3	雇用・就労	4.22
4	子育て	4.17
5	学校教育	4.16

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.45
26	芸術・文化	3.38
27	スポーツ	3.30
28	地域間・国際交流	3.27
29	男女共同参画	3.19

図表 13 地域による重要度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.43
2	安全・安心体制	4.40
3	子育て	4.36
4	保健・医療	4.30
5	商工業	4.18

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域情報化	3.60
26	芸術・文化	3.55
27	スポーツ	3.54
	男女共同参画	3.54
29	地域間・国際交流	3.48

■神岡地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.39
2	子育て	4.36
3	雇用・就労	4.33
4	保健・医療	4.19
5	学校教育	4.16

(下位)

順位	項目	重要度
	市街地	3.59
23	芸術・文化	3.59
	地域間・国際交流	3.59
26	住環境	3.54
	男女共同参画	3.54
28	花火産業構想	3.47
29	スポーツ	3.44

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.46
2	商工業	4.28
2	社会福祉	4.28
4	子育て	4.26
5	安全・安心体制	4.23

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域間・国際交流	3.53
26	男女共同参画	3.52
27	市街地	3.49
28	スポーツ	3.45
29	芸術・文化	3.32

■中仙地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.17
2	雇用・就労	4.14
2	子育て	4.14
4	公共交通	4.08
5	農林水産業	4.07

(下位)

順位	項目	重要度
24	地域間・国際交流	3.52
24	男女共同参画	3.52
26	住環境	3.47
27	スポーツ	3.46
28	花火産業構想	3.30
29	市街地	3.26

■協和地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.33
2	安全・安心体制	4.32
3	子育て	4.30
4	保健・医療	4.27
5	社会福祉	4.22

(下位)

順位	項目	重要度
24	スポーツ	3.52
24	地域情報化	3.52
26	地域間・国際交流	3.49
27	男女共同参画	3.46
28	花火産業構想	3.45
29	市街地	3.38

■南外地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.50
2	子育て	4.28
3	安全・安心体制	4.22
4	農林水産業	4.18
5	社会福祉	4.11

(下位)

順位	項目	重要度
24	地域情報化	3.50
24	住環境	3.50
24	地域活性化	3.50
27	芸術・文化	3.44
28	男女共同参画	3.39
29	市街地	3.28

■仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.40
2	安全・安心体制	4.34
3	保健・医療	4.31
4	子育て	4.29
5	社会保障	4.24

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.73
26	市街地	3.68
27	地域間・国際交流	3.66
28	スポーツ	3.52
29	花火産業構想	3.49

■太田地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.69
2	子育て	4.57
3	安全・安心体制	4.55
4	保健・医療	4.45
5	農林水産業	4.38

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域情報化	3.69
26	地域間・国際交流	3.65
27	花火産業構想	3.48
28	市街地	3.40
29	住環境	3.38

2.4.7 項目別要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、昨年度と同順で「雇用・就労」が1.99（昨年度：2.11）、「商工業」が1.52（昨年度：1.62）、「公共交通」が1.44（昨年度：1.51）となっている。

要望度が低い項目は、昨年度と同様、「花火産業構想」が0.01（昨年度：0.11）で、次いで「自然・衛生環境」が0.36（昨年度：0.38）、「芸術・文化」が0.43（昨年度：0.44）となっている。特に「花火産業構想」に関しては、重要度の大幅な減少により、重要度と満足度が均衡する結果となった。

昨年度と比較すると、上位及び下位の5項目に昨年度と大きな変化は見られないが、「安全・安心体制」については、昨年度中位より上位に大きく順位を上げている。

昨年度と比較し要望度が最も大きく増加した項目は、「安全・安心体制」で0.16、「学校教育」で0.15の増加で、「安全・安心体制」については重要度の増加、「学校教育」については満足度の減少が要因であった。また、最も大きく減少した項目は、「出会い・結婚」で0.13、「雇用・就労」、「保健・医療」で0.12の減少で、「出会い・結婚」については重要度の減少、「雇用・就労」、「保健・医療」は共に満足度の増加と重要度の減少が要因であった。

図表 14 項目別要望度 (重要度－満足度) (点数順)

順位		項目	要望度 ※			
H30	H29		H30	H29	増減 (H30-H29)	
1	1	【雇用・就労】 地元の若者やAターン希望者などの就業希望者に対する各種支援について	↙	1.99	2.11	▲ 0.12
2	2	【商工業】 魅力ある産業の創出や地場産業への支援及び企業誘致について	↙	1.52	1.62	▲ 0.10
3	3	【公共交通】 長寿社会に対応した公共交通の確保について	↙	1.44	1.51	▲ 0.07
4	4	【子育て】 安心して子育てできる社会環境の整備について	↙	1.33	1.41	▲ 0.08
5	5	【観光】 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	←	1.31	1.30	0.01
6	7	【空き家対策】 空き家の適正管理と利活用の推進について	↘	1.25	1.14	0.11
7	12	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化について	↑	1.19	1.03	0.16
8	6	【保健・医療】 健康増進にすすんで取り組める環境や医療体制について	↙	1.10	1.22	▲ 0.12
9	13	【行財政運営】 市の行財政運営の効率化等について	←	1.05	1.01	0.04
9	10	【移住・定住】 市の魅力発信等による、移住・定住の促進について	←	1.05	1.07	▲ 0.02
11	11	【農林水産業】 農畜水産物の消費拡大や生産基盤整備などの取り組み・支援について	←	1.04	1.06	▲ 0.02
12	8	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	↙	1.02	1.12	▲ 0.10
13	9	【出会い・結婚】 出会い・結婚の促進に向けた取り組みについて	↙	0.97	1.10	▲ 0.13
14	14	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度等の適正な実施について	←	0.95	0.97	▲ 0.02
14	15	【交通インフラ】 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	←	0.95	0.95	0.00
16	16	【市民協働】 市民と行政などが協働により推進する地域づくりについて	↘	0.83	0.72	0.11
17	18	【地域活性化】 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	↘	0.75	0.65	0.10
18	21	【学校教育】 学習意欲と能力を養う学校教育の充実について	↑	0.74	0.59	0.15
19	20	【地域情報化】 情報基盤の整備と地域の情報発信の推進について	←	0.65	0.63	0.02
20	17	【市街地】 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の整備について	↙	0.63	0.70	▲ 0.07
21	18	【上・下水道】 快適な暮らしの基盤となる上・下水道等の整備について	↙	0.59	0.65	▲ 0.06
22	22	【男女共同参画】 男女共同参画意識の醸成と女性の参画推進について	↘	0.58	0.52	0.06
23	23	【生涯学習】 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	←	0.54	0.50	0.04
24	23	【住環境】 市営住宅や宅地、公園、緑地の整備について	←	0.53	0.50	0.03
25	25	【地域間・国際交流】 地域間ネットワークの強化や国際化の推進について	←	0.46	0.45	0.01
25	27	【スポーツ】 スポーツ機会の充実やスポーツを通じた地域のにぎわい創出、交流人口の拡大について	↘	0.46	0.41	0.05
27	26	【芸術・文化】 芸術、文化活動、文化財に触れる機会の創出について	←	0.43	0.44	▲ 0.01
28	28	【自然・衛生環境】 緑豊かな自然環境の保全と環境にやさしいまちづくり	←	0.36	0.38	▲ 0.02
29	29	【花火産業構想】 さまざまな分野における大曲の花火ブランドの戦略的推進について	↙	0.01	0.11	▲ 0.10

※要望度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↗	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↘	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

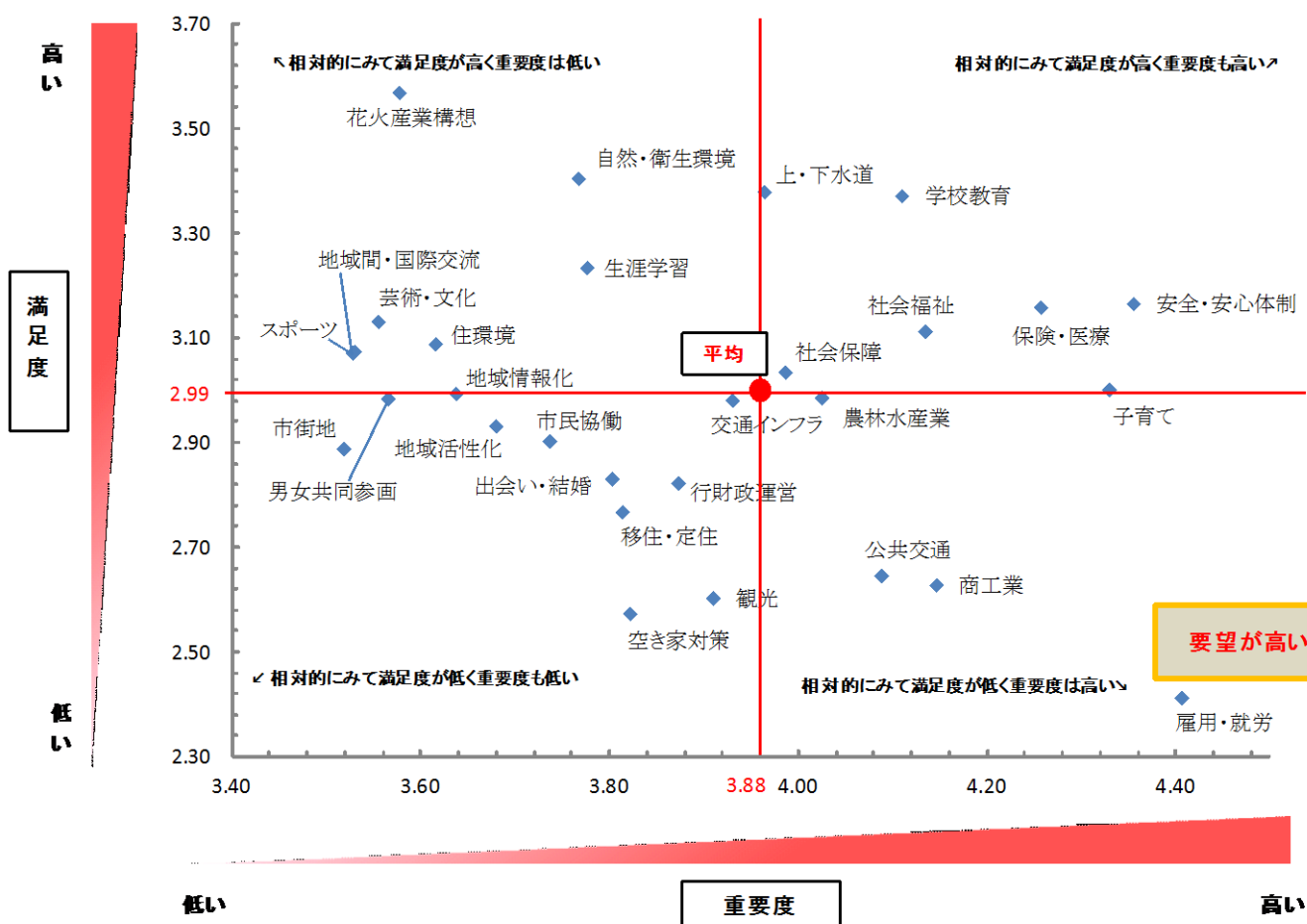
2.4.8 満足度、重要度の総括

満足度、重要度の総括として、満足度を縦軸、重要度を横軸として要望の高さを示した散布図を作成した。図表15は、29項目の満足度と重要度のそれぞれの位置を示したものである。

図の右上に位置するほど重要度が高く満足度も高い項目となり、逆に図の左下に位置するほど重要度が低く満足度も低い項目となっている。重要度が高く満足度が低い項目（図の右下にある項目）ほど相対的に要望が高い施策となっている。

今回の満足度、要望度の結果から相対的に要望が高い施策は、「雇用・就労」、「商工業」、「公共交通」、「子育て」、「農林水産業」となっている。

図表 15 満足度・重要度の項目別比較



2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較

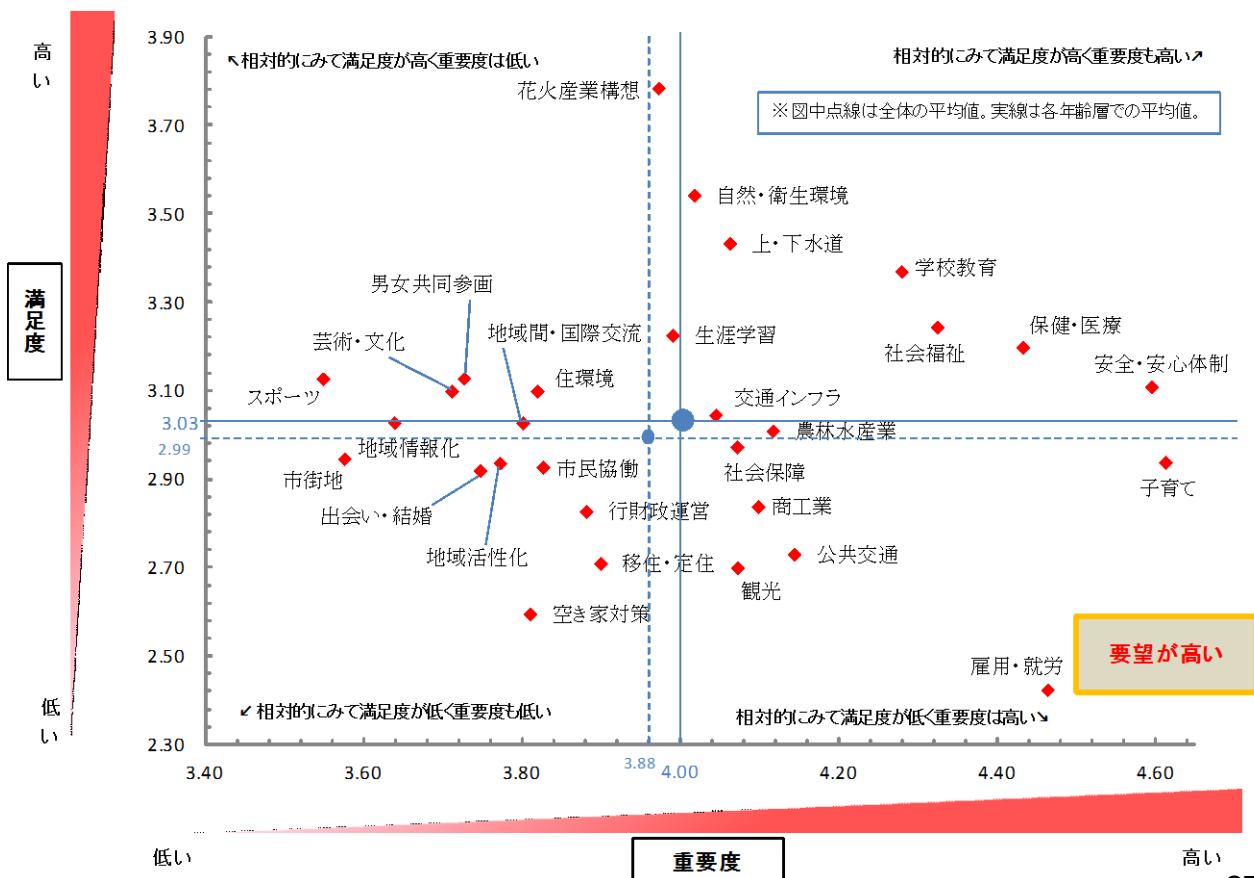
満足度を縦軸、重要度を横軸として各項目の要望の高さを示した散布図について、18歳から39歳(10代から30代)まで、40歳から64歳(40代から64歳)まで、65歳以上の3つの年齢層別で作成した。

18歳から39歳の年齢層では、全般的に重要度が高くなっており、散布図左上の「相対的にみて重要度が低く満足度が高い」にあたる位置に分布する項目が少ない。相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」、「子育て」、「公共交通」で、特に、「子育て」は全項目の中で最も重要度が高く、満足度は他年齢層と比較すると低くなっており、この年齢層で特徴的に要望が高いことを示している。

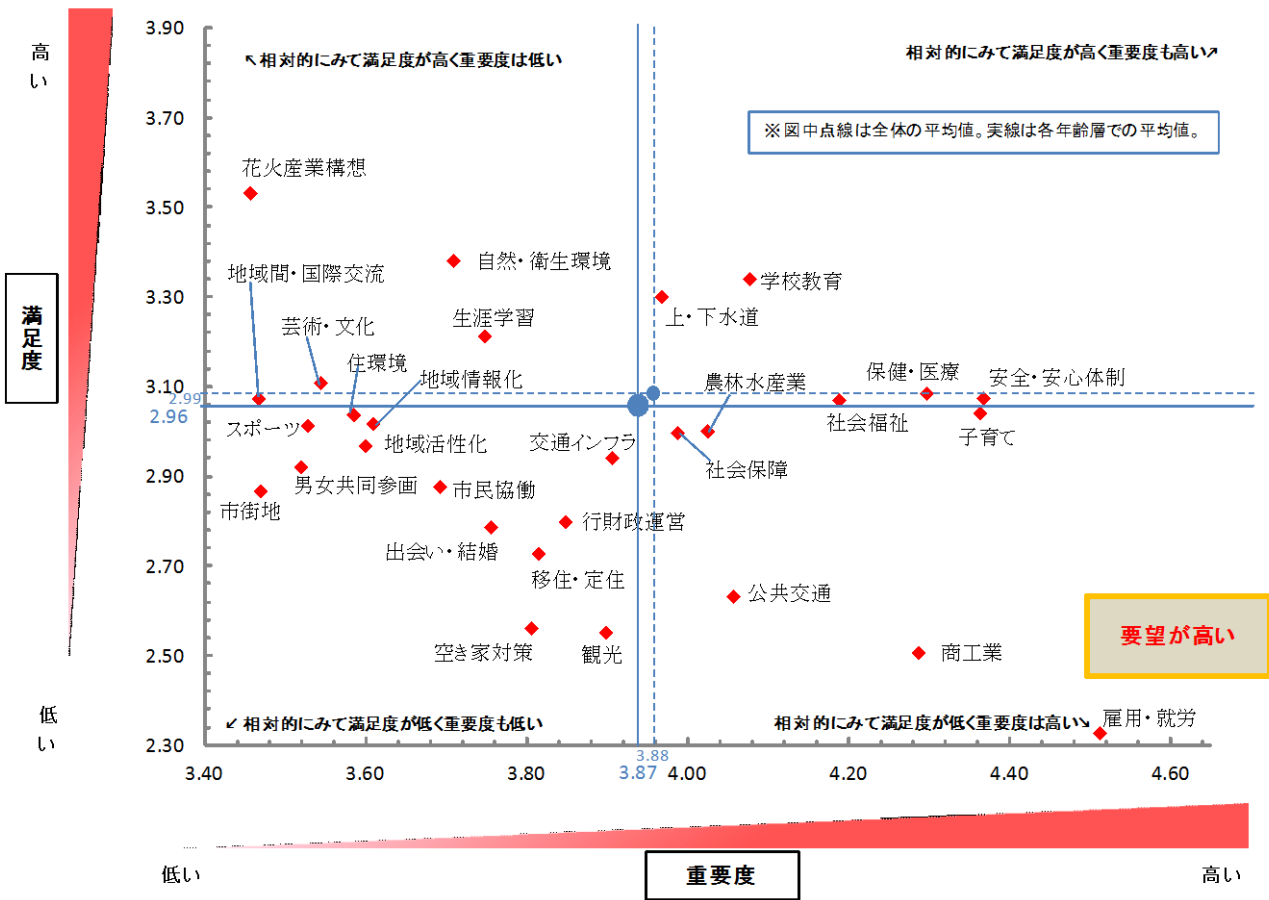
40歳から64歳の年齢層では、全般的に満足度が低くなっており、散布図左下の「相対的にみて満足度が低く重要度も低い」にあたる位置に分布する項目が多い。相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」、「商工業」、「公共交通」、「子育て」で、特に、「商工業」は他年齢層と比較して重要度が高く満足度が低くなっており、この年齢層で特徴的に要望が高いことを示している。

65歳以上の年齢層では、全般的に重要度が低くなっており、満足度は高低のばらつきが少なくなっている。相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」、「公共交通」、「商工業」だが、他の年齢層と比較して「出会い・結婚」、「空き家対策」の重要度の順位が高く、この年齢層では相対的に要望が高いことを示している。

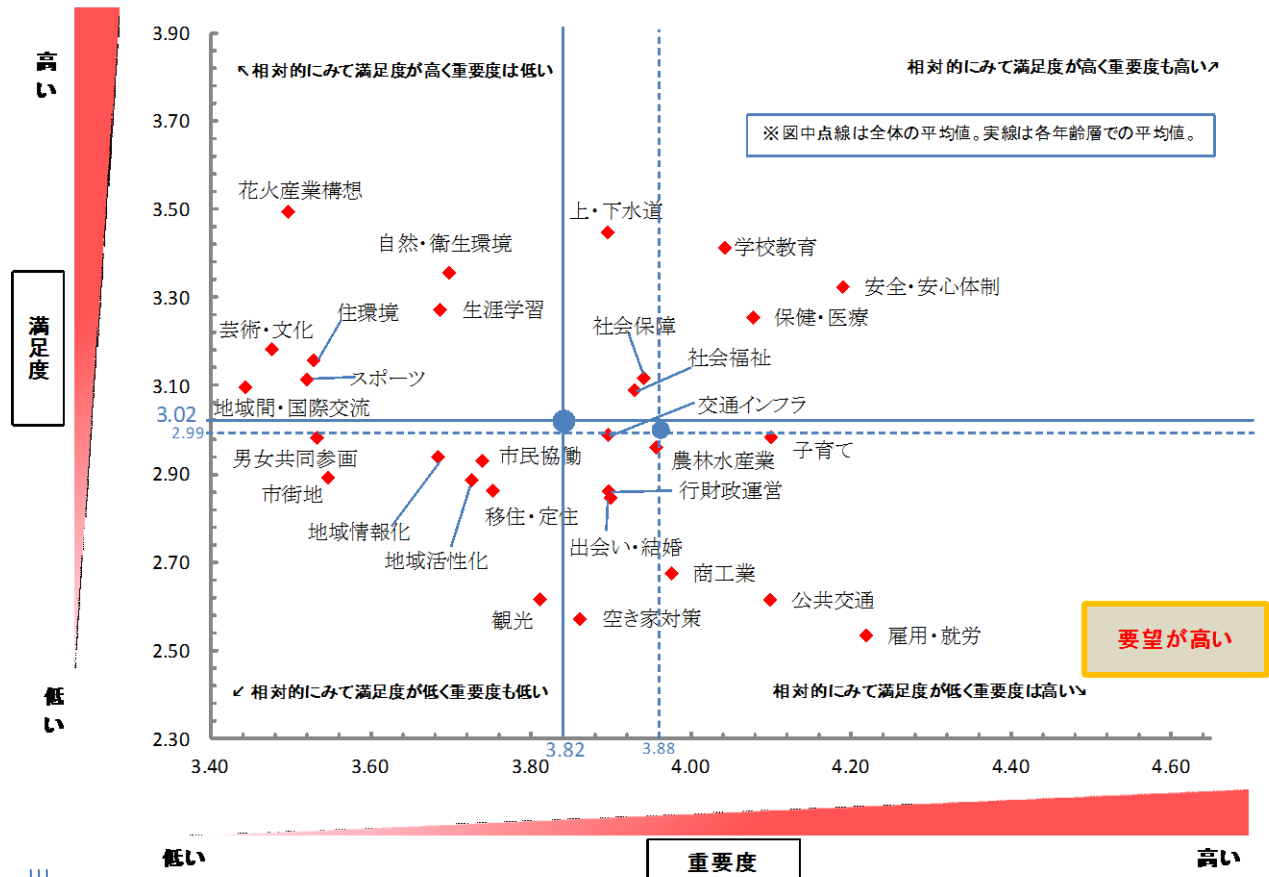
図表 16 満足度・重要度の項目別比較 (18歳から39歳)



図表 17 満足度・重要度の項目別比較（40歳から64歳）



図表 18 満足度・重要度の項目別比較（65歳以上）



2.5 さらに推進すべき取り組み

2.5.1 産業分野に関する設問について

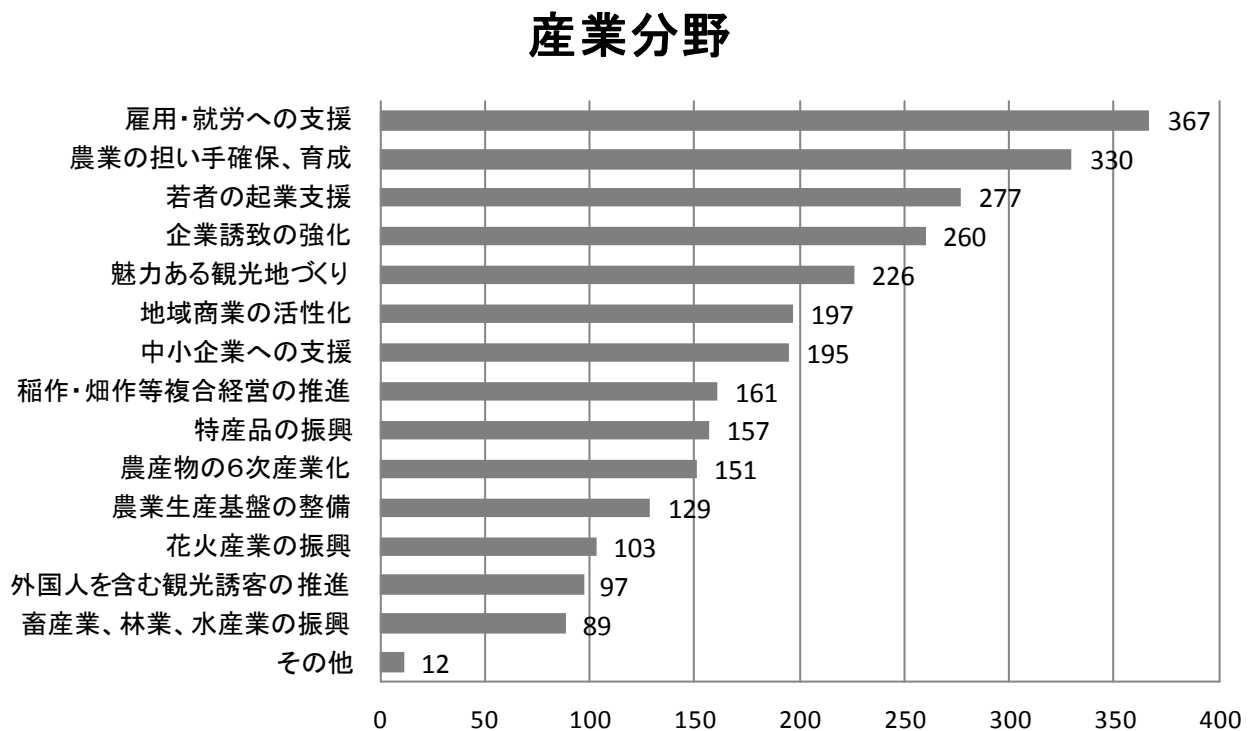
さらに推進すべき取り組みの上位は、「雇用・就労への支援」、「農業の担い手確保、育成」、「若者の起業支援」となっている。

一方、下位は「畜産業、林業、水産業の振興」、「外国人を含む観光誘客の推進」、「花火産業の振興」となっている。

年代別では、10代から30代において「魅力ある観光地づくり」が、40代上において「企業誘致の強化」が他の年代に比べて高くなっている。

地域別では、上位の項目にほとんど差はないが、南外地域において「地域商業の活性化」「稲作・畑作等複合経営の推進」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

図表 19 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 20 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者の起業支援	3
2	雇用・就労への支援	2
	農業の担い手確保、育成	2
	魅力ある観光地づくり	2
	地域商業の活性化	2
	農産物の6次産業化	2
	花火産業の振興	2
	外国人を含む観光誘客の推進	2

■20代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
2	雇用・就労への支援	27
2	魅力ある観光地づくり	27
4	若者の起業支援	21
5	中小企業への支援	20

■30代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	40
2	農業の担い手確保、育成	37
3	魅力ある観光地づくり	28
4	若者の起業支援	27
5	地域商業の活性化	25
	中小企業への支援	25

■40代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	47
2	農業の担い手確保、育成	38
3	企業誘致の強化	35
4	若者の起業支援	33
5	魅力ある観光地づくり	29

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	91
2	企業誘致の強化	67
3	若者の起業支援	57
4	農業の担い手確保、育成	56
5	魅力ある観光地づくり	43

■60代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	94
2	農業の担い手確保、育成	92
3	企業誘致の強化	73
4	若者の起業支援	67
5	地域商業の活性化	59

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	59
2	雇用・就労への支援	51
2	若者の起業支援	51
4	企業誘致の強化	38
5	地域商業の活性化	34

■80代

順位	項目	回答数
1	若者の起業支援	18
2	農業の担い手確保、育成	16
3	雇用・就労への支援	14
4	企業誘致の強化	12
5	魅力ある観光地づくり	11

図表 21 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	158
2	農業の担い手確保、育成	135
3	若者の起業支援	121
4	魅力ある観光地づくり	118
5	企業誘致の強化	115

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	24
2	雇用・就労への支援	22
3	若者の起業支援	21
	企業誘致の強化	21
5	中小企業への支援	19

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	37
2	農業の担い手確保、育成	28
3	若者の起業支援	26
	企業誘致の強化	26
5	中小企業への支援	24

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	41
2	農業の担い手確保、育成	38
3	中小企業への支援	26
4	企業誘致の強化	24
5	若者の起業支援	23

■協和地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	41
2	農業の担い手確保、育成	37
3	若者の起業支援	32
4	企業誘致の強化	25
5	魅力ある観光地づくり	23

■南外地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	11
2	農業の担い手確保、育成	9
	企業誘致の強化	9
	若者の起業支援	8
4	地域商業の活性化	8
	稲作・畑作等複合経営の推進	8

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	28
2	雇用・就労への支援	26
3	若者の起業支援	20
4	企業誘致の強化	19
5	特産品の振興	16

■太田地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	31
2	雇用・就労への支援	30
3	若者の起業支援	25
4	企業誘致の強化	21
5	魅力ある観光地づくり	19

2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は、「子育てに関わる経済的負担の軽減」、「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」、「子育て支援サービスの充実」となっている。

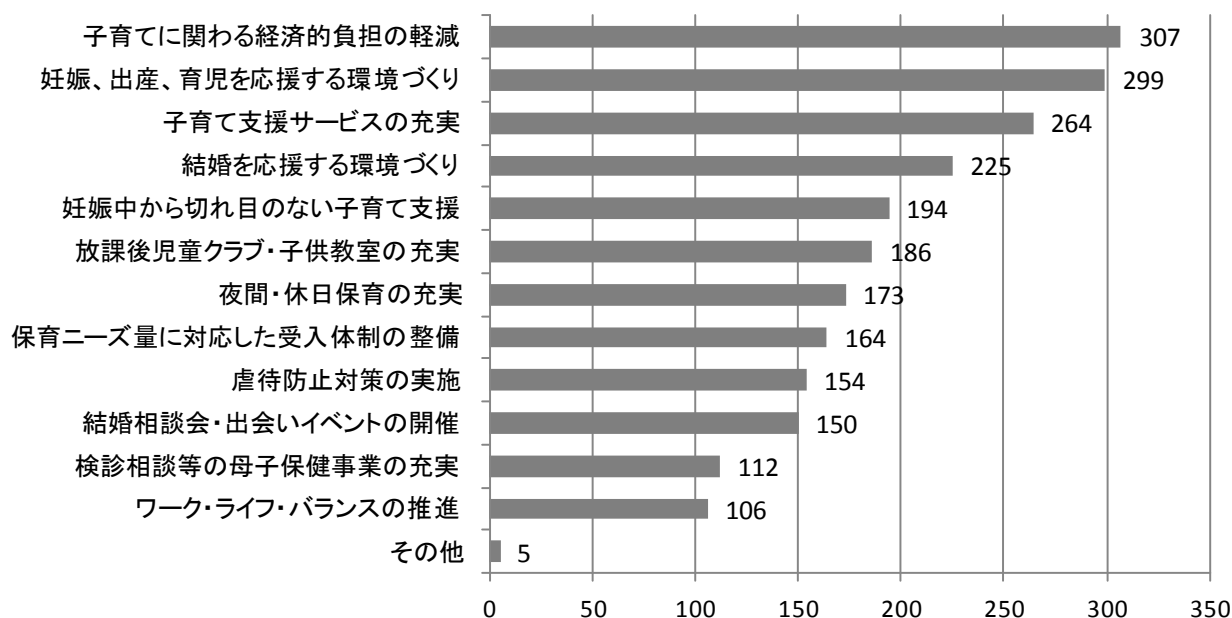
一方、下位は「ワーク・ライフ・バランスの推進」、「検診相談等の母子保健事業の充実」、「結婚相談会・出会いイベントの開催」となっている。

年代別では、20代から40代においては「夜間・休日保育の充実」、40代、50代においては「放課後児童クラブ・子供教室の充実」が他の年代に比べて高くなっている。60代以上では、50代まででは上位に入っていなかった、「結婚を応援する環境づくり」が1位となっている。

地域別では、西仙北、南外地域で「虐待防止対策の実施」が、中仙地域で「保育ニーズ量に対応した受入体制の整備」が他の地域より多くなっている。

図表 22 さらに推進すべき取り組み（回答数順）

出会い・結婚・子育て分野



図表 23 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	4
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり 虐待防止対策の実施	3
4	子育てに関わる経済的負担の軽減 妊娠中から切れ目のない子育て支援 放課後児童クラブ・子供教室の充実 ワーク・ライフ・バランスの推進	2

■20代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	33
3	子育て支援サービスの充実	24
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	21
5	夜間・休日保育の充実	20

■30代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	45
2	子育て支援サービスの充実	43
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	42
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	35
5	夜間・休日保育の充実	30

■40代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	44
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	41
3	子育て支援サービスの充実	29
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実 夜間・休日保育の充実	25

■50代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	63
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	58
3	子育て支援サービスの充実	50
4	保育ニーズ量に対応した受入体制の整備	38
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	37

■60代

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	70
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	68
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	66
4	子育て支援サービスの充実	65
5	結婚相談会・出会いイベントの開催	48

■70代以上

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	48
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	42
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	41
4	子育て支援サービスの充実	39
5	虐待防止対策の実施	31

■80代以上

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	18
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり 結婚相談会・出会いイベントの開催	13
4	虐待防止対策の実施	12
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援	11

図表 24 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	139
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	137
3	子育て支援サービスの充実	121
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	94
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	88

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	20
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	19
	子育て支援サービスの充実	19
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	18
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援	17

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	28
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	25
	子育て支援サービスの充実	25
4	結婚を応援する環境づくり	22
5	虐待防止対策の実施	19

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	35
2	結婚を応援する環境づくり	29
3	子育て支援サービスの充実	26
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	25
5	保育ニーズ量に対応した受入体制の整備	20

■協和地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	36
2	子育て支援サービスの充実	28
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	27
4	結婚を応援する環境づくり	24
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援	21

■南外地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	10
	結婚を応援する環境づくり	10
3	子育て支援サービスの充実	9
4	夜間・休日保育の充実	8
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	7
	虐待防止対策の実施	7

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	25
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	19
3	結婚を応援する環境づくり	18
4	子育て支援サービスの充実	16
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	16

■太田地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	27
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	26
3	結婚を応援する環境づくり	23
4	子育て支援サービスの充実	19
5	結婚相談会・出会いイベントの開催	18

2.5.3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について

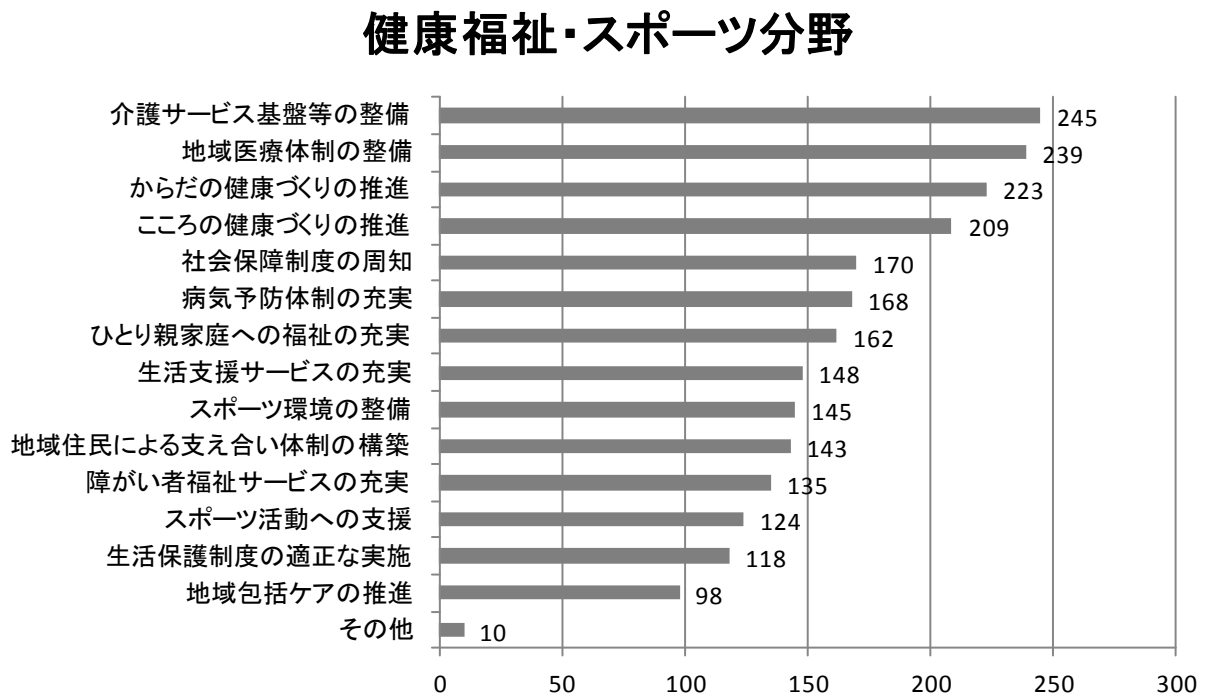
さらに推進すべき取り組みの上位は、「介護サービス基盤等の整備」、「地域医療体制の整備」、「からだの健康づくりの推進」となっている。

一方、下位については「地域包括ケアの推進」、「生活保護制度の適正な実施」、「スポーツ活動への支援」となっている。

年代別では、10代から40代において「スポーツ環境の整備」、「スポーツ活動への支援」が、他の年代に比べて高くなっている。

地域別では、大曲以外の地域で「地域医療体制の整備」の割合が高く、中仙、太田地域で「地域住民による支え合い体制の構築」が他の地域より高くなっている。

図表 25 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 26 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	スポーツ環境の整備	4
2	からだの健康づくりの推進	3
	こころの健康づくりの推進	3
5	スポーツ活動への支援	3
	地域医療体制の整備	2
	病気予防体制の充実	2
	地域住民による支え合い体制の構築	2

■20代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	24
2	病気予防体制の充実	22
3	スポーツ活動への支援	19
4	介護サービス基盤等の整備	17
	スポーツ環境の整備	17

■30代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	27
2	地域医療体制の整備	25
3	からだの健康づくりの推進	24
4	こころの健康づくりの推進	19
5	社会保障制度の周知	18
	ひとり親家庭への福祉の充実	18
	スポーツ環境の整備	18
	スポーツ活動への支援	18

■40代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	31
2	介護サービス基盤等の整備	28
3	こころの健康づくりの推進	26
4	スポーツ環境の整備	25
5	からだの健康づくりの推進	24

■50代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	58
2	介護サービス基盤等の整備	55
3	からだの健康づくりの推進	40
	こころの健康づくりの推進	40
	社会保障制度の周知	40

■60代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	58
2	介護サービス基盤等の整備	56
3	からだの健康づくりの推進	54
4	こころの健康づくりの推進	47
5	ひとり親家庭への福祉の充実	45
	地域住民による支え合い体制の構築	45

■70代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	46
2	からだの健康づくりの推進	43
3	こころの健康づくりの推進	41
4	地域医療体制の整備	37
5	生活支援サービスの充実	32

■80代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくりの推進	17
2	介護サービス基盤等の整備	15
3	地域医療体制の整備	13
4	からだの健康づくりの推進	10
	ひとり親家庭への福祉の充実	10
	地域住民による支え合い体制の構築	10

図表 27 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	106
2	からだの健康づくりの推進	104
3	こころの健康づくりの推進	93
4	地域医療体制の整備	92
5	病気予防体制の充実	82

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	16
	こころの健康づくりの推進	16
3	からだの健康づくりの推進	14
	社会保障制度の周知	14
5	病気予防体制の充実	13

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	24
2	介護サービス基盤等の整備	23
3	生活支援サービスの充実	21
4	からだの健康づくりの推進	20
5	社会保障制度の周知	19

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	29
2	介護サービス基盤等の整備	26
3	こころの健康づくりの推進	25
4	からだの健康づくりの推進	22
5	地域住民による支え合い体制の構築	19

■協和地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	28
2	地域医療体制の整備	27
3	こころの健康づくりの推進	24
4	社会保障制度の周知	23
5	ひとり親家庭への福祉の充実	21

■南外地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	9
	地域医療体制の整備	9
	こころの健康づくりの推進	9
4	からだの健康づくりの推進	8
	社会保障制度の周知	8
	病気予防体制の充実	8

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	21
2	地域医療体制の整備	20
3	からだの健康づくりの推進	16
4	こころの健康づくりの推進	13
5	病気予防体制の充実	12
	ひとり親家庭への福祉の充実	12

■太田地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	21
2	介護サービス基盤等の整備	19
	からだの健康づくりの推進	19
4	ひとり親家庭への福祉の充実	15
	地域住民による支え合い体制の構築	15

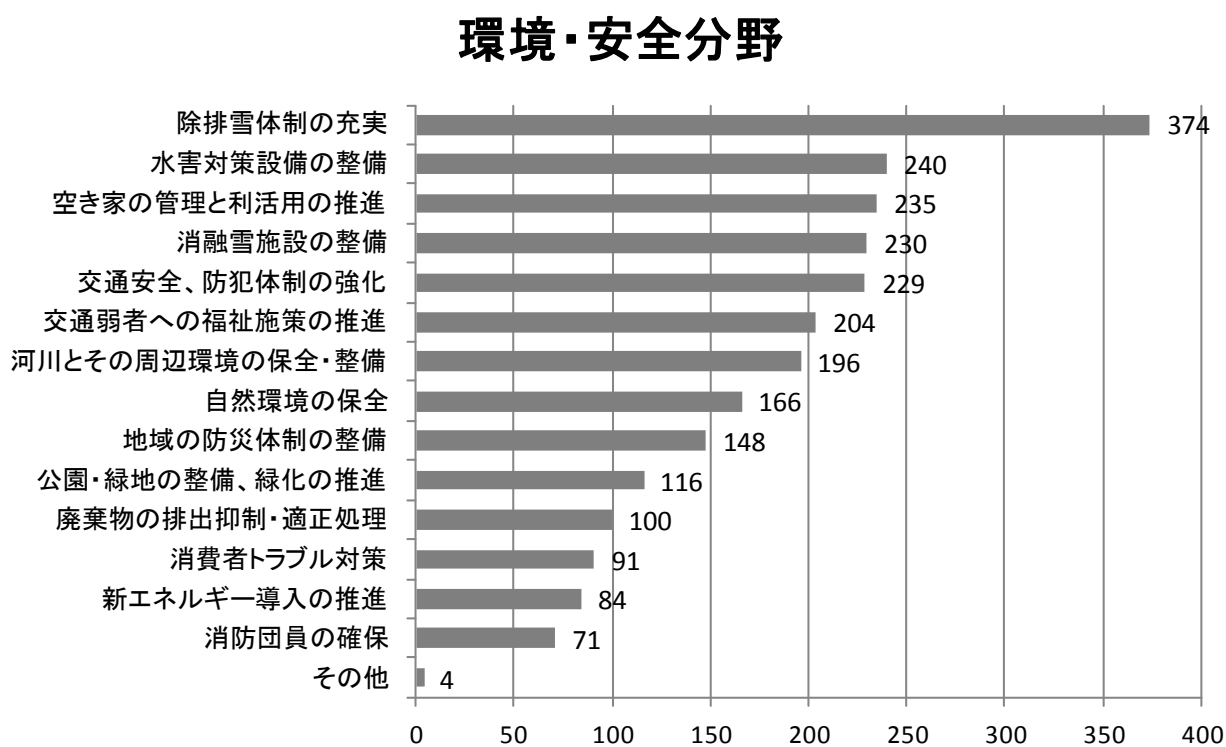
2.5.4 環境安全分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は、「除排雪体制の充実」、「水害対策設備の整備」、「空き家の管理と利活用の推進」となっている。

一方、下位は「消防団員の確保」、「新エネルギー導入の推進」、「消費者トラブル対策」となっている。

年代別ではすべての年代で、地域別では、太田を除くすべての地域で「除排雪体制の充実」が最も高くなっている。

図表 28 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 29 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	4
2	交通安全、防犯体制の強化	3
	河川とその周辺環境の保全・整備	3
4	消融雪施設の整備	2
	自然環境の保全	2
	公園・緑地の整備、緑化の推進	2

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	32
2	消融雪施設の整備	27
3	水害対策設備の整備	23
	河川とその周辺環境の保全・整備	23
5	交通安全、防犯体制の強化	18
	自然環境の保全	18

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	47
2	水害対策設備の整備	31
	消融雪施設の整備	31
4	交通安全、防犯体制の強化	29
5	空き家の管理と利活用の推進	27
	河川とその周辺環境の保全・整備	27

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	50
2	水害対策設備の整備	41
3	消融雪施設の整備	34
4	空き家の管理と利活用の推進	30
5	河川とその周辺環境の保全・整備	24

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	83
2	消融雪施設の整備	52
3	空き家の管理と利活用の推進	50
4	水害対策設備の整備	47
5	交通弱者への福祉施策の推進	42

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	83
2	空き家の管理と利活用の推進	63
3	交通安全、防犯体制の強化	60
4	水害対策設備の整備	55
	交通弱者への福祉施策の推進	55

■70代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	52
2	交通安全、防犯体制の強化	45
3	交通弱者への福祉施策の推進	41
4	空き家の管理と利活用の推進	36
5	自然環境の保全	33

■80代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	22
2	交通安全、防犯体制の強化	18
3	地域の防災体制の整備	13
4	空き家の管理と利活用の推進	12
	消融雪施設の整備	12

図表 30 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	174
2	消融雪施設の整備	125
3	水害対策設備の整備	107
4	空き家の管理と利活用の推進	95
5	交通安全、防犯体制の強化	92

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	26
2	水害対策設備の整備	24
3	空き家の管理と利活用の推進 河川とその周辺環境の保全・整備	16
5	交通安全、防犯体制の強化 自然環境の保全	15

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	31
2	空き家の管理と利活用の推進	28
3	交通安全、防犯体制の強化	25
4	河川とその周辺環境の保全・整備	24
5	水害対策設備の整備	23

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	37
2	交通安全、防犯体制の強化	26
3	空き家の管理と利活用の推進	23
4	水害対策設備の整備 交通弱者への福祉施策の推進	21

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	37
2	交通弱者への福祉施策の推進	24
3	水害対策設備の整備	23
4	交通安全、防犯体制の強化 河川とその周辺環境の保全・整備	22

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	13
2	水害対策設備の整備 空き家の管理と利活用の推進	10
4	交通安全、防犯体制の強化	9
5	交通弱者への福祉施策の推進 河川とその周辺環境の保全・整備	7

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	29
2	交通安全、防犯体制の強化	19
3	水害対策設備の整備	18
3	空き家の管理と利活用の推進	18
5	消融雪施設の整備	17

■太田地域

順位	項目	回答数
1	空き家の管理と利活用の推進	27
2	除排雪体制の充実	26
3	交通安全、防犯体制の強化	20
4	交通弱者への福祉施策の推進	18
5	水害対策設備の整備 自然環境の保全 廃棄物の排出抑制・適正処理	13

2.5.5 都市基盤分野に関する設問について

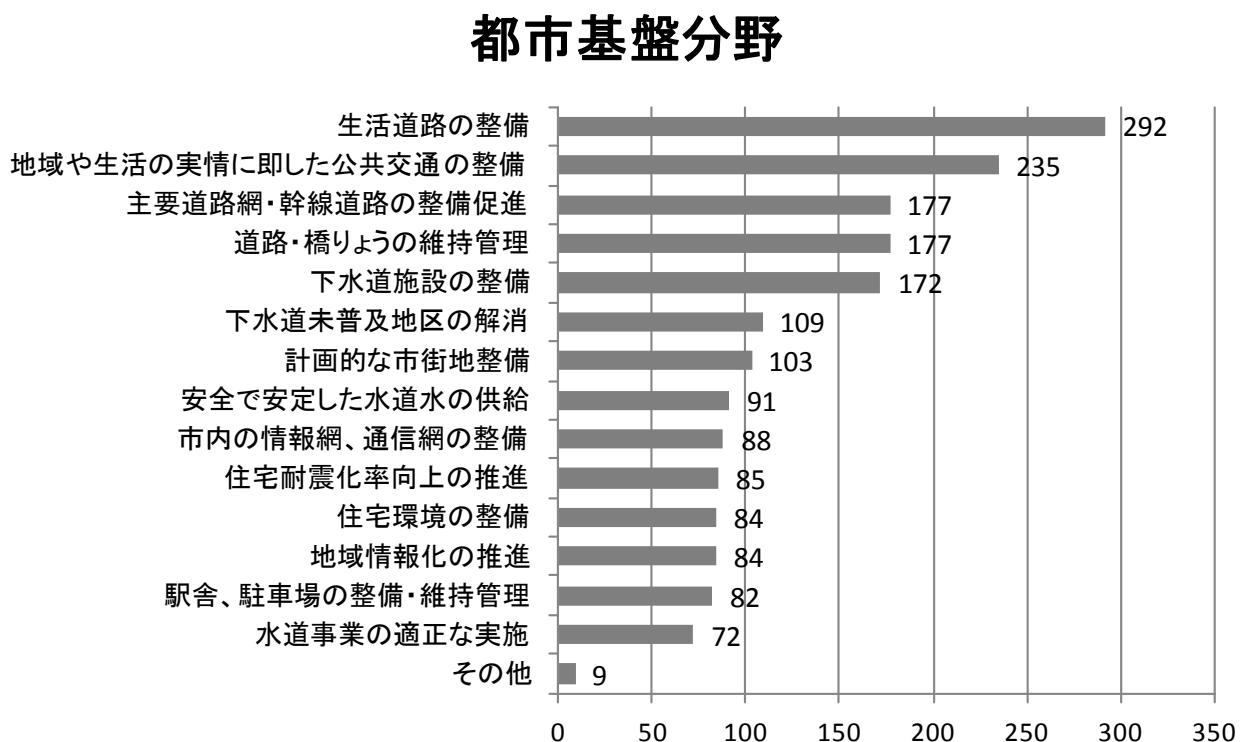
さらに推進すべき取り組みの上位は「生活道路の整備」、「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」、「主要道路網・幹線道路の整備促進」、「道路・橋りょうの維持管理」となっている。

一方、下位については、「水道事業の適正な実施」、「駅舎・駐車場の整備・維持管理」、「地域情報化の推進」、「住宅環境の整備」となっている。

年代別では、20代以上のすべての年代で「生活道路の整備」が最も高い。

地域別では、西仙北地域以外では、「生活道路の整備」が最も高く、次に「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」となっている。西仙北地域では、「道路・橋りょうの維持管理」の回答の割合が他の地域と比べて高くなっている。

図表 31 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 32 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	駅舎、駐車場の整備・維持管理	3
2	生活道路の整備	2
	主要道路網・幹線道路の整備促進	2
	道路・橋りよの維持管理	2
	計画的な市街地整備	2

■20代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	28
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	19
	道路・橋りよの維持管理	19
4	下水道施設の整備	16
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	15

■30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	29
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	28
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	22
	道路・橋りよの維持管理	22
5	下水道施設の整備	21

■40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	34
2	道路・橋りよの維持管理	25
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	23
	主要道路網・幹線道路の整備促進	23
5	下水道施設の整備	21

■50代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	59
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	53
3	道路・橋りよの維持管理	42
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	32
5	下水道施設の整備	28

■60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	75
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	64
3	下水道施設の整備	46
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	40
5	道路・橋りよの維持管理	36

■70代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	44
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	38
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	32
4	下水道施設の整備	29
5	道路・橋りよの維持管理	25

■80代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	19
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	12
3	下水道施設の整備	10
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	7
	下水道未普及地区の解消	7
	市内の情報網、通信網の整備	7
	住宅環境の整備	7

図表 33 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	118
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	102
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	76
	下水道施設の整備	76
5	道路・橋りょうの維持管理	68

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	19
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	17
3	道路・橋りょうの維持管理	13
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	11
	下水道施設の整備	11

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	31
2	道路・橋りょうの維持管理	23
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	19
	主要道路網・幹線道路の整備促進	19
5	下水道施設の整備	15

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	36
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	29
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	20
	道路・橋りょうの維持管理	20
5	下水道施設の整備	14

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	32
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	23
3	下水道施設の整備	21
4	道路・橋りょうの維持管理	20
5	主要道路網・幹線道路の整備促進	16

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	9
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	8
	道路・橋りょうの維持管理	8
4	下水道施設の整備	7
5	住宅環境の整備	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	23
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	16
	下水道施設の整備	16
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	15
5	計画的な市街地整備	9
	住宅耐震化率向上の推進	9

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	24
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	20
3	道路・橋りょうの維持管理	17
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	16
5	下水道施設の整備	12

2.5.6 教育・交流分野に関する設問について

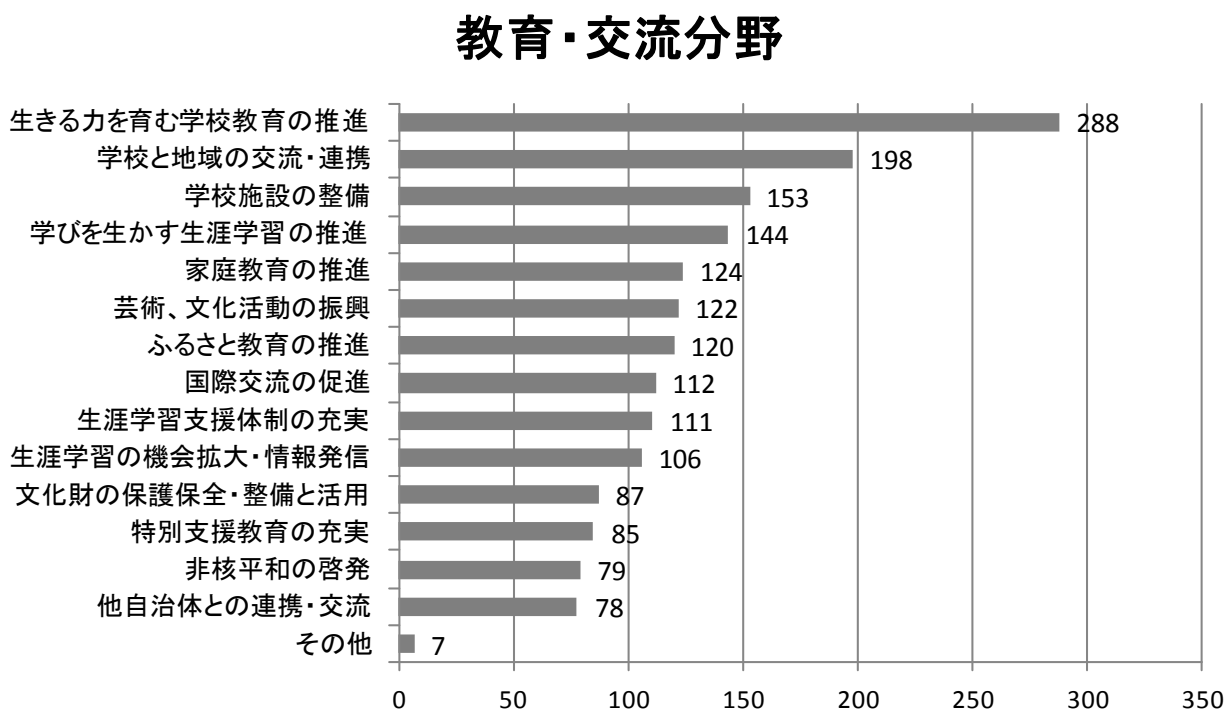
さらに推進すべき取り組みの上位は、「生きる力を育む学校教育の推進」、「学校と地域の交流・連携」、「学校施設の整備」となっている。

一方、下位は、「他自治体との連携・交流」、「非核平和の啓発」、「特別支援教育の充実」となっている。

年代別では、20代以上で「生きる力を育む学校教育の推進」が最も高くなっている。20代から50代で「学校施設の整備」が他の年代と比べて高くなっている。70代、80代では「ふるさと教育の推進」が他の年代と比べて高くなっている。

地域別では、いずれの地域でも「生きる力を育む学校教育の推進」が最も高くなっている。

図表 34 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 35 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	国際交流の促進	4
2	生きる力を育む学校教育の推進	2
	学校と地域の交流・連携	2
	学びを生かす生涯学習の推進	2
	その他	2

■20代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	22
2	学校と地域の交流・連携	18
3	学校施設の整備	17
4	学びを生かす生涯学習の推進	16
5	生涯学習支援体制の充実	15

■30代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	29
2	学校施設の整備	25
3	学校と地域の交流・連携	24
4	学びを生かす生涯学習の推進	17
5	芸術、文化活動の振興	16

■40代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	44
2	学校施設の整備	29
3	学校と地域の交流・連携	26
4	学びを生かす生涯学習の推進	18
5	家庭教育の推進	14
	国際交流の促進	14
	特別支援教育の充実	14

■50代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	55
2	学校と地域の交流・連携	36
3	学校施設の整備	32
4	学びを生かす生涯学習の推進	30
5	生涯学習支援体制の充実	26

■60代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	76
2	学校と地域の交流・連携	48
3	学びを生かす生涯学習の推進	32
4	生涯学習の機会拡大・情報発信	31
5	家庭教育の推進	30

■70代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	46
2	学校と地域の交流・連携	32
3	家庭教育の推進	24
4	ふるさと教育の推進	22
5	学びを生かす生涯学習の推進	21
	芸術、文化活動の振興	21
	生涯学習支援体制の充実	21

■80代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	13
2	学校と地域の交流・連携	12
3	家庭教育の推進	11
	ふるさと教育の推進	11
5	芸術、文化活動の振興	9

図表 36 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	122
2	学校と地域の交流・連携	86
3	学校施設の整備	75
4	学びを生かす生涯学習の推進	63
5	芸術、文化活動の振興	60

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	22
2	学校と地域の交流・連携	14
3	ふるさと教育の推進	12
4	芸術、文化活動の振興	9
	生涯学習支援体制の充実	9

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	28
2	学校と地域の交流・連携	19
3	学びを生かす生涯学習の推進	15
4	家庭教育の推進	12
5	学校施設の整備	11
	国際交流の促進	11
	生涯学習支援体制の充実	11

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	26
2	学校と地域の交流・連携	25
3	学校施設の整備	21
4	家庭教育の推進	14
	生涯学習支援体制の充実	14

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	26
2	学校と地域の交流・連携	19
3	芸術、文化活動の振興	14
4	学びを生かす生涯学習の推進	13
	非核平和の啓発	13

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	10
2	ふるさと教育の推進	9
3	学校と地域の交流・連携	7
	学びを生かす生涯学習の推進	7
5	学校施設の整備	5
	家庭教育の推進	5
	芸術、文化活動の振興	5
	国際交流の促進	5
	非核平和の啓発	5

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	30
2	学校施設の整備	14
	学びを生かす生涯学習の推進	14
4	ふるさと教育の推進	13
5	学校と地域の交流・連携	12

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	24
2	学校と地域の交流・連携	16
3	学びを生かす生涯学習の推進	13
	国際交流の促進	13
5	ふるさと教育の推進	12

2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について

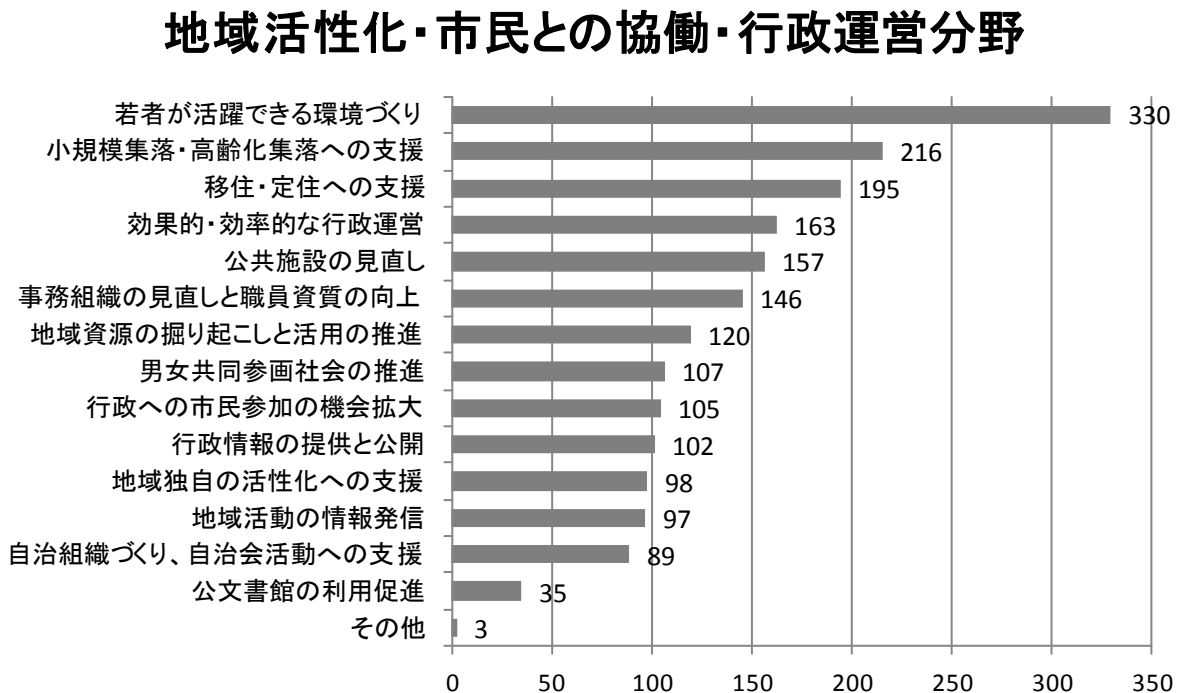
さらに推進すべき取り組みの上位は、「若者が活躍できる環境づくり」、「小規模集落・高齢化集落への支援」、「移住・定住への支援」となっている。

一方、下位は、「公文書館の利用促進」、「自治組織づくり、自治会活動への支援」、「地域活動の情報発信」となっている。

年代別では、10代から70代までの世代で「若者が活躍できる環境づくり」が、80代では「小規模集落・高齢化集落への支援」が最も高くなっている。

地域別では、「若者が活躍できる環境づくり」がいずれの地域でも最も高くなっている。大曲地域では、「移住・定住への支援」が他の地域と比べて高くなっている。

図表 37 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 38 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	3
2	移住・定住への支援	2
	効果的・効率的な行政運営	2
	公共施設の見直し	2
	男女共同参画社会の推進	2
	行政への市民参加の機会拡大	2
	地域活動の情報発信	2

■20代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	30
2	小規模集落・高齢化集落への支援	26
3	移住・定住への支援	18
	効果的・効率的な行政運営	18
	男女共同参画社会の推進	18

■30代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	36
2	移住・定住への支援	26
3	公共施設の見直し	21
4	効果的・効率的な行政運営	19
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	18

■40代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	45
2	移住・定住への支援	27
3	事務組織の見直しと職員資質の向上	24
4	公共施設の見直し	23
5	効果的・効率的な行政運営	22

■50代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	74
2	公共施設の見直し	43
3	小規模集落・高齢化集落への支援	37
	移住・定住への支援	37
5	効果的・効率的な行政運営	36

■60代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	78
2	小規模集落・高齢化集落への支援	60
3	移住・定住への支援	49
4	効果的・効率的な行政運営	42
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	39

■70代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	47
2	小規模集落・高齢化集落への支援	40
3	移住・定住への支援	26
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	25
5	行政への市民参加の機会拡大	22
	行政情報の提供と公開	22

■80代

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	18
2	若者が活躍できる環境づくり	15
3	行政情報の提供と公開	11
4	移住・定住への支援	9
	事務組織の見直しと職員資質の向上	9
	行政への市民参加の機会拡大	9
	地域独自の活性化への支援	9

図表 39 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	150
2	移住・定住への支援	96
3	小規模集落・高齢化集落への支援	83
4	効果的・効率的な行政運営	74
5	公共施設の見直し	69

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	21
2	小規模集落・高齢化集落への支援	12
3	地域資源の掘り起こしと活用の推進 地域活動の情報発信	11
5	移住・定住への支援 行政情報の提供と公開	10

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	29
2	小規模集落・高齢化集落への支援	23
3	公共施設の見直し	15
4	効果的・効率的な行政運営	14
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	13

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	35
2	小規模集落・高齢化集落への支援	26
3	移住・定住への支援	20
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	18
5	効果的・効率的な行政運営	17

■協和地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	27
2	小規模集落・高齢化集落への支援	26
3	事務組織の見直しと職員資質の向上	16
4	公共施設の見直し	15
5	移住・定住への支援 効果的・効率的な行政運営	14

■南外地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	13
2	公共施設の見直し	10
3	小規模集落・高齢化集落への支援	8
4	効果的・効率的な行政運営	7
5	移住・定住への支援	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	25
2	移住・定住への支援	20
3	小規模集落・高齢化集落への支援	19
4	効果的・効率的な行政運営	15
5	公共施設の見直し	13

■太田地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	29
2	小規模集落・高齢化集落への支援	18
3	移住・定住への支援	17
4	効果的・効率的な行政運営	16
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	15

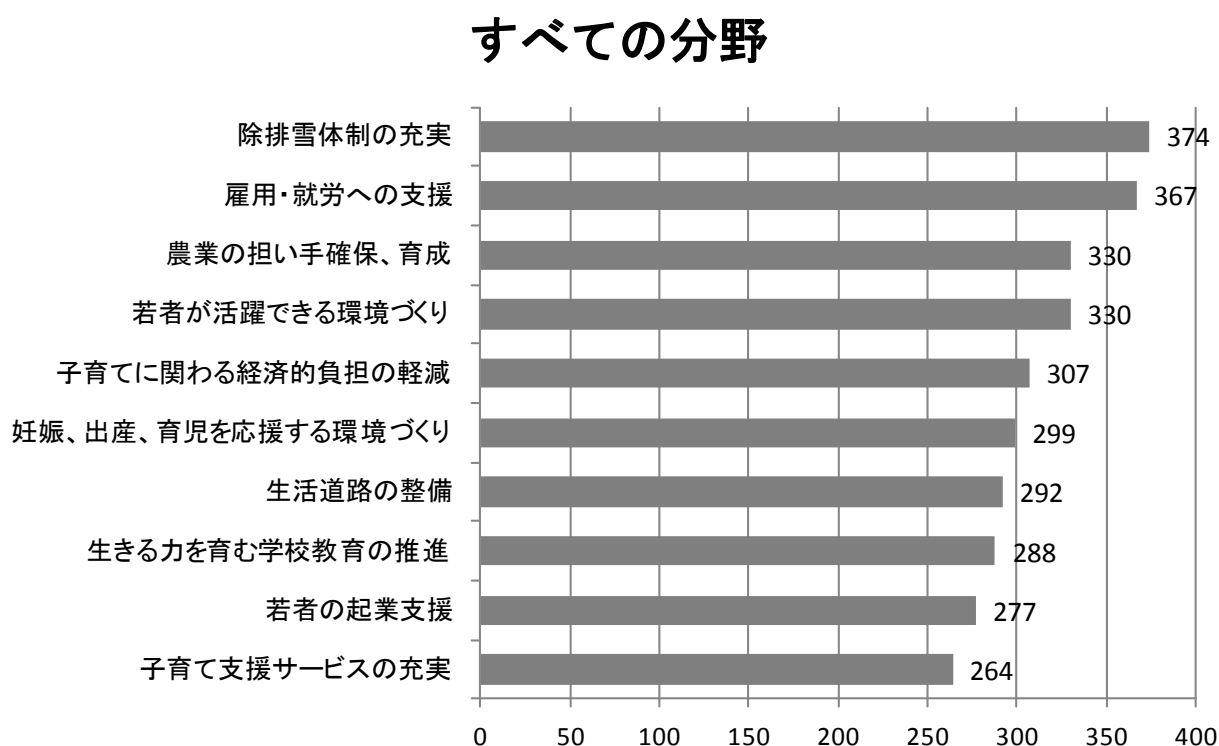
2.5.8 さらに推進すべき取り組みの総括

分野を分けずにすべての項目において比較すると、さらに推進すべき取り組みの上位となっているのは、「除排雪体制の充実」、「雇用・就労への支援」、「農業の担い手確保、育成」、「若者が活躍できる環境づくり」、「子育てに関わる経済的負担の軽減」の順となっている。

年代別では、20代と30代で子育てに関わる項目が高くなっており、40代から60代で他の年代よりも「雇用・就労への支援」が高くなっている。「除排雪体制の充実」は、どの年代でも最も高いか、二番目に高い。70代、80代では「若者の起業支援」が他の年代より高くなっている。

地域別では、仙北地域で「生きる力を育む学校教育の推進」が他の地域より高く、神岡、中仙、協和、太田地域で「農業の担い手確保、育成」が他の地域より高くなっている。

図表 40 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 41 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	4
	スポーツ環境の整備	4
	除排雪体制の充実	4
	国際交流の促進	4
5	若者の起業支援	3
	虐待防止対策の実施	3
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	3
	からだの健康づくりの推進	3
	こころの健康づくりの推進	3
	スポーツ活動への支援	3
	河川とその周辺環境の保全・整備	3
	交通安全、防犯体制の強化	3
	駅舎、駐車場の整備・維持管理	3
	若者が活躍できる環境づくり	3

■20代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	33
	子育てに関わる経済的負担の軽減	33
3	除排雪体制の充実	32
4	若者が活躍できる環境づくり	30
5	農業の担い手確保、育成	29
6	生活道路の整備	28
7	魅力ある観光地づくり	27
	雇用・就労への支援	27
10	消融雪施設の整備	27
	小規模集落・高齢化集落への支援	26

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	47
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	45
3	子育て支援サービスの充実	43
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	42
5	雇用・就労への支援	40
6	農業の担い手確保、育成	37
7	若者が活躍できる環境づくり	36
8	妊娠中から切れ目のない子育て支援	35
9	消融雪施設の整備	31
10	水害対策設備の整備	31

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	50
2	雇用・就労への支援	47
3	若者が活躍できる環境づくり	45
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	44
	生きる力を育む学校教育の推進	44
6	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	41
	水害対策設備の整備	41
8	農業の担い手確保、育成	38
9	企業誘致の強化	35
10	消融雪施設の整備	34
	生活道路の整備	34

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	91
2	除排雪体制の充実	83
3	若者が活躍できる環境づくり	74
4	企業誘致の強化	67
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	63
6	生活道路の整備	59
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	58
	地域医療体制の整備	58
9	若者の起業支援	57
10	農業の担い手確保、育成	56

■60代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	94
2	農業の担い手確保、育成	92
3	除排雪体制の充実	83
4	若者が活躍できる環境づくり	78
5	生きる力を育む学校教育の推進	76
6	生活道路の整備	75
7	企業誘致の強化	73
8	結婚を応援する環境づくり	70
9	子育てに関わる経済的負担の軽減	68
10	若者の起業支援	67

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	59
2	除排雪体制の充実	52
3	雇用・就労への支援	51
	若者の起業支援	51
5	結婚を応援する環境づくり	48
6	若者が活躍できる環境づくり	47
7	介護サービス基盤等の整備	46
	生きる力を育む学校教育の推進	46
9	交通安全、防犯体制の強化	45
10	生活道路の整備	44

■80代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	22
2	生活道路の整備	19
3	若者の起業支援	18
	結婚を応援する環境づくり	18
	交通安全、防犯体制の強化	18
	小規模集落・高齢化集落への支援	18
7	こころの健康づくりの推進	17
8	農業の担い手確保、育成	16
9	介護サービス基盤等の整備	15
	若者が活躍できる環境づくり	15

図表 42 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	174
2	雇用・就労への支援	158
3	若者が活躍できる環境づくり	150
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	139
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	137
6	農業の担い手確保、育成	135
7	消融雪施設の整備	125
8	生きる力を育む学校教育の推進	122
9	若者の起業支援	121
	子育て支援サービスの充実	121

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	26
2	農業の担い手確保、育成	24
	水害対策設備の整備	24
4	雇用・就労への支援	22
	生きる力を育む学校教育の推進	22
	若者の起業支援	21
6	企業誘致の強化	21
	若者が活躍できる環境づくり	21
9	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	20
	中小企業への支援	19
10	子育てに関わる経済的負担の軽減	19
	子育て支援サービスの充実	19
	生活道路の整備	19

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	37
2	除排雪体制の充実	31
	生活道路の整備	31
4	若者が活躍できる環境づくり	29
	農業の担い手確保、育成	28
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	28
	空き家の管理と利活用の推進	28
	生きる力を育む学校教育の推進	28
9	若者の起業支援	26
	企業誘致の強化	26

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	41
2	農業の担い手確保、育成	38
3	除排雪体制の充実	37
4	生活道路の整備	36
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	35
	若者が活躍できる環境づくり	35
	結婚を応援する環境づくり	29
7	地域医療体制の整備	29
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	29
	中小企業への支援	26
	子育て支援サービスの充実	26
10	介護サービス基盤等の整備	26
	交通安全、防犯体制の強化	26
	生きる力を育む学校教育の推進	26

■協和地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	41
2	農業の担い手確保、育成	37
	除排雪体制の充実	37
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	36
5	若者の起業支援	32
	生活道路の整備	32
6	子育て支援サービスの充実	28
	介護サービス基盤等の整備	28
8	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	27
	地域医療体制の整備	27
	若者が活躍できる環境づくり	27

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	13
	若者が活躍できる環境づくり	13
3	雇用・就労への支援	11
	子育てに関わる経済的負担の軽減	10
	結婚を応援する環境づくり	10
4	水害対策設備の整備	10
	空き家の管理と利活用の推進	10
	生きる力を育む学校教育の推進	10
	公共施設の見直し	10
10	農業の担い手確保、育成	9
	企業誘致の強化	9
	子育て支援サービスの充実	9
	介護サービス基盤等の整備	9
	地域医療体制の整備	9
	こころの健康づくりの推進	9
	交通安全、防犯体制の強化	9
	生活道路の整備	9
	ふるさと教育の推進	9

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	30
2	除排雪体制の充実	29
3	農業の担い手確保、育成	28
4	雇用・就労への支援	26
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	25
	若者が活躍できる環境づくり	25
7	生活道路の整備	23
8	介護サービス基盤等の整備	21
	若者の起業支援	20
9	地域医療体制の整備	20
	移住・定住への支援	20

■太田地域

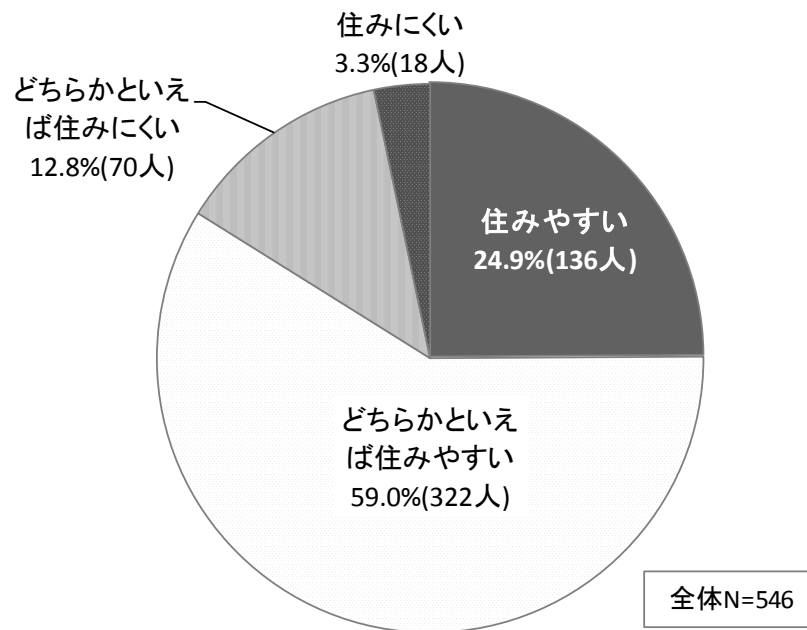
順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	31
2	雇用・就労への支援	30
3	若者が活躍できる環境づくり	29
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	27
	空き家の管理と利活用の推進	27
6	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	26
	除排雪体制の充実	26
8	若者の起業支援	25
9	生活道路の整備	24
	生きる力を育む学校教育の推進	24

2.6 大仙市の住みやすさについて

2.6.1 「大仙市は住みやすいか」について

「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の割合を合わせると、8割以上を占めている。

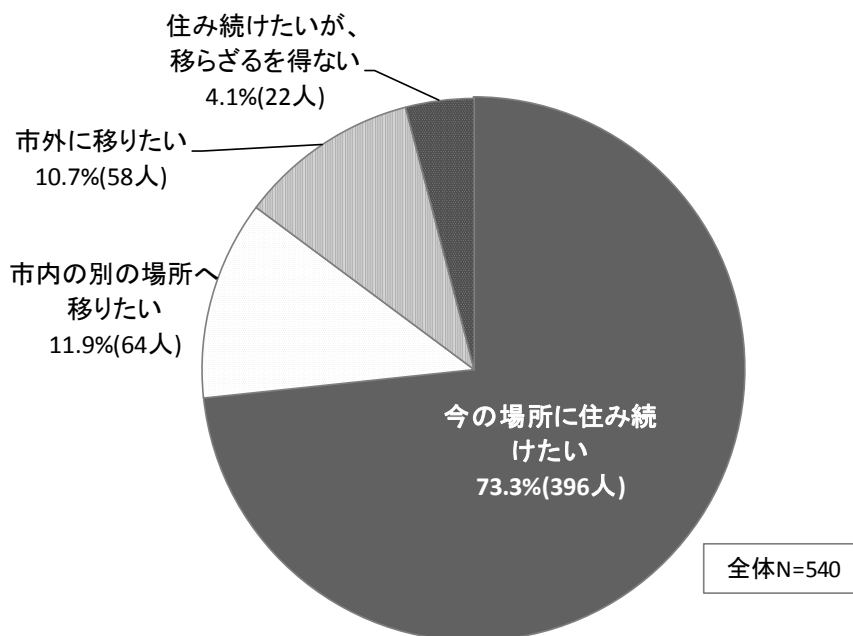
図表 43 大仙市は住みやすいか



2.6.2 「大仙市に住み続けたいか」について

「今の場所に住み続けたい」と回答した人の割合が7割以上を占めている。

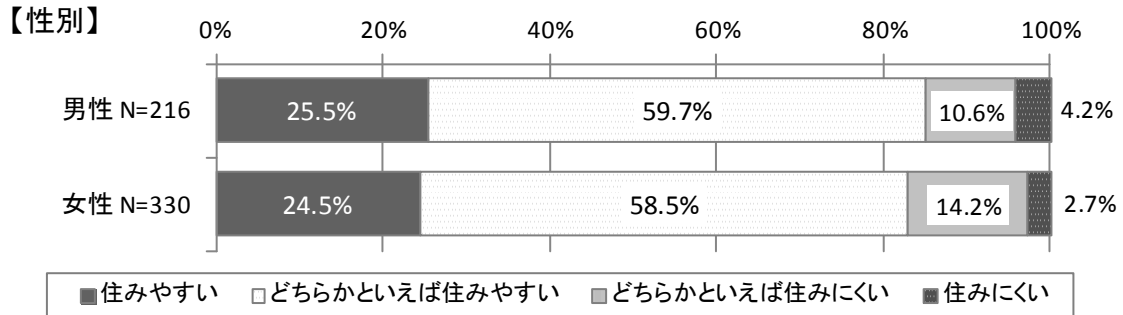
図表 44 大仙市に住み続けたいか



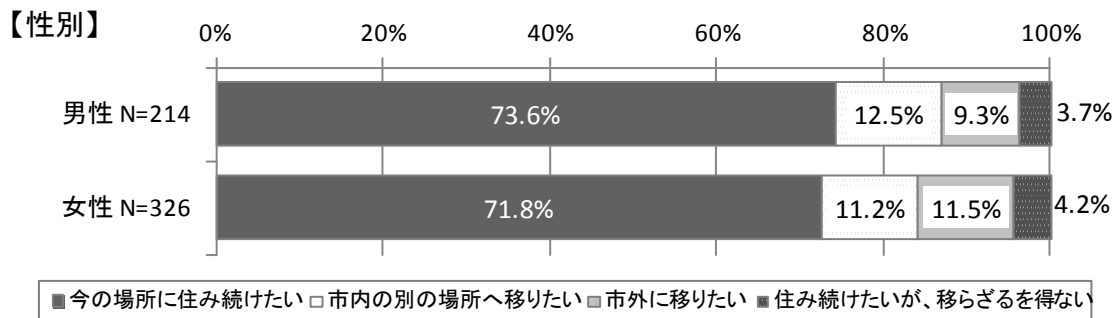
2.6.3 大仙市の住みやすさについての属性別比較

図表 45 性別による「大仙市は住みやすいか」・「大仙市に住み続けたいか」

■大仙市は住みやすいか

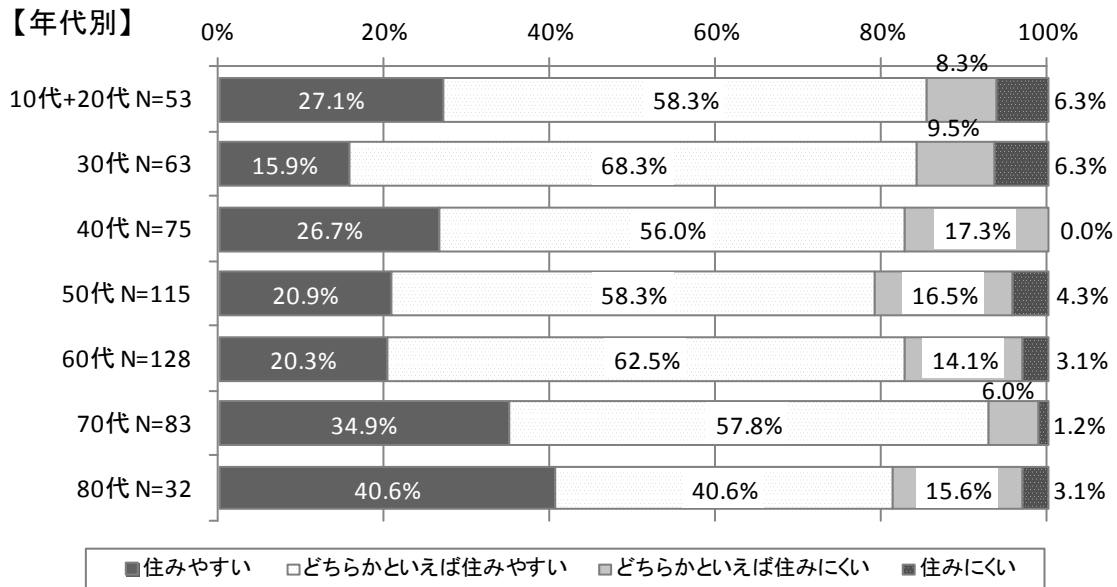


■大仙市に住み続けたいか

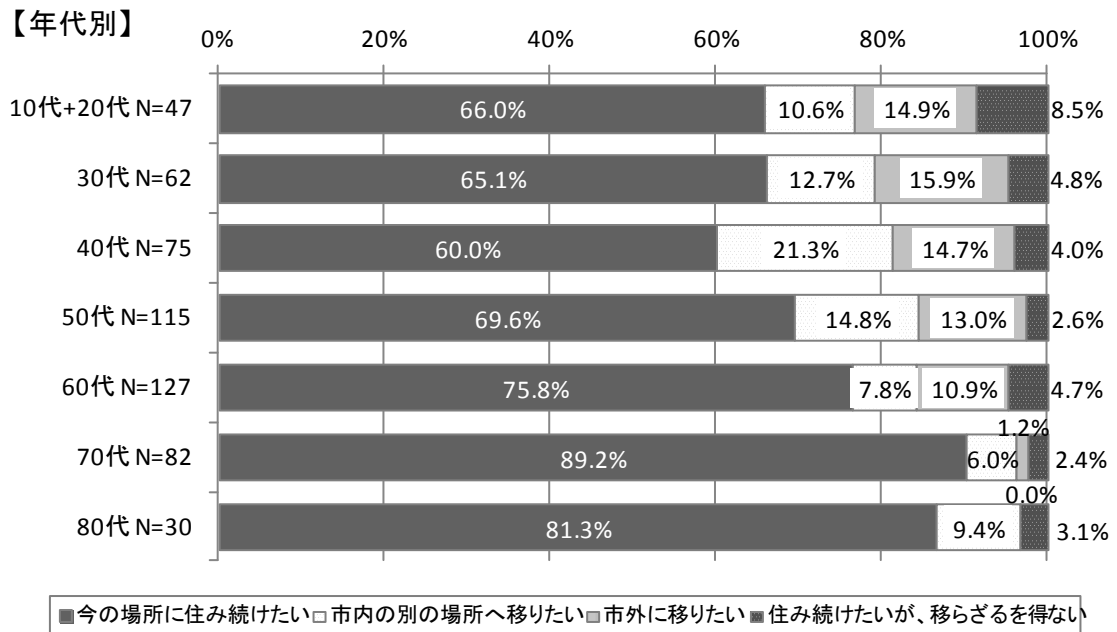


図表 46 年代別による「大仙市は住みやすいか」・「大仙市に住み続けたいか」

■大仙市は住みやすいか

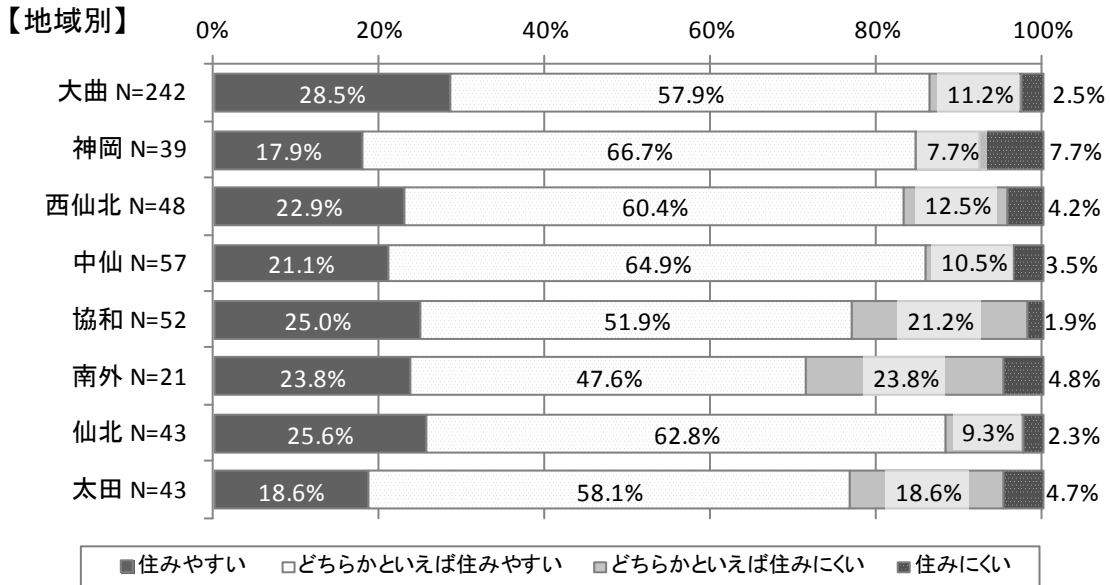


■大仙市に住み続けたいか

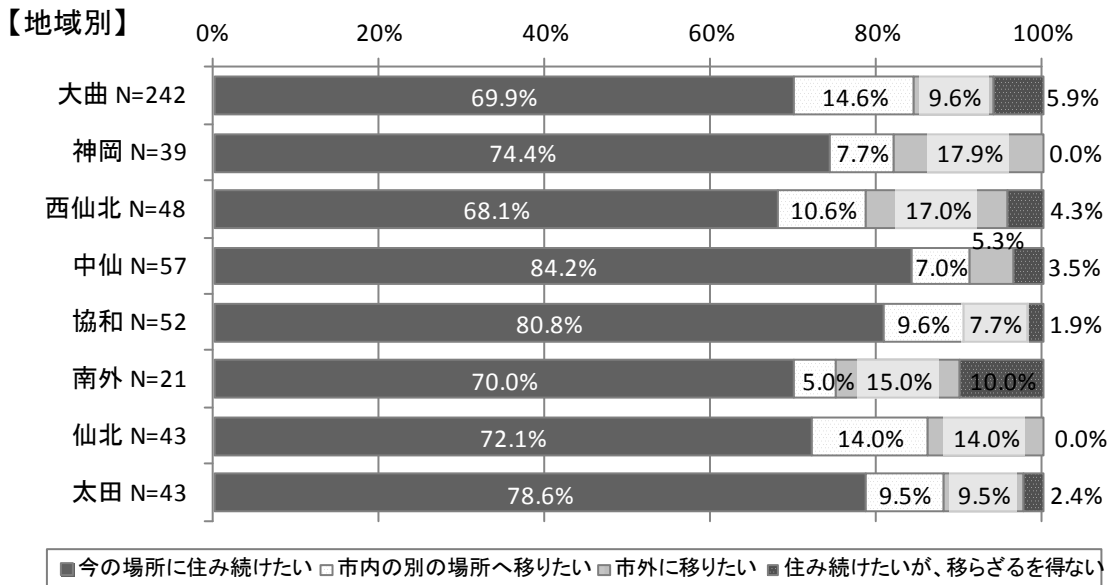


図表 47 地域別による「大仙市は住みやすいか」・「大仙市に住み続けたいか」

■大仙市は住みやすいか



■大仙市に住み続けたいか



2.7 経年比較

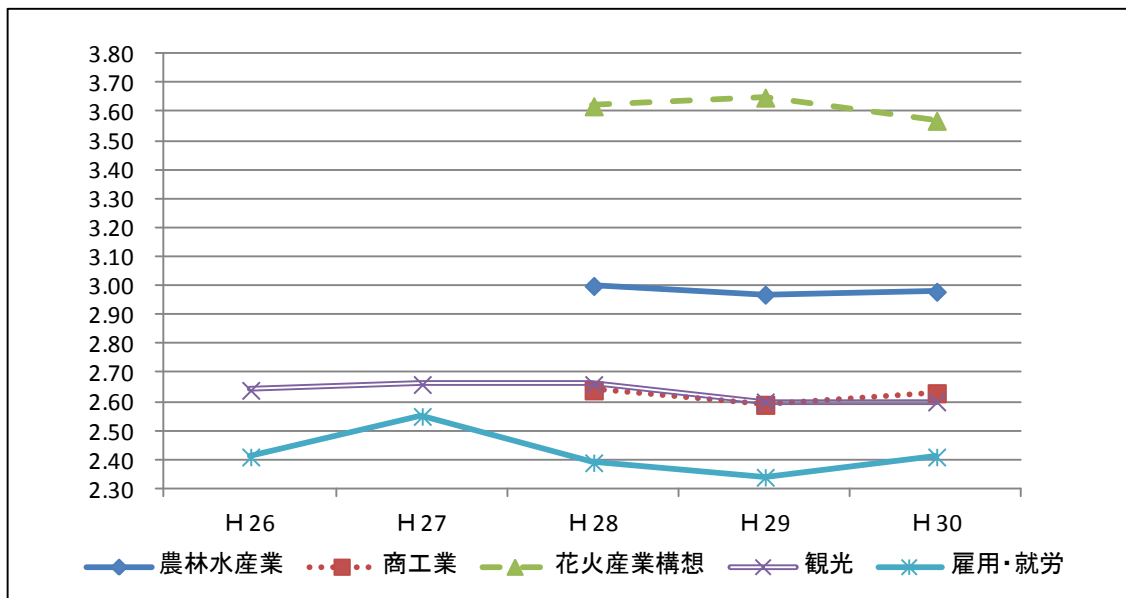
平成26年度から30年度までの過去5年間における満足度、重要度及び要望度についての推移と、平成28年度から調査を行っている本市の住みやすさについての3年間の推移をまとめた。

なお、満足度、重要度については、平成27年までは大仙市総合計画基本計画、平成28年からは第2次大仙市総合計画基本構想に基づいた設問項目での調査となっているため、経年比較できない項目については「—」で示してある。

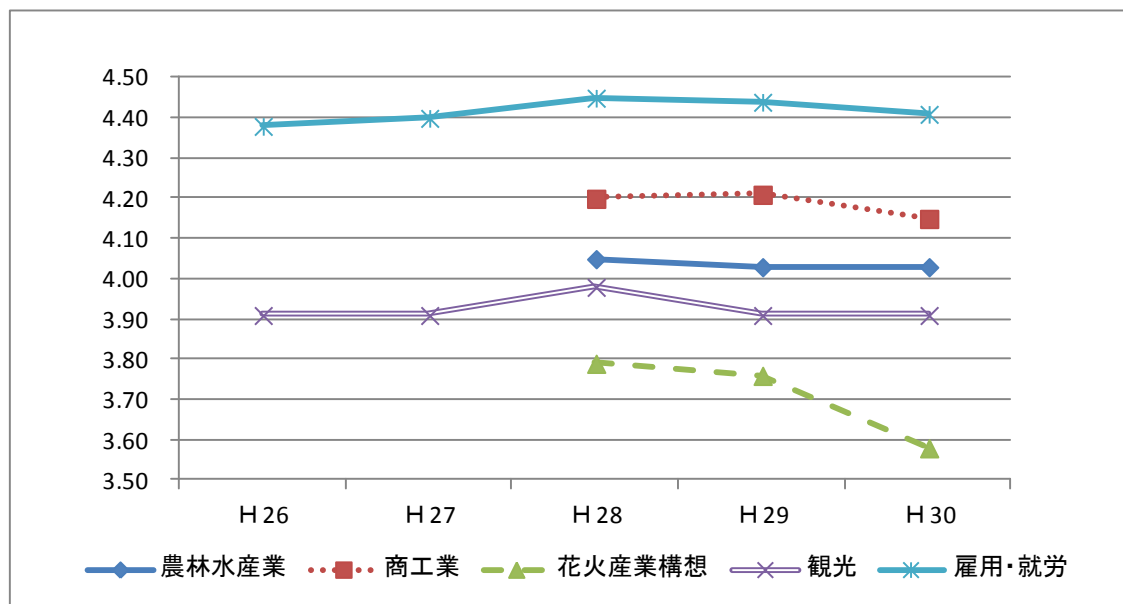
I 魅力ある産業のまちを創ります！～産業振興・雇用など～

全体的に満足度は横ばい傾向で推移している。重要度及び要望度は、「花火産業構想」で大幅な減少傾向、他はわずかな減少傾向で推移している。

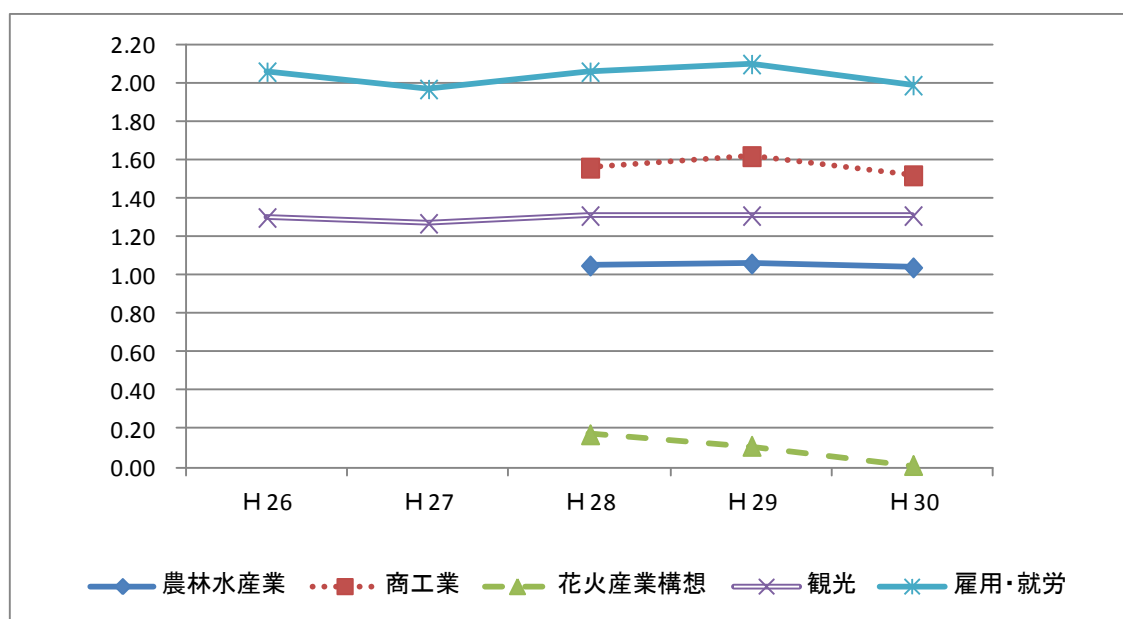
満足度	H26	H27	H28	H29	H30
農林水産業	—	—	3.00	2.97	2.98
商工業	—	—	2.64	2.59	2.63
花火産業構想	—	—	3.62	3.65	3.57
観光	2.64	2.66	2.66	2.60	2.60
雇用・就労	2.41	2.55	2.39	2.34	2.41



重要度	H26	H27	H28	H29	H30
農林水産業	—	—	4.05	4.03	4.03
商工業	—	—	4.20	4.21	4.15
花火産業構想	—	—	3.79	3.76	3.58
観光	3.91	3.91	3.98	3.91	3.91
雇用・就労	4.38	4.40	4.45	4.44	4.41



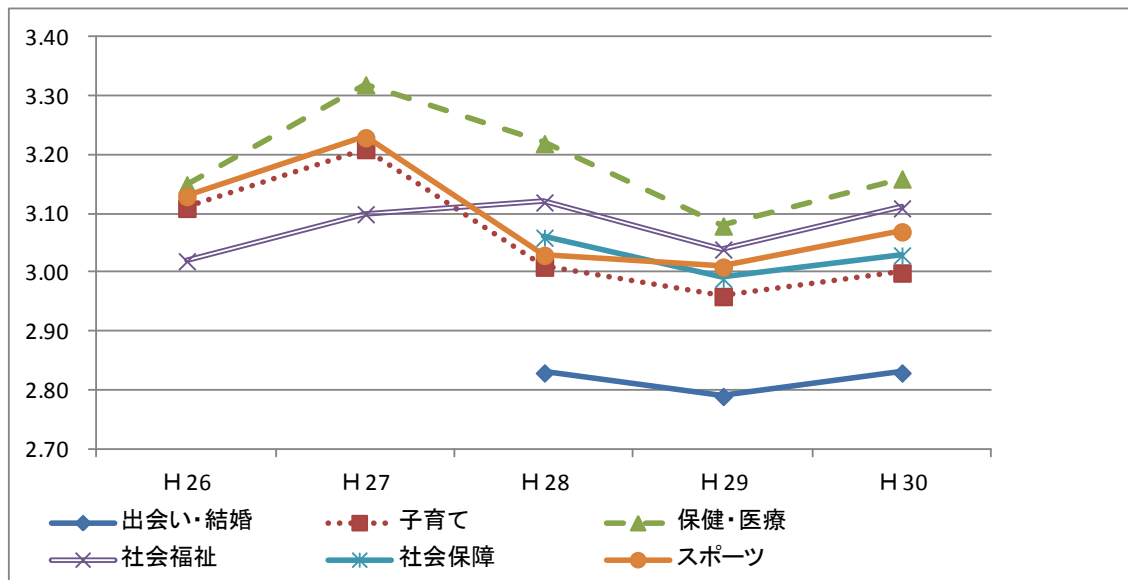
要望度	H26	H27	H28	H29	H30
農林水産業	—	—	1.05	1.06	1.04
商工業	—	—	1.56	1.62	1.52
花火産業構想	—	—	0.17	0.11	0.01
観光	1.30	1.27	1.31	1.31	1.31
雇用・就労	2.06	1.97	2.06	2.10	1.99



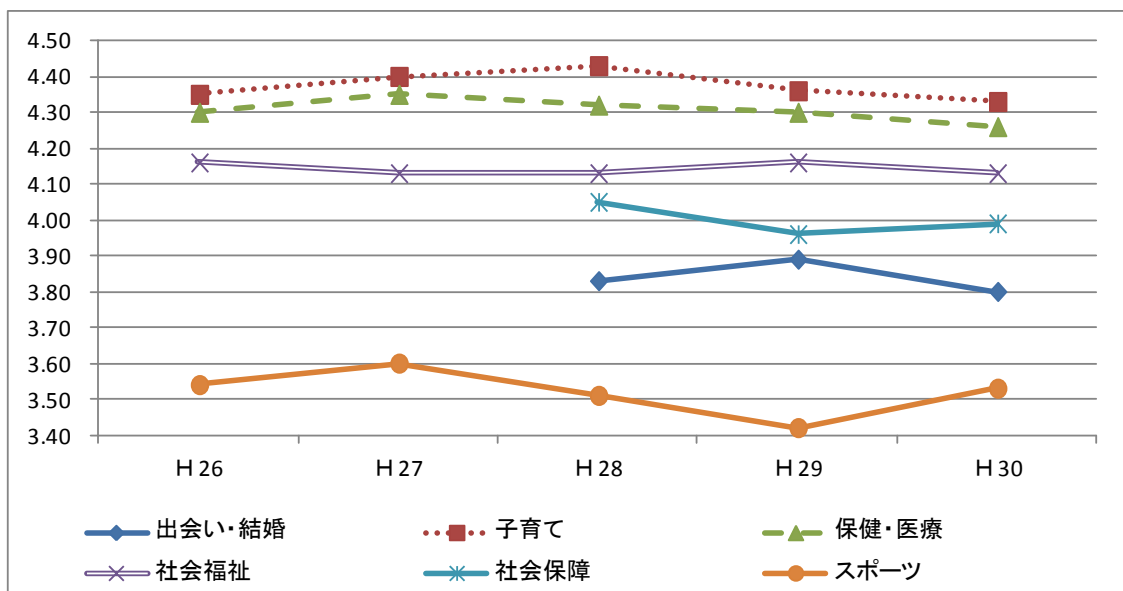
Ⅱ みんなの元気を応援します！～出会い・結婚・子育て、健康・福祉など～

昨年度までは、満足度が大幅な減少傾向で推移していたが、今年度は全項目において若干ながら上昇している。重要度及び要望度については、「スポーツ」が他の項目に比べて低く推移している。

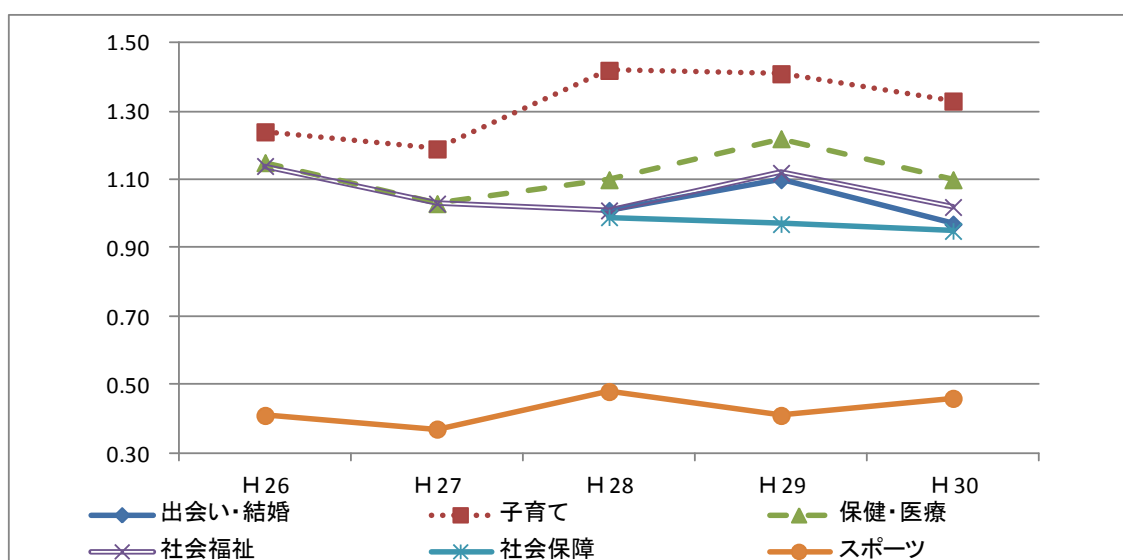
満足度	H26	H27	H28	H29	H30
出会い・結婚	—	—	2.83	2.79	2.83
子育て	3.11	3.21	3.01	2.96	3.00
保健・医療	3.15	3.32	3.22	3.08	3.16
社会福祉	3.02	3.10	3.12	3.04	3.11
社会保障	—	—	3.06	2.99	3.03
スポーツ	3.13	3.23	3.03	3.01	3.07



重要度	H26	H27	H28	H29	H30
出会い・結婚	—	—	3.83	3.89	3.80
子育て	4.35	4.40	4.43	4.36	4.33
保健・医療	4.30	4.35	4.32	4.30	4.26
社会福祉	4.16	4.13	4.13	4.16	4.13
社会保障	—	—	4.05	3.96	3.99
スポーツ	3.54	3.60	3.51	3.42	3.53



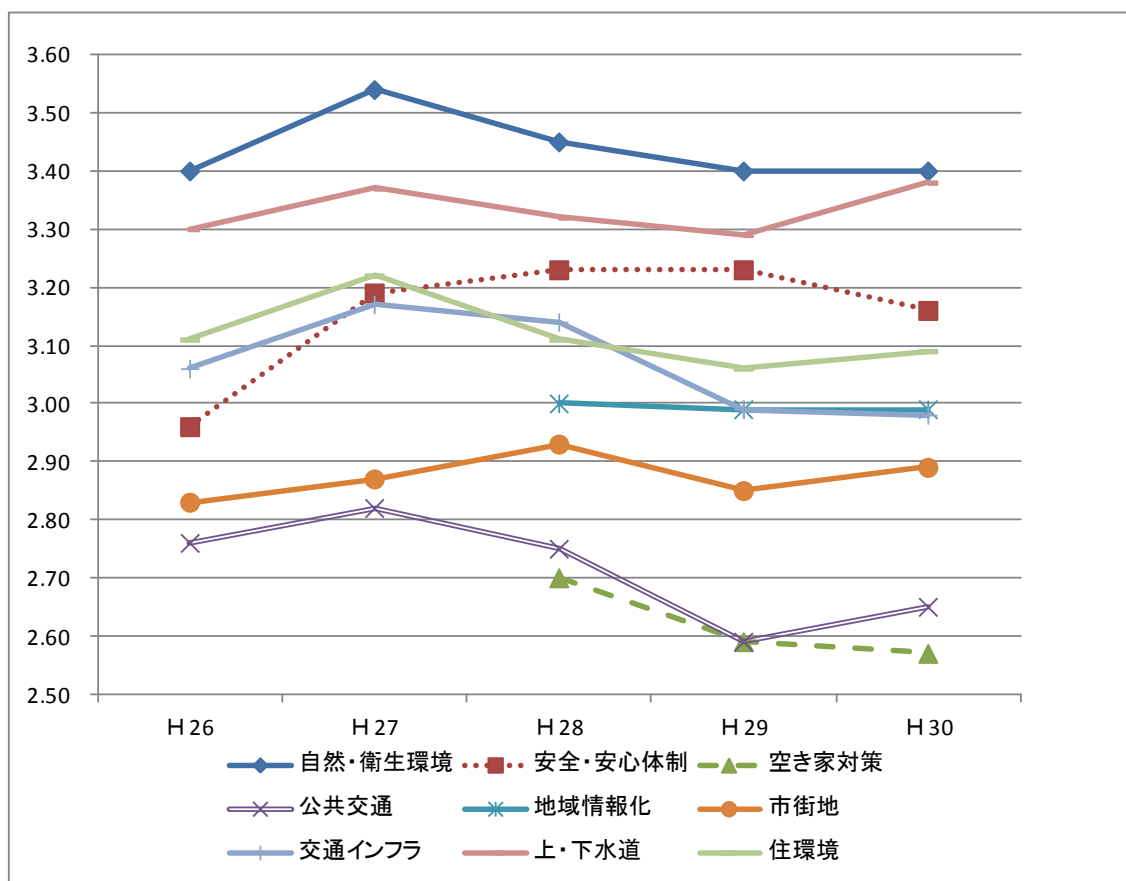
要望度	H26	H27	H28	H29	H30
出会い・結婚	—	—	1.01	1.10	0.97
子育て	1.24	1.19	1.42	1.41	1.33
保健・医療	1.15	1.03	1.10	1.22	1.10
社会福祉	1.14	1.03	1.01	1.12	1.02
社会保障	—	—	0.99	0.97	0.95
スポーツ	0.41	0.37	0.48	0.41	0.46



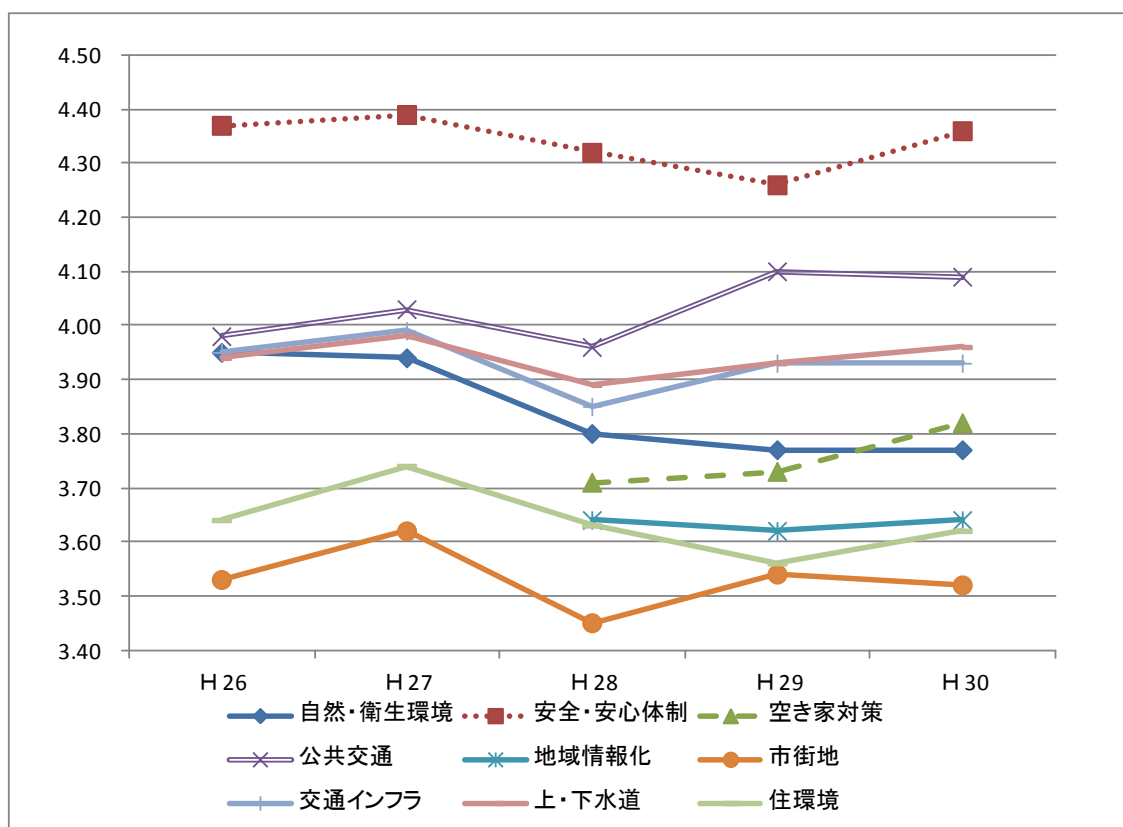
Ⅲ 住みよいまちを築きます！～安全・安心、都市整備など～

すべての項目において満足度は減少傾向で推移しているが、重要度は昨年度から上昇している項目が多く、これに伴い、要望度も上昇している項目が多い。

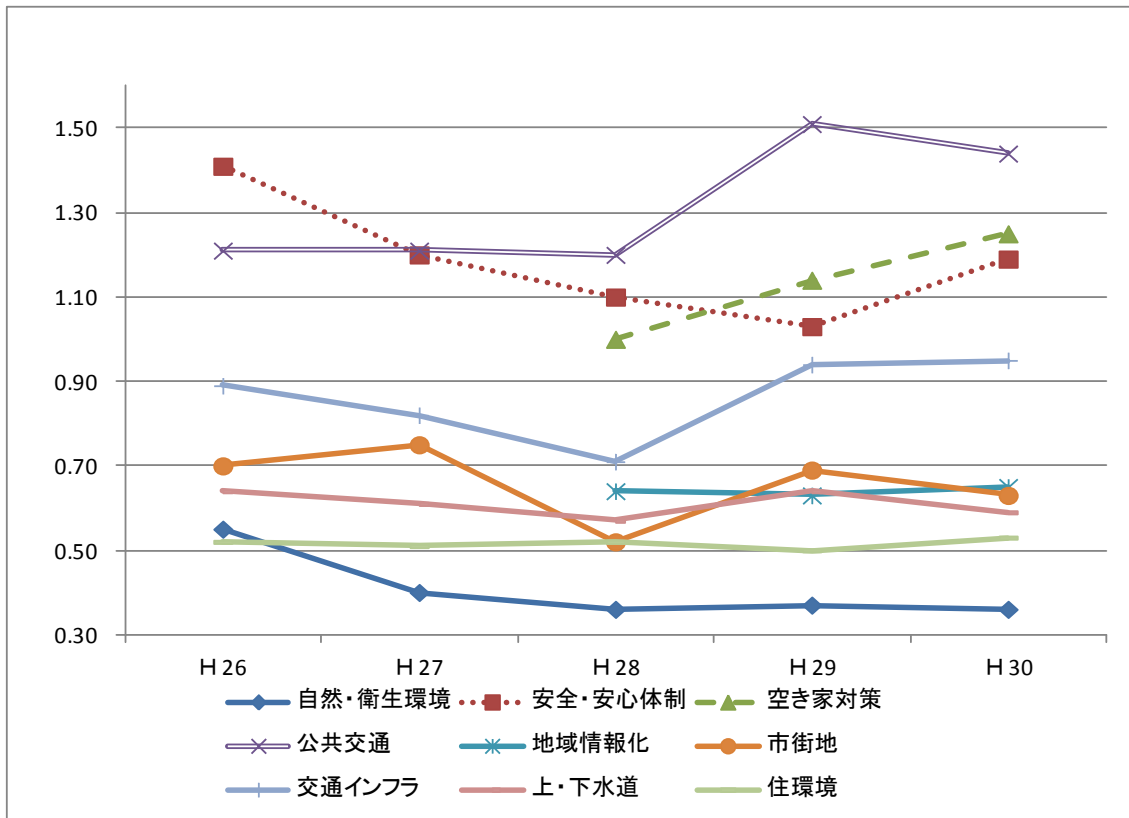
満足度	H26	H27	H28	H29	H30
自然・衛生環境	3.40	3.54	3.45	3.40	3.40
安全・安心体制	2.96	3.19	3.23	3.23	3.16
空き家対策	—	—	2.70	2.59	2.57
公共交通	2.76	2.82	2.75	2.59	2.65
地域情報化	—	—	3.00	2.99	2.99
市街地	2.83	2.87	2.93	2.85	2.89
交通インフラ	3.06	3.17	3.14	2.99	2.98
上・下水道	3.30	3.37	3.32	3.29	3.38
住環境	3.11	3.22	3.11	3.06	3.09



重要度	H26	H27	H28	H29	H30
自然・衛生環境	3.95	3.94	3.80	3.77	3.77
安全・安心体制	4.37	4.39	4.32	4.26	4.36
空き家対策	—	—	3.71	3.73	3.82
公共交通	3.98	4.03	3.96	4.10	4.09
地域情報化	—	—	3.64	3.62	3.64
市街地	3.53	3.62	3.45	3.54	3.52
交通インフラ	3.95	3.99	3.85	3.93	3.93
上・下水道	3.94	3.98	3.89	3.93	3.96
住環境	3.64	3.74	3.63	3.56	3.62



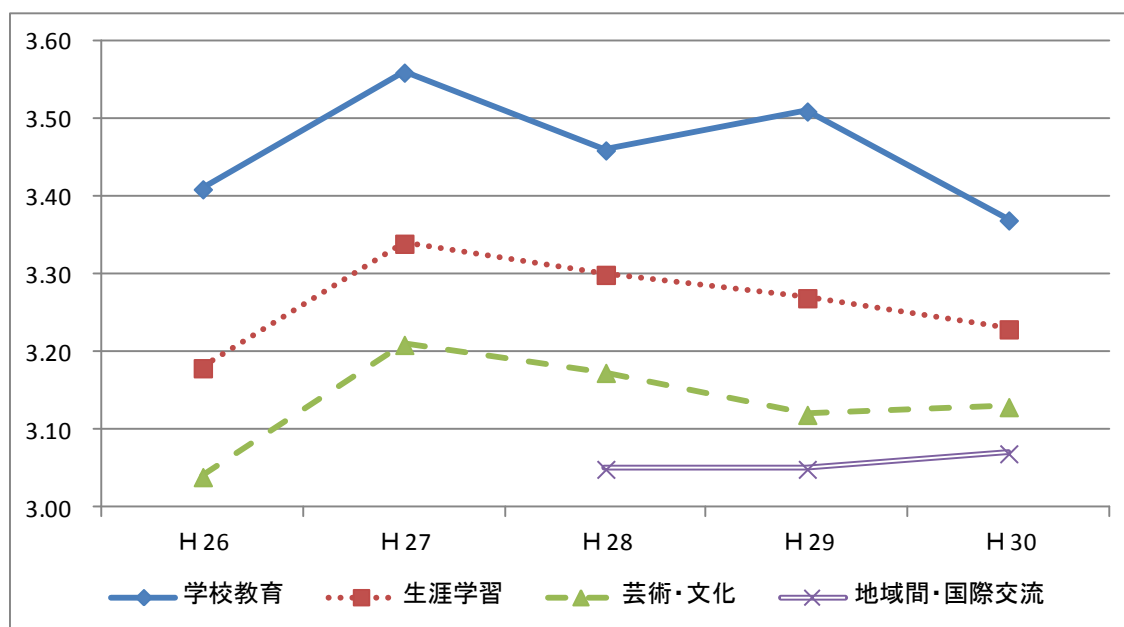
要望度	H26	H27	H28	H29	H30
自然・衛生環境	0.55	0.40	0.36	0.37	0.36
安全・安心体制	1.41	1.20	1.10	1.03	1.19
空き家対策	—	—	1.00	1.14	1.25
公共交通	1.21	1.21	1.20	1.51	1.44
地域情報化	—	—	0.64	0.63	0.65
市街地	0.70	0.75	0.52	0.69	0.63
交通インフラ	0.89	0.82	0.71	0.94	0.95
上・下水道	0.64	0.61	0.57	0.64	0.59
住環境	0.52	0.51	0.52	0.50	0.53



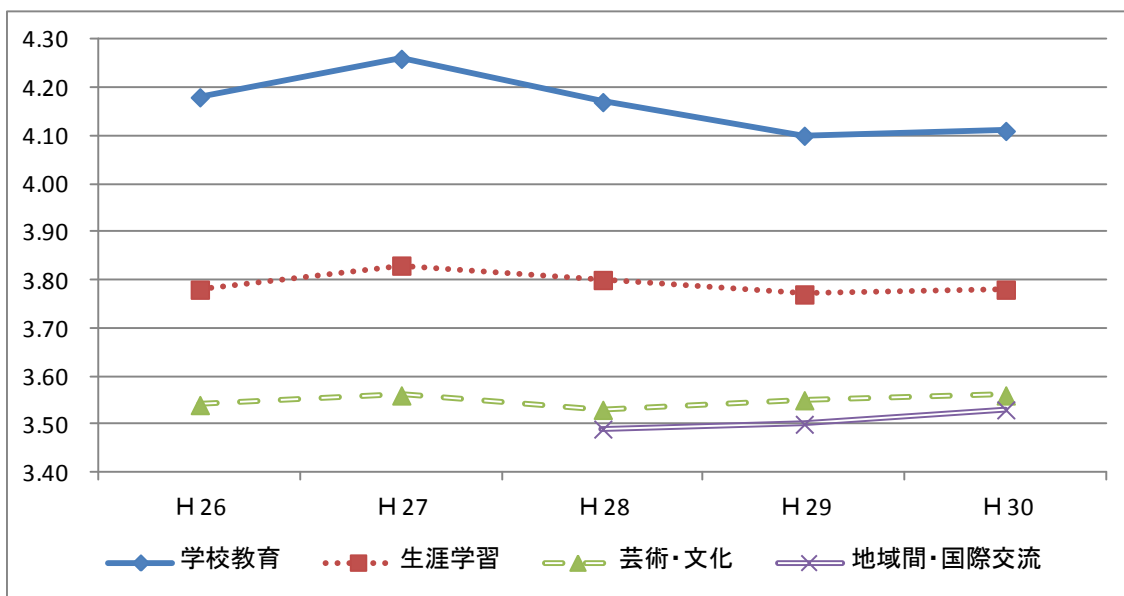
Ⅳ 豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～

全体的に満足度は小幅な減少傾向であるが、重要度は横ばい傾向で推移している。「学校教育」の要望度は、満足度の減少に伴い大幅に増加している。

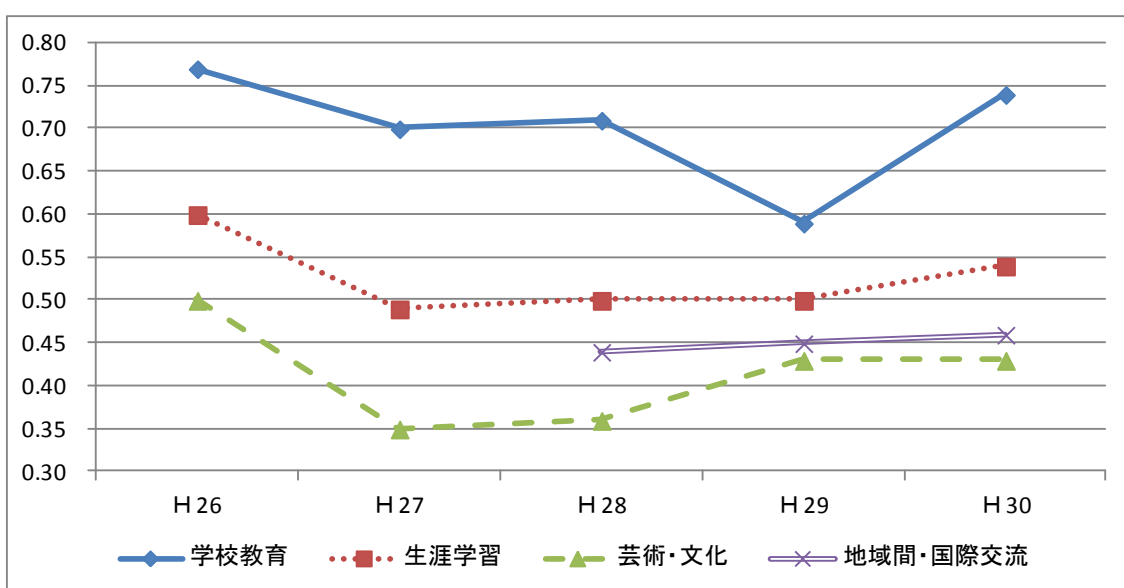
満足度	H26	H27	H28	H29	H30
学校教育	3.41	3.56	3.46	3.51	3.37
生涯学習	3.18	3.34	3.30	3.27	3.23
芸術・文化	3.04	3.21	3.17	3.12	3.13
地域間・国際交流	—	—	3.05	3.05	3.07



重要度	H26	H27	H28	H29	H30
学校教育	4.18	4.26	4.17	4.10	4.11
生涯学習	3.78	3.83	3.80	3.77	3.78
芸術・文化	3.54	3.56	3.53	3.55	3.56
地域間・国際交流	—	—	3.49	3.50	3.53



要望度	H26	H27	H28	H29	H30
学校教育	0.77	0.70	0.71	0.59	0.74
生涯学習	0.60	0.49	0.50	0.50	0.54
芸術・文化	0.50	0.35	0.36	0.43	0.43
地域間・国際交流	—	—	0.44	0.45	0.46

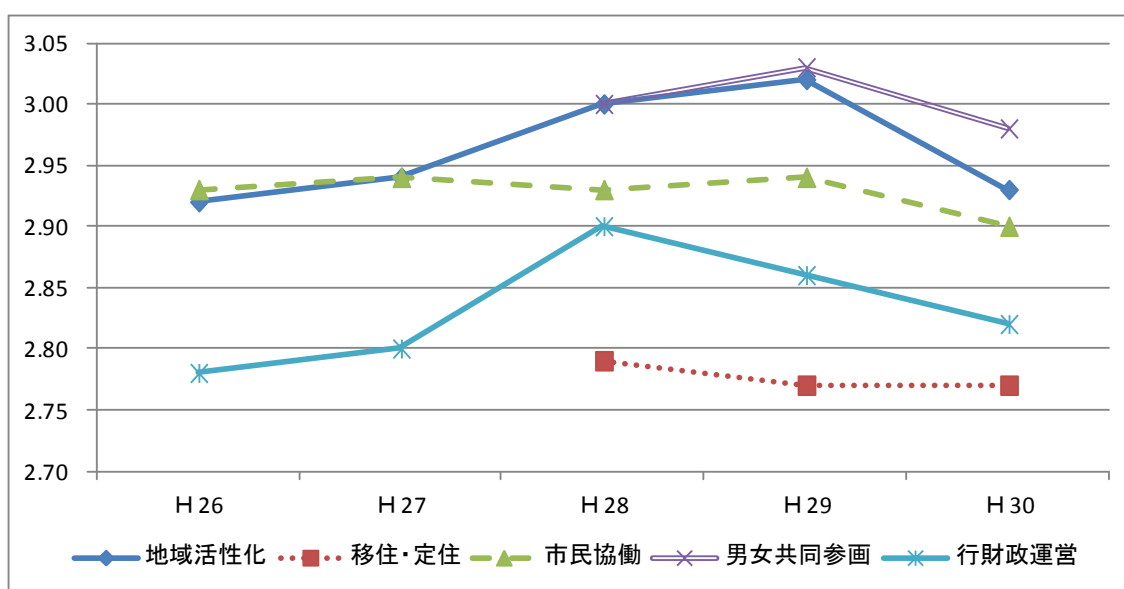


V 時代に合った地域を創ります！

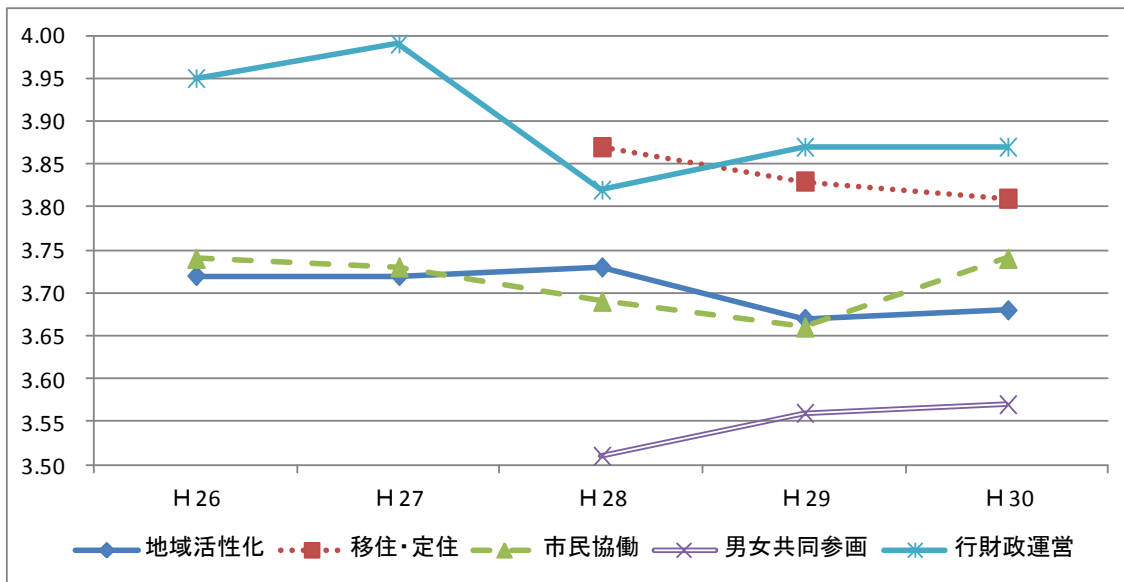
～地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など～

満足度は全体的に下降傾向で推移している。「市民協働」、「男女共同参画」の重要度は上昇傾向となっている。要望度は全体的に上昇傾向となっている。

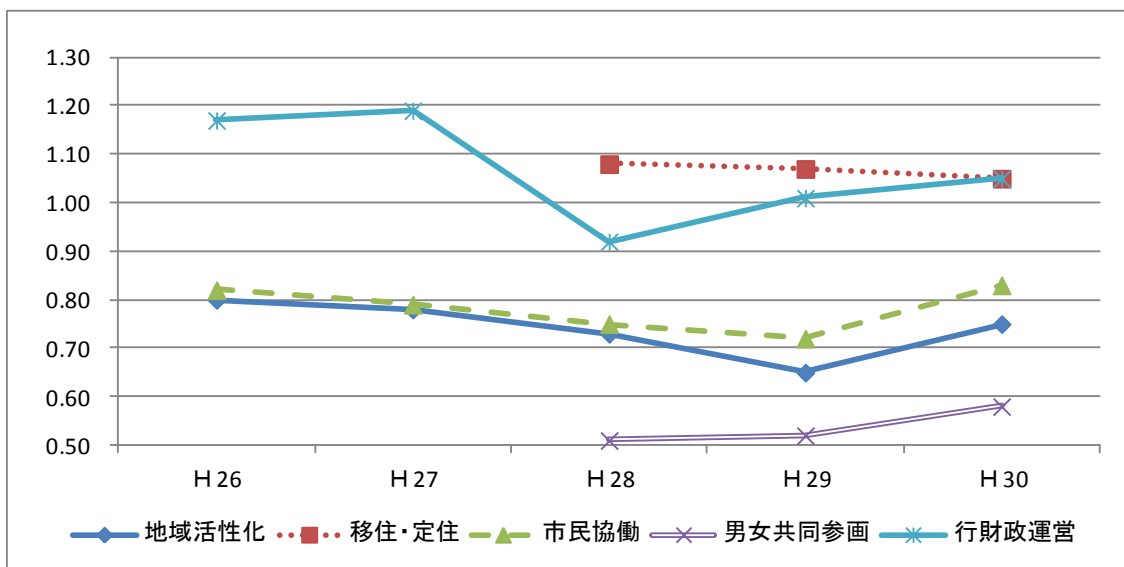
満足度	H26	H27	H28	H29	H30
地域活性化	2.92	2.94	3.00	3.02	2.93
移住・定住	—	—	2.79	2.77	2.77
市民協働	2.93	2.94	2.93	2.94	2.90
男女共同参画	—	—	3.00	3.03	2.98
行財政運営	2.78	2.80	2.90	2.86	2.82



重要度	H26	H27	H28	H29	H30
地域活性化	3.72	3.72	3.73	3.67	3.68
移住・定住	—	—	3.87	3.83	3.81
市民協働	3.74	3.73	3.69	3.66	3.74
男女共同参画	—	—	3.51	3.56	3.57
行財政運営	3.95	3.99	3.82	3.87	3.87



要望度	H26	H27	H28	H29	H30
地域活性化	0.80	0.78	0.73	0.65	0.75
移住・定住	—	—	1.08	1.07	1.05
市民協働	0.82	0.79	0.75	0.72	0.83
男女共同参画	—	—	0.51	0.52	0.58
行財政運営	1.17	1.19	0.92	1.01	1.05



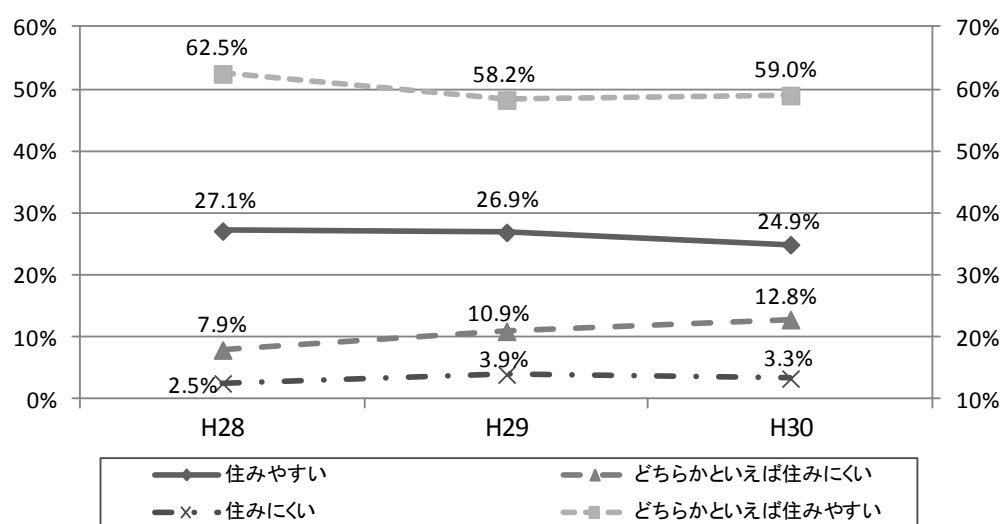
大仙市の住みやすさについて

「大仙市に住みやすいか」について

「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」は下降傾向で推移、「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」は上昇傾向で推移している。

大仙市は住みやすいか	H28	H29	H30
住みやすい	27.1%	26.9%	24.9%
どちらかといえば住みやすい	62.5%	58.2%	59.0%
どちらかといえば住みにくい	7.9%	10.9%	12.8%
住みにくい	2.5%	3.9%	3.3%

※経年比較のため、H28,H29 調査における割合は無回答を省いた数で求め直した

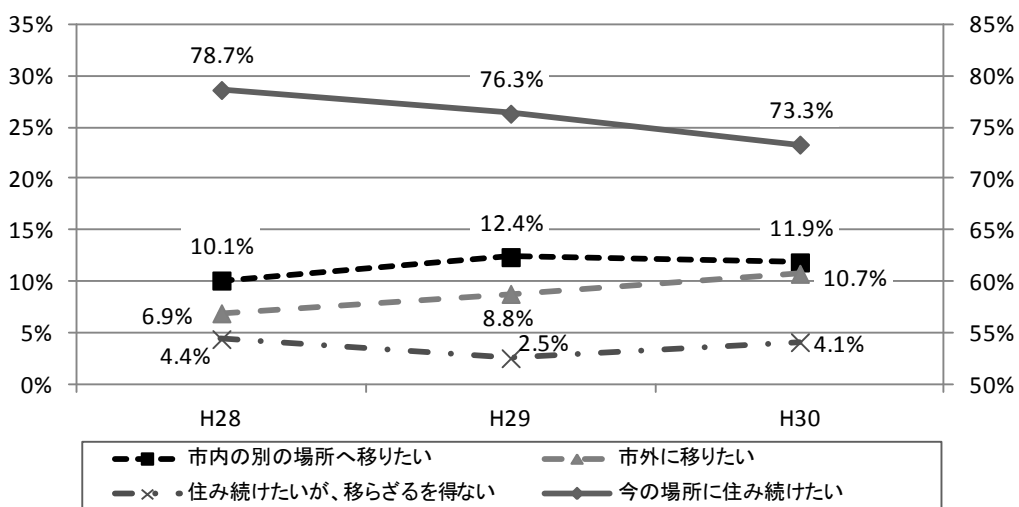


「大仙市に住み続けたいか」について

「今の場所に住み続けたい」は下降傾向、「市外に移りたい」は上昇傾向で推移している。

大仙市に住み続けたいか	H28	H29	H30
今の場所に住み続けたい	78.7%	76.3%	73.3%
市内の別の場所へ移りたい	10.1%	12.4%	11.9%
市外に移りたい	6.9%	8.8%	10.7%
住み続けたいが、移らざるを得ない	4.4%	2.5%	4.1%

※経年比較のため、H28,H29 調査における割合は無回答を省いた数で求め直した



3 市民による個別事業評価

3 市民による個別事業評価

3.1 市民全体を調査対象とした個別事業評価

調査対象を市民全体（年代・性別を問わない）とした個別事業評価については、「2 市民による市政評価」の調査票に合冊し、併せて実施した。

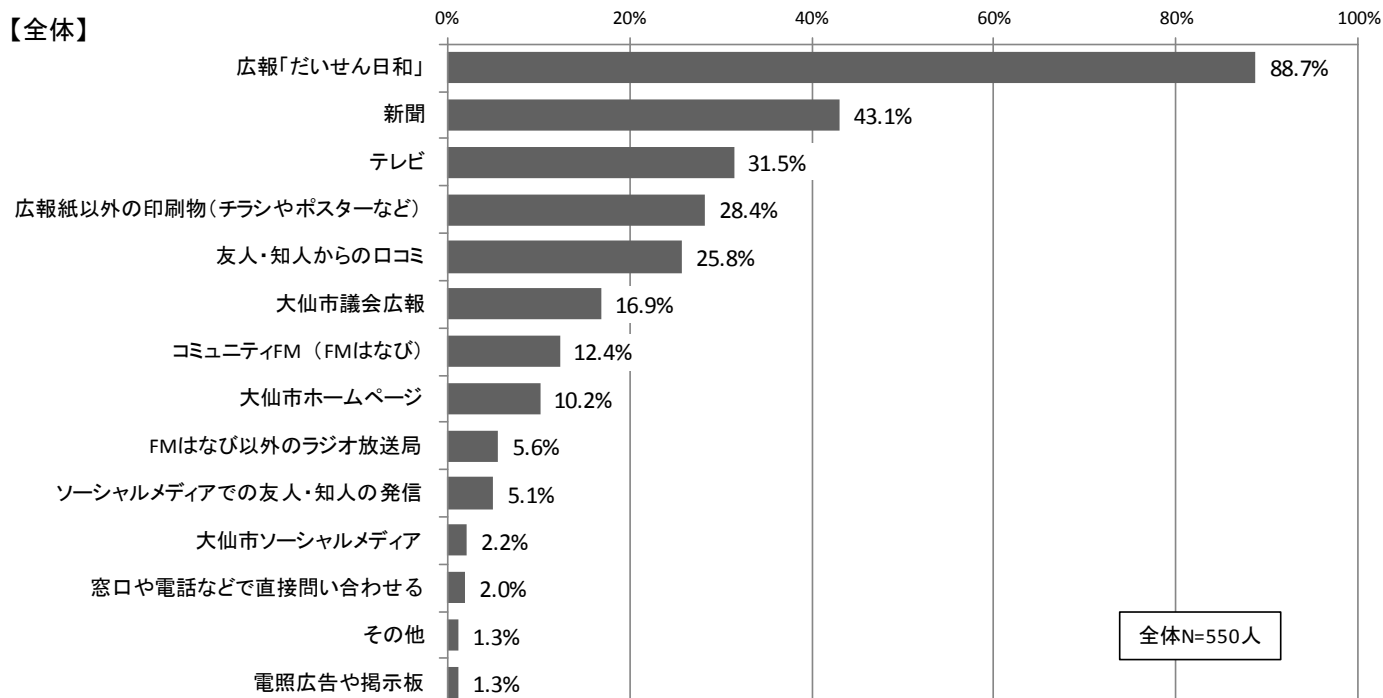
従って、調査対象、回答率、回答者の属性については、市民による市政評価の結果と同じ（p 8・9を参照）になっている。

3.1.1 市の広報活動について

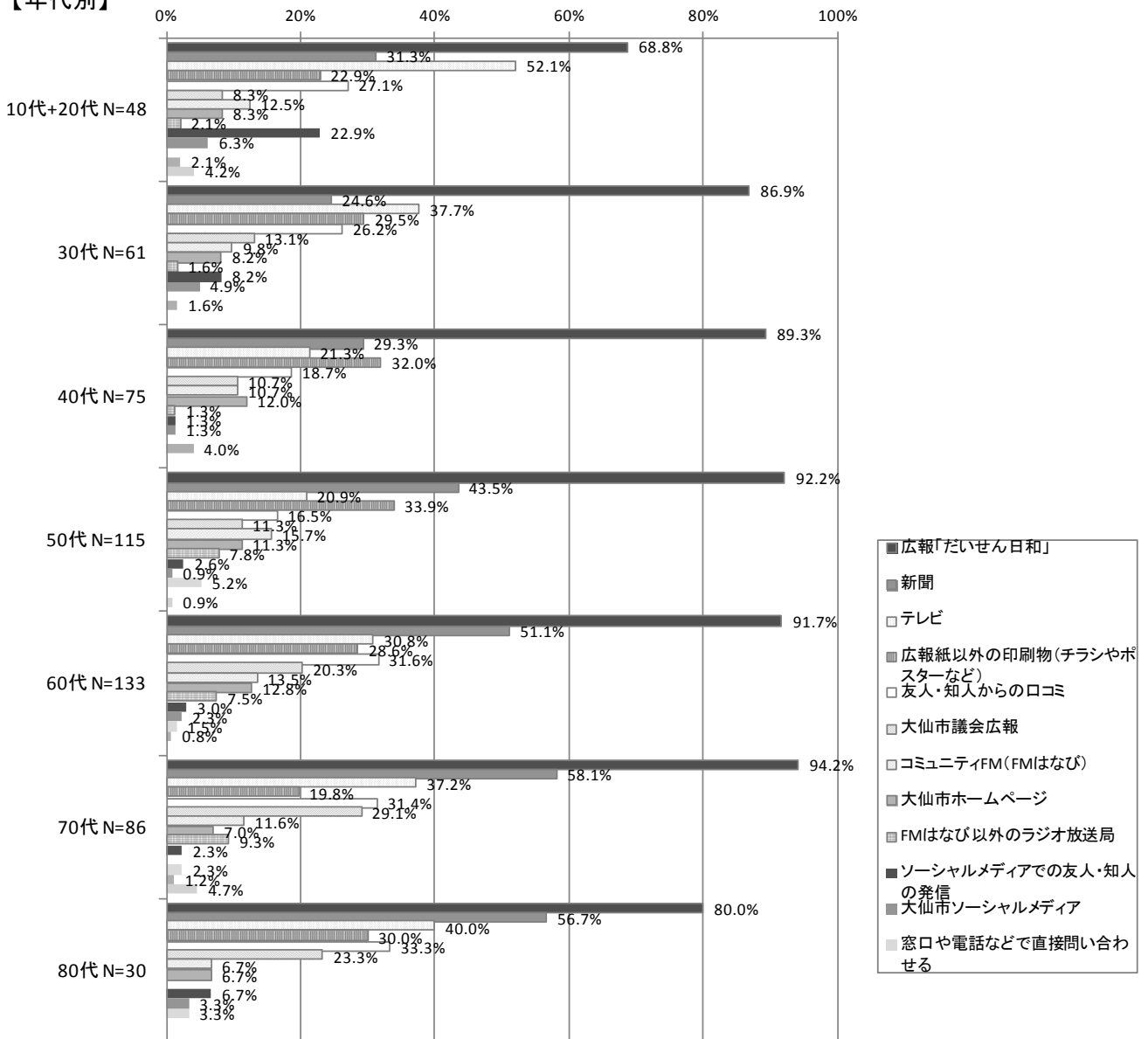
（企画部広報広聴課）

- ◆ 調査目的：市の施策・事業等に関する各種情報（月2回の広報紙発行、ホームページ、SNS、コミュニティFMでの発信）について、より効果的で効率的な広報活動を行うため、現在市の情報発信の主な手段となっている広報に関することや、市民のみなさんの普段の情報収集方法等について調査する。

【問1】市政や市のイベントに関する情報を何から得ていますか。（複数回答可）



【年代別】



■ その他意見

- ・ SNS (20代/女性)
- ・ 学校から配布されたりする (40代/女性)
- ・ 保育園 (30代/女性)
- ・ 特に情報を必要としない (40代/男性)
- ・ 職場 (40代/女性)

○最も多くの方が市の情報を得る手段として利用しているのは「広報『だいせん日和』」で88.7%、次いで「新聞」で43.1%となっている。

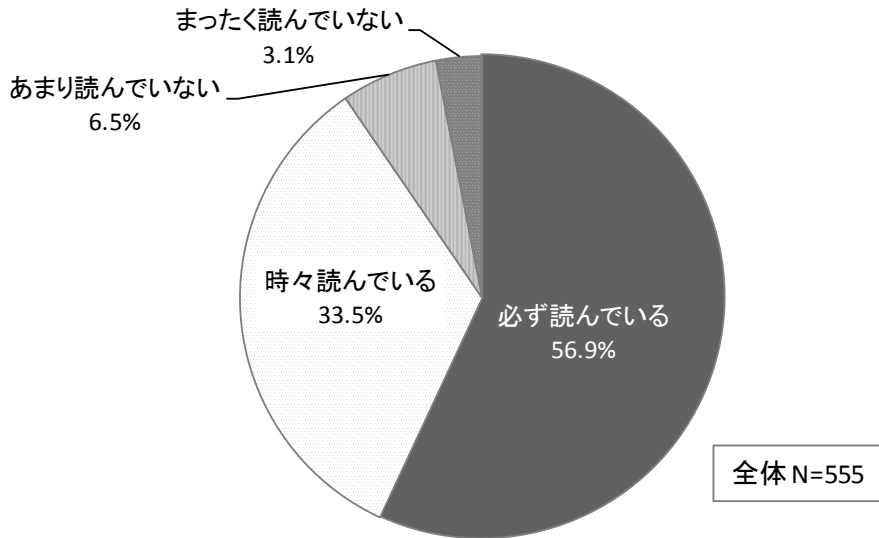
○主に市が情報発信に利用している媒体順では、広報「だいせん日和」88.7%に次いで、「(チラシポスターなどの)印刷物」28.4%、「コミュニティFM(FMはなび)」で12.4%、「大仙市ホームページ」で10.2%、「大仙市ソーシャルメディア」で2.2%となっている。

○年代別に見てみると、全年代で「広報『だいせん日和』」が最も高く、30代から80代で80%以上の方が「市の広報」と回答している。

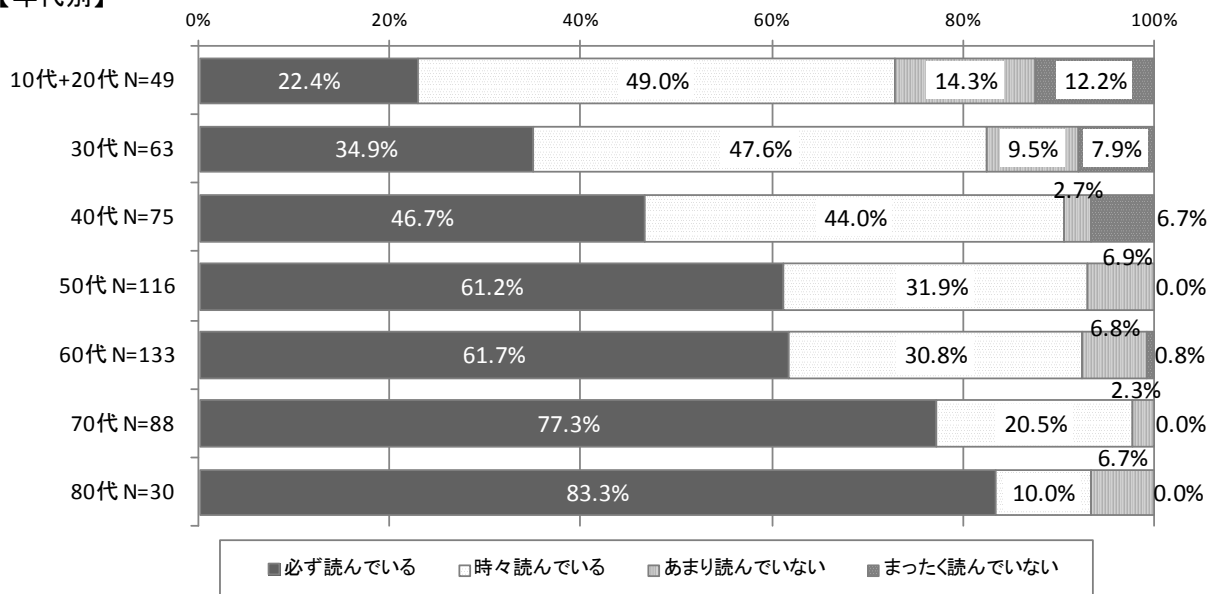
○「市の広報」に次いで多いのは、10代と20代を合わせた年代と30代では「テレビ」、40代では「広報紙以外の印刷物(チラシやポスターなど)」、50代以上はすべて「新聞」となっている。

【問2】市の広報紙「だいせん日和」を読んでいますか。

【全体】



【年代別】



○全体では「必ず読んでいる」が最も多く 56.9%で、次いで「時々読んでいる」が 33.5%となっている。市の広報を「必ず読んでいる」「時々読んでいる」を合わせた、広報を日常的に読んでいる方は、90.4%となっている。

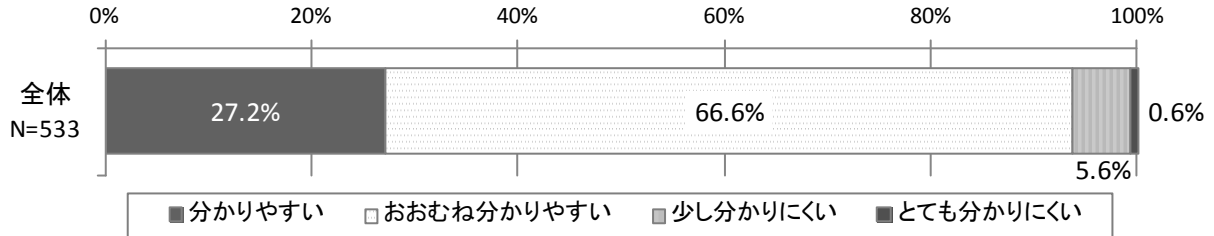
○年代別では、「必ず読んでいる」と回答した割合は10代と20代を合わせた年代で22.4%、年代が上がるほど割合が上がり、80代では83.3%の方が市の広報を「必ず読んでいる」と回答している。

○市の広報を「全く読んでいない」と回答したのは全体で3.1%であるが、年代で見ると、全く読んでいない割合が多いのは10代と20代を合わせた年代で12.2%、次いで30代で7.9%、40代で6.7%と年代が上がるほど割合が減り、60代の0.8%(1人)を除く50代以上については市の広報を「全く読んでいない」と回答した方はいない。

【問2-1】 広報紙「だいせん日和」の紙面構成・内容は分かりやすいですか。

(問2で「必ず読んでいる」「時々読んでいる」「あまり読んでいない」と回答した方)

【全体】



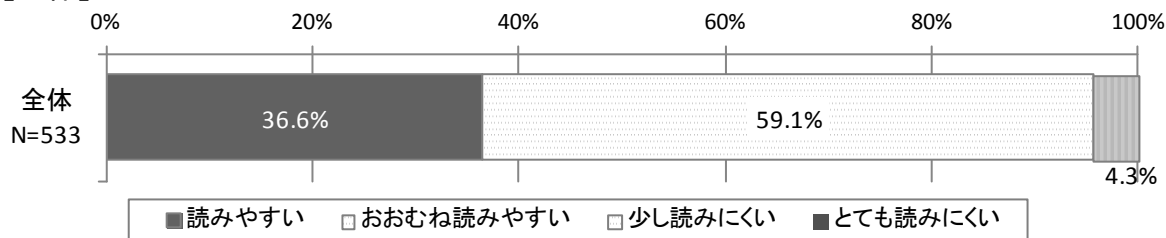
■ 「少しわかりにくい」「とてもわかりにくい」の具体的な意見

- ・ 堅い話を堅く書いている。イベント等はやる内容や目玉など詳細をなるべく書いてほしい。イベント時は行って楽しい、メリットを感じないといけない対象の年齢が自分と違った（思っていたイベントでなかった）場合、行けなければよかったと思う（20代/女性）
- ・ 文章の移り変わりがたまにわかりにくい（30代/男性）
- ・ 題項目を太文字記載（60代/女性）
- ・ レイアウト、本紙への折り込みが多くて煩わしい（40代/男性）
- ・ 良いことしか広報しない（60代/男性）
- ・ 他市町村と比較できないのでわからない（60代/女性）
- ・ 医療の達人、宣伝？（50代/男性）
- ・ 内容が多い（60代/女性）
- ・ 若者向けではない（20代/女性）
- ・ 色分けしてくれれば（60代/女性）

○紙面構成や内容について、「おおむね分かりやすい」と回答した方が最も多く66.6%、次いで「分かりやすい」と回答した方が27.2%となった。「分かりやすい」「おおむね分かりやすい」の回答を合わせると93.8%となっている。

【問2-2】 広報紙「だいせん日和」の紙面レイアウト、デザイン、配色、文字の大きさなどは読みやすいですか。(問2で「必ず読んでいる」「時々読んでいる」「あまり読んでいない」と回答した方)

【全体】



■ 「少し読みにくい」「とても読みにくい」の具体的な意見

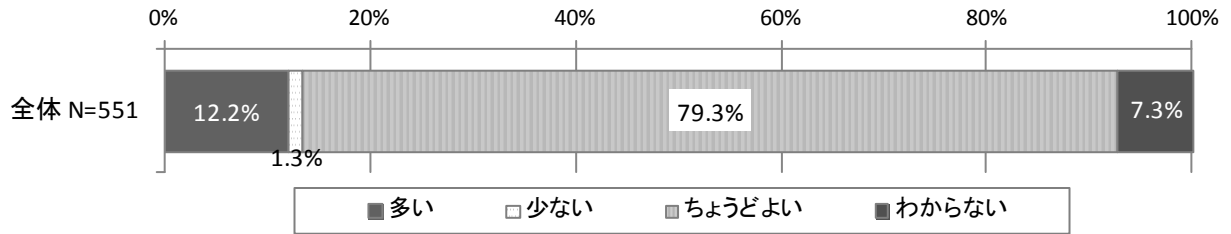
- ・ レイアウトがダメ (40代/男性)
- ・ 年寄りにも読みやすいようにしてもらいたい (80代/男性)
- ・ 目を引かない (40代/男性)
- ・ 全体的にレイアウトがつまらない。写真を多用、大きさの強弱 (40代/男性)
- ・ 文字が小さい (20代/女性)
- ・ 字が小さい (40代/男性)
- ・ 字が小さいと思う (60代/女性)
- ・ 活字を少し大きめに (60代/女性)
- ・ 文字を大きくしてもらいたい (60代/女性)

○紙面レイアウト、デザイン、配色、文字の大きさについて、「おおむね読みやすい」と回答した方が最も多く59.1%、次いで「読みやすい」と回答した方が36.6%だった。「読みやすい」「おおむね読みやすい」の回答を合わせると95.7%となっている。

○「とても読みにくい」と回答した方はいないが、「少し読みにくい」が4.3%で、具体的な意見の中には20代から60代の男女5人から「字が小さい」という意見があった。

【問3】現在の広報紙「だいせん日和」の発行回数（毎月1日、16日の月2回(1月・8月は1日号のみ)）についてどう思いますか。

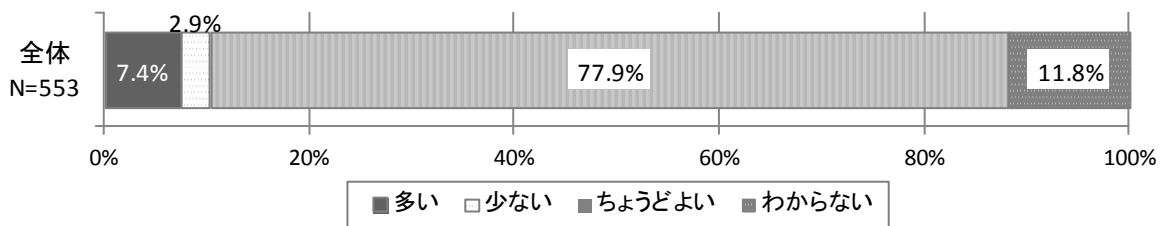
【全体】



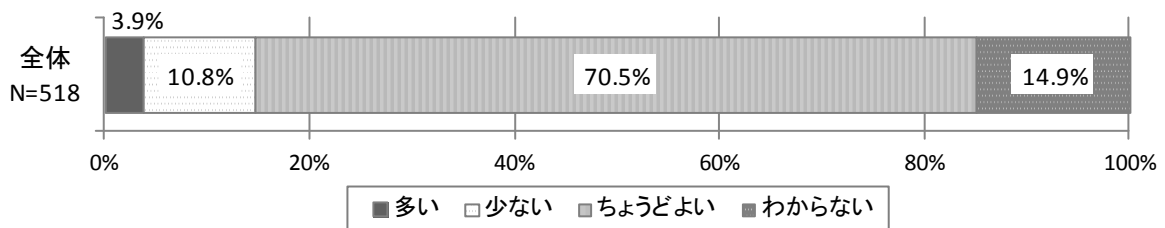
○発行回数について、「ちょうどよい」と回答した方が79.3%で最も多く、次に多かったのは「多い」で12.2%となっている。

【問4】現在の広報紙「だいせん日和」のページ数はどう思いますか。

【毎月1日発行号 カラー刷 平均28ページ】



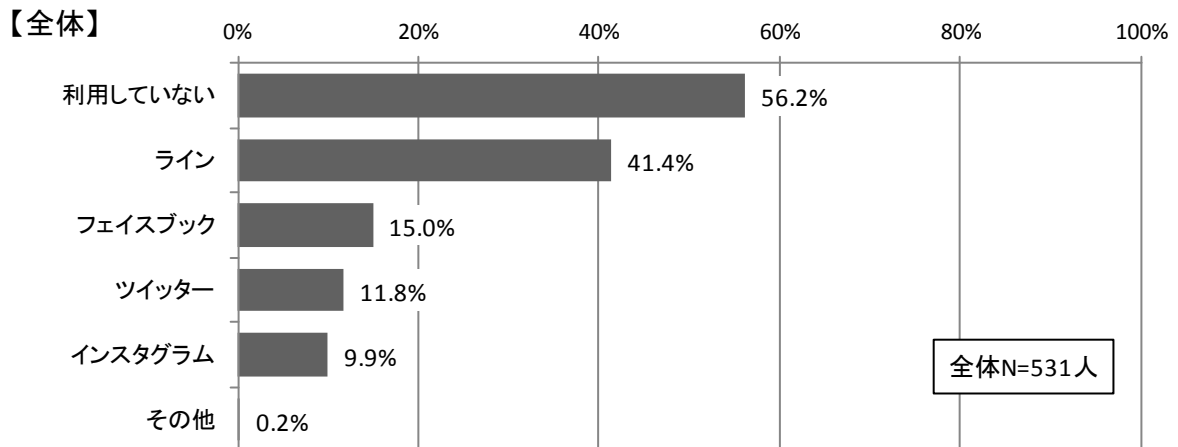
【毎月16日発行号 黒1色刷 平均10ページ】



○毎月1日発行号については、「ちょうどよい」が77.9%で最も多く、「わからない」が11.8%で次に多かった。3番目に回答が多かったのは「多い」で7.4%となっている。

○毎月16日発行号について、「ちょうどよい」が70.5%で最も多く、「わからない」が14.9%で次に多かった。3番目に回答が多かったのは「少ない」10.8%となっている。

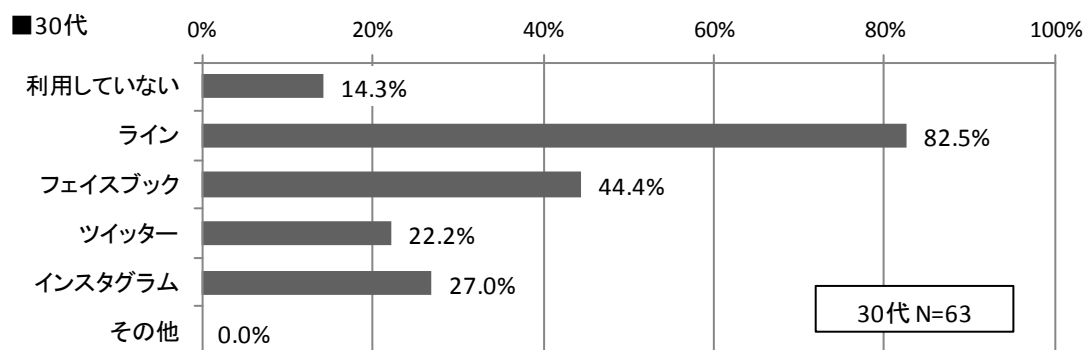
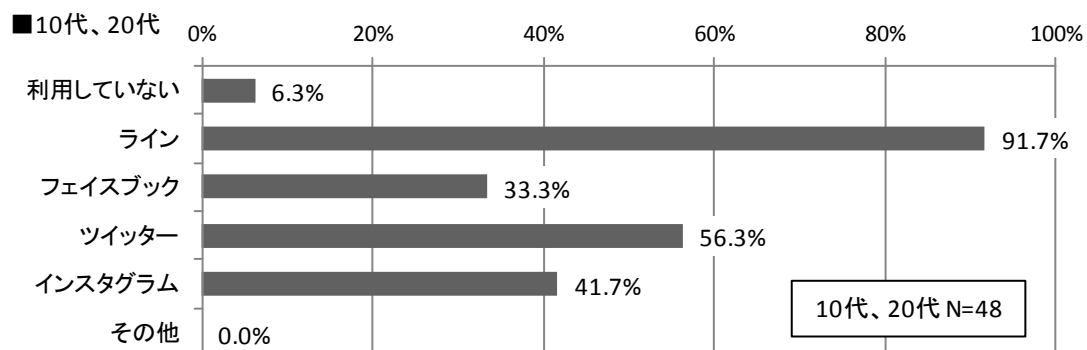
【問5】ソーシャルメディア（SNS）を利用していますか。（複数回答可）



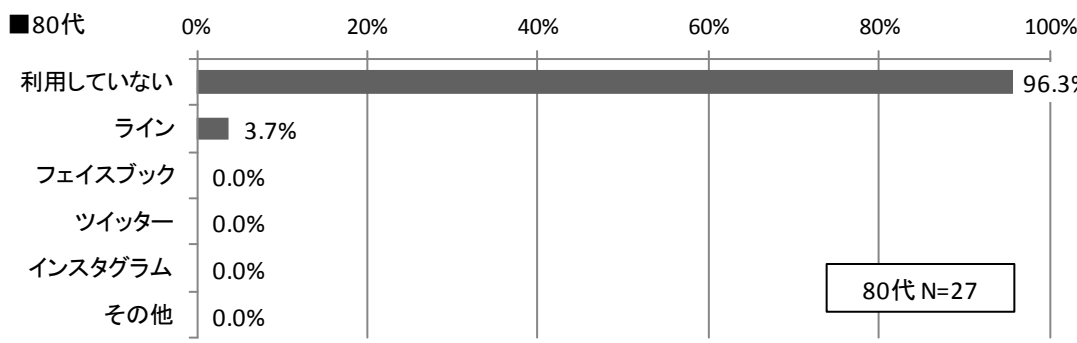
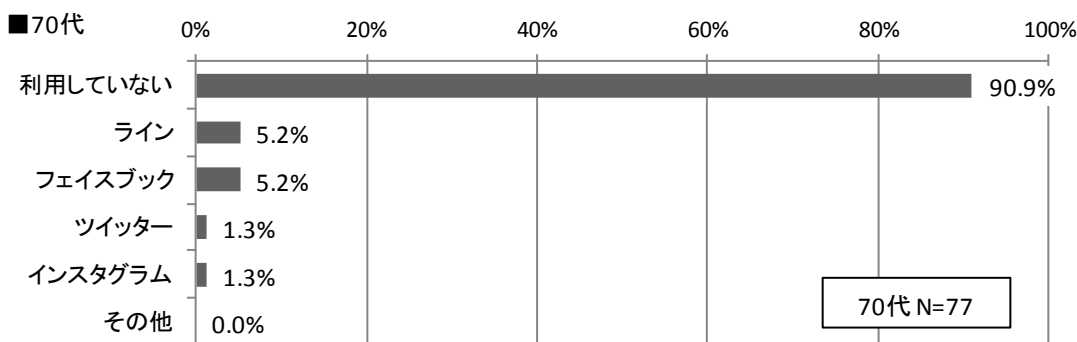
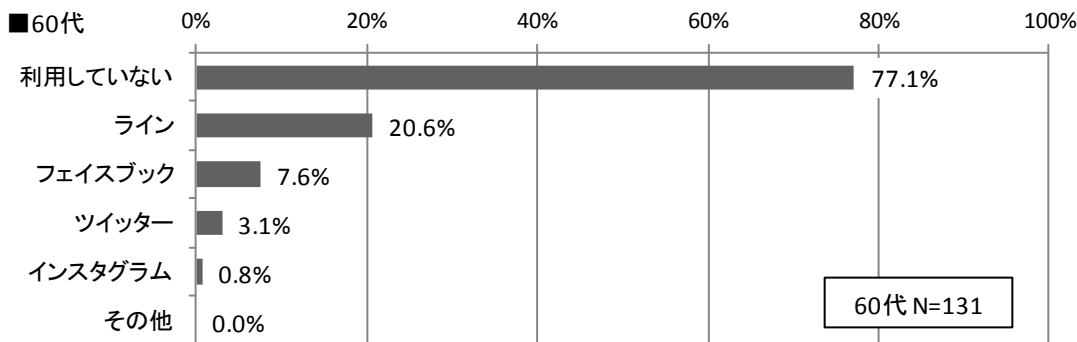
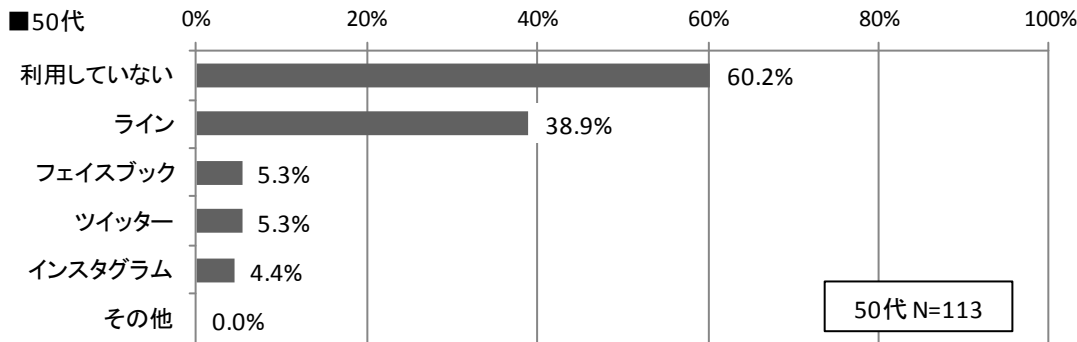
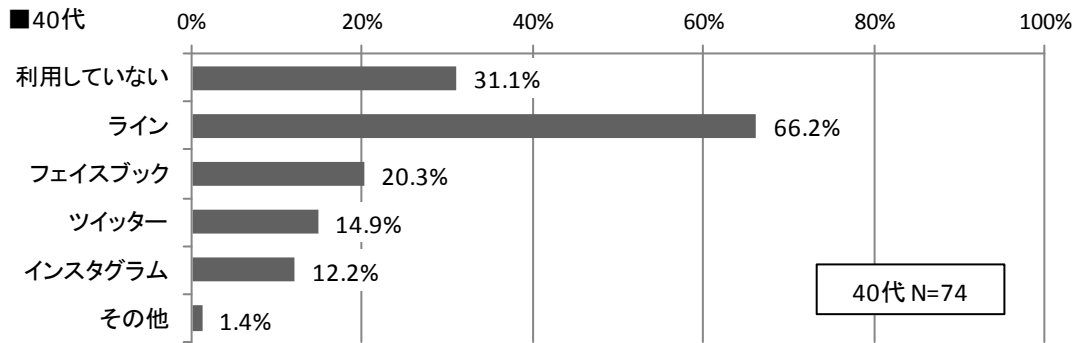
■その他回答

・ Wechat（40代／男性）

【年代別】



3. 1. 1 個別事業評価「市の広報活動について」



- 全体で、最も回答が多かったのは「利用していない」で56.2%となっており、続いて「ライン」で41.4%、「フェイスブック」15.0%、「ツイッター」11.8%、「インスタグラム」9.9%となっている。
- 年代別で、「利用していない」が最も高くなっているのは50代からで、年代が下がるほど「利用していない」の回答は少なくなっており、10代と20代を合わせた年代では、「利用していない」と回答したのは6.3%（3人）となっている。
- 全体で最も多く利用されているSNSの「ライン」は、年代別に見ても全年代で最も利用者が多く、10代と20代を合わせた年代では91.7%、30代で82.5%、40代で66.2%となっていて、年代が上がるごとに利用されている割合が下がるものの、80代でも3.3%（1人）の利用がある。
- 年代別で、「ライン」の次に利用者の多いSNSは、10代と20代を合わせた年代が「ツイッター」で56.3%、30代が「フェイスブック」で44.4%、40代が「フェイスブック」で20.3%となっている。

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 市の情報を得る手段として、「広報紙」と回答した方の割合は88.7%で最も多く群を抜いている。広報紙に関しては、「必ず読む」または「ときどき読む」との回答が全体の9割を占めるなど、市民に対して強力な発信力をもつことが確認できた（問1・2）。若者層（10～20代）では、約7割が行政情報を入手する手段として広報紙を挙げており、また、「必ず読む」「ときどき読む」も合わせて7割強に達するなど、若者層に対しても広報紙が一定の発信力を持つと考えられる。広報紙と並ぶ情報発信媒体と位置付けていたインターネットメディア（ホームページやSNS）は、情報入手手段としてあまり利用されていない（問1・5）。回答者のSNS利用率は5割以下であり、問5の選択肢の中で市が実際に導入しているフェイスブックも、2割以下の回答者しか利用していない。SNSで最も利用率が高いラインに関して本市では未導入であるが、市の情報発信手段としてのラインの利用方法、有効性を調査しながら、今後の導入を検討する。
- 広報紙については、行政情報の受信手段として市民に最も利用されていることを踏まえ、よりよい紙面づくりに努めていく。
ただし、広報紙はインターネットメディアやテレビ、ラジオに対して情報伝達の即時性で劣ることから、市ホームページと市公式フェイスブックページ、市が運営に関わるコミュニティFM（FMはなび）の利用をこれまで以上に推し進め、行政情報を市民に対して重層的に発信・周知することを目指す。

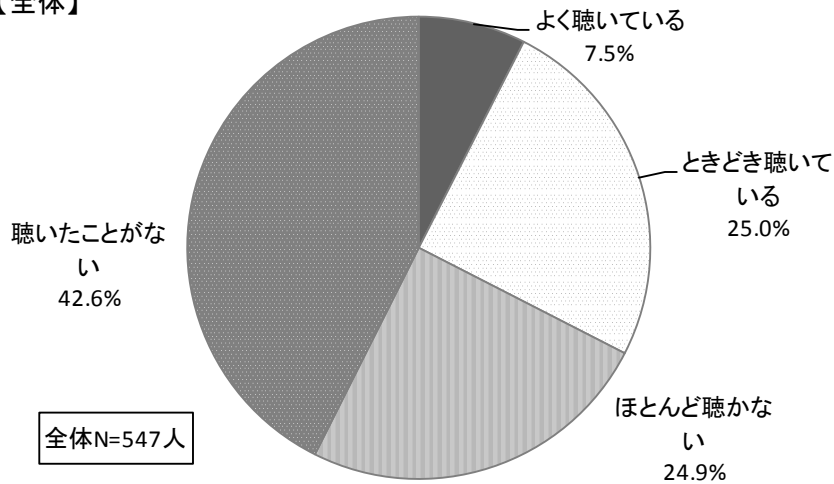
3. 1. 2 コミュニティFM(FMはなび)の利用について

(企画部広報広聴課・総務部総合防災課)

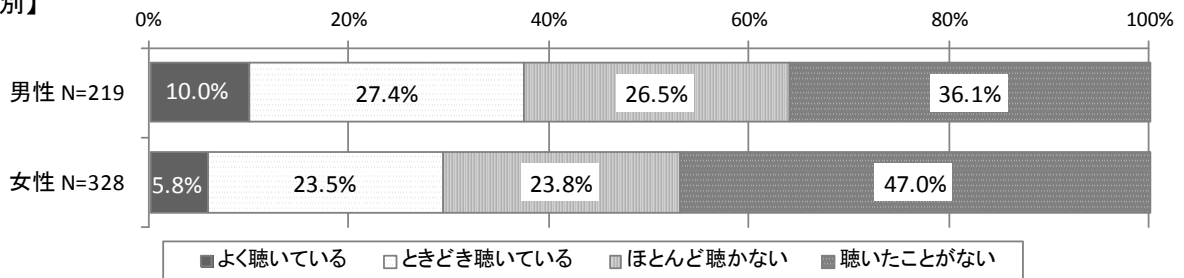
- ◆ 調査目的：市の情報発信手段としても利用しているコミュニティFM「FMはなび」、並びに、非常時の市の情報発信手段として販売や貸与を行っている「大仙市防災ラジオ」について、非常時の情報発信方法手段としてのあり方を検討するため、市民のみなさんからの認知度や利用のされ方などを調査する。

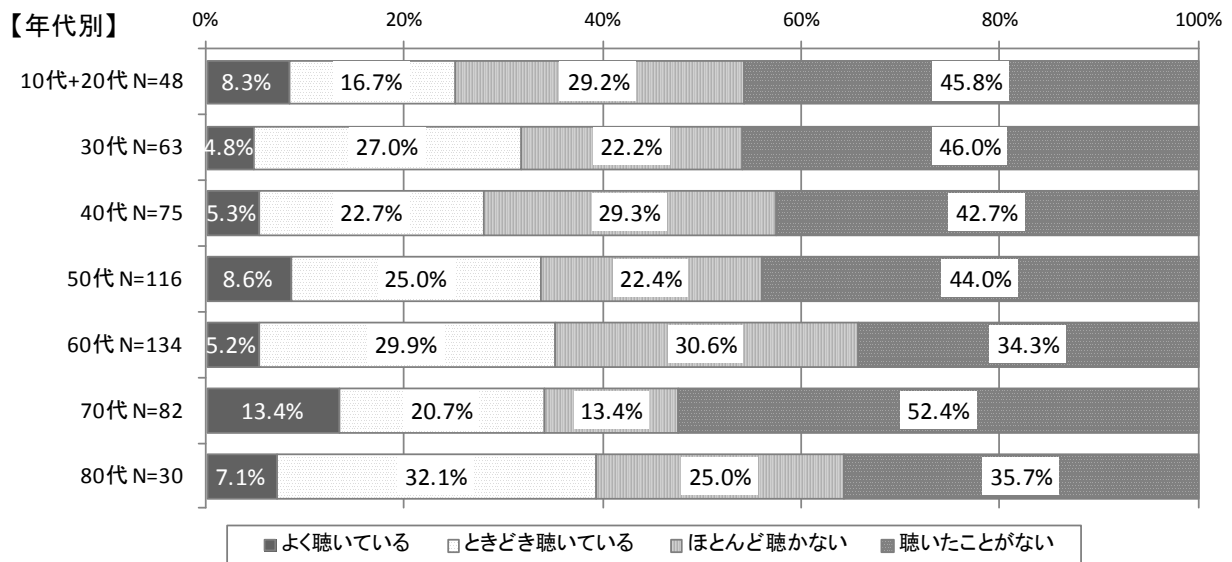
【問1】コミュニティFM「FMはなび」を聞いたことがありますか。

【全体】



【性別】

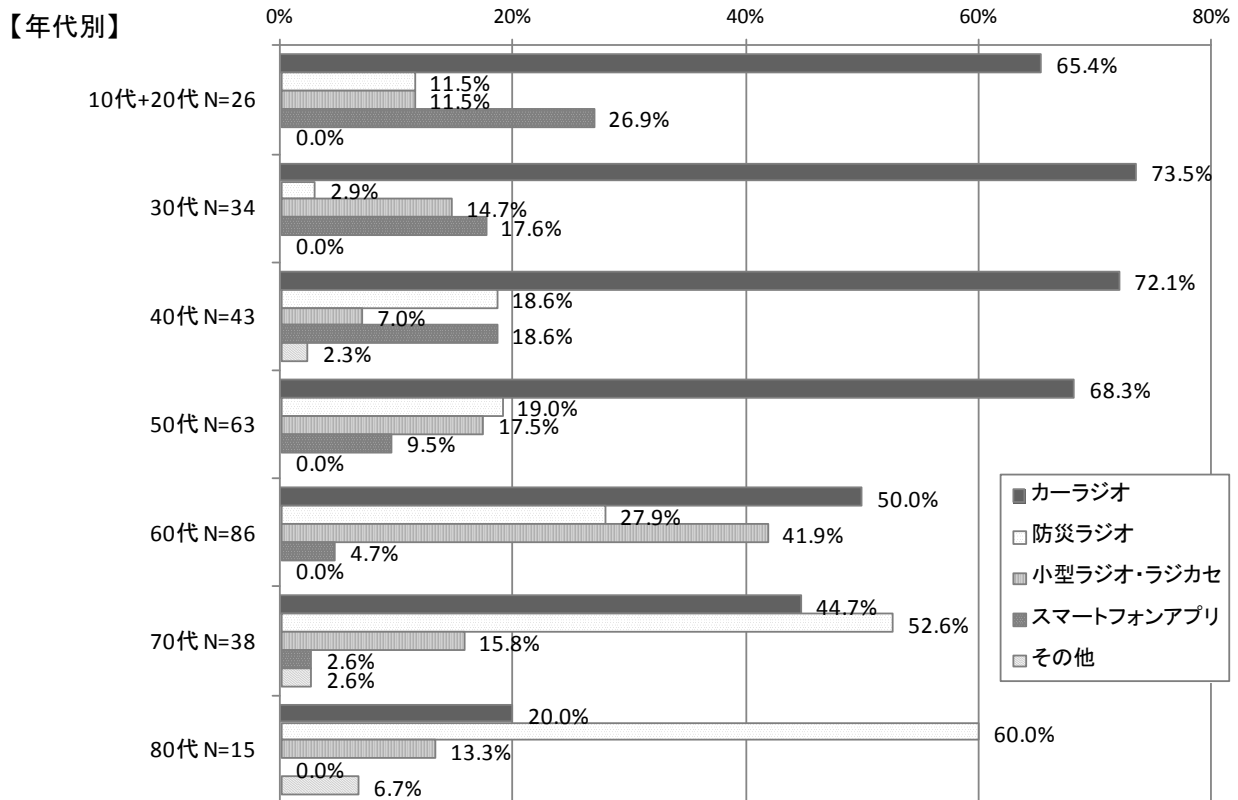
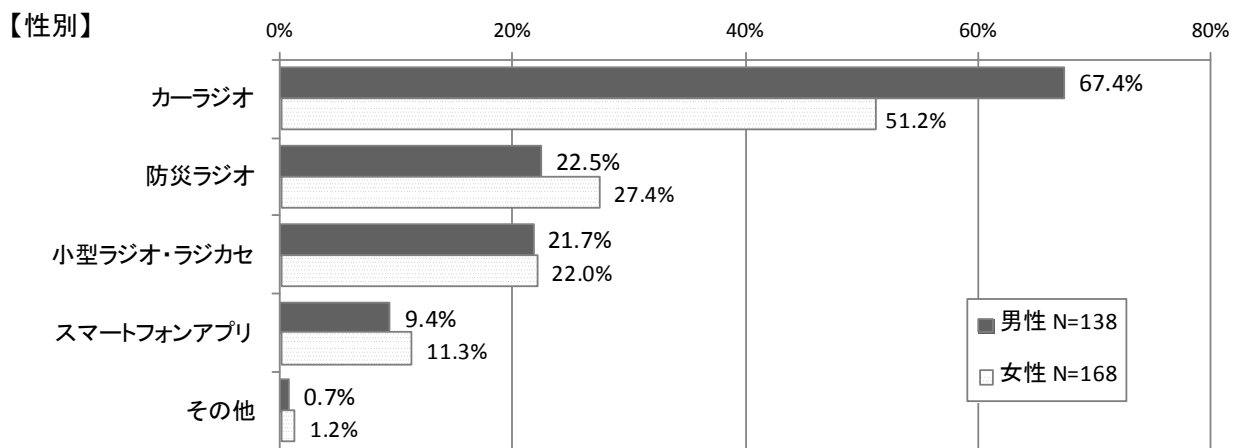
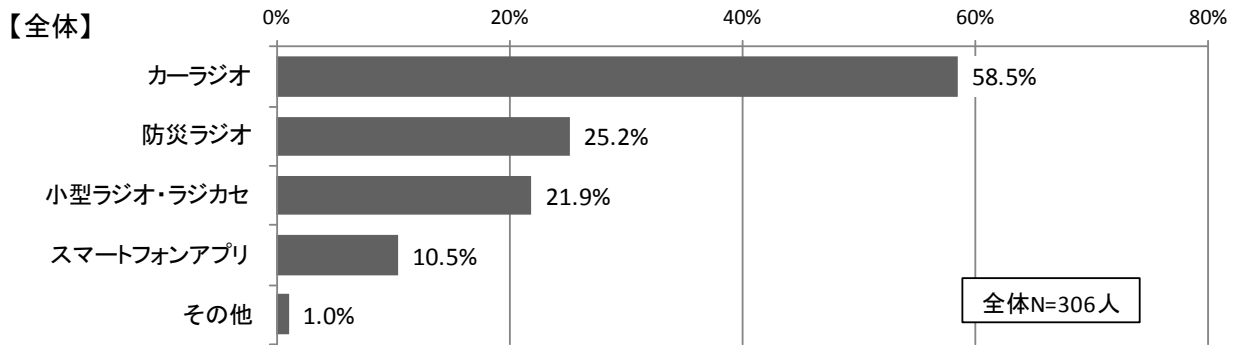




- 全体では、「聴いたことがない」が最も多く 42.6%、続いて「ときどき聴いている」が 25.0% となっている。
- 性別では、男女とも最も回答が多かったのは「聴いたことがない」で、男性が 36.1%、女性が 47.0%と、女性の方が「聴いたことがない」割合が 10.9 ポイント高い。
- 年代別では、いずれの年代でも「聴いたことがない」が最も多く、各年代の中で割合が最も高かったのは、70代で 52.4%となっている。一方で、「よく聴いている」と回答した割合は、各年代で比較すると 70代で最も高く 13.4%となっている。

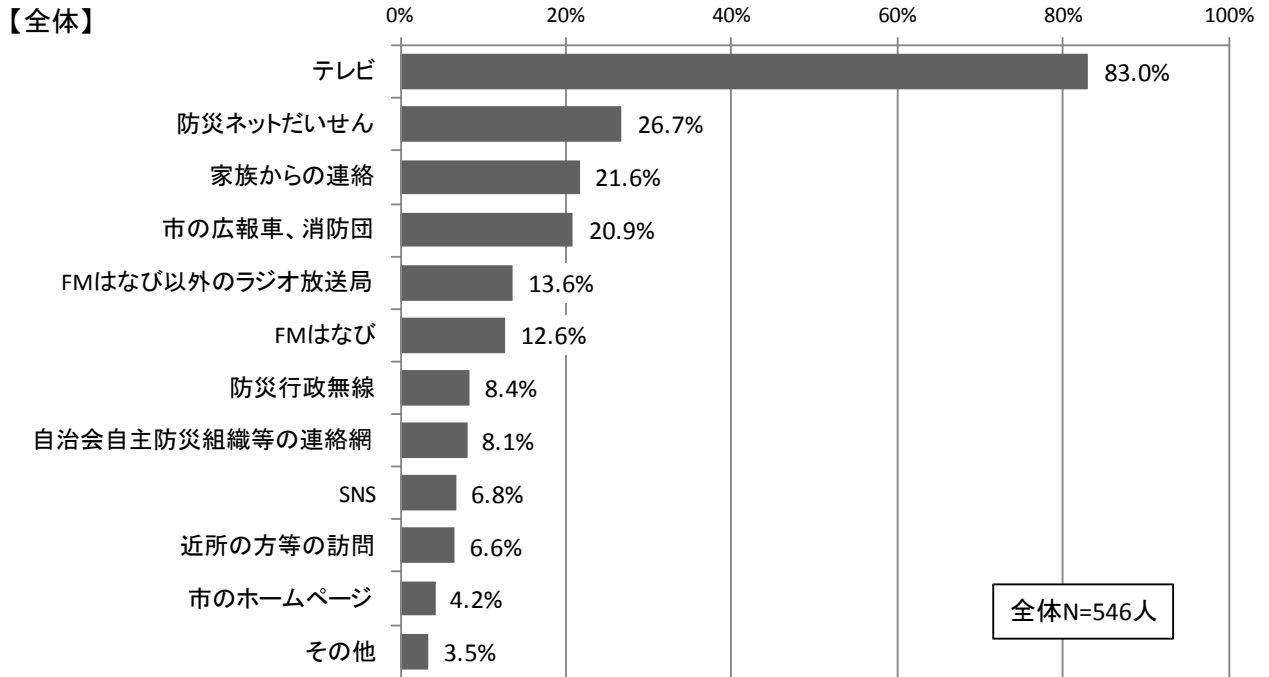
【問1-2】 普段、FMはなびをどの機器で聴いていますか。（複数回答可）

（問1で「よく聴いている」「ときどき聴いている」「ほとんど聴かない」と回答した方）



- 全体では、「カーラジオ」が最も多く 58.5%、続いて「防災ラジオ」で 25.2%、「小型ラジオ・ラジカセ」が 21.9%、「スマートフォンアプリ」が 10.5%となっている。
- 性別では、全体の傾向と同様「カーラジオ」が最も多く、「防災ラジオ」、「小型ラジオ・ラジカセ」、「スマートフォンアプリ」の順となっている。
- 性別で最も多い「カーラジオ」は、男性が 67.4%、女性が 51.2%となっており、男性の方が 16.2 ポイント高い。次に割合が高い「防災ラジオ」では、女性が 27.4%、男性が 22.5%と、女性の方が 4.9 ポイント高くなっている。
- 年代別では、10 代と 20 代を合わせた年代から 50 代までは「カーラジオ」が突出しているが、60 代を境に、70 代以上では「防災ラジオ」の割合が最も高くなっている。
- 10 代と 20 代を合わせた年代では、「カーラジオ」の次に多いのは「スマートフォンアプリ」で 26.9%となっている。「スマートフォンアプリ」については、10 代と 20 代を合わせた年代での割合が最も高く、年代が高くなると割合が低くなる傾向にあり、70 代で 2.6% (1 人)、80 代では 0%となっている。

【問2】緊急時の避難情報や防災情報はどのようにして入手していますか。（複数回答可）



■「SNS」の回答内容

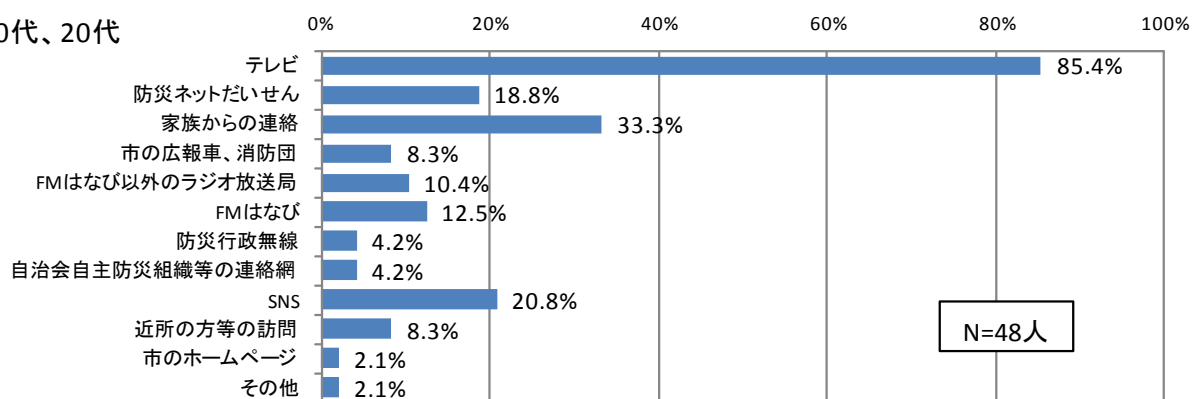
- Twitter (20代/男性、20代/女性 4名、30代/男性、40代/男性 2名、50代/男性)
- Facebook (40代/男性、70代/女性)
- LINE (40代/男性、50代/女性)
- 防災アプリ (30代/女性)
- NHK 災害 (60代/男性)
- スマートフォンアプリ、ゆれくる、Yahoo!Japan 災害情報 (30代/女性)

■その他の内容

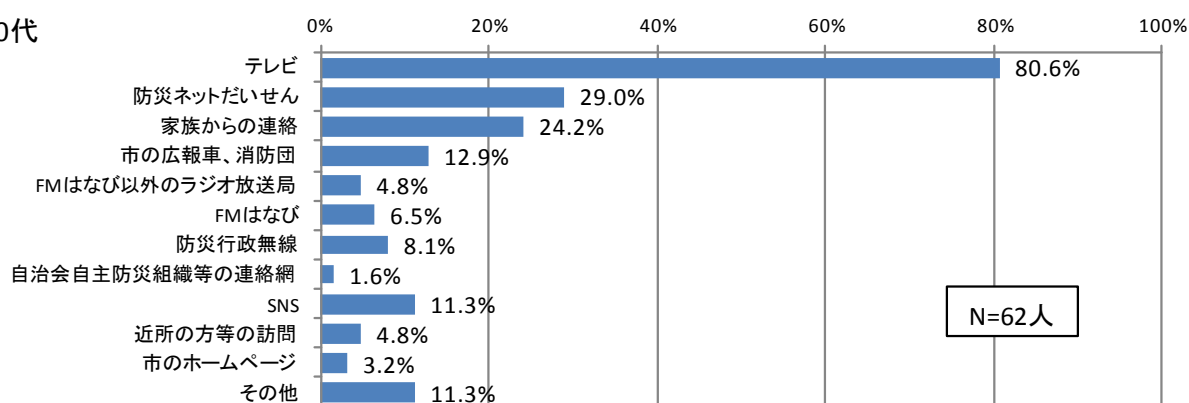
- インターネット (20代/女性、30代/男性、30代/女性、50代/女性)
- Yahoo!災害情報 (30代/男性)
- Yahoo! (30代/女性、40代/男性)
- 秋田地方気象台のHP (30代/女性)
- エリアメール (30代/女性 2名、40代/女性)
- スマホアプリ (50代/女性)
- 自分自身 (60代/男性)
- 支給されたラジオ (40代/女性)
- 民生委員 (80代/女性)
- 友人 (80代/女性)
- 美郷町の防災スピーカー (80代/男性)

【年代別】

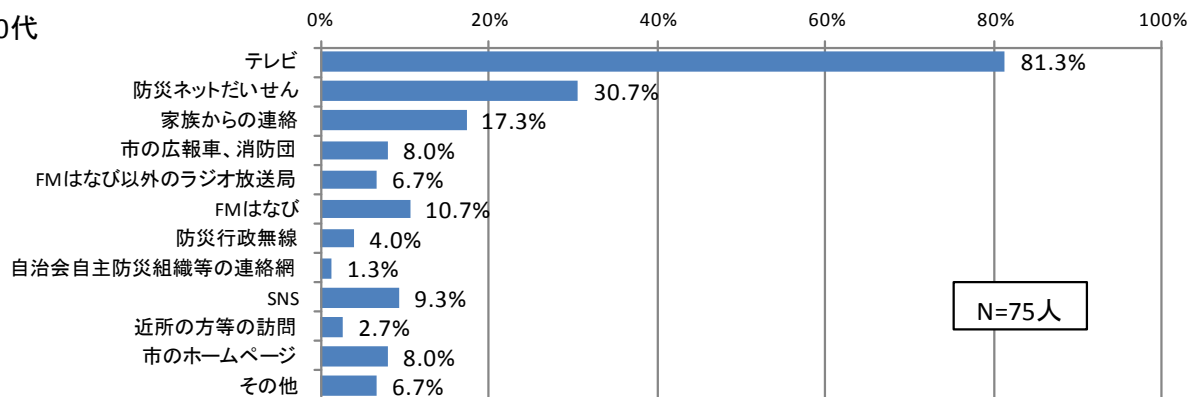
■10代、20代



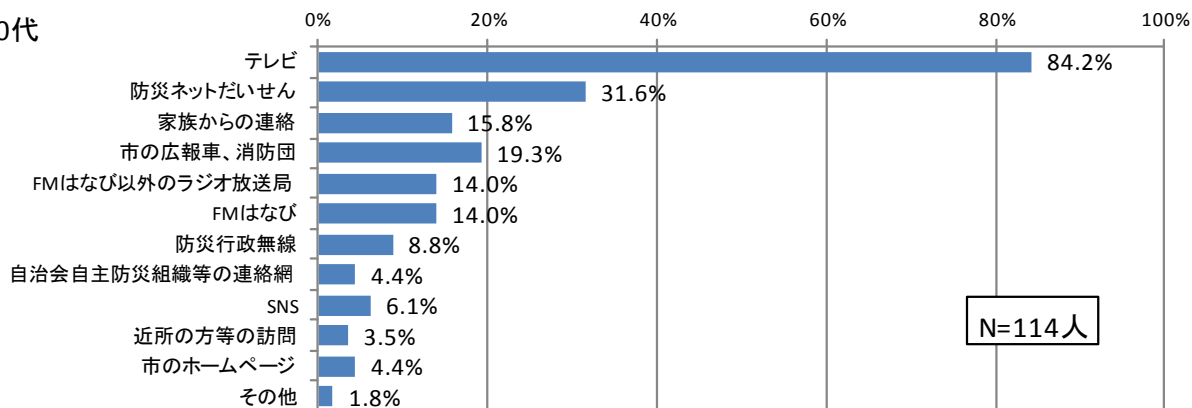
■30代



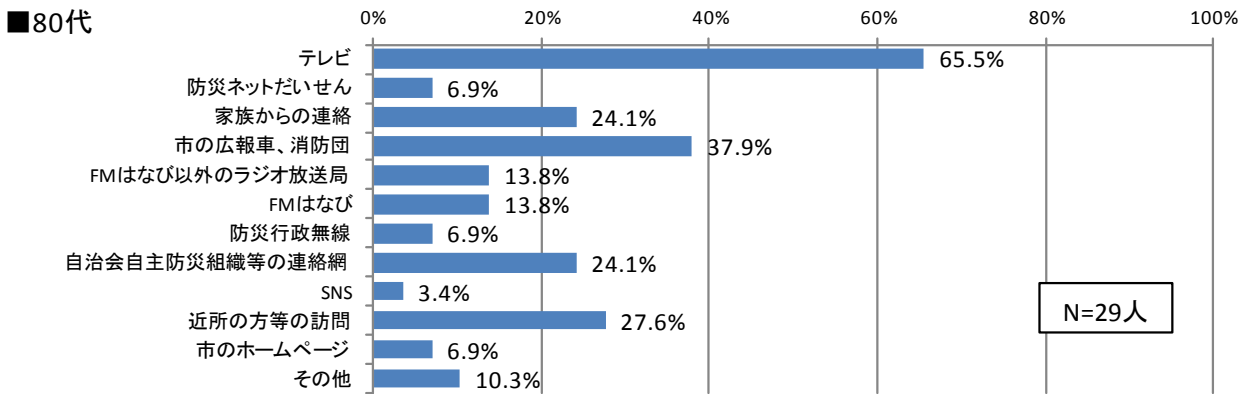
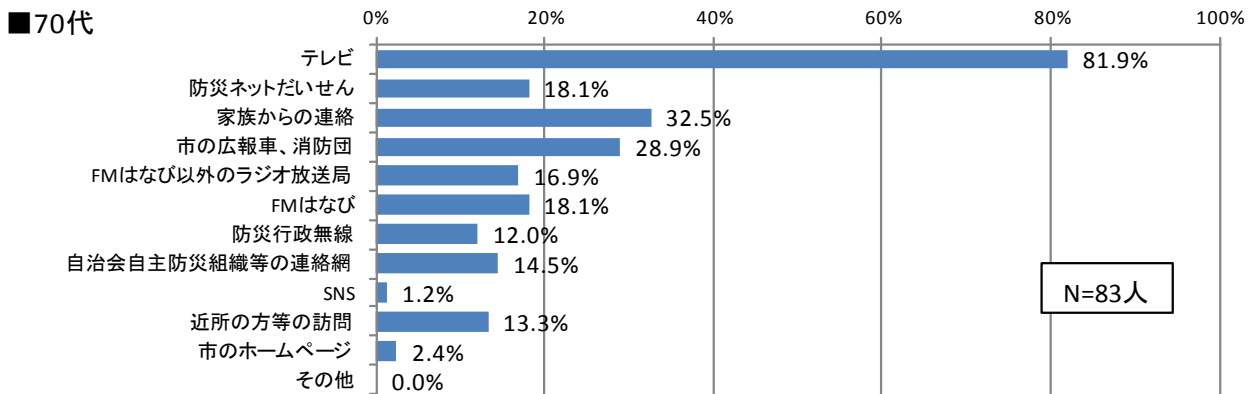
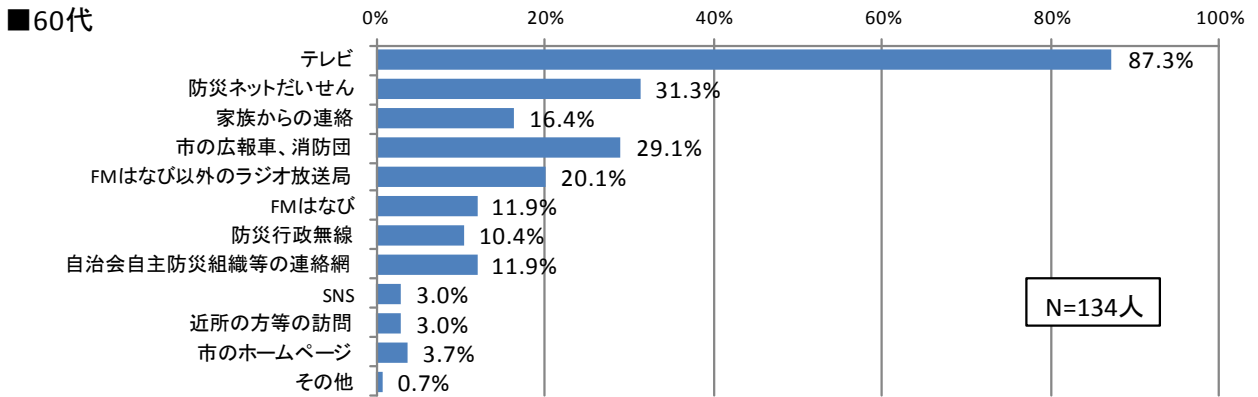
■40代



■50代



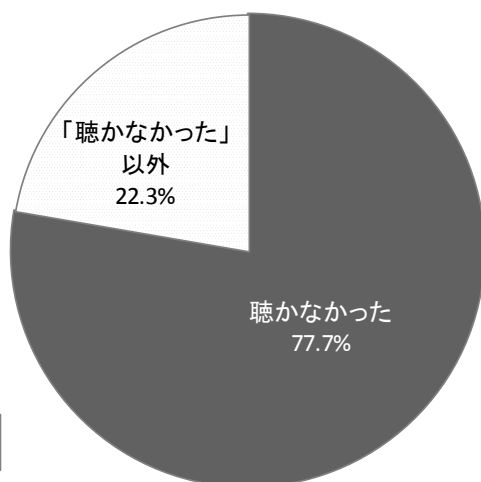
3. 1. 2 個別事業評価「コミュニティFM(FMはなび)の利用について」



○全体では、「テレビ」が最も多く 83.0%、次に多いのは「防災ネットだいせん」で 26.7%となっており、災害時の情報をテレビから入手している方が突出して多い。

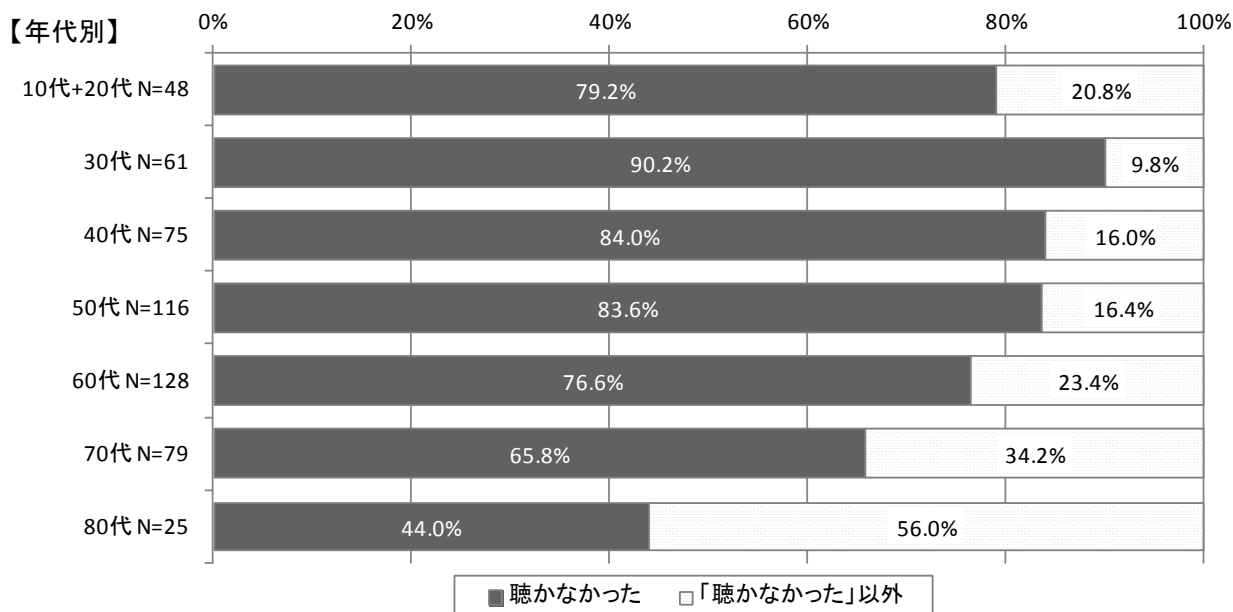
○年代別では、どの年代でも「テレビ」が最も多く、10代から70代までの各年代でいずれも80%を越えている。

【問3】平成29年夏、今年5月の大雨の際でのFMはなびの緊急放送について、いかがでしたか。（複数回答可）



全体 N=534

※「聴いた」方の中での感想を抽出するため、選択肢「1. 聴かなかった」と「2. 放送内容は適切でちょうど良いと思う…～11. その他」の割合を調査した

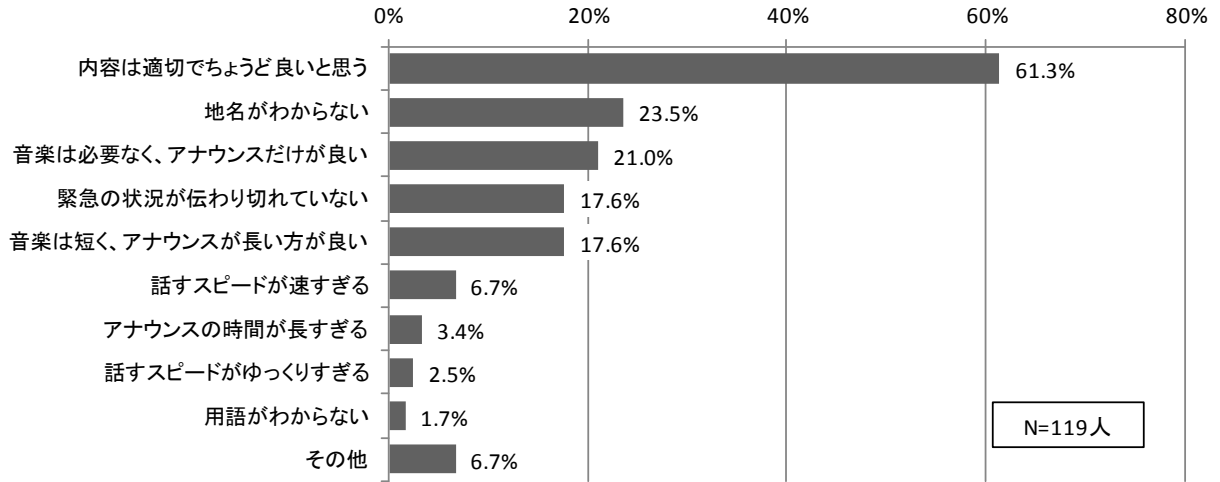


○全体では、「聴かなかった」方が多く77.7%、「『聴かなかった』以外（放送内容についての印象を選択している）」方が22.3%となっている。

○年代別では、「聴かなかった」方の割合が最も高かったのは30代で90.2%、最も低かったのは80代で44.0%となっており、30代から70代までは「聴かなかった」方の割合が高く、その割合は年代が上がるごとに低くなる傾向がある。80代では、「聴かなかった以外（放送内容についての印象を選択している）」の方が56.0%となり、聴かなかった方より聴いた方の割合が多い。

○問2において、災害時の情報入手手段として「FMはなび」を選択した方は12.6%となっているものの、本設問では、平成29年夏、今年5月の大雨の際、実際には全体で2割を超える方がFMはなびから情報を入手していたという結果となった。

【選択肢で「聴かなかった」以外を選択した方(119人中)の回答】



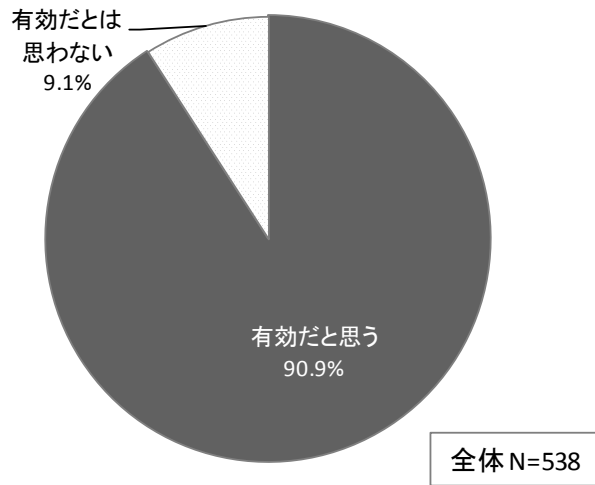
■その他回答

- ・ 聞きたくても電波が届かない。届いても雑音が多く聴きとれない。(30代/女性/大曲)
- ・ 全体的によく分からなかった(20代/女性/大曲)
- ・ 判断がわからない(60代/男性/中仙)
- ・ 大変良かったです(30代/男性/仙北)
- ・ 大通りの方はよく聞きとれるが、奥の方の小さい道路は何も聞きとれない(80代/男性/西仙北)

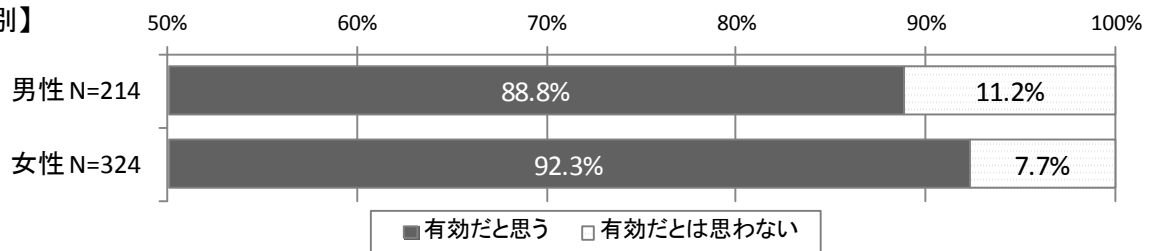
○選択肢の中で「聴かなかった」以外を選択した方のうち、最も回答が多かったのは「内容は適切でちょうど良いと思う」で61.3%、次に多かったのは「地名がわからない」で23.5%となっている。

【問4】非常時、自動的に電源が入り緊急放送が流れる「防災ラジオ」は、緊急の情報伝達手段として有効だと思いますか。

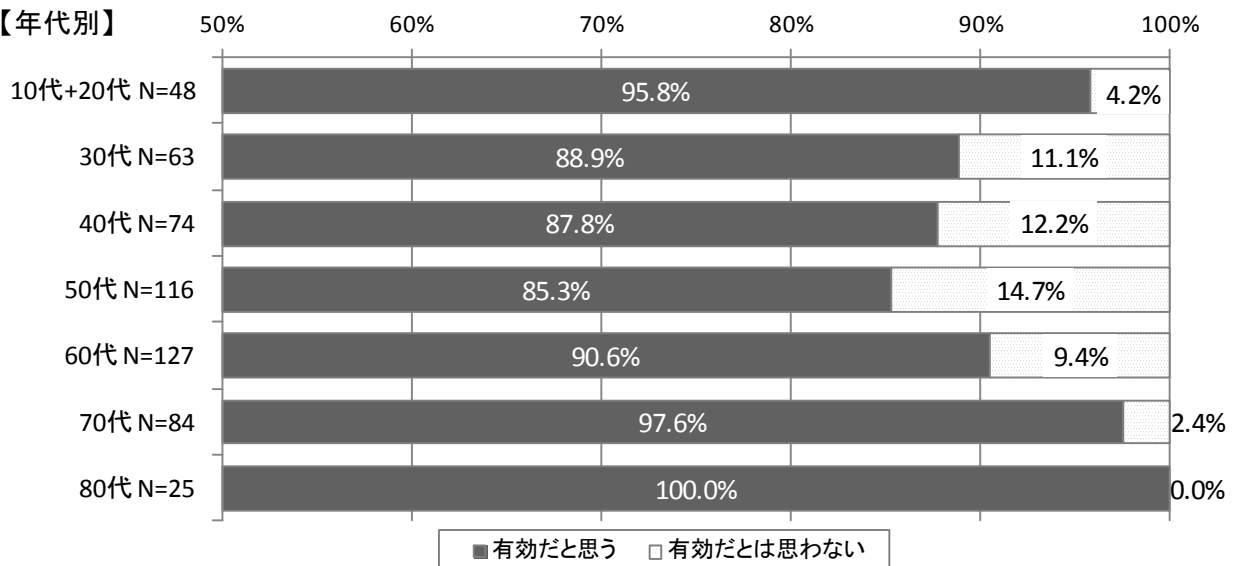
【全体】



【性別】



【年代別】



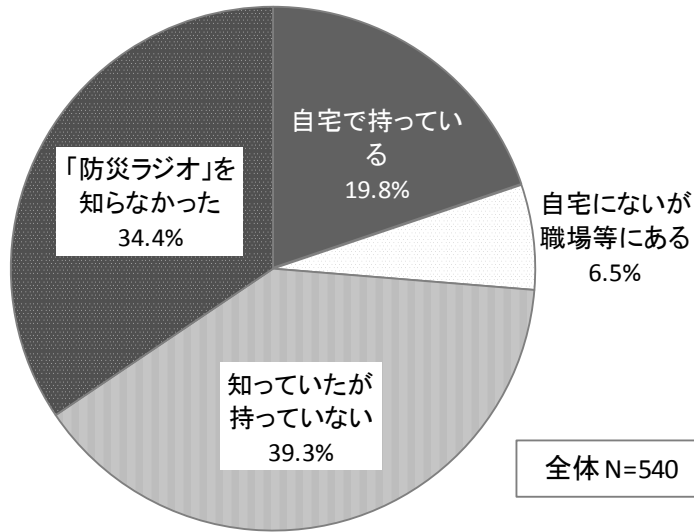
○全体では、「有効だと思う」と回答した方が90.9%、「有効だとは思わない」が9.1%となっている。

○性別では、「有効だと思う」と回答した割合が多いのは女性で92.3%、男性で88.8%となっており、男性より女性の方が「有効だと思う」と回答した方の割合が3.5ポイント高い。

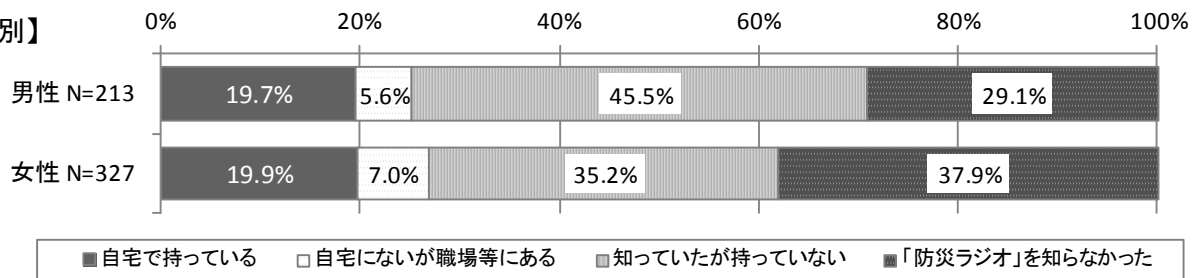
○年代別では、「有効だと思う」と回答した方の割合が最も高いのは80代で100%、最も低いのは50代で85.3%となっている。

【問5】防災ラジオを持っていますか。

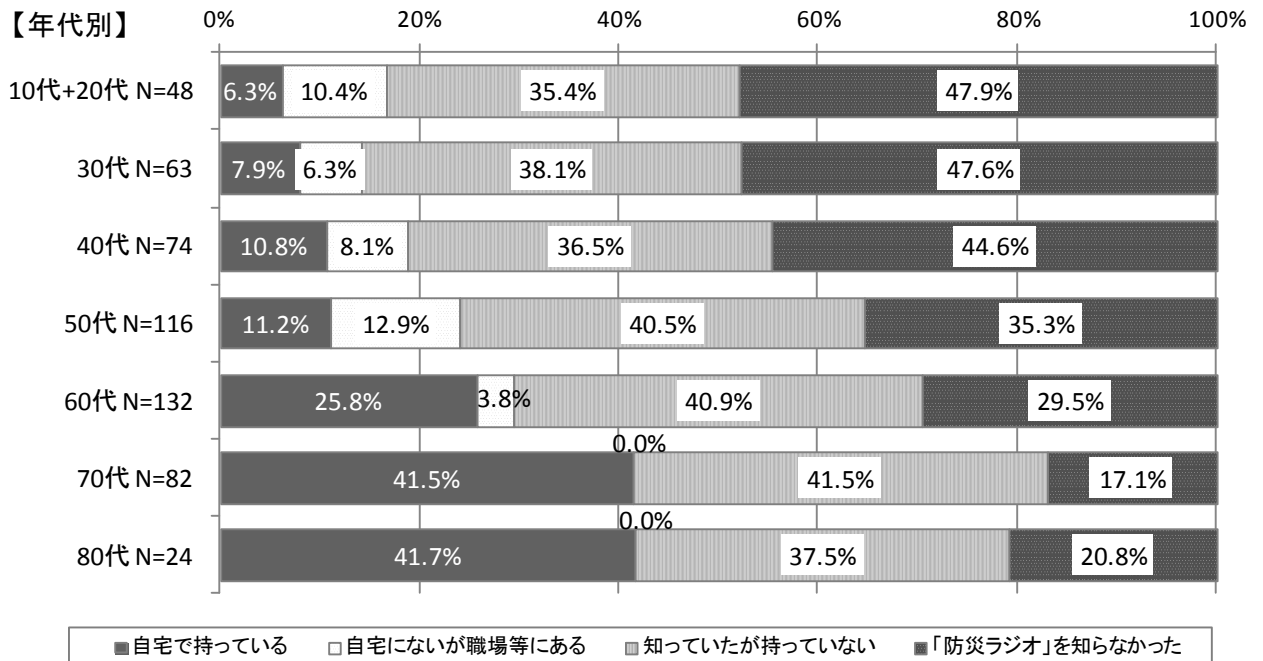
【全体】



【性別】



【年代別】



○全体では、「知っていたが持っていない」と回答した方が最も多く 39.3%、次に多かったのは「防災ラジオを知らなかった」で 34.4%となっている。

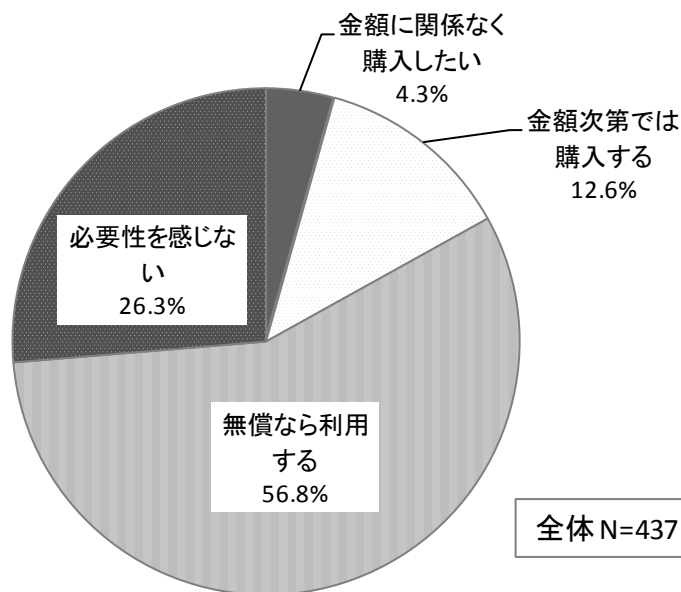
○性別では、男性で「知っていたが持っていない」が最も多く 45.5%、次に「防災ラジオを知らなかった」で 29.1%となっている。女性では、「防災ラジオを知らなかった」が 37.9%で最も多く、「知っていたが持っていない」が次に多く 35.2%となっている。

○年代別では、10代と20代を合わせた年代から40代まででは「防災ラジオを知らなかった」の割合が最も多くいずれも40%を超えている。50代、60代では「知っていたが持っていない」が最も多く40%程度、70代では「持っている」と「知っていたが持っていない」が同割合で最も多く41.5%、80代では「持っている」が最も多く41.7%となっている。

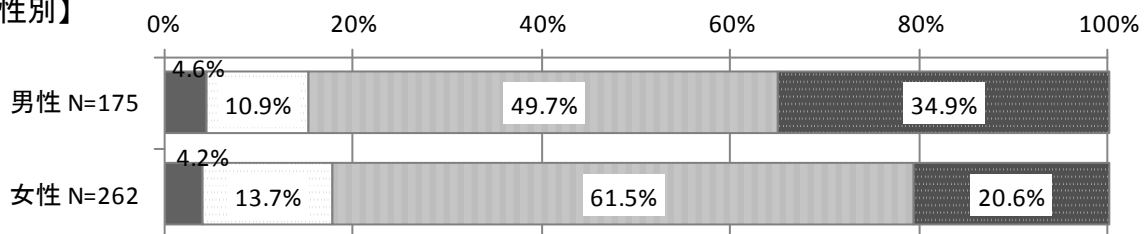
○年代が高くなるにつれて「持っている」割合が高くなり、「防災ラジオを知らなかった」割合が低くなっていく傾向がある。

【問5-1】防災ラジオを自宅用に購入したいと思いますか。

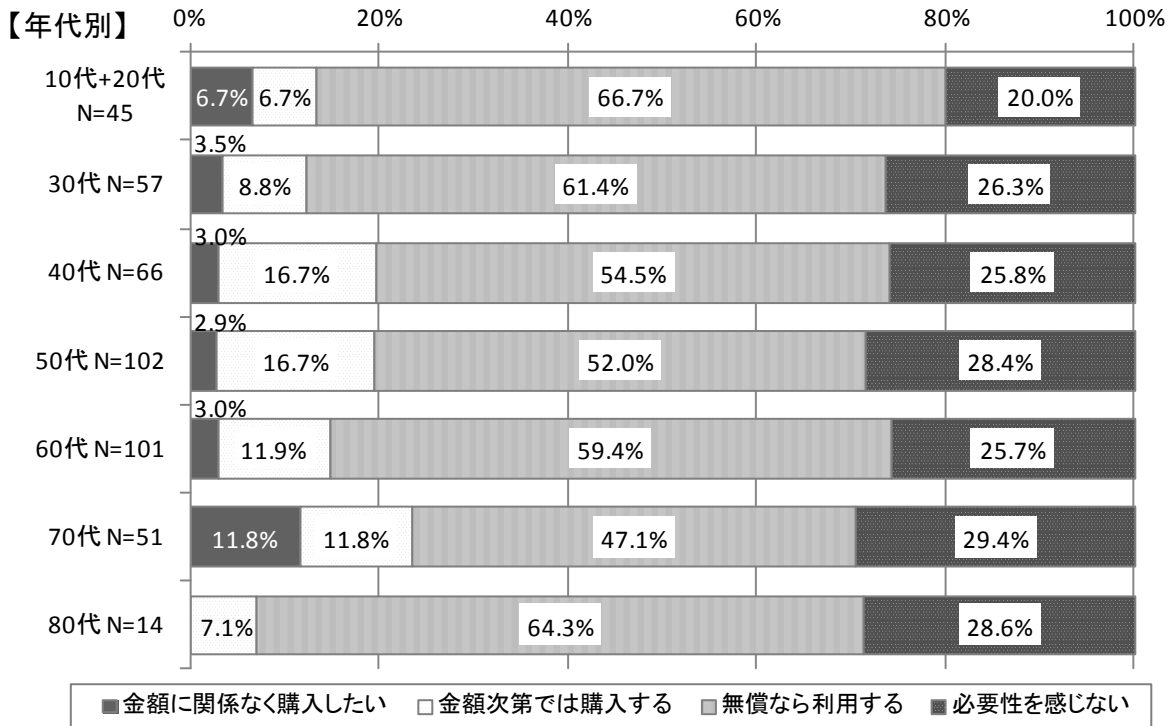
【全体】



【性別】



3. 1. 2 個別事業評価「コミュニティFM(FMはなび)の利用について」



■ 「金額次第では購入する」と回答した方のうち、希望金額を記入した方の性別、年代別の分布

金額	全体	男性	女性	10代20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
		34人	10人	24人	2人	2人	6人	13人	8人	2人
5,000円以下	15人	3人	12人	1人		1人	7人	6人		
3,000円以下	10人	3人	7人	1人	2人	2人	2人	2人		1人
2,000円以下	3人	2人	1人			2人	1人			
4,000円以下	2人	1人	1人			1人	1人			
10,000円以下	2人		2人						2人	
1,500円以下	1人	1人					1人			
3,500円以下	1人		1人				1人			

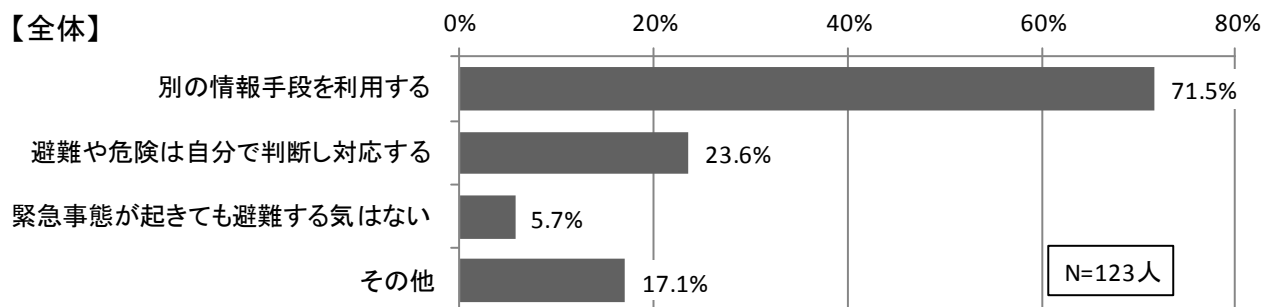
○全体では、「無償なら利用する」が最も多く、56.8%となっており、次に多いのが「必要性を感じない」で26.3%となっている。

○性別では、男女とも最も多いのは「無償なら利用する」、次に「必要性を感じない」の順となっているが、「無償なら利用する」と回答したのは、男性で49.7%、女性で61.5%となっており、女性の方が11.8ポイント高くなっている。また、「必要性を感じない」と回答したのは、男性は34.9%、女性は20.6%と、男性の方が14.3ポイント高くなっている。

○年代別では、いずれの年代も「無償なら利用する」が最も多く、次に「必要性を感じない」が多くなっている。「金額に関係なく購入したい」と回答したのが最も多いのは、70代で11.8%となっている。

○「金額次第では購入する」で具体的な金額を回答した方のうち、最も多かったのは「5,000円以下」で15人、次に「3,000円以下」で10人となっている。

【問5-2】防災ラジオを自宅用に購入することについて、「必要性を感じない」と思われる理由は何ですか。（問5-1で「必要性を感じない」と回答した方）（複数回答可）



【性別、年代別分布】

	全体	男性	女性	10代、20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
有効回答者数	123	65	58	11	17	16	30	27	15	7
別の情報手段を利用する	88 71.5%	47	41	9	11	12	26	18	8	4
避難や危険は自分で判断し対応する	29 23.6%	15	14	1	3	5	4	11	5	
緊急事態が起きても避難する気はない	7 5.7%	4	3	2	3	1	1	0	0	
その他	21 17.1%	10	11	1	4	3	3	4	3	3

○全体では、「別の情報手段を利用する」が最も多く71.5%、次に「避難や危険は自分で判断し対応する」が23.6%となっている。

○性別、年代別でも、「別の情報手段を利用する」が最も多くなっている。

■その他回答

- ・ 大きな河川もなく、山等も遠い。家もまばらである。（60代/女性/中仙）
- ・ 市役所の判断待つ（70代/女性/大曲）
- ・ 別の携帯ラジオをすでに持っている（30代/男性/大曲）
- ・ 耳が聞こえない。聞こえない人への連絡方法はどのようなのか。（60代/女性/中仙）
- ・ 祖母の家に防災ラジオがありますが、祖母は耳が聞こえないため昨年の大雨の時は避難せずに家でじっとしていました。祖母の家に行って初めて気付いたようです。耳の聞こえない人には防災ラジオがあっても効果がありません（40代/男性/大曲）
- ・ 常に家にいるとは限らないので（30代/女性/大曲）
- ・ 一人暮らし、借りにいくにもタクシー代がかかるので自分の足では行けない（80代/女性/南外）
- ・ 市民である人、ない人がいるのでは連絡手段として成り立たないのでは？（40代/男性/大曲）
- ・ 他の部屋へ持って行くのに形が大きいので扱いにくい（50代/女性/南外）
- ・ 自宅では受信できないため（60代/男性/大曲）
- ・ 足が不自由なので、避難できない一人では（80代/女性/中仙）
- ・ 普段使わなければ肝心なときに使われない（50代/男性/大曲）
- ・ 性能が悪く大不評である（50代/男性/仙北）
- ・ ラジオで良く聞くが、無償ではないと今回知った（30代/男性/神岡）

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

○コミュニティFM「FMはなび」は、地域の元気なまちづくりを応援する市民参加型の放送局として、また、大きな災害時に被害状況や避難情報、被災後のライフライン情報などの地域の情報発信手段として、市が設置し、市の第3セクターである(株)TMO大曲が運営する公設民営のラジオ局として平成27年8月に開局した。

開局から約3年を経た今回の調査では、FMはなびを「聴いたことがない」と回答した方が4割、緊急時の情報入手手段として「FMはなび」を利用している方は1割強という結果だった。

市では、緊急時以外にもFMはなびを行政情報の発信手段として利用しており、これまでも、市民に対する広報PRをはじめ、難聴地域解消のための中継局の整備や、今年度からは、FM放送が受信しにくい世帯への屋外用外部アンテナ等設置工事の補助制度を開始し、FMを聴くための環境整備にも努めている。

非常時の情報入手手段の一つとして市民のみなさんにより広く認知していただくためにも、FMはなびを普段から身近に感じていただけるよう、市としてどのようにPRしていけるか運営会社と共に検討していきたい。

○大仙市防災ラジオは、FMはなびの電波を利用して、緊急放送を受信すると自動的に電源が入る仕組みとなっており、緊急時の市からの避難情報や災害情報の伝達手段の一つとして平成28年10月から運用を開始した。これまで、避難行動に支援を必要とする方や、それらの方々の利用施設、官公庁等に無償で貸与しているほか、購入希望者には半額を補助する制度（販売価格14,000円に対し7,000円の補助）を設け、普及に努めている。

今回の調査で、緊急時に自動で電源が入る「防災ラジオ」の有効性については約9割の方が「有効だと思う」と回答している一方で、3割以上の方が「防災ラジオを「知らなかった」と回答している。

また、防災ラジオの導入コストについては、「無償なら利用する」と回答した方が5割を超えているほか、「金額次第では購入する」と回答した方の多くは「5,000円以下」と回答しており、市民にとって現在の実質購入価格7,000円は高いと考えられていることがわかる。これらのことから、防災ラジオが認知されるよう、その有効性をさらに周知するとともに、無償で貸与する対象者や販売価格などの見直しについても検討していきたい。

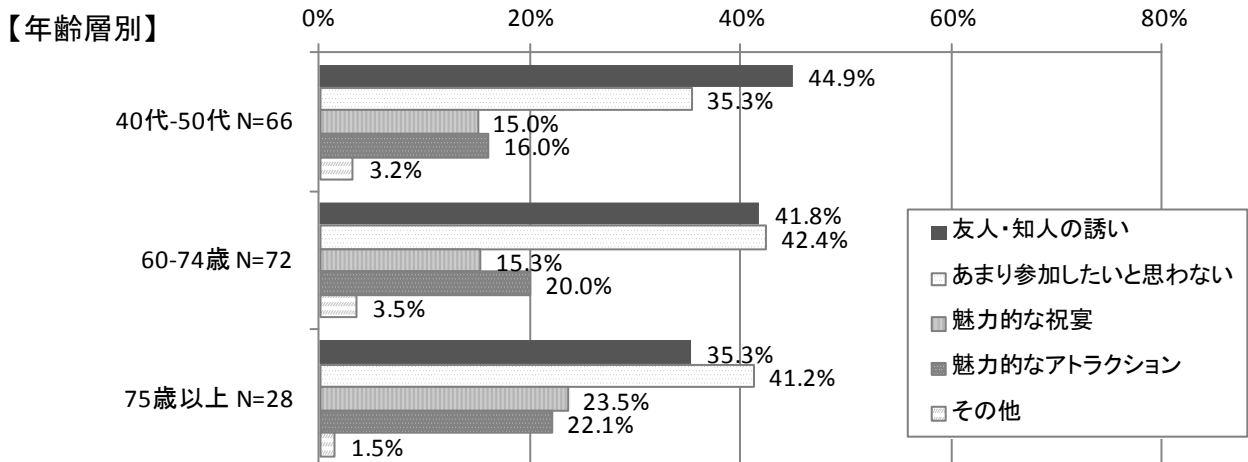
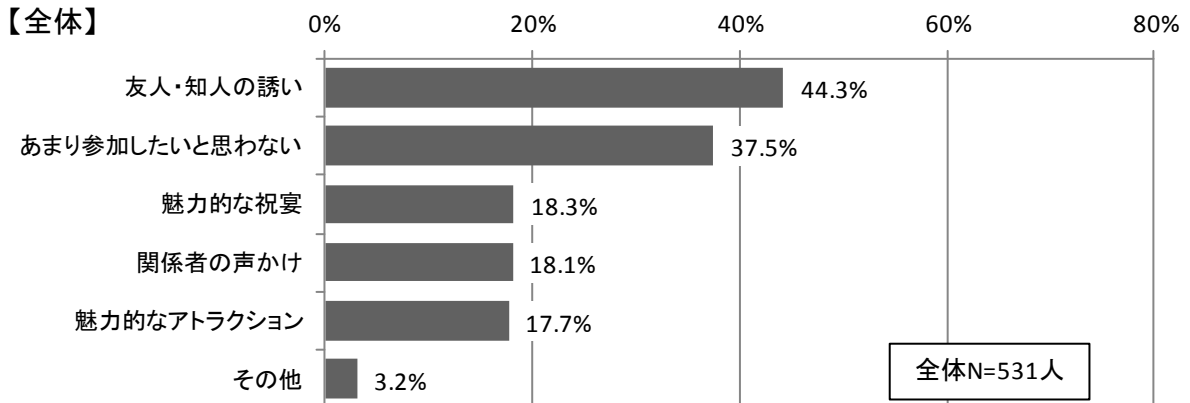
○緊急時の市の情報発信手段について、自宅での防災ラジオの導入に関しては約1/4の方が「必要性を感じない」と回答しており、その約7割が他の情報手段により情報を入手すると回答している。また問2の結果からも、市民の情報入手手段が多様であることが確認できる。このことから、今後も緊急時の市からの情報伝達手段の拡充に努め、あらゆる手段で市民に情報提供できるよう情報発信の体制整備をしていきたい。

3.1.3 敬老の日事業について

(健康福祉部社会福祉課)

- ◆ 調査目的： 敬老の日事業として行っている敬老会や長寿祝金について、高齢化による対象者の増加や敬老会の参加率の低下などを受け、今後の事業の方針を検討するため、幅広い年代のみなさんから本事業に対する意見を調査する。

【問1】あなたは、どのようなきっかけがあると敬老会に参加すると思いますか。
(複数回答可)

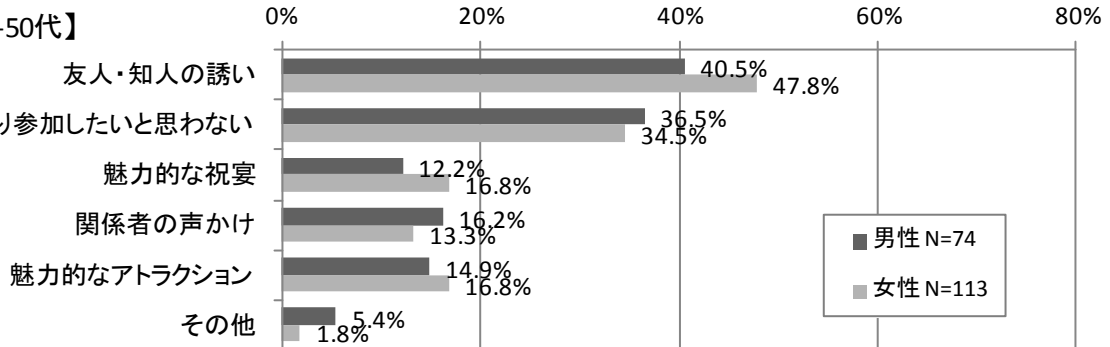


■ その他の回答

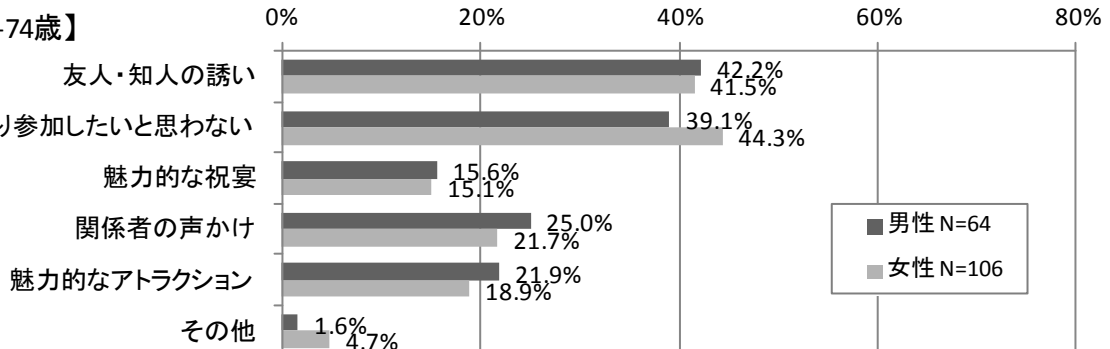
- ・ 規模が大きくなると参加しづらいのでは？ (40代/男性/大曲)
- ・ 地区を細分化した方がよい (65-69歳/女性/西仙北)
- ・ 開催場所が近場 (20代/女性/協和)
- ・ 送迎・交通手段の確保
(20代/女性/中仙、40代/男性/大曲、40代/男性/太田、50代/女性/大曲)
- ・ 車いす移動などの介助 (70-74歳/女性/南外)
- ・ 敬老会という名称の変更 (70-74歳/女性/大曲)
- ・ 祝金 (30代/女性/大曲)
- ・ 自分自身健康であれば (50代/女性/大曲)
- ・ 実感が分からずよくわからない (60-64歳/男性/神岡、65-69歳/女性/大曲)

【年齢層 男女別】

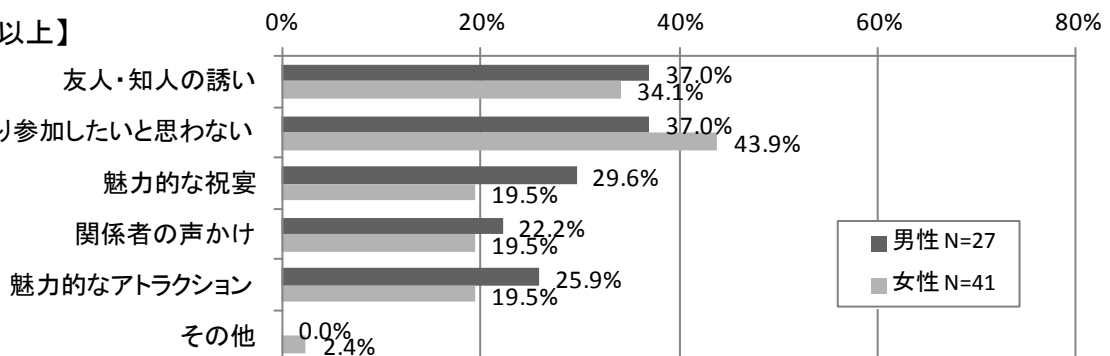
【40代-50代】



【60歳-74歳】



【75歳以上】

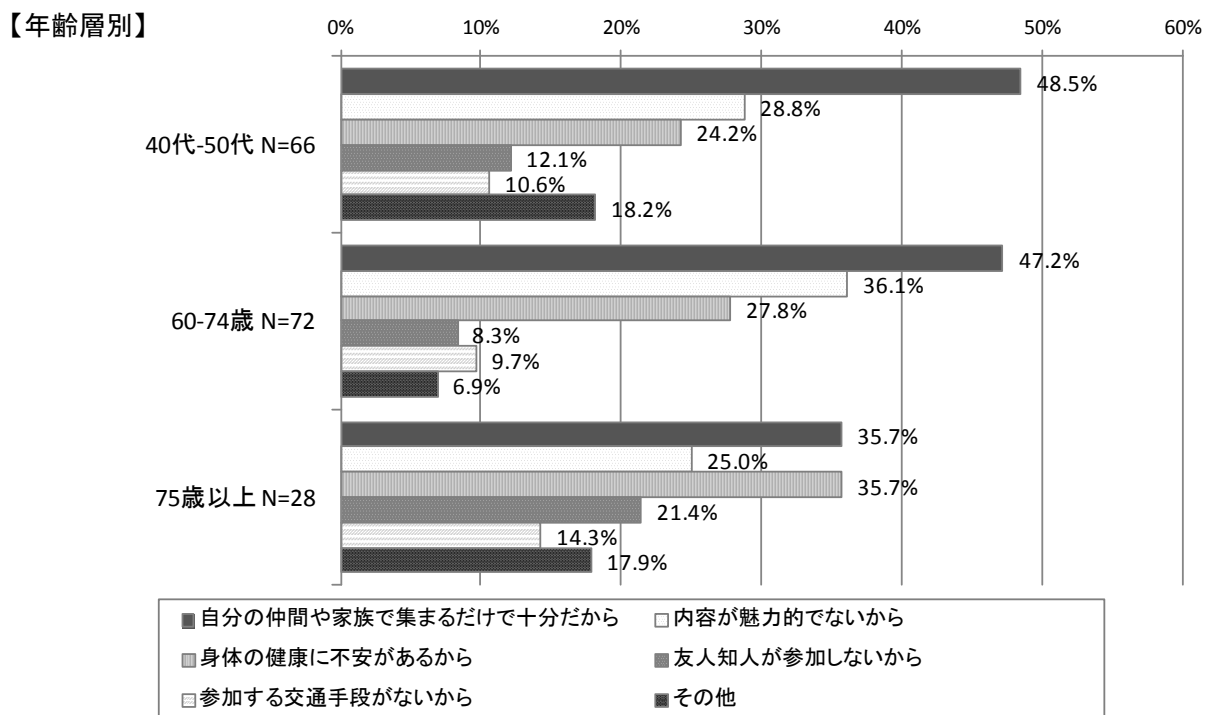
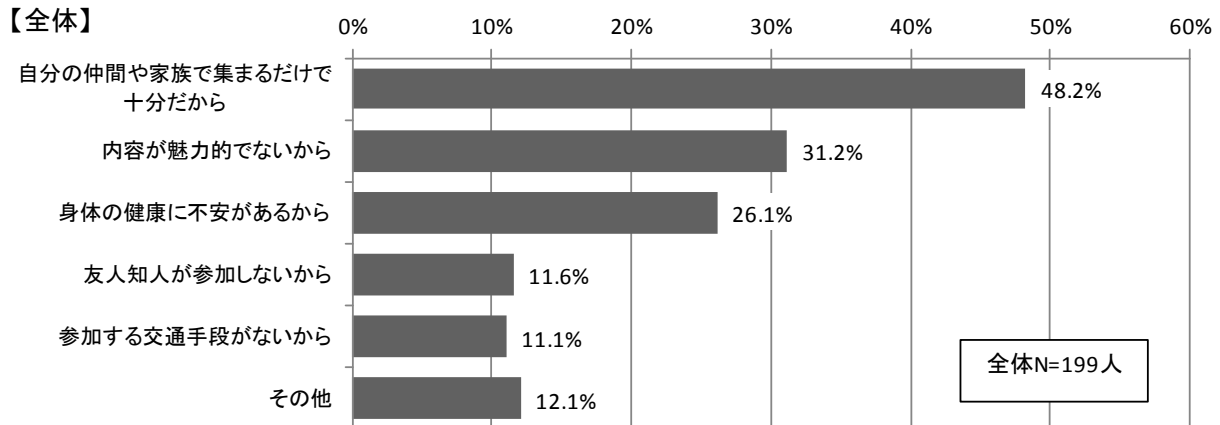


○全体では、「友人・知人の誘い」が最も多く 44.3%、次に「あまり参加したいと思わない」が 37.5%となっている。

○年齢層別で見ると、40代から50代の年齢層では全体の傾向と同様で、「友人・知人の誘い」が最も多く 44.9%、次に多いのは「あまり参加したいと思わない」で 35.3%となっている。

○60歳から74歳までの年齢層では、「友人・知人の誘い」が 41.8%、「あまり参加したいと思わない」が 42.4%で 0.6ポイントの差だが「あまり参加したいと思わない」が上回っている。75歳以上でも「友人・知人の誘い」が 35.3%、「あまり参加したいと思わない」が 41.2%で、「あまり参加したいと思わない」が 5.9ポイント上回っている。

【問1-1】問1で「あまり参加したいと思わない」と回答した理由は何ですか。
(複数回答可)



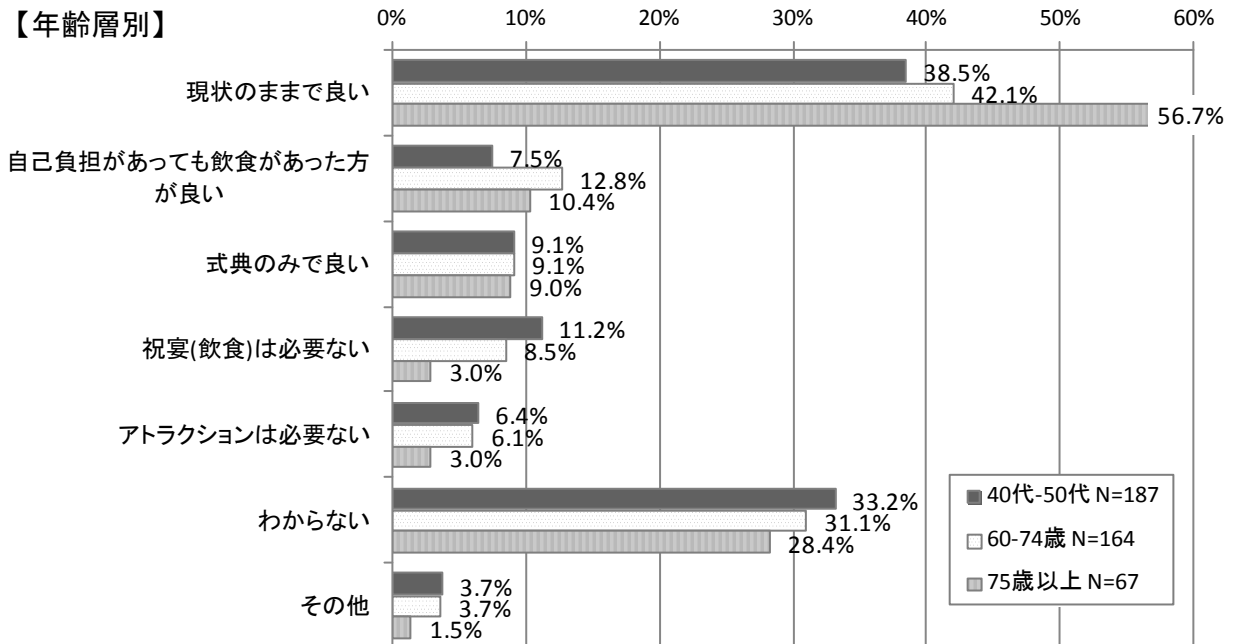
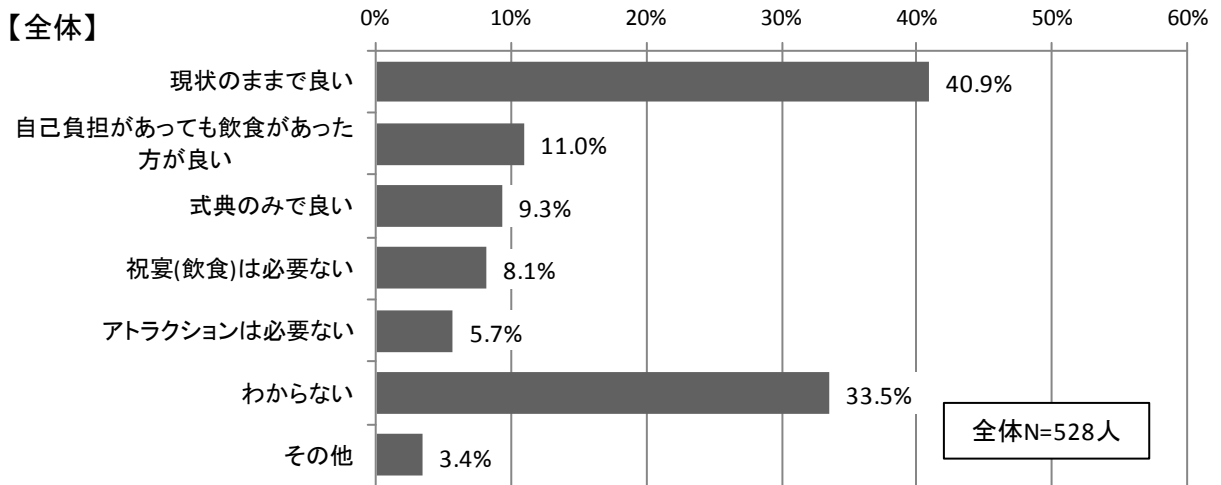
■ その他の回答

- ・必ず出席とか、継続して、とか、しぼりがきつそうだから (40代/女性/仙北)
- ・敬老会という名称が嫌 (30代/女性/大曲)
- ・高齢になると、内容よりも誰とやるか、だと思ふ。知らない人や慣れない人とは気が引けるのではないか。現実的ではないが、ある程度強制力がないと参加者は増えないと思う。(20代/女性/大曲)
- ・会場の禁煙が確認できていない (75-79歳/男性/大曲)
- ・お酒を飲まないから (75-79歳/女性/協和)
- ・案内をみて判断する (75-79歳/女性/協和)
- ・手話が必要だから (65-69歳/女性/中仙)
- ・認知症気味で普段から人の集まる所に行きたがらない (50代/女性/太田)
- ・嫌だから、面倒だから (40代/女性/大曲)
- ・ (40代/男性/大曲、50代/男性/南外、60-64歳/女性/神岡、60-64歳/女性/大曲)
- ・ (敬老会の) 目的が不明 (50代/男性/大曲)
- ・本人でなく周囲の満足にしかになっていないケースが多い (50代/男性/大曲)
- ・ (敬老会は) 必要無いと思う (70-74歳/女性/大曲、75-79歳/男性/中仙)
- ・わからない (40代/女性/大曲、50代/女性/大曲、50代/女性/大曲)

○全体では、「自分の仲間や家族で集まるだけで十分だから」が最も多く 48.2%、次に「内容が魅力的でないから」が多く 31.2%、「身体の健康に不安があるから」が三番目に多く 26.1% となっている。

○年齢層別で見ると、40代から50代、また60歳から74歳の年齢層では、回答が多い順に「自分の仲間や家族で集まるだけで十分だから」、「内容が魅力的でないから」、「身体の健康に不安があるから」となっており、全体と同じ傾向だが、75歳以上の年齢層では、「自分の仲間や家族で集まるだけで十分だから」と「身体の健康に不安があるから」が同じ割合で最も多く 35.7%となっている。

【問2】あなたは、敬老会の内容についてどう思いますか。（複数回答可）



■その他の回答

- ・ 参加するのが嫌でしないわけではないと思うので、地域の人がフォローしてあげれば良いと思う
(20代/女性/南外)
- ・ 送迎してほしい (30代/男性/神岡)
- ・ 鯉の甘煮をつけてほしいです (80代/男性/大曲)
- ・ 介護食だと食べるものがないのでは (70-74歳/女性/南外)
- ・ 敬老会は必要ない、必要性を感じない
(40代/男性/大曲、50代/女性/中仙、65-69歳/男性/大曲、70-74歳/男性/協和)
- ・ 必要ないと思う。在宅や施設でやってあげられるように支援すればいいのでは
(60-64歳/女性/中仙)
- ・ なくても良いのでは？又は節目だけにして予算削減し、一時金支給とかに充ててもいいのでは？
(50代/女性/大曲)
- ・ 式典と記念品だけで良いと思う (70-74歳/女性/大曲)
- ・ 記念品はいらない (40代/女性/太田)
- ・ 希望者のみ自己負担の飲食があれば良い (20代/女性/大曲)
- ・ 内容などわからない
(30代/女性/大曲、40代/女性/大曲、50代/女性/仙北、50代/女性/大曲)

○全体では、「現状のままで良い」が最も多く 40.9%、次に多いのは「わからない」で 33.5% となっている。

○年齢層別では、いずれの年代も「現状のままで良い」が最も多く、次に「わからない」が多くなっているが、年齢層が上がるほど「現状のままで良い」と回答する割合が高くなり、年齢層が下がるほど「わからない」の割合が高くなっている。

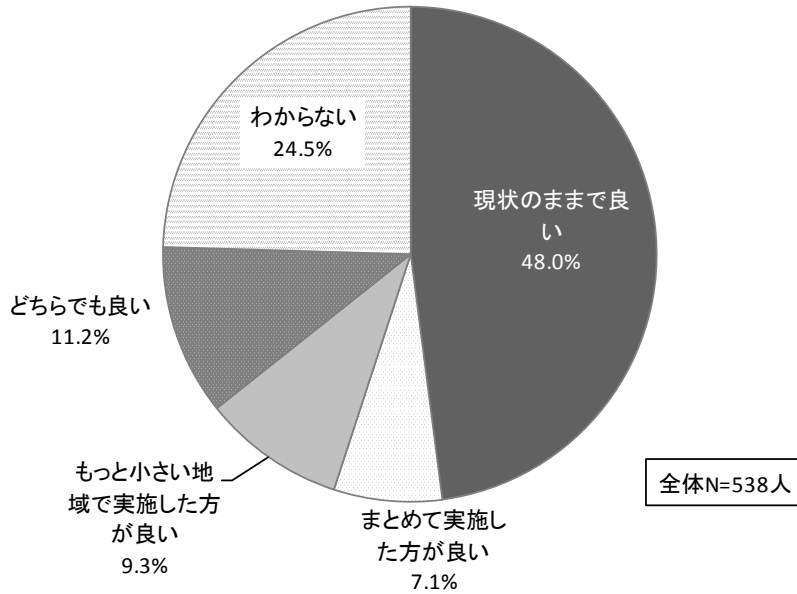
○祝宴（飲食）については、全体では「自己負担があっても飲食があった方が良い」が 11.0%、「祝宴（飲食）は必要ない」が 8.1%となっている。年齢層別では、「自己負担があっても飲食があった方が良い」と回答した割合が最も高いのは 60歳から 74歳までの年齢層で 12.8%、「祝宴（飲食）は必要ない」と回答した割合が最も高いのは 40代から 50代の年齢層で 11.2%となっている。

○式典について、「式典のみで良い」と回答した方は全体で 9.3%となっており、40代以上の年齢層別での回答割合の変化は見られない。

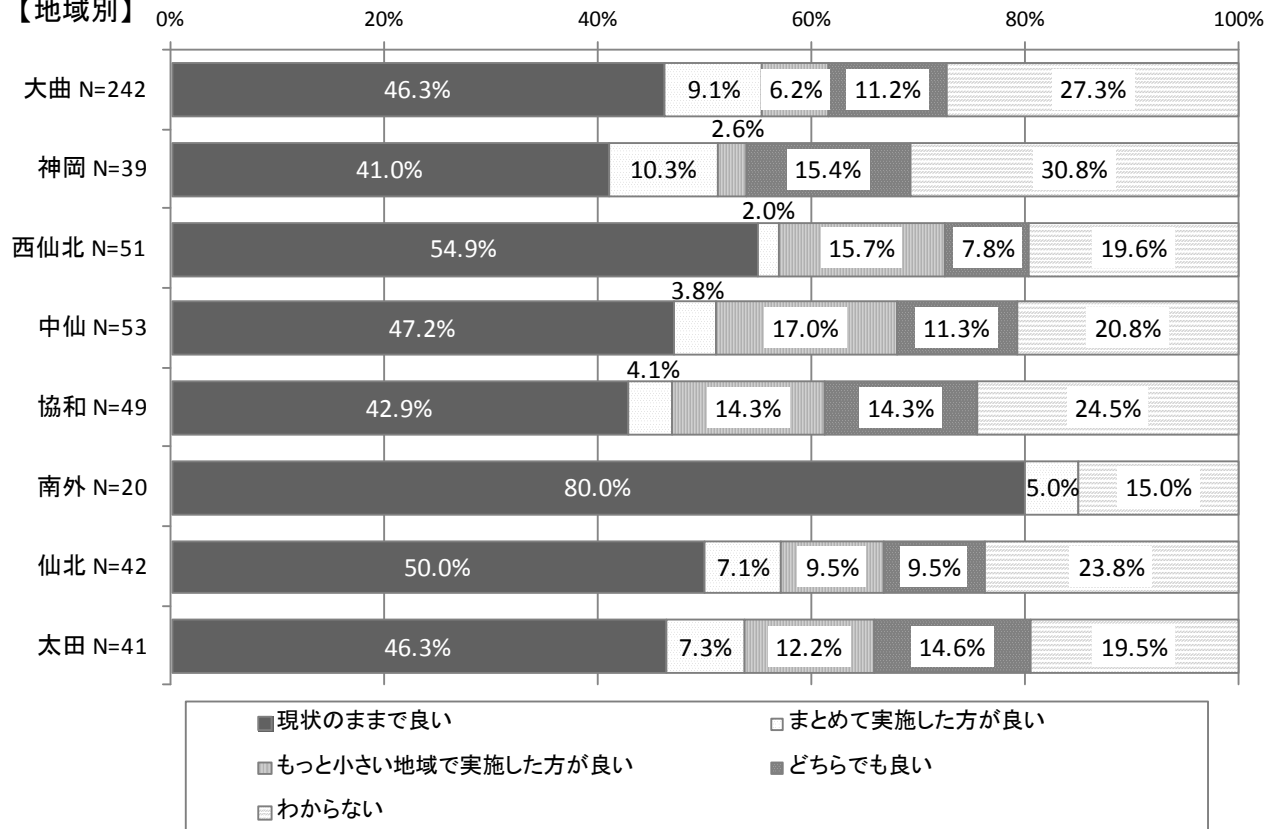
○アトラクションについて、「アトラクションは必要ない」と回答した方は全体で 5.7%となっており、40代以上の年齢層別では、75歳以上で最も低く 3.0%となっている。

【問3】 敬老会は現在、市内15地区（大曲7、西仙北2、他6地域各1）毎に実施していますが、地区割りについてどう思いますか。

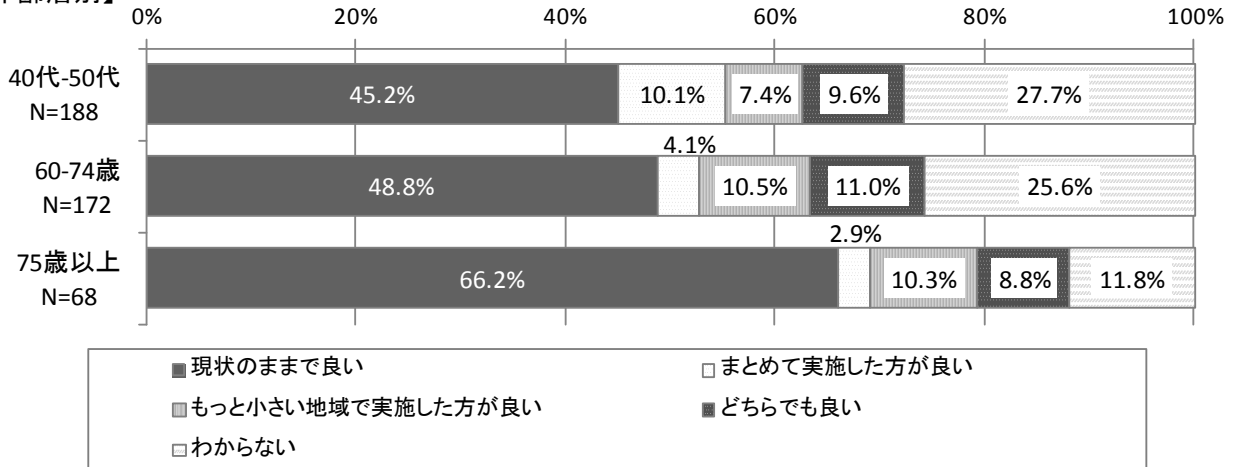
【全体】



【地域別】



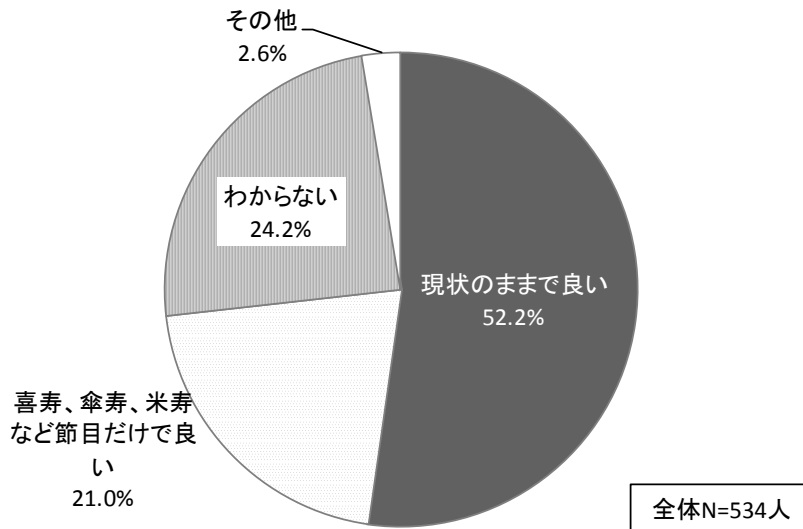
【年齢層別】



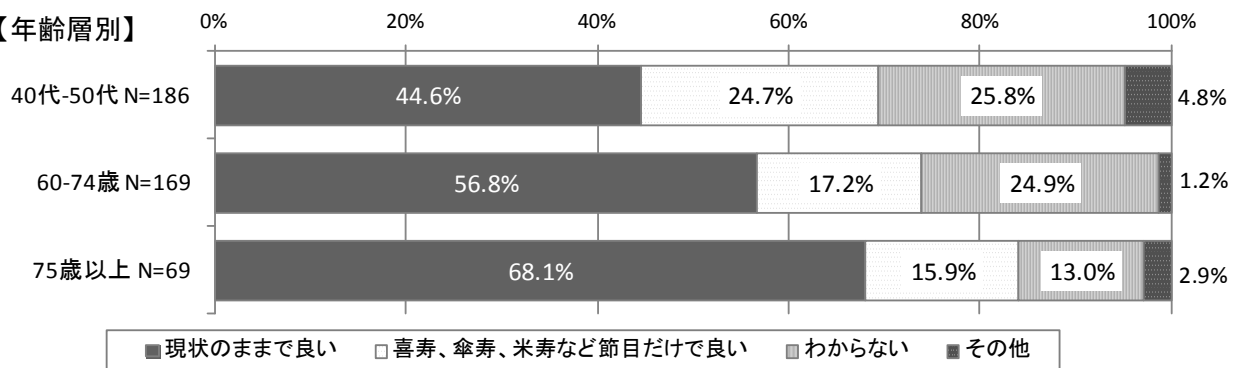
- 全体で最も多いのは、「現状のままで良い」で48.0%、次に「わからない」が多く24.5%となっている。
- 地域別だと、地域によってばらつきはあるものの、各地域とも「現状のままで良い」と回答している方の割合が最も多く、「わからない」が次に多くなっている。
- 地域別で「現状のままで良い」と回答した割合が最も高いのは南外で80.0%、次いで西仙北で54.9%となっている。「まとめて実施した方が良い」と回答している割合が最も高いのは神岡で10.3%、「もっと小さい地域で実施した方が良い」と回答している割合が最も高いのは中仙で17.0%となっている。
- 年齢層別では、「現状のままで良い」と回答した割合が最も高いのは75歳以上の年齢層で、66.2%となっている。「まとめて実施した方が良い」と回答した割合が最も高いのは40代から50代の年齢層で10.1%、年代が上ると割合が低くなり、75歳以上では2.9%となっている。「もっと小さい地域で実施した方が良い」と回答した割合は、60歳から74歳までの年齢層で10.5%と75歳以上で10.3%となっておりほぼ同じ割合で、40代から50代の年齢層では7.4%となっており、若干低い。

【問4】 敬老会は現在 76 歳以上の方全員を対象に実施していますが、このことについてどう思いますか。

【全体】



【年齢層別】



■その他の回答

- 必要ない (40代/男性/大曲、50代/男性/大曲、50代/女性/神岡、65-69歳/男性/大曲、75-79歳/男性/中仙)
- もっと60歳とかからやればよいのでは (40代/女性/太田)
- 70歳からにして下さい。76歳からだ。足が痛いなど。大曲まで行けるか心配 (65-69歳/女性/太田)
- 70歳くらいからでもいい (30代/男性/大曲)
- 65歳からでもいいのでは (50代/男性/協和)
- 年齢を上げてても良い (40代/女性/仙北、50代/女性/仙北)
- 80歳以上でよい (40代/男性/大曲)
- 区切りごとに行い、費用を抑える (50代/女性/中仙)

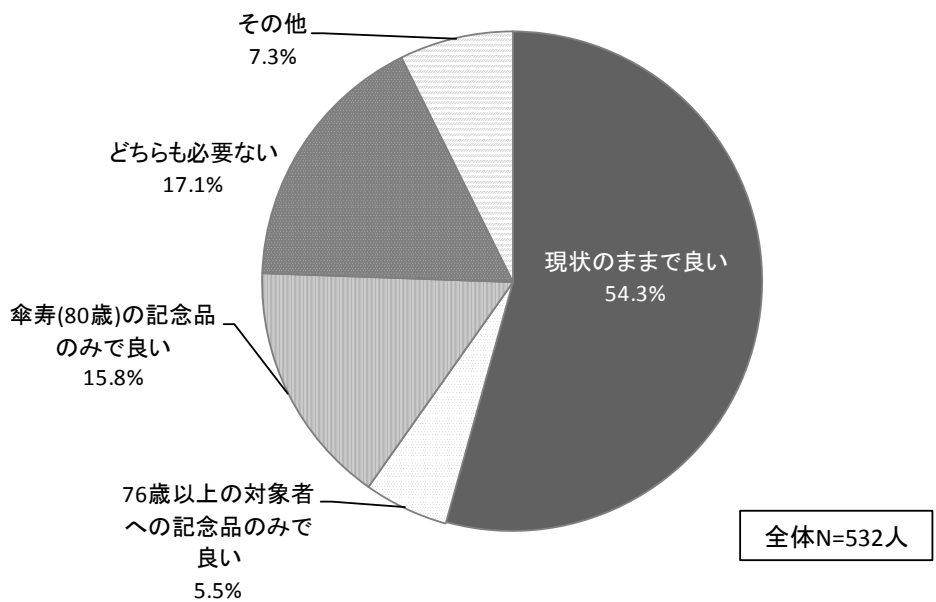
○全体では、「現状のままで良い」と回答した方が最も多く 52.2%、続いて「わからない」が 24.2%、「喜寿、傘寿、米寿など節目だけで良い」が 21.0%となっている。

○年齢層別では、「現状のままで良い」と回答した割合が最も多いのは 75 歳以上で 68.1%、最も低いのは 40 代から 50 代の年齢層で 44.6%となっており、23.5 ポイントの差がある。

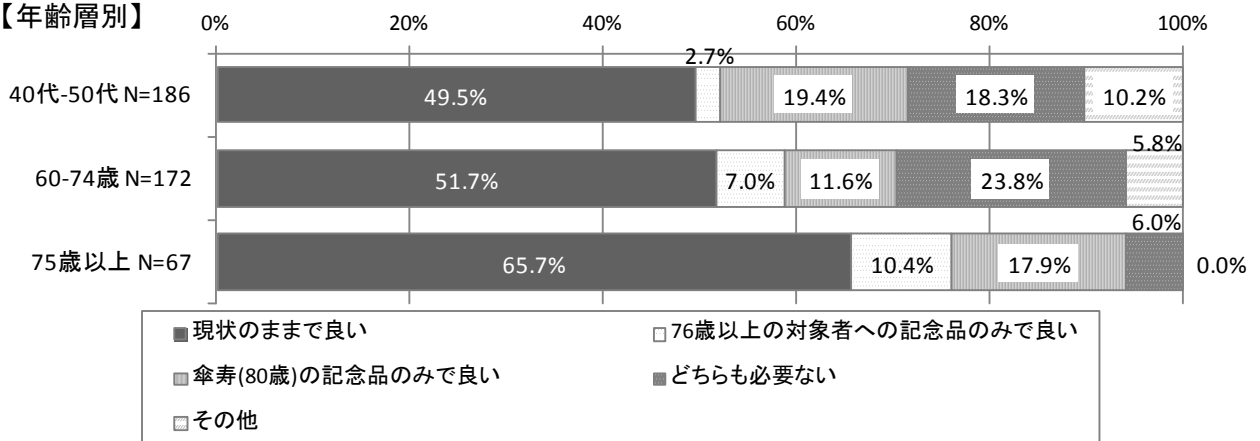
○年齢層別で、「喜寿、傘寿、米寿など節目だけで良い」と回答した割合が最も多いのは 40 代から 50 代の年齢層で 24.7%、「わからない」と回答した割合が最も多いのも 40 代から 50 代での年齢層で 25.8%となっている。「喜寿、傘寿、米寿など節目だけで良い」「わからない」のいずれも、年齢層が上がるほど割合が低くなっている。

【問 5】 敬老会の記念品（現在は 76 歳以上全員に手ぬぐい、80 歳の傘寿となる方に湯飲み）についてどう思いますか。

【全体】



【年齢層別】



■その他の回答

- ・ 記念品を考え直した方がよい (30代/女性/大曲、40代/女性/太田、50代/男性/南外、50代/女性/西仙北、50代/女性/大曲、60-64歳/男性/大曲、40代/男性/仙北)
- ・ もらってありがたいなあと思う品が良い。手ぬぐいなどタンスの奥にしまっていると聞いたことがある。(60-64歳/女性/大曲)
- ・ 別の利用価値のある物が良い (65-69歳/女性/大曲)
- ・ 手ぬぐいはいらぬ。もっと実用的なものか、違うものがない。手ぬぐいなら不要。
(30代/女性/大曲)
- ・ 手ぬぐいでなく老人が使う物にしたほうがよい (タオル、シャンプー、リンス、薬入袋)
(65-69歳/男性/大曲)
- ・ 手ぬぐいは使わない (20代/女性/南外、60-64歳/男性/中仙)
- ・ 温泉の入浴券 (50代/男性/大曲)
- ・ クーポン券や温泉入浴券等の方がよい (40代/男性/大曲)
- ・ 商品券など (50代/男性/協和、60-64歳、女性、協和)
- ・ 自分がもらって本当にうれしいものなのか考えてもらいたい。商品券でも良いのでは
(50代/女性/西仙北)
- ・ 手ぬぐいは魅力的でない。大仙市の特産品である味どうらくなどのパッケージを変えて渡してもらった方が嬉しいと思う。(30代/女性/西仙北)
- ・ 大仙市の特産品 (60-64歳/女性/大曲)
- ・ カタログの中から選べるようにする、何個かの中から記念品を選べる (30代/女性/中仙)
- ・ 記念写真 (集合写真) や写真入りの色紙が良いと思う。デイサービス等を利用している高齢者は良い写真がありますが、在宅生活のみ的高齢者は正装での写真が少なく遺影選びが大変そうです。(50代/女性/南外)
- ・ 現金がよい (40代/男性/大曲、50代/女性/大曲 2名)
- ・ 毎年違うものが良いと思う (30代/女性/大曲)
- ・ 節目の歳月に行く (30代/男性/大曲)
- ・ 毎年でなくても良い (50代/女性/仙北)
- ・ 毎年の手ぬぐいは必要ないと思う (50代/女性/神岡)
- ・ 対象者だけで良い物を (60-64歳/女性/中仙)
- ・ 節目の方へ記念品 (20代/女性/大曲)
- ・ スタンプカードを作って来年も元気に参加する意欲を持たせる (50代/女性/大曲)
- ・ 必要無し (70-74歳/女性/大曲)
- ・ わからない (10代/女性/協和、40代/男性/大曲、50代/女性/大曲、50代/男性/大曲)

○全体では、「現状のままで良い」と回答した方が最も多く 54.3%、次に多いのは「どちらも必要ない」で 17.1%となっている。

○年齢層別では、いずれの年齢層でも「現状のままで良い」が最も多く、年齢層別で「現状のままで良い」と回答する割合が最も高かったのは 75歳以上で 65.7%となっている。

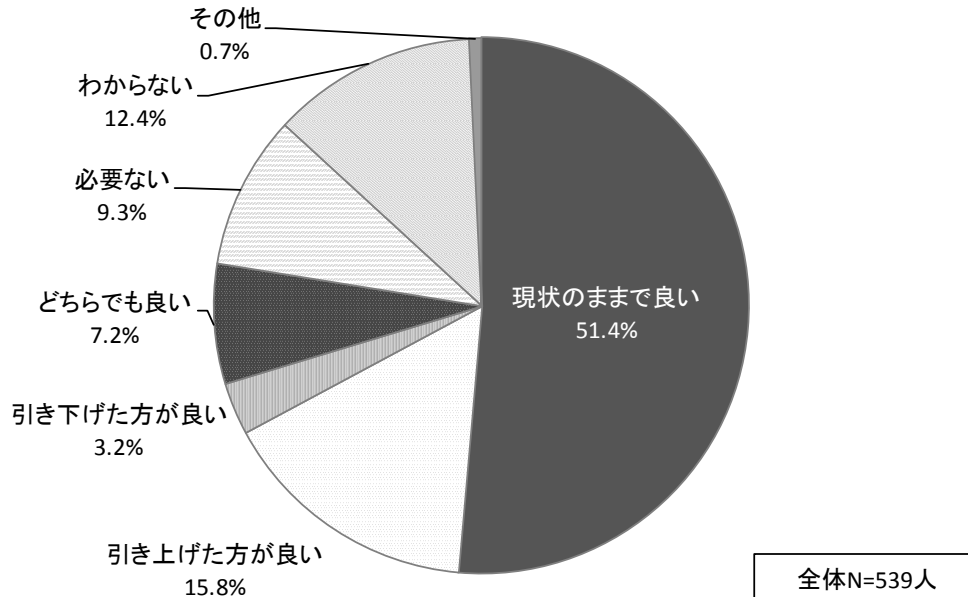
○40代から50代の年齢層では、「現状のままで良い」の 49.5%が最も多く、続いて「傘寿(80歳)の記念品のみで良い」で 19.4%、「どちらも必要ない」で 18.3%となっている。

○60歳から74歳までの年齢層では、「現状のままで良い」の 51.7%が最も多く、続いて「どちらも必要ない」で 23.8%、「傘寿(80歳)の記念品のみで良い」が 11.6%となっている。

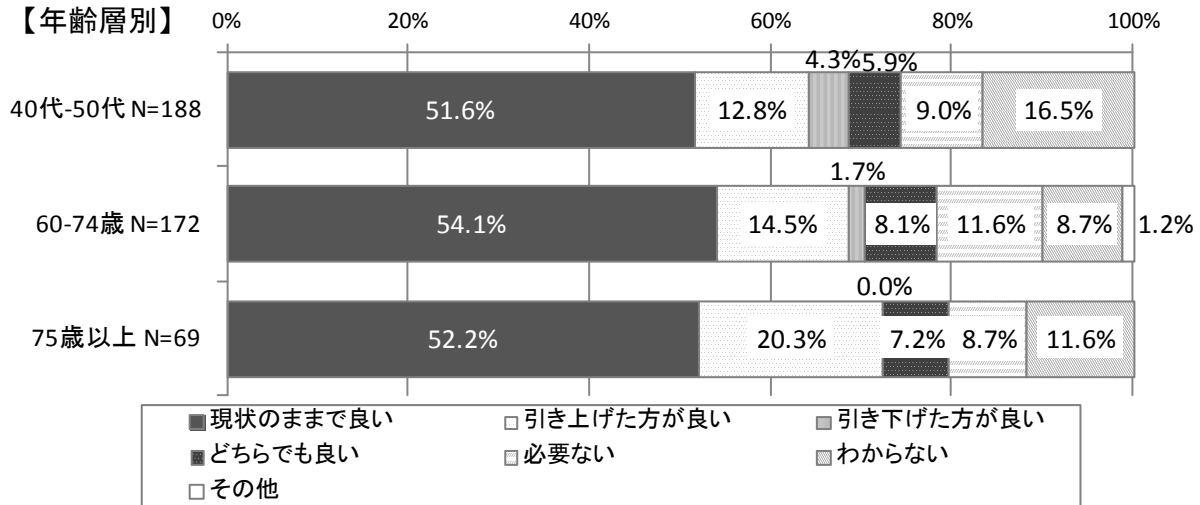
○年齢層別で、「どちらも必要ない」と回答した割合は、60歳から74歳までで最も高く 23.8%、75歳以上で最も低く 6.0%となっており、17.8ポイントの差がある。

【問6】市の長寿祝金の額（100歳：20万円（施設入居者は10万円）、88歳：2万円）について
 どう思いますか。

【全体】



【年齢層別】



■その他の回答

- ・ 100歳10万、88歳8万（30代／女性／中仙）
- ・ 88歳は必要ない、100歳は現状で良い（60-64歳／女性／西仙北）
- ・ 88歳は引き上げた方がいい（20代／女性／神岡）
- ・ 在宅と施設を分けることをやめるべき（65-69歳／女性／大曲）

○全体では、「現状のままで良い」が最も多く 51.4%、次に「引き上げた方が良い」で 15.8% となっている。

○年齢層別では、40代から50代、60歳から74歳、75歳以上のいずれも「現状のままで良い」が最も多く、回答率は 51.6%から 54.1%とおおむね同じ割合となっている。

○「引き上げた方が良い」は年齢層が上がるほど割合が高く、75歳以上では 20.3%となり、最も低い 40代から50代の年齢層の 12.8%と 7.5ポイントの差がある。

【問7】市が行っている敬老の日事業（敬老会・長寿祝金）について、ご意見などをご自由にお書き下さい。

敬老会について

- 参加者が減っているようですが、一人暮らしの方などで敬老会を楽しみになさっている方もいるかもしれません。実際に 76 歳以上の方にアンケートをとるなどして意見を聞いてみるのもいいかもしれませんね。（40代/女性/大曲）
- 働くことができなくなったら皆が老健へ入れるようになれば、敬老の日の事業も参加する人が増えるのでは。（40代/女性/太田）
- 敬老会等一部の方々の負担は大きくないだろうか。老人をあてにしすぎ。もう少し、市の職員の手伝いがあっても良い。（20代/男性/太田）
- 市内 15 地区で行われているのであれば、あえて、子供たち（孫たち）のいる小学校中学校を会場に交流も含めて祝うことで参加人数の増加と子供たちとの交流をとした優しく強い心を育む事業となるのではないだろうかと考えます。（30代/女性/中仙）
- 若者も参加させて交流するのはどうですか？（50代/男性/大曲）
- 主人の両親は、一度もこの事業に参加したことがありません。（共に 80 歳以上で健康です）このような事業ではなく、若い方に必要な事業にお金を使ってもらいたいと常々申しております。生きていることに感謝することは大事なことです。事業していただくことが「あたりまえ」と考えている方が多いことが残念です。私自身も敬老会に参加したいとは思っておりません。（50代/女性/神岡）
- 健康面、経済面でも差がついているし、人の少ない地域ほど疎外感があるので参加しにくい。（80代/女性/太田）
- 自治会ごとに行きたい。（少しの補助金と参加会費ではどうか）（80代/男性/地域不明）
- 地域ごとに行った方が参加しやすいと思う。（50代/女性/中仙）
- 送迎バスの段差が高く、足腰の弱くなった老人には乗り降りが容易ではありません。乗り降りしやすい乗り物なら参加する人も増えるのではないのでしょうか。（50代/女性/太田）
- 夫婦で参加するのが楽しみです！（80代/男性/大曲）
- 参加者の年齢は引き上げないで欲しい。多分、楽しみに初出席を待っている方もいるのでは。（50代/女性/協和）
- 敬老の日楽しみにしている。（80代/女性/協和）
- 76 歳から参加させてもらっています。元気で長生きして敬老の日を待っています。飲食もいただきました。有り難うございます。今年も敬老の日を待っています。（80代/女性/中仙）

- 敬老会を祝う方々が年配者なのが気の毒です。(40代/女性/西仙北)
- 曾祖母が友人に誘われ毎年行っています。高齢になると誰かから誘われないと行かないと話していました。参加率の低下と言っていますが、人数が多くて部屋に入ると動けなくなると話していました。事前に集計をとった方がいいのではないのでしょうか。(30代/女性/大曲)
- 敬老会をどうしても続けて行かなくてはならないとなると、だらだら？やっているより節目のときだけでいいと思う。あとはいっこうにやらないとか。(60-64歳/女性/神岡)
- 父が76歳になりましたが、認知症気味で普段から人の集まる所には行きたがらず、母が連れ出してようやく外出するくらいなのでまして一人では行かないと思います。せっかく集まるなら自己負担があっても飲食があった方がよいと思いますが、人が来ないなら無理して続けてやらずともいいと思います。金婚式には喜んで参加していたので、喜寿、傘寿、米寿など、節目でのご招待なら、うれしくもありません。記念品については、物にあふれた世の中なので、現在のものならいらなくもありません。(50代/女性/太田)
- 記念品は、敬老会に行かれた76歳だけでいいと思う。(80代/女性/大曲)
- 自分の友人や家族で集まってお祝いしようと思っているので、敬老会は不要だと思っています。(40代/男性/大曲)
- 来賓の方のあいさつが多く、長い。高齢者になるといやになる。最近はずっと出席していない。(80代/男性/協和)
- 会場によって座る場所もあったりするようですが、参加人数に合わせて宴会場とかを利用し、イス席の方が良いと思う。(50代/女性/中仙)
- 参加できない人もいるので考えて欲しい。(車いすや障害の利便性が悪い)
(75-79歳/女性/西仙北)
- 出席できない人にはどうしているのでしょうか。家族に気を遣い遠慮して楽しく食べられていない人もいる。この日ばかりは弁当とお茶、お祝いの日本酒1本でもあれば喜ぶと思う。
(70-74歳/女性/太田)
- 一緒に行く人がいないとか場所が遠いとか、身体の具合とか、いろいろあると行かない。近場で知っている人がいると又考えが変わると思うが、元気で金がある人は別だが年をとっていくとまた行くのが億劫になると思う。(75-79歳/女性/大曲)
- 時代とともに敬老の考えも変わってきているので、昔と同じ形での式典の必要性が薄くなってきていると思う。また、近隣の付き合いが希薄になり、一人で参加しようとする人は少ないと思う。
(30代/男性/大曲)
- 敬老会式典の開催は意義のあることと思いますが、高齢になる程出席できる方が少なくなるでしょう。形だけの記念品は不要かと思います。(50代/女性/仙北)
- 参加に意義あり。(65-69歳/男性/大曲)
- 昔に比べて元気な方が増えている。76歳以上でも車を運転し、グランドゴルフにも行き、買い物にも行く。そんな方は年寄りだけど年寄り扱いしてもらいたくないから敬老会には参加しない。今年76歳で9月にはお知らせが来るが行かないだろう。もしかしたら自分の親世代の方と敬老会が一緒だったと考えれば、行かないと思う。楽しみにしている方々もいるだろうから、会は続けていってください。(40代/女性/仙北)
- 参加率が「4分の1」で良いと思う。「率」をあげたいのは市側の目線。みんなに参加して欲しいのなら率25%のイベントをいろいろな方面で4つやればいいのではないか。(50代/男性/大曲)
- 施設に入っている人もいるし、誰かに付き添ってもらわないと行けない人もいるので、参加率が低下しているのは仕方がないのではないか。(40代/女性/仙北)
- 参加したことが無いのでよく分からない。(60-64歳/男性/大曲)
- 今年から敬老会への参加年齢となりわかりません。(75-79歳/女性/太田)
- 敬老会の様子など近所に聞く方がおらずよく分かりません。(50代/女性/大曲)

- ここ数年は家族に76歳以上がおらずよく分かりません。ただ、参加のためのバス待ち等の方々を見ると、楽しそうな様子は伝わってきます。(50代/女性/南外)

長寿祝金について

- 長寿祝金はもらえば嬉しいだろうが、高齢化が進む中、その額を市の財政から捻出するのはこのご時世厳しいのではないですか？大雨被害の跡もまだ目に見えて改善されていない現状です。(20代/女性/南外)
- 長寿祝金の額が少なすぎる気がします。昔はもっと高かったのでは。(30代/女性/大曲)
- 長寿になっているが、88歳は別にいらなと思う。ほとんど本人でなく家族のお金になっているから、あまり意味がないように思える。(30代/女性/大曲)
- いただいても家族が取り上げたりすると聞いたことがあります。生活用品とかが良いのでは。(60-64歳/女性/大曲)
- 長寿祝金は10万~15万くらいで良いと思う。(10代/女性/大曲)
- 祝金について 記念品ぐらいにしたらよいのではないか。(70-74歳/男性/大曲)
- せっかく長生きしてくれている事だし、めでたいので、長寿祝金は引き上げて、また活力になれるようにした方がいいのでは？(60-64歳/女性/協和)
- 育児手当はどのように使われているかわからないが、老人は生活費や医療などに使えるので祝金はUPしても良いと思う。(60-64歳/女性/中仙)
- お祝いされるべき方のために使われず、周りの方が使われるケースが気になります。(50代/男性/大曲)
- 施設入所者の差額はなぜか？祝金はなぜ88歳と100歳か？(50代/男性/大曲)
- 私が知っているのは100歳で100万円と聞いていました。20万とのことですが、本人の長生きもあります、家族にもご苦労様の気持ちで50万にして頂きたい。(65-69歳/女性/太田)

事業全般について・その他

- 市が行っていることを知らなかった。もう少し発信が必要なのではと思います。(30代/男性/大曲)
- もうちょっと周知が必要かと思う。実際、「敬老の日事業」の内容については、初めて知りました。(20代/女性/大曲)
- 高齢化に伴い負担が大きくなると思われるので、規模の縮小が望ましいと思う。(40代/男性/仙北)
- そもそも敬老会へ参加している人としていない人との差、地域での差が出るのは、税金の使われ方として不公平だと思います。市全体で祝い金だけでよいのではないのでしょうか。(40代/女性/仙北)
- 今後敬老対象者は年々増えると思いますので、少しずつ見直しをする必要があると思います。(記念品、祝金など)(65-69歳/女性/大曲)
- 現状のままで良いと思う。(75-79歳/男性/大曲)
- 高齢者が年々増え予算も大変でしょうが、それを楽しみに参加している人も多いと思うので、是非継続して実施してほしいと思います。(60-64歳/女性/大曲)
- 予算が無いのなら公表し中止するべきだが、その分職員、議員の給与UPになるのは反対である。(60-64歳/男性/大曲)
- 普段から老人を敬う市政であって欲しいですし、敬老の日事業は国民の祝日の一環として行うイベントであって良いかと思います。(50代/女性/西仙北)

- 現状のままで良いので、よろしくお願ひします。(80代/男性/大曲)
- すばらしい事業だと思います。でも、どうせなら、1日のイベントよりも、1泊2日の温泉でゆっくり人生のアカを落とし、心豊かに「御苦勞様」という意味で、お茶した方がよい思い出になるのではないのでしょうか。(数回に人数分けて、地元の温泉利用)(60-64歳/女性/西仙北)
- 記念品や祝金はお祝ひされる側はとても嬉しいと思います。義父が敬老会へ行っているようです。毎回いろいろな所へ行っていると思います。おいしいものを頂いていろいろ連れて行ってもらって楽しそうです。私もまだ30年ほどありますが、身体が元気であれば是非地域の方々と交流したいなと感じております。(40代/女性/大曲)
- 楽しみにしている方もいると思います。詳しい内容は分かりませんが、続けて行って欲しいと思います。(60-64歳/女性/協和)
- なくてもいいと思いますが、楽しみにしている方もいますので現状のままで続けては、と思います。(60-64歳/女性/大曲)
- 金品でお祝ひする時代は終わったと思います。(75-79歳/男性/中仙)
- もっと若い人にお金をかけてほしい。(60-64歳/男性/大曲)
- 敬老の日事業についてあまり関心がなかったのですが、これからは強い関心を持ちたいと思います。(75-79歳/男性/大曲)
- 予算について、金額を決めた方がいいと思う。(70-74歳/女性/仙北)
- 参加したことがないので正直回答できない。過去の資料を参考にすると、この事業自体、全体的に見直して良いと思う。(75-79歳/女性/協和)
- 市の財政を考えたら負担が増すだけだと思う。若者の定住のために使うべき。(50代/男性/太田)
- 敬老の日の事業の必要性は感じるが、飲食を伴う経費はどこから出てきているのだろうか。飲食を伴うのであれば、当然個人負担は必要であると考え。もちろん個人差があり、十分な配慮は必要なことではあるが、極端な例えとして生活保護を受けていたとしても学童の通学の見守り、部落内の清掃など地域の活動に対してポイント化してみたり、山菜等の販売で部落内の活動費から補てんできるシステムを考えると、ただ長生きをしたから祝うのではなく、地域に必要な存在で有り続けていてくれることに感謝と敬意を払う日としたい。(60-64歳/男性/大曲)
- ただでさえ医療費を圧迫している高齢者に税金を使う必要はない。使うのなら子どもに。高齢者に何か贈り物をするのなら、家族を伴っての教習所での安全運転講習チケットがよい。どのくらい危険な運転をして、他人に危害を加える恐れがあるのか家族に実感してもらいたい。全国で多発している高齢者による事故は他人事ではない。(30代/女性/大曲)
- これからどんどん長寿社会になる現状で、市に予算が無いなら、無理に続ける必要はないと思う。もっと別の事で長寿者に還元したほうが良いと思う。(50代/女性/大曲)
- 若者達にとっては、今の時代、苦痛と思えるのでは？(50代/男性/協和)
- 祝金をあげても、本人以外の人にかけているようでおもしろくない。記念品はこんなものだったり、カネの方が良かったと言っている。こんな弁当ならこない方がましだとも言っている。(60-64歳/女性/中仙)
- 今現在はこのままで良いと思うが、今後老人が増え、若い人達が減っていることもあり、この先が不安だし今後見直しは必要かと思う。(50代/女性/大曲)
- 高齢化社会、特別視する必要はない。(50代/女性/西仙北)
- 近い将来、現行通りで行くと、老齡の方が増えすぎて式典は別にしても祝金の方が大変になりますので、その対策を市だけの問題にせず、国県レベルで考えていくべきではないでしょうか。(75-79歳/男性/神岡)
- 参加者の市に対する声、社会に対する声を聞きたい。(30代/女性/大曲)
- 今後高齢者が多くなっていくのに、記念品等に税金を使って、今後どうしていくのですか？(30代/男性/神岡)

- 敬老会では弁当はあってもいいが酒は必要無い。楽しいからだろうが悪酔いする方が多い。祝金は本人のものになるより家族のためにしかならない。現金よりも物（紙おむつ等）にした方がいい。（40代／男性／大曲）
- もっと盛り上げていこうぜ！！（20代／女性／中仙）
- 良いと思う。（50代／女性／協和）
- まだ敬老会に入る年齢までは時間があるが、お年寄りの考え方にも個人差があるので、難しいと思う。80代90代でも、常に向上心を持って生活している方もいれば、アトラクショナルな楽しいことだけを求めている方もいるのではないか。デイサービスに通っている方でも、相当な考え方の差があると聞いている。（65-69歳／女性／神岡）
- 今まで続けてきたことを今更変えることは大変だと思うので、このままの方が良いと思います。祝金は、在宅の人には見てくれる家族がいるので家族のためにも多くしても良いのではないのでしょうか。（65-69歳／女性／太田）

◆調査結果まとめ及び今後の方針

- 近年の敬老会への参加率は減少傾向にあり、平成29年度においては、23.9%であった。調査結果からも、全体では「友人・知人の誘い」があれば参加したいと思うと回答した方が多いものの、60代以上になると「あまり参加したいと思わない」方が多いという結果となった。不参加の理由としては、「自分の仲間や家族で集まるだけで十分だから」、続いて「敬老会の内容が魅力的でないから」という回答が多かった。また、75歳以上になると身体の健康に不安があり参加したくない方が多くなっている。一方で、敬老会（式典・地区割り・祝宴の内容）、長寿祝い金については、いずれも現状のままで良いという意見が約半数で最も多い。
- 敬老会は、長寿をお祝いする機会として毎年市主催で行ってきたが、本調査では、毎年楽しみにしているという意見がある一方で、必要ないという意見もある。来年度に向け各年代の市民の意見を参考に、敬老会のあり方を含めて全般について見直ししていく。

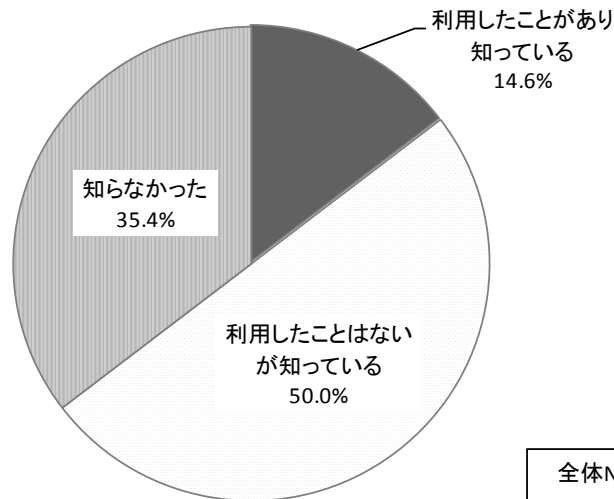
3.1.4 住宅リフォーム支援事業について

(建設部建築住宅課)

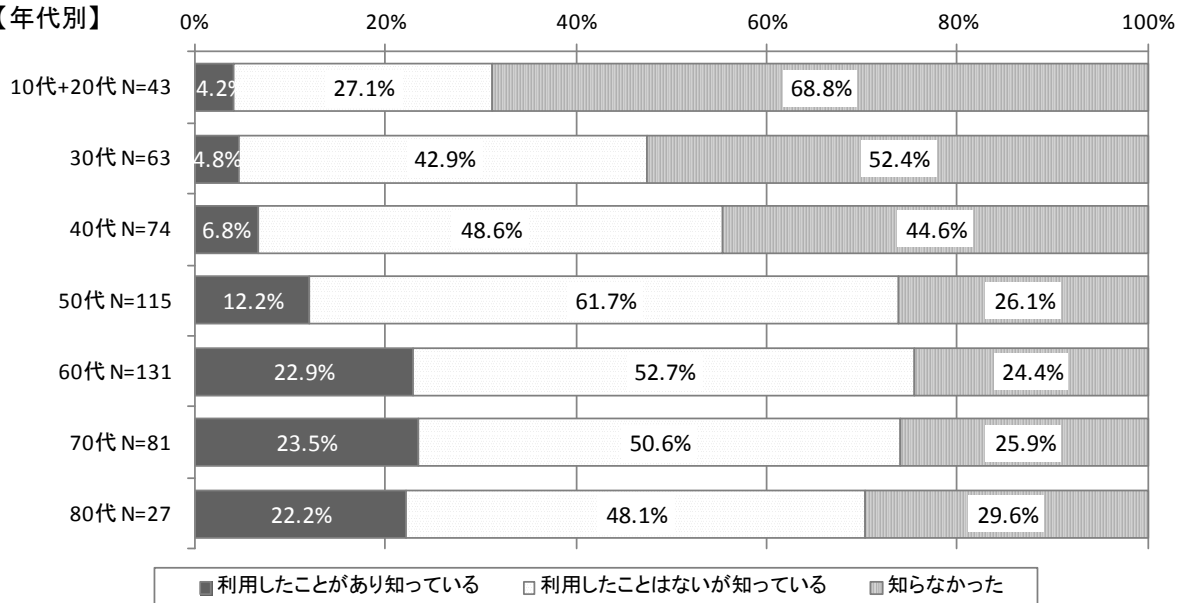
- ◆ 調査目的：「住宅リフォーム支援事業」が平成21年の事業開始から10年目を迎えることから、今後の事業の方向性を検討するため、認知度や市民の意識を調査する。

【問1】住宅リフォーム支援事業について、この事業があることを知っていましたか。

【全体】



【年代別】



○全体では、「利用したことはないが知っている」が最も多く50.0%、次に多いのは「知らなかった」で35.4%となっている。「利用したことがあり知っている」と「利用したことはないが知っている」と回答した方は全体で64.6%となっており、6割以上の方が本事業を知っている結果となっている。

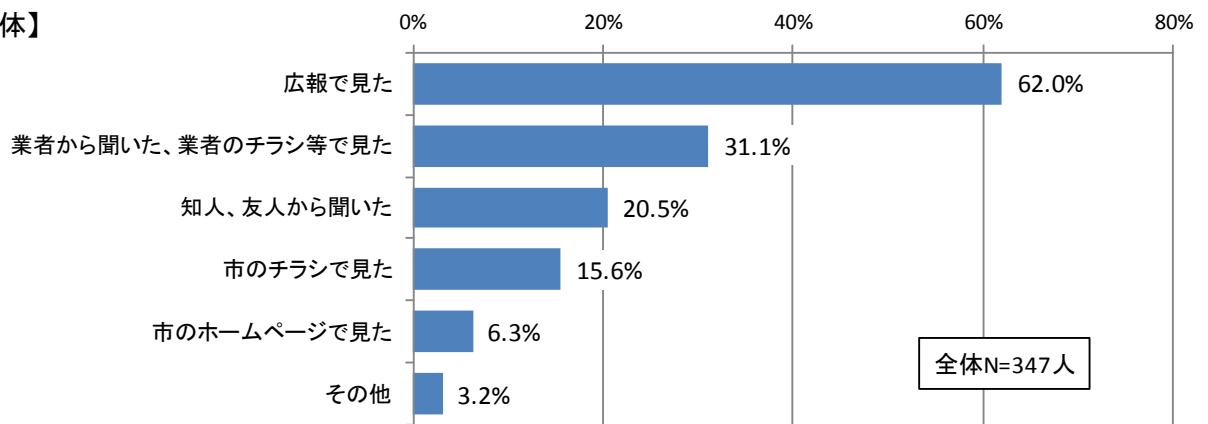
○年代別では、10代と20代を合わせた年代と、30代の世代では「知らなかった」が最も多くなっているが、40代以上の年代では「利用したことはないが知っている」が最も多くなっている。

○年代別で、「利用したことがあり知っている」は、年代が高くなると割合が高くなる傾向があるが、50代の12.2%に対し、60代で22.9%、70代で23.5%、80代で22.2%と、60代から20%を超えている。

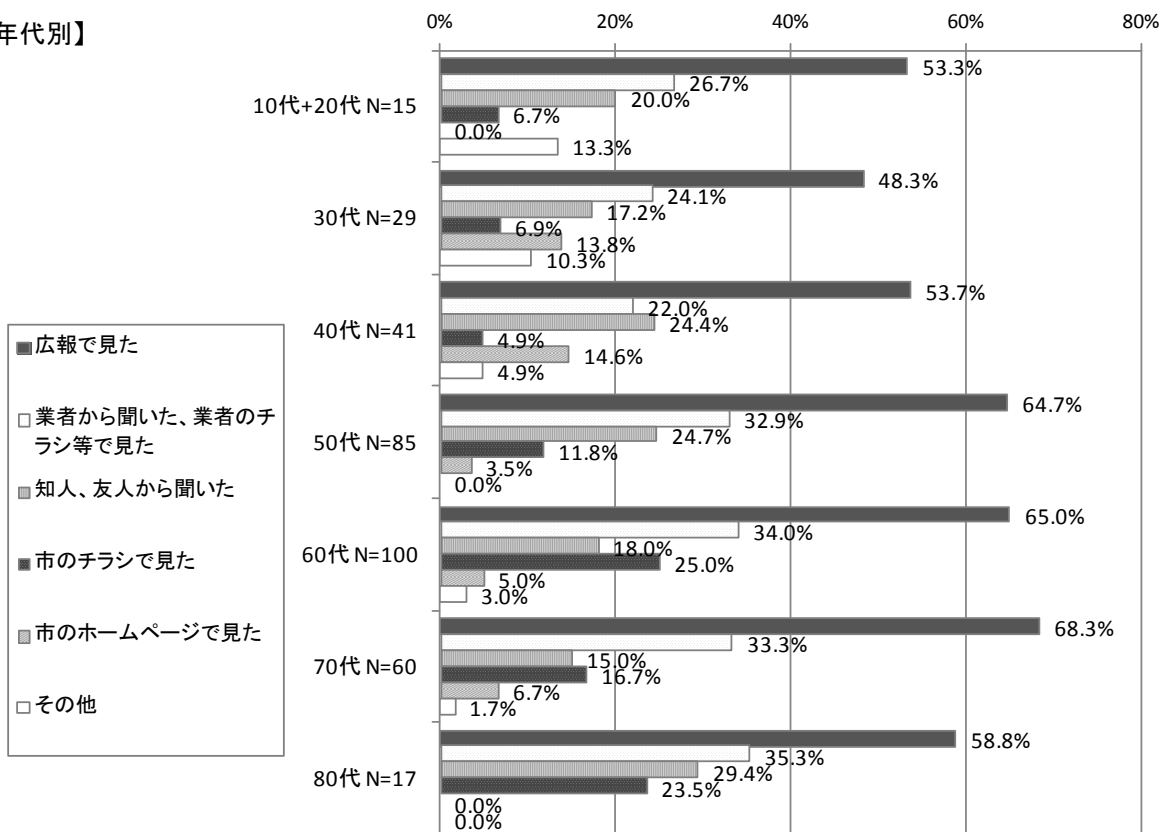
【問1-1】この事業をどのようにして知りましたか。（複数回答可）

（問1で「利用したことがあり知っている」「利用したことはないが知っている」方）

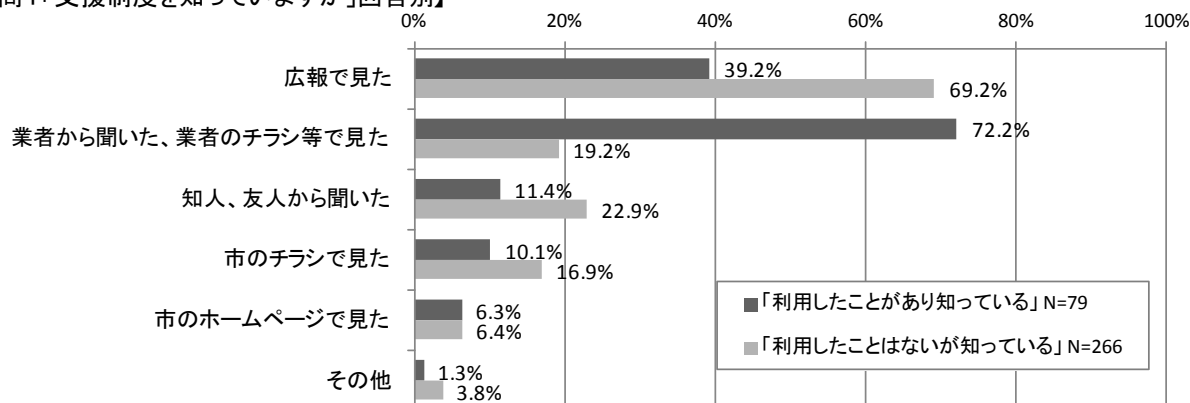
【全体】



【年代別】



【問1「支援制度を知っていますか」回答別】



■ その他意見

- ・ 県の支援事業を活用した (60代/男性)
- ・ 問い合わせした (40代/女性)
- ・ 行政から聞いた (20代/女性)
- ・ 資格のため勉強で覚えた (30代/女性)
- ・ 職場 (30代/女性)
- ・ 家族・親族から聞いた (20代/女性、30代/女性、40代/女性)
- ・ 町のお知らせで郵便物が届いたことがある (70代/女性)
- ・ ケアマネージャーから聞いた (60代/女性)

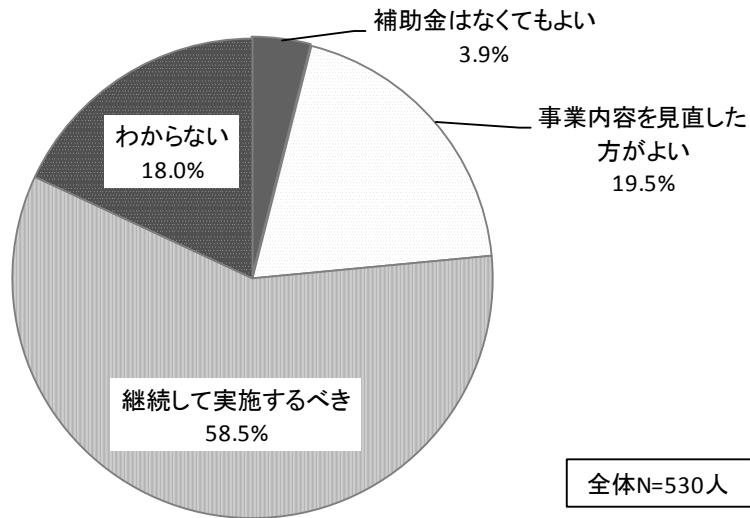
○全体では、「広報で見た」が62.0%で最も多く、次に「業者から聞いた、業者のチラシ等で見た」が多く31.1%となっている。

○年代別でも、40代以外の年代では全体と同じく「広報で見た」、「業者から聞いた、業者のチラシ等で見た」の順となっているが、40代では、「広報で見た」が53.7%で最も多くなっている次に、「友人、知人から聞いた」が24.4%で多くなっている。

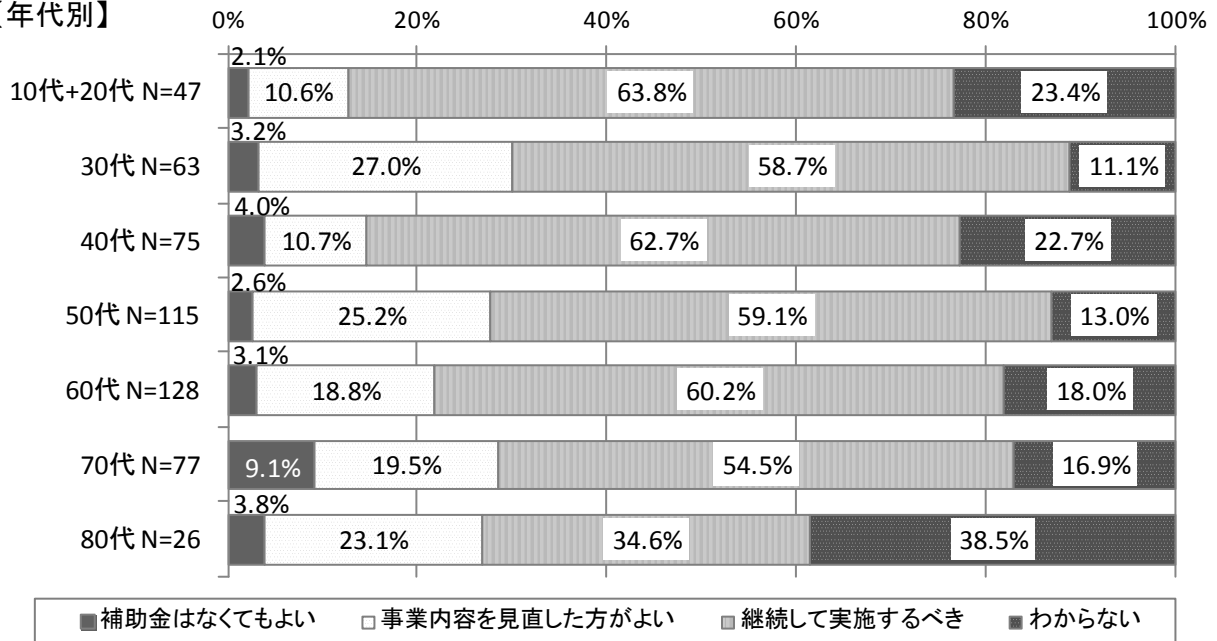
○問1の「支援制度を知っていますか」の回答別で、「利用したことがあり知っている」と回答した方は全体の傾向と異なっており、「業者から聞いた、業者のチラシ等で見た」と回答した方が最も多く72.2%、「広報で見た」と回答した方が39.2%で33ポイントの差がある。

【問2】リフォーム工事に対する市の補助金について、どのようにお考えですか。

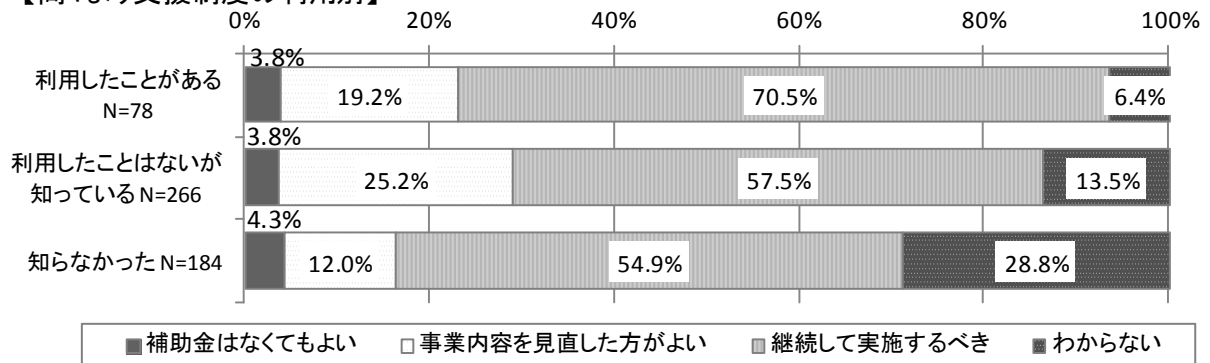
【全体】



【年代別】



【問1より支援制度の利用別】



○全体では、「継続して実施すべき」が最も多く 58.5%、次に「事業内容を見直した方がよい」と回答した方が 19.5%となっている。

○年代別では、80代で「わからない」が最も多いものの、80代以外の年代ではすべて「継続して実施すべき」が最も多い。「継続して実施すべき」と回答した割合が最も高いのは、10代と20代を合わせた年代で 63.8%、次に多いのは40代で 62.7%となっている。

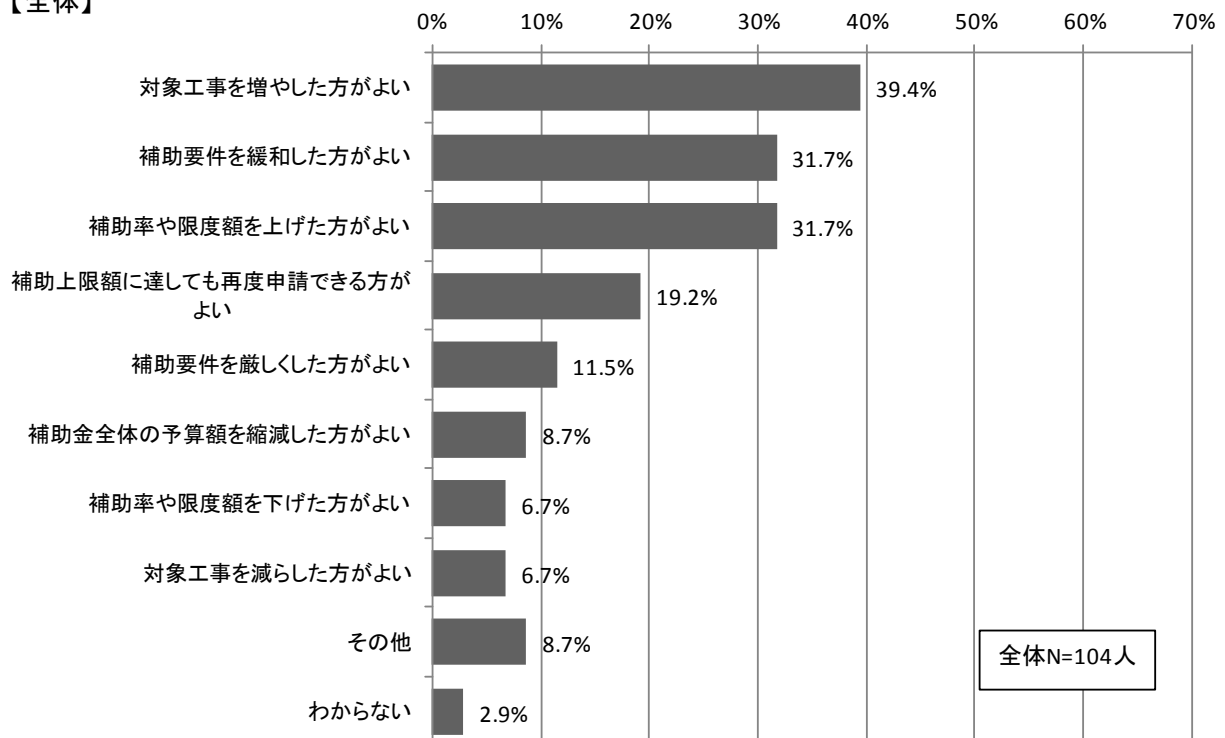
○問1から「支援制度の利用」別で見ると、「継続して実施すべき」と回答した割合が最も高いのは、「利用したことがある」方で 70.5%となっており、「制度を知らなかった」と回答した方の 54.9%とは 15.6ポイントの差がある。

○問1から「支援制度の利用」別で、「事業内容を見直した方がよい」と回答した割合が最も高いのは、「利用したことはないが知っている」方で 25.2%となっており、最も低かった、「制度を知らなかった」と回答した方の 12.0%より 13.2ポイント高くなっている。

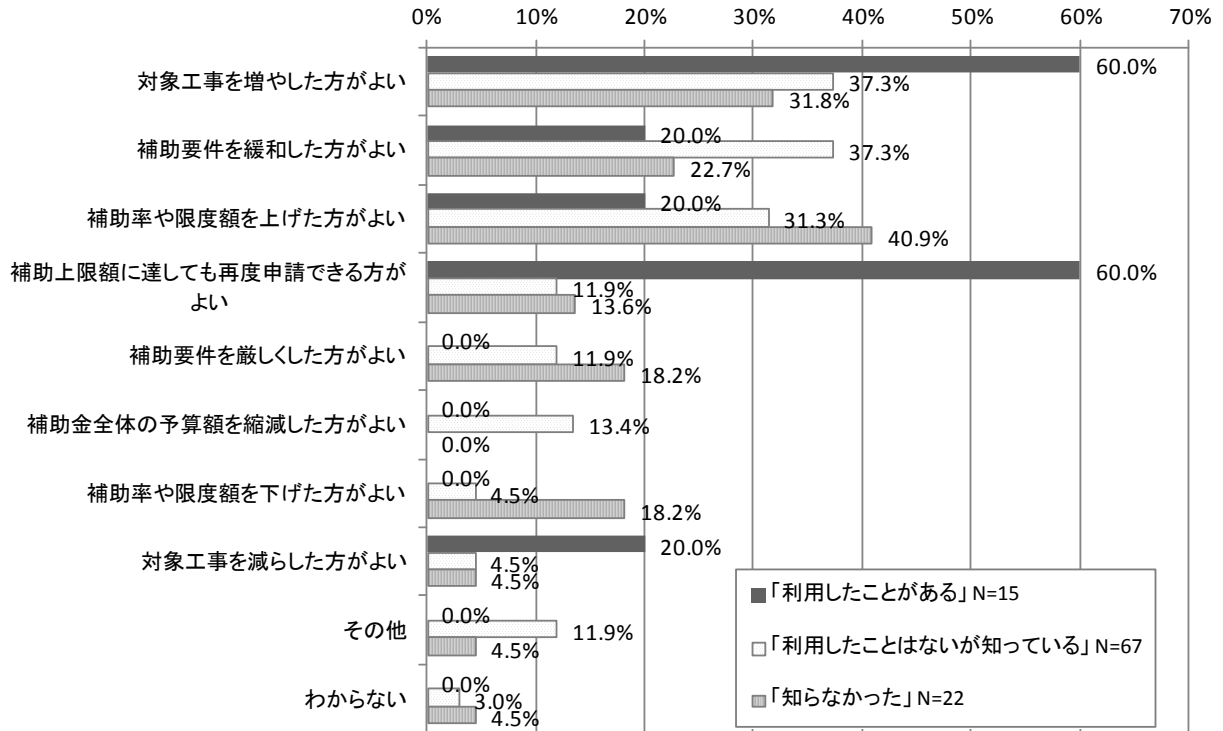
【問2-1】どのように見直しするのが良いと思いますか。（複数回答可）

（問2で「事業内容を見直した方がよい」と回答した方）

【全体】



【問1より「支援制度の利用」別】



■ その他意見

- ・ 申請を簡単にした方がいい (40代/男性/大曲)
- ・ 収入・財産に応じて決めた方がいいと思う (70代/女性/大曲)
- ・ 介護保険制度給付利用とかぶらないものにしたら (60代/女性/中仙)
- ・ 知っている人はよく利用すると思うが、くわしいわかりやすいお知らせ等、みんな同じように使えるとよい。(70代/女性/太田)
- ・ 予算がないのに無理する必要はないと思う (50代/女性/大曲)
- ・ 暮らしの根幹を支える制度はしっかりさせるべき (50代/男性/大曲)
- ・ 事業の利用後有効に活用されているのかの確認が必要だと思う (30代/男性/大曲)
- ・ 書類現場確認をしっかりとした方がよいと思う。(30代/男性/神岡)
- ・ 世帯収入や家族構成、今後何年住めるかなど、工事の重要性等の検討もある程度は必要か (50代/女性/南外)

○全体では「対象工事を増やした方がよい」が最も多く 39.4%で、次いで「補助要件を緩和した方がよい」と「補助率や限度額を上げた方がよい」が同じく 31.7%となっている。

○回答の割合が多い上位は、要件の緩和や対象の拡充、限度額の引き上げとなっており、要件の厳格化や限度額の引き下げについては回答の割合が低く下位を占めている。

○問1から「支援制度の利用」別で見ると、「利用したことがある」方は、「対象工事を増やした方がよい」と「補助上限額に達しても再度申請できる方がよい」が同じく 60.0%で最も多くなっている。「利用したことはないが知っている」方は、「対象工事を増やした方がよい」「補助要件を緩和した方がよい」が同じく 37.3%で最も多く、「制度を知らなかった」方は「補助率や限度額を上げた方がよい」が最も多く 40.9%となっている。

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 本事業は、市民が行う住宅改修に市が財政的な支援を実施することで、居住環境の向上だけでなく、市内住宅関連産業の活性化及び雇用の創出につながるものとして実施している。事業が開始された平成21年度から平成29年度までの10年間で約3,550件以上の住宅改修(大仙市の居住住宅の約14%相当)に支援を行っており、支援事業利用者に対して行っている事後アンケートでは、「当事業があったことからリフォームを行った」、「補助金があったために工事箇所を増やした」、「補助金があったために、建材品質を向上した(トイレやユニットバスの品質を上げた)」という、当事業の存在が工事に良い影響をもたらしたと回答した方が全体の約半数であったことから、市内住宅関連産業の活性化に貢献しているとの結果が出ている。また、この半数に該当しない方でも、利用者アンケートの中では、当事業があったことで経済的に安心して行うことが出来たとの好意的な意見も多々いただいている。本事業が10年間の節目を迎えたことから、今後の事業の方向性について検討するため、支援事業利用したことのない方も含め、広く市民のみなさんからの意識を調査した。
- 問2においては、「継続して実施するべき」と回答した方に加え、「事業内容を見直した方が良い」と回答した方を合わせると約8割の方が当事業の実施を望んでいる結果となった。これまでの事業実績による効果だけでなく、市民に大変好評を得ている事業であると再認識できた。
- ただし、事業内容については全体の約2割の方が見直しを希望していることから、調査結果を参考に精査し、必要に応じて見直しを検討していきたい。

3.2 事業対象者層を調査対象とした個別事業評価

事業対象者層を調査対象とした個別事業評価については、事業ごとの調査票で調査を実施した。調査対象、回収率、回答者の属性については、各事業の調査結果に記載する。

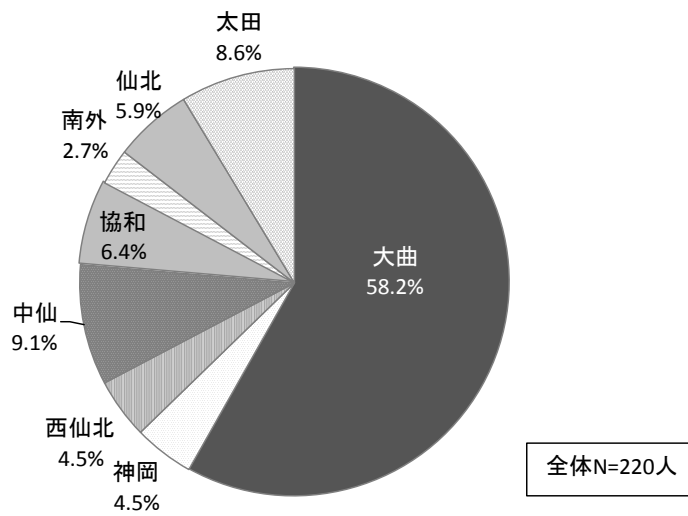
3.2.1 母子保健事業について

(健康福祉部健康増進センター)

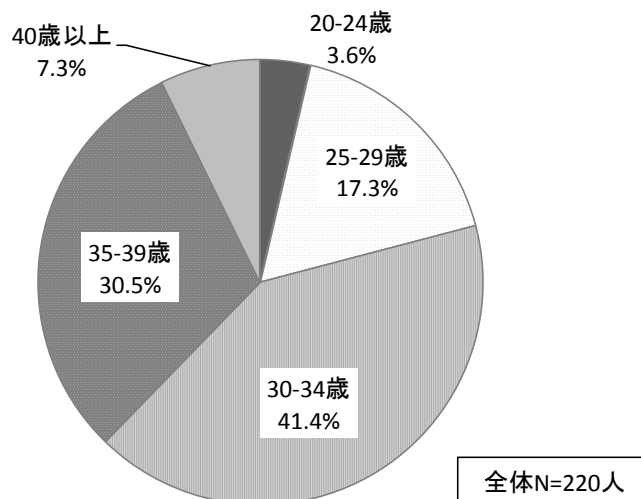
- ◆ **調査目的**：妊娠期から子育て期の切れ目ない支援を行うために平成31年度に「子育て世代包括支援センター」を設置する予定であることを踏まえ、0歳から2歳の乳幼児を持つ母親の妊娠期・育児期の困りごとや、現事業の認知度等を調査する。
- ◆ **調査対象**：市内在住の「0歳児（H29.4.1～H30.3.31生まれ）」「1歳児（H28.4.1～H29.3.31生まれ）」「2歳児（H27.4.1～H28.3.31生まれ）」の母親から、無作為に抽出した300人
- ◆ **回収数・回収率**： 回収数 220 回収率 73.3%

回答者の属性

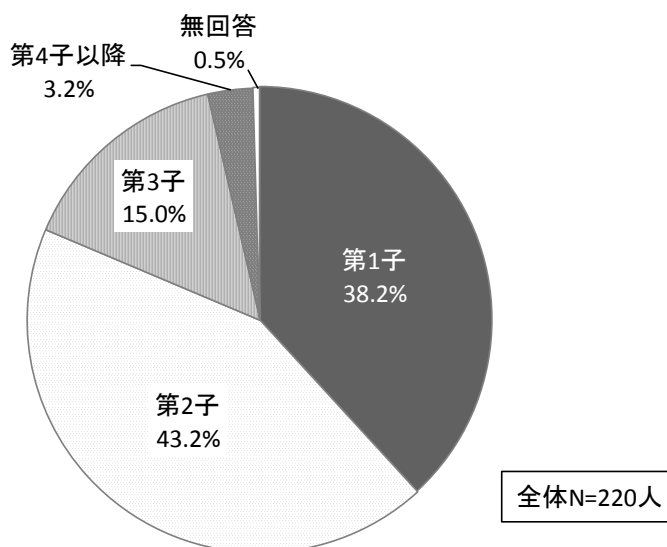
【地域】



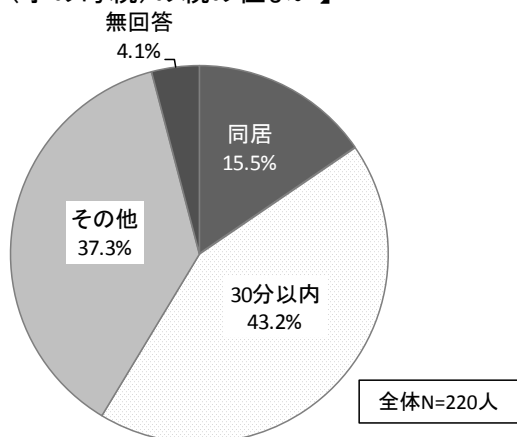
【年齢】



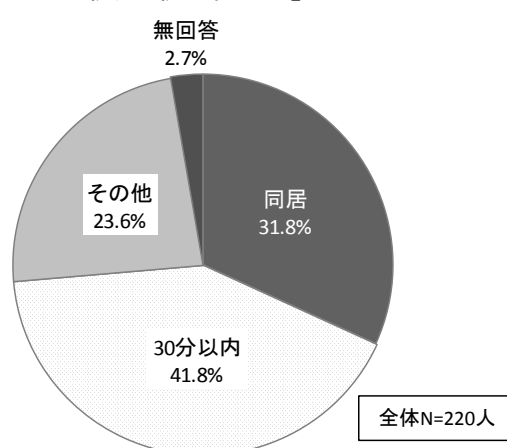
【対象の子(H27年4月～H30年3月生、一番下の子)は第何子か】



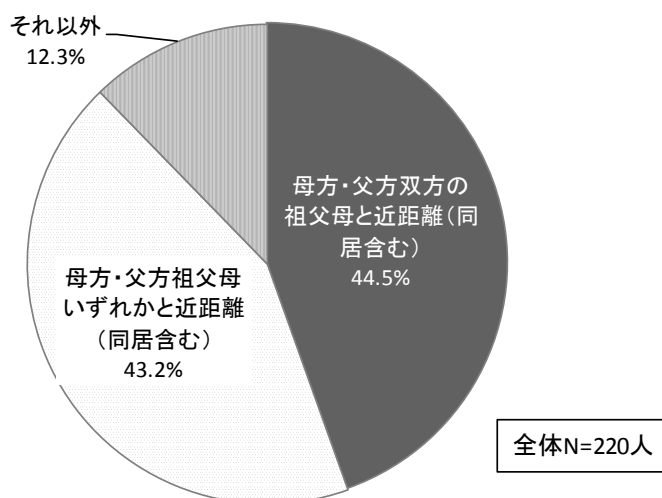
【自分(子の母親)の親の住まい】



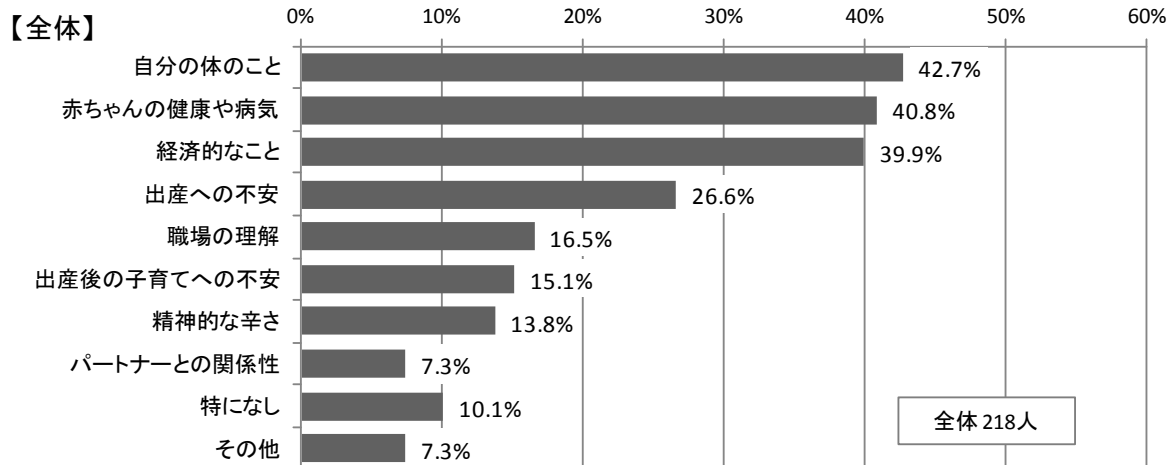
【夫(子の父親)の親の住まい】



【属性 問4より 子の祖父母の住まいについて】



【問1】あなたが、妊娠中特に困ったことや不安に感じたことは何ですか。（最大3つ）



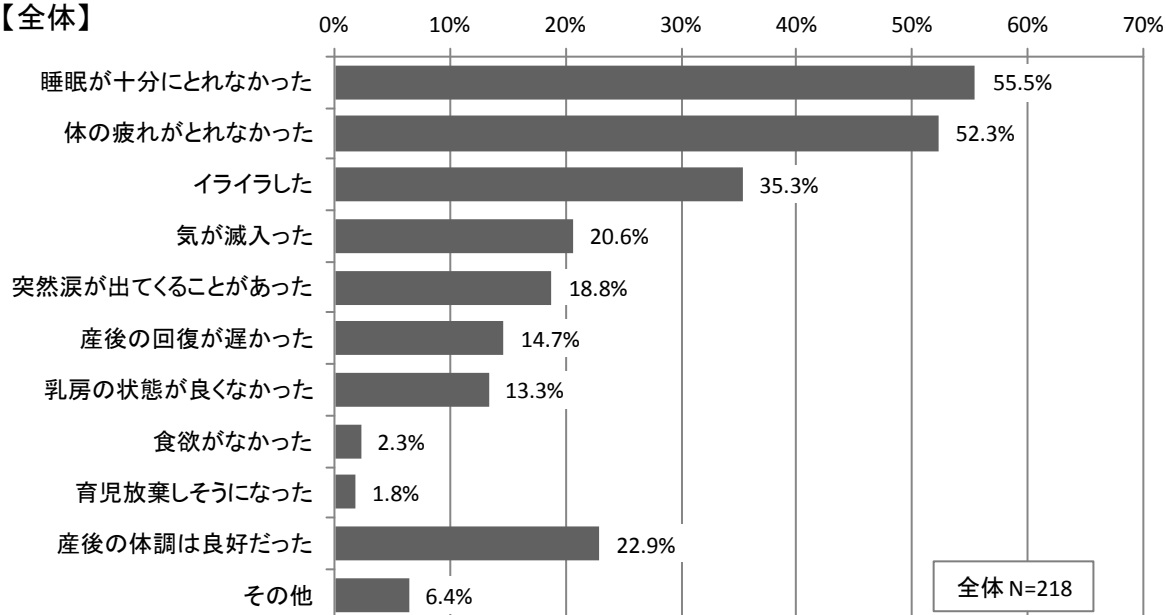
■ その他意見

- ・ もし切迫等で入院になったときの上の子の園の送迎や日常生活（30-34歳／第二子）
- ・ 上の子どものこと（40歳以上／第二子）
- ・ 同居の夫の両親の協力が足りなくて大変だった。夫の単身赴任でいなかった。（30-34歳／第三子）
- ・ つわりが辛かった（25-29歳／第一子）
- ・ 毎日のご飯の支度（35-39歳／第三子）
- ・ 実家のこと（30-34歳／第三子）
- ・ 姑、姑の母との関係（35-39歳／第一子）
- ・ 無痛分娩に理解が得られるかどうか、希望の産院で出産できるかどうか（30-34歳／第一子）
- ・ 上の子の世話（30-34歳／第二子）
- ・ 上の子がだっこと言い、おなかに負担がかかるため、あまりできなかったこと（35-39歳／第二子）
- ・ 切迫早産（30-34歳／第二子）
- ・ 上の子を連れての検診が大変だった（30-34歳／第二子）
- ・ 近くに親戚が住んでいないため、産後の生活や保育園に関しての不安があった。（30-34歳／第二子）
- ・ 転勤族だったため、頼るところが少ない。二人目となると自分のことだけではないため大変。（35-39歳／第二子）
- ・ 妊娠中の上の子の育児（30-34歳／第三子）
- ・ 出産後の家事、上の子の育児（35-39歳／第二子）

○「自分の体のこと」が最も多く42.7%、続いて「赤ちゃんの健康や病気に関すること」が40.8%、「経済的なこと」が39.9%となっている。

【問2】あなたの産後の体調について、あてはまるものはどれですか。（複数回答可）

【全体】



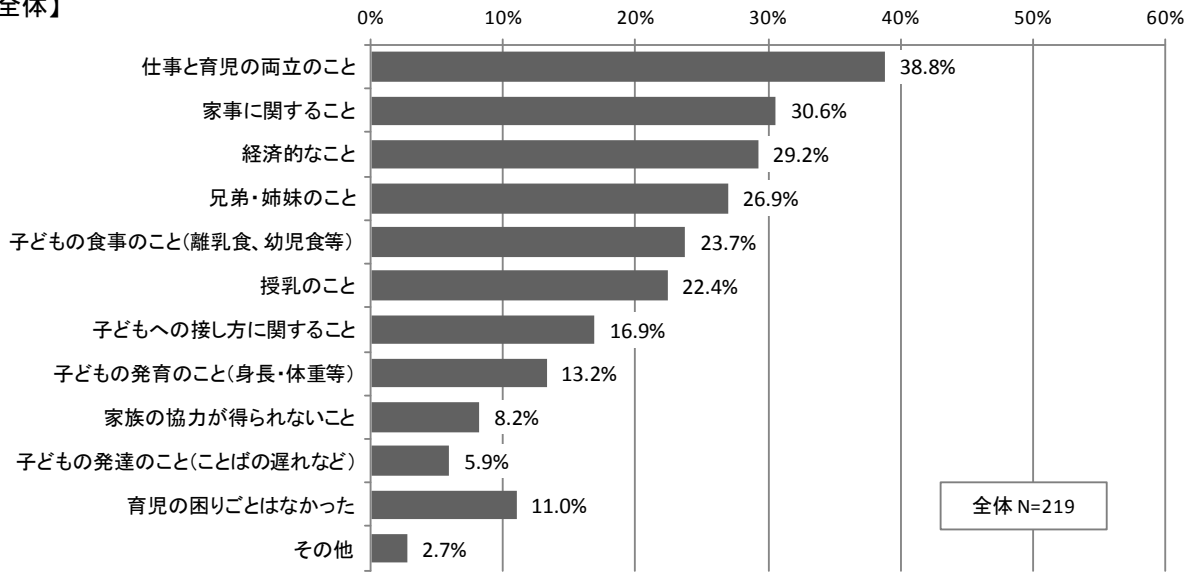
■その他意見

- ・ 指先のしびれがあった（35-39歳／第一子）
- ・ 腰痛があった（35-39歳／第一子）
- ・ 血圧が下がらない（30-34歳／第二子）
- ・ 母乳があまり出なかった（35-39歳／第一子）
- ・ 便秘がひどかった（30-34歳／第一子）
- ・ 産後一年間胃の不調があった（35-39歳／第二子）
- ・ 毛根管症候群になり、家事、育児が大変だった。胃腸の不調（30-34歳／第一子）
- ・ 体重が全く減らなかった（35-39歳／第一子）
- ・ 腰痛、腱鞘炎の痛み（35-39歳／第一子）
- ・ 持病の悪化（35-39歳／第二子）
- ・ 一人目の出産と違い、産後湿疹がでたこと（35-39歳／第二子）
- ・ 腰痛（25-29歳／第一子）
- ・ 子どもが入院して自分が先に退院したため体調がきつい中の通院が大変だった。（35-39歳／第二子）

○最も回答が多かったのは、「睡眠が十分にとれなかった」で55.5%、次に多いのは「体の疲れがとれなかった」で52.3%となっており、半数以上の方が出産後の睡眠不足と身体の疲れを感じている。

【問3】育児に関して困ったことや辛かったことはありましたか。（複数回答可）

【全体】



■その他意見

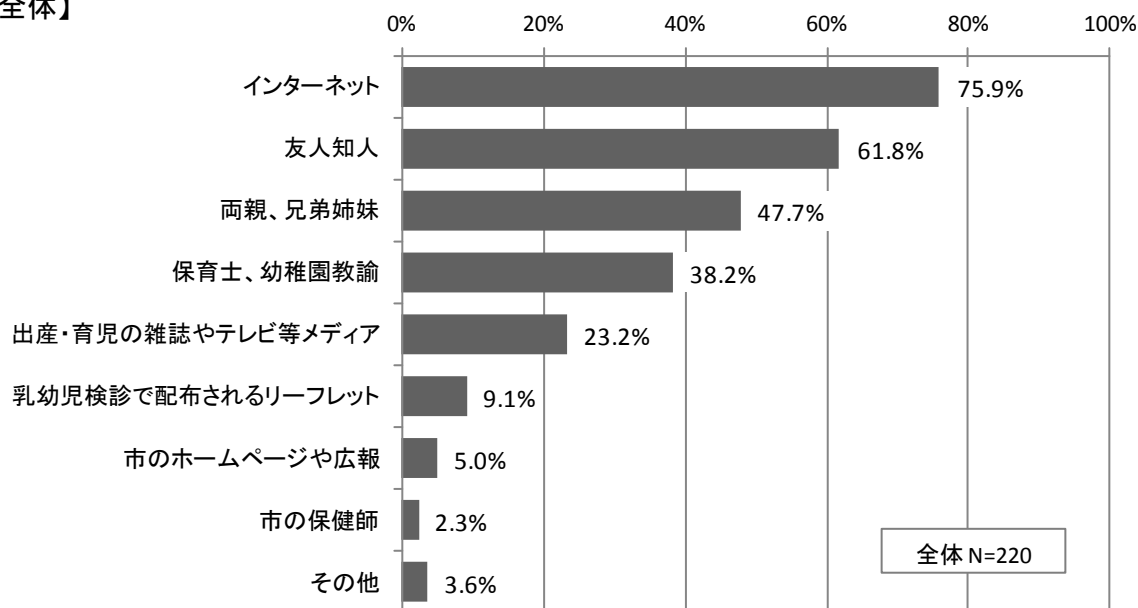
- ・ 夫の帰りが遅く、居るときは手伝ってくれるが、居ないときは1人でやらないといけないこと (40歳以上/第二子)
- ・ 義理の母のしつけと自分の子育てに対するしつけの相違 (35-39歳/第二子)
- ・ 家族の介護による苦痛 (35-39歳/第一子)
- ・ 上の子の赤ちゃん返り (35-39歳/第二子)
- ・ 二人目に疾病があり、一人目とは全く違う育児になったため大変だった。 (35-39歳/第二子)
- ・ 自分の時間が持てずにストレスがたまること (35-39歳/第二子)

○「仕事と育児の両立のこと」と回答した方が最も多く38.8%、続いて「家事に関すること」が30.6%、「経済的なこと」が29.2%となっている。

【問4】 普段、子育てに関する情報はどこから得ていますか。

(主に利用しているもの最大3つ)

【全体】



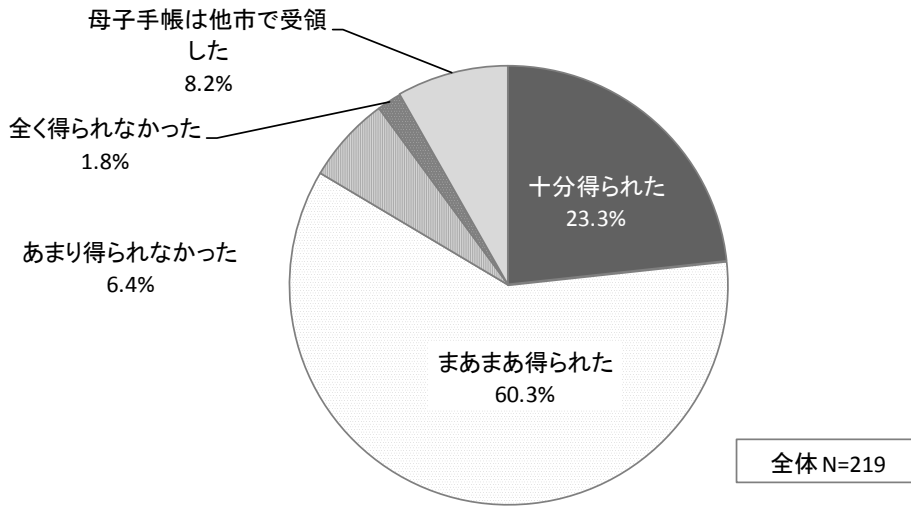
■ その他意見

- ・ 上の子の時のことを思い出してやり過ごす (30-34 歳 / 第二子)
- ・ 職場の仲間 (40 歳以上 / 第一子、40 歳以上 / 第二子)
- ・ 子育て支援施設 (35-39 歳 / 第一子)
- ・ 子育て支援センターの先生から (25-29 歳 / 第一子)
- ・ ひよこクラブなど (30-34 歳 / 第一子)
- ・ 育児の本 (35-39 歳 / 第二子、30-34 歳 / 第二子)

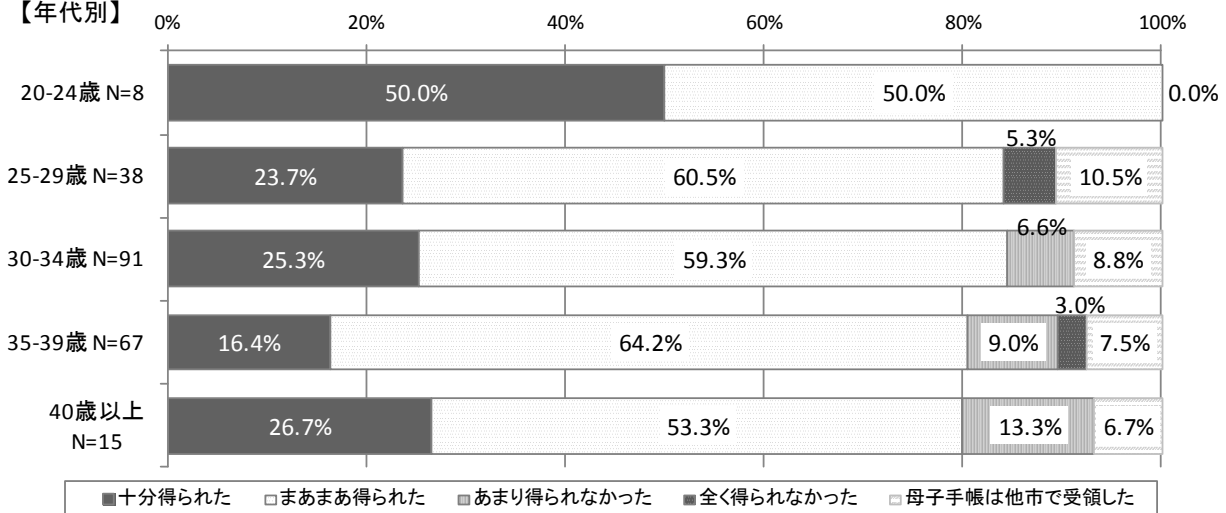
○ 「インターネット」で情報を得ている方が最も多く 75.9%、次に「友人知人」と回答した方が 61.8%、続いて「両親、兄弟姉妹」と回答した方が 47.7%となっている。

【問5】母子手帳交付時に行っている保健師による「妊婦健康相談」について、この健康相談で安心感や満足感が得られましたか。

【全体】



【年代別】

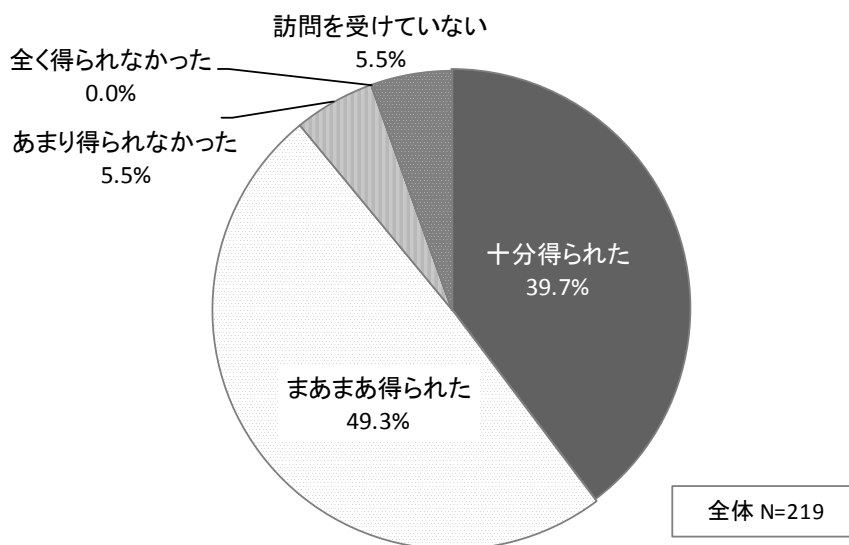


○全体では、「十分得られた」が23.3%、「まあまあ得られた」が60.3%となっており、「十分得られた」「まあまあ得られた」と回答した方を合わせると8割を超える方が妊婦健康相談で安心感や満足感が得られた結果となっている。

○年代別では、20歳から24歳では回答者数が少ない（8名）ものの、全ての方が「十分得られた」「まあまあ得られた」と回答しており、「十分得られた」「まあまあ得られた」を合わせた割合は25歳から29歳で84.2%、30歳から34歳で84.6%、35歳から39歳で80.6%、40歳以上で80.0%と、年代が低くなるほど満足度が高くなる傾向がある。

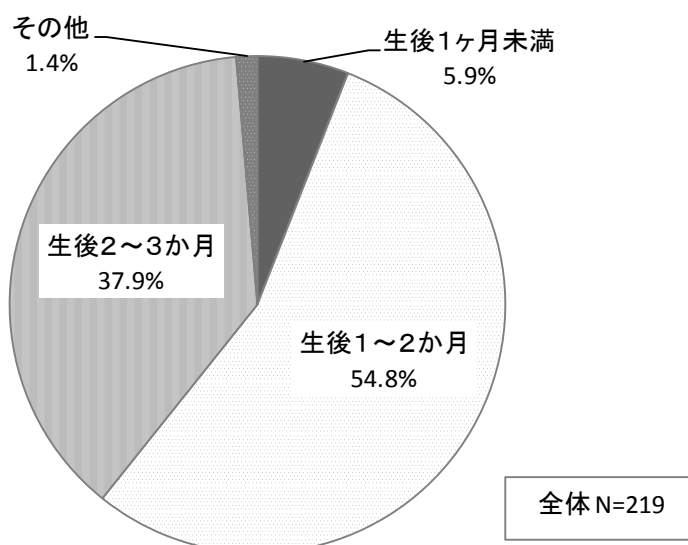
【問6】 おおむね生後2か月頃の赤ちゃんの家庭に保健師や助産師が訪問して健康情報や育児情報を提供する「こんにちは赤ちゃん訪問事業」で、安心感や満足感が得られましたか。

【全体】



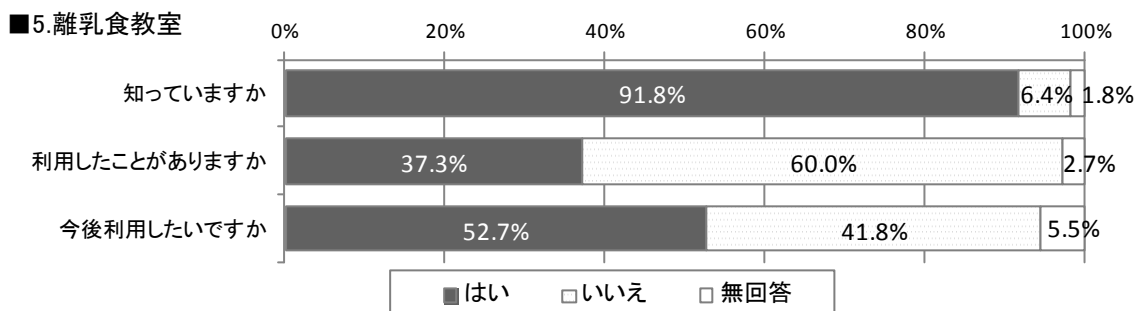
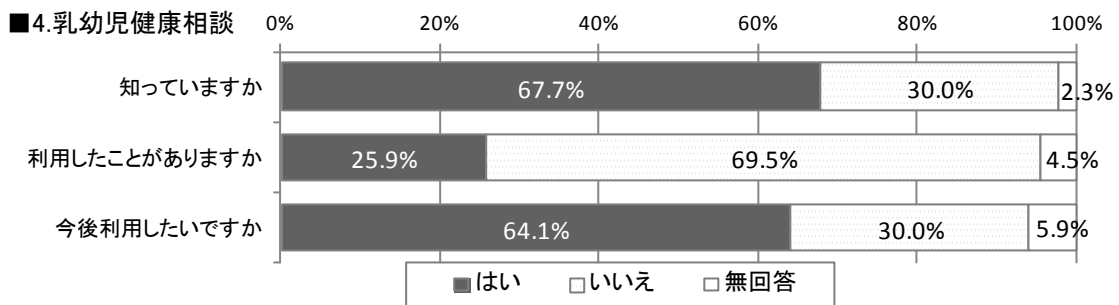
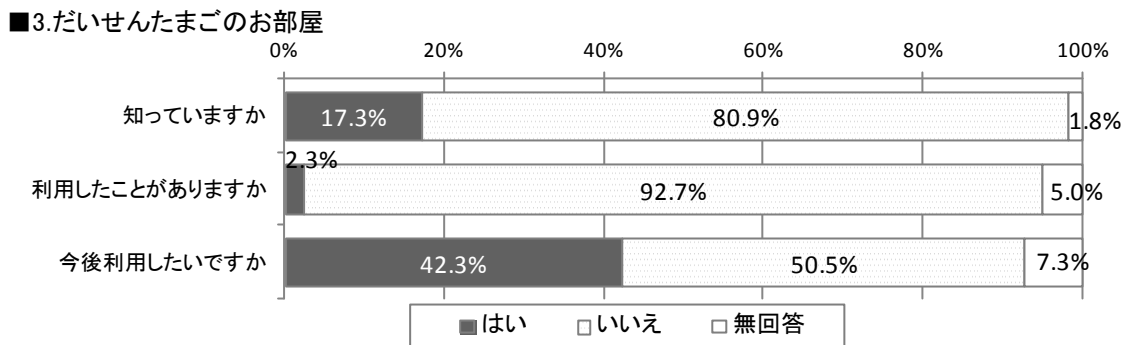
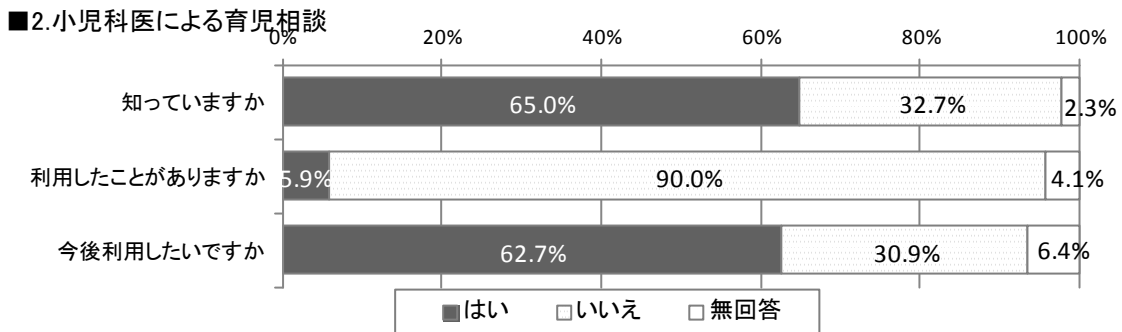
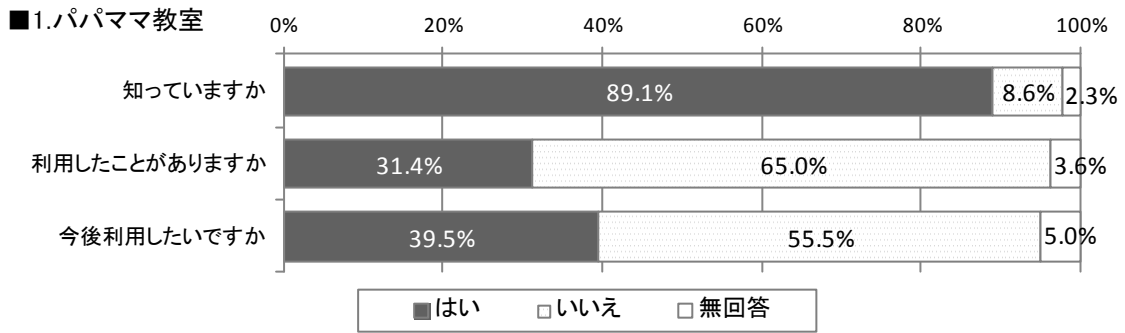
○「十分得られた」と回答した方が39.7%、「まあまあ得られた」と回答した方が49.3%となっている。一方で、「全く得られなかった」と回答した方はいない。「十分得られた」「まあまあ得られた」と回答した方を合わせると9割近い方が「こんにちは赤ちゃん訪問」で安心感や満足感が得られたと回答している。

【問6-1】 「こんにちは赤ちゃん訪問事業」で行う家庭訪問は、どの時期がいいですか。



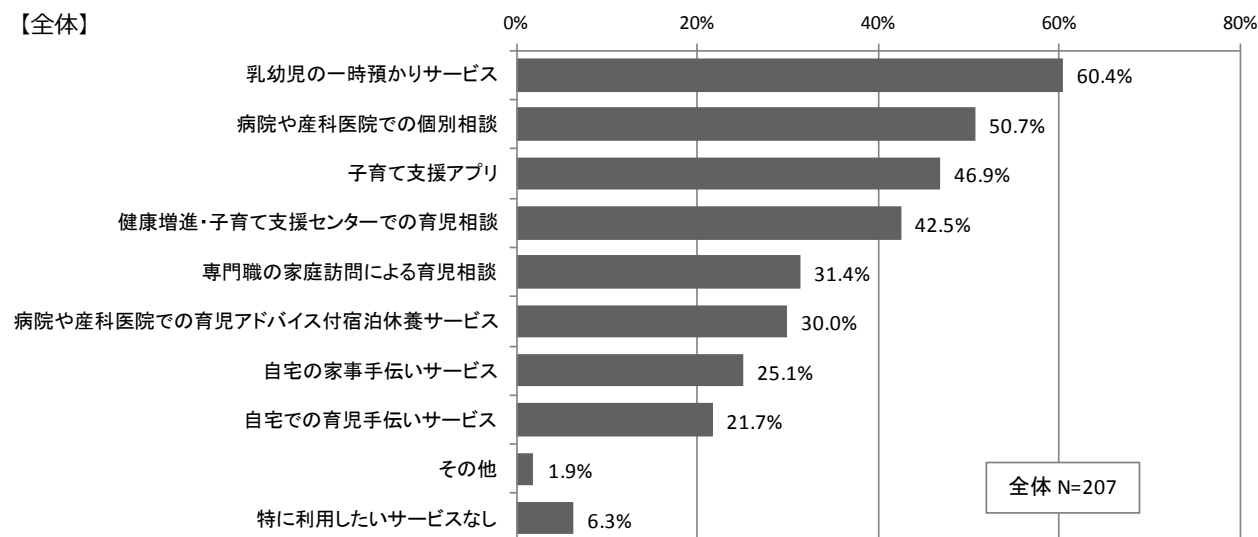
○「生後1~2か月」と回答した方が最も多く54.8%、次に多いのは「生後2~3か月」で37.9%となっている。

【問7】 次の事業について、知っていましたか。また、利用したことはありますか。今後新たに妊娠、出産した場合、利用したいと思いますか。



- 「パパママ教室」については、認知度が 89.1%と高く、利用率は 31.4%、利用希望率は 39.5%となっている。
- 「小児科医による育児相談」については、認知度が 65.0%、利用率は 5.9%と低いが、利用希望率は 62.7%と、今後機会があれば利用したいと考えている方が 6 割以上いる。
- 「だいせんたまごのお部屋」については、認知度が 17.3%、利用率は 2.3%と低いが、利用希望率は 42.3%となっている。
- 「乳幼児健康相談」については、認知度が 67.7%、利用率は 25.9%、利用希望率は 64.1%と、今後機会があれば利用したいと考えている方が 6 割以上いる。
- 「離乳食教室」については、認知度が 91.8%、利用率が 37.3%、利用希望率は 52.7%となっており、半数程度の方が今後機会があれば利用したいと考えている。

【問 8】産後のサービスとして利用したいと思うものはありますか。（複数回答可）

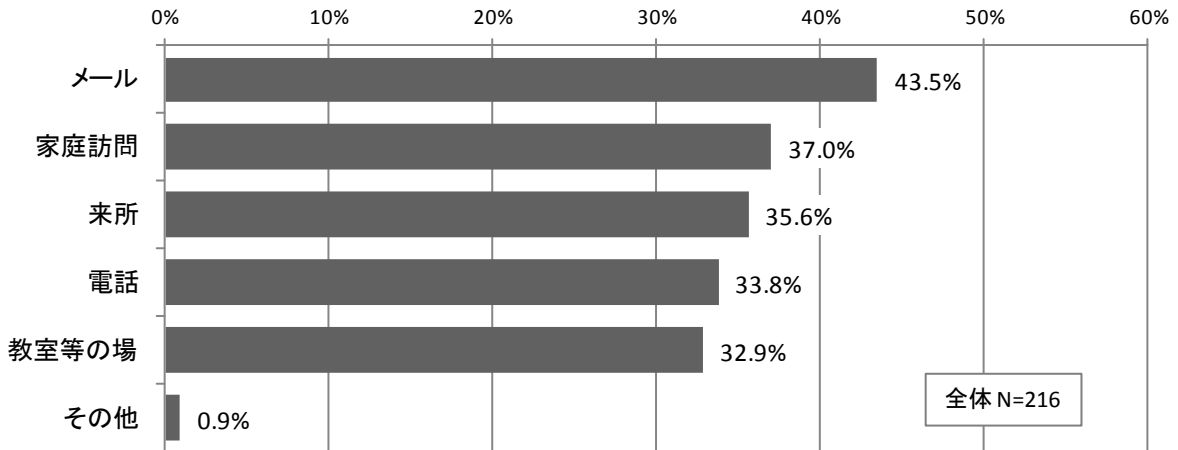


■その他意見

- ・ 病院を大曲こどもクリニックのような受付をできるようにしてほしい。子どもが体調を崩しているのに受付に行って待っていたら悪くなるだけ。（大曲／30-34 歳）
- ・ 夕飯配達サービス、冷凍物など（西仙北／35-39 歳）
- ・ 祖父母の育児への関わり方教室（食育・発熱時の対処方）（仙北／40 歳以上）
- ・ 病後児保育などの預かり（南外／35-39 歳）

- 産後のサービスとして利用したい方が最も多いのは、「乳幼児の一時預かりサービス」で 60.4%、次に「病院や産科医院での個別相談」で 50.7%、三番目に「子育て支援アプリ」で 46.9%となっている。「健康増進・子育て支援センターでの育児相談」は 4 番目で、42.5%となっている。
- 自宅における家事や育児の手伝いサービスは、いずれも 20%以上の方が利用したいと思っているものの、選択肢中の産後サービスの中では最下位となっている。

【問9】あなたが市の保健師や栄養士と相談する場合、利用しやすい方法はどれですか。
(複数回答可)



■その他意見

- ・ アプリやLINE (30-34歳/第一子)
- ・ 講習会などではなく、気軽に話せる子ども広場など (35-39歳/第二子)

- 「メール」と回答した方が最も多く 43.5%となっており、次に「家庭訪問」が多く 37.0%となっている。
- 回答者が最も多い「メール」と回答した方と、次の「家庭訪問」と回答した方では 6.5ポイントの差があるものの、三番目以降の「来所」「電話」「教室等の場」は 32.9%から 37.0%と 4.1ポイントの幅に収まっており、優位差があまり見られない。

【問10】市が行っている妊娠、出産、育児に関する事業、サービス、市の保健師へのご意見やご要望がありましたらご記入ください。(自由記述)

- パパママ教室に参加したかったが、締め切り日が思ったより早くて参加出来なかった。次にまた妊娠することがあれば参加したいから締切を何らかの形でお知らせ(メール等)してくれれば助かる。紙だと日々仕事に追われ確認することが難しい。
- 市で行っている事業についてあまり理解していなかったのが残念。今後出産の予定がないので、利用する機会はありませんが、これから出産を控えている方々へはもっとアピールした方がいい。
- まるこ広場でのスタッフのテンションが常連とたまに訪れる人とで違いすぎて居づらい。常連とは談笑し、たまに訪れる人には挨拶や会釈だけで、正直足が遠のいている。
- 市職員同士であっても、職員の家族の妊娠について許可無く他言しないでほしい。
- 保育園の入所の申込みの手続きについて、毎年同じことを子どもの人数分書かなければならないため、かなりの労力を要する。変わった箇所のみを訂正させるようなシステムにしてほしい。

- 難しいかもしれないが、土曜日に開催する事業があってもよいと思う。保健師さんは親切でありがたいが、今後助産師さんの訪問があっても良いと思う。母乳育児をしている人にとって、助産師が心強い。母乳相談は大仙市で開催している助産師さんがいるようだが、対象となっていないので、大仙市近郊で開催している助産師さんを対象事業所にあげてほしい。
- 近隣の市町村に比べて、事業が少ない。美郷はチャイルドシートの助成が出たり、横手は出産祝い金が市からもらえると聞いた。どこの市町村も少子化対策が少しずつ進んでいるのに、大仙市はごみ袋だけと、お母さんたちと話しているととても残念。
- 問8で○をつけたようなサービスがあれば、利用してみたい。
- 4月生まれの子どもを育てていて、年少のクラス、満3歳になったら入園できるようなこども園があればいいと思う。近くに祖父母が居るわけではないので、自分のリフレッシュ、病院、妊娠のタイミングを日々考えている。
- 問8で選択肢になっているものを1つでも実現してほしい。
- 日曜・祝日対応の保育園があれば仕事の幅が広がり、子どもを持つ母親はいきいきと仕事ができるようになると思う。
- 健診の流れをもっとスムーズにしてほしい。毎回午後で待っている間子どもがぐずり大変。午前だといっている親は多いと思います。いつも昼寝の時間とかぶり大変。
- 相談を親身になってきてほしい。その後の対応もスムーズにしてもらえたら助かる。
- 育児相談教室に参加したときに、後ろでおしゃべりしている職員がいる。数回参加しているが決まって同じ人たち。
- 子どもたちが気軽に利用できる場所を増やしてほしい。
- 共働きの家庭のためかぜ等ひいた時の預ける場所を増やしてほしい。
- 母と子どもと一緒に出来る体操やベビーマッサージがあれば、他の母親、子どもとの交流が図れると思う。
- 産後2ヶ月のこんにちは赤ちゃん訪問事業には育児環境の相談をしたいので、経験豊富な保健師に来てほしい。またそのときの問題点を継続してフォローしてほしい。
- 赤ちゃんBOOK継続してほしい。図書館利用時間を18時にしてほしい。平日利用できなくなった。
- 乳幼児健康相談では、困って行ってもいいアドバイスが貰えなかった。飲食ができないため、子どもにとっては大変で長時間いれない。小さなこどもが対象にも関わらずおかしい。半数は身長体重を量り帰る。これではせっかくの絵本の読み聞かせも聞いてくれるひとが少ないし、参加者同士の交流も図れない。子どものおもちゃも少なくあきてしまう。
- まるこひろばのような所がもう少しほしい。横手の支援センターのような施設がほしい。申込み無く行っても参加できるようなイベントを週1くらいでやってくれるとうれしい。
- 祖父母の協力があって大変助かっているが、食育に関することに多少の食い違いがあって困る。こちらから伝えてもなかなか伝わらない。(お菓子に入っているはちみつ等の危険性やアレルギーのこと)注意すると怖がって食事の支度もしなくなるので熱があつてふらふらしている最中作っている。座薬も38.5度の状態で使いまくる。熱は高いが走り回れるくらいであればつかわなくてよいと教わってきたので食い違いがある。
- 平日休みではないため、パパママ教室に参加できなかった。(会社に休みを取るような内容ではないと言われた)
- 第一子の人は特に生後間もない子どもとどう触れあえばいいかわからないから、同齡ごとなどに簡単にでも触れ合い方などが分かるものがあればよい。
- 妊娠、出産、育児期の母親がもっとゆっくり仕事を続けられるよう職場に働きかけてほしい。
- 年度途中での保育園入園がスムーズに出来るようにしてほしい。
- 第三子は無条件で保育料無料の助成

- 市の保健師、栄養士は笑顔がなく怒っている表情の方もいる。〇ヶ月健診の時、子どもや赤ちゃんに対しては笑顔、母親には笑顔なし。不安なことも相談しづらい。意外と見られているので気をつけた方がいい。市からいただく絵本も前にもらったことのある本なので、違う本にしてほしい。
- 赤ちゃん訪問事業で来られる保健師さんにもう少し医療知識があるといい。
- 母子手帳交付の際に曜日を定められると仕事の都合で行きづらいから自由にしてほしい。
- おむつやごみ袋がもらえるサービスが助かった。
- 生後2ヶ月ころの保健師さんによる訪問サービスは慣れない育児で不安が大きい時期に来てくれるから助かった。子育て支援施設は現在も利用しているが、母親同士の情報交換や気分転換にもなるからありがたい。
- 病児保育施設をまだ利用したことはないが、仕事復帰しているので、いざという時に利用出来る施設を増やしてほしい。保育園からの呼び出しが来ないかヒヤヒヤしながら仕事をしている。子育てと仕事の両立は大変なので家事、育児を気軽に手伝ってもらえるサービスが必要だと思う。夫にも育児に協力して貰えるように出産、子育ての大変さを理解してもらえるような機会をつくってほしい。
- もう少し子育て支援に対して積極的な支援をしてほしい。一時預かり等の利用はしづらいし、枠がなくあまり預かってもらえない。リフレッシュしたくても預けられないので気軽に利用できる環境を作してほしい。
- パパママ教室や離乳食教室など参加してみたい事業が色々あったが仕事のため行けなかった。土日などに行ってくれば気軽に行くことができたと思う。(妊婦健診や子どもの予防接種で仕事の休みが増えるのでなかなかその他の理由で休みを取得することが難しい。)
- 保育園がいっぱいで入所を断られた。早く仕事をしたいが、家に祖母がいることで断られたと思う。でも体調が悪くずっと預けられる感じではないので早くスムーズに入所できるような体制、サービスがほしい。
- 他の市に比べて、子育て情報が少なく感じる。他の市は広報にたくさん載っていたり、支援センター等に保育園のイベントやサークルのチラシがたくさんおいていたので情報が入ってきやすかった。
- 乳幼児健康相談のときなどベビーマッサージも取り入れてほしい。
- ロタウイルスの予防接種を無料にしてくれたらありがたい。
- まるこひろばのような所を増やしてほしい。
- 子どものイベントを増やしてほしい。
- ミルクの調乳のためお湯を貰えるような設備を増やしてほしい。
- 市役所が古く設備的に赤ちゃんを連れて行くと不便。
- 検診のときなどの保健師さんや助産師さんはとても話しやすく良かった。栄養士さんは少し冷たい印象だった。
- 小児救急が少なく(日曜のみ)本当に不便。
- 事業実施はいいが、実施日に参加出来ないことが多い。共働きの時代になりつつあるのに、事業が行われるのは平日で仕事を休まなければ参加できない。参加しやすい時、場所等の子を持つ親の家庭状況に合わせていくことも大切。
- 上の子を含め乳幼児の検診を受けているが、ある保健師の方だけ素っ気ない態度をするので相談しづらい。他の方は親身で相談事も都度解決しましたが、その方には軽く流されてしまい、それ以上相談する気になれなかった。
- ごみ袋を出産後にもらえて助かった。予想以上に子どもがいるとごみが増えたのでおむつが外れる3歳ころまで毎年配布してほしい。
- 母子手帳をディズニーなどかわいいものにしてほしい。
- 親子で参加できるイベント、サービスが増えればいい。育児をしながら息抜きになれば余裕を持って子と接することが出来ると思う。

- 先日はしかの流行がニュースになった際に、同じMRワクチンが主流であるはずなのに、風疹の抗体があるためにはしかでMRワクチンを打つ場合の料金が自費になった。子育て世代とはしかのワクチンが1回接種の世代は重なっているから、出産のサポートとしてはしかのワクチンに少しでも補助があればいいと思う。
- 保健師さんによってアドバイスが異なる場合があったので方針を一つにしてほしい。産後すぐは混乱しやすい。
- 市の保健師の方々は相談時にとっても親身になって話を聞いてくれる。家族や友人にも相談できないことや愚痴も聞いてくれるので相談の帰りに気持ち楽になる。
- 離乳食が始まりそうな時期の検診で離乳食のサンプル、10倍がゆのやわらかさや米粒の状態など。親が触って確かめられるようなサンプルがあるとうれしい。離乳食教育だと行くのが面倒。
- 利用しはじめたばかりなので要望などは思い浮かびませんが、乳幼児健康相談に一度だけ参加しましたが、丁寧に説明してくれて不安な気持ちも和らいだのでまた参加したい。
- 健診で保健師さんに相談しても、それは病院に行ってくださいというような反応しか返ってこなかった。それなら何のために相談しているのかと思うことがあった。すでに知っているような情報しか提供されていないように感じる。子どもの眠い時間帯に負担を感じながら行っているのだからもっと有意義なものにしてほしい。
- だいせんたまごの部屋という取組を今まで知らなかった。産科などにパンフレットとして置いてほしい。
- 県外で定期の予防接種を受けても、助成対象にしてもらいたい。第二子出産で里帰りしたとき、とても困った。実家の市は、払い戻し対応で助成対象だったので。
- 乳幼児健診の実施の時間帯はちょうど昼寝の時なので時間を変えてほしい。できなければ個別で医院などに出向き個々の都合のよい日時に合わせていけるようにしてほしい。団体の検診でなくてもいいと思う。これをするのであれば、団体での予防接種をやってくれてもいいと思う。
- 病児保育のサービスを充実させてほしい。
- 出産後、体の不調が続き病院通いをした。いろんな医療機関を受診した結果医療費がかさんだので、産後半年から1年くらいは医療費の補助があると助かる。
- もっと出産・育児に対しての経済的支援を進めてほしい。仕事に対するマイナスがいまだに多く、第3子を考える余裕もない。
- 乳児健診等の日程のお知らせを出来るだけ早めにほしい。育休中にまるこひろばをよく利用していた。そのような場所がもっと活用できればよいと思う。
- 健診や教室で満足感が得られない。(知識が得られない、適切なアドバイスが得られない。進行がスムーズでない、対象者に興味を引く話や企画は少ない)
- 健康増進センターに開けたイメージがない。
- 初めての出産、育児で何もわからなかったがこんにちは赤ちゃん訪問で来てくださった保健師さんが笑顔で対応し、悩みなども聞いてくれて救われた。予防接種のことなどで何回か市役所に電話したが、丁寧にわかりやすく答えてくれて感謝している。
- 月齢ごとの健診の際、保健師と医師で内容が違い混乱した。子どものしゃぶり癖について相談し、保健師からは共感的に話を聞いて貰えたが、医師からは寂しいからだと言われ、どちらの言葉を受け入れればいいのか分からなかった。
- 市の子育て支援などの取組には感謝している。妊娠の頃にもらった妊婦一般健康診査受診表は非常に嬉しかった。妊娠糖尿病のため、検査費用や入院、治療、薬代など意外な出費で無事に出産できるかの不安と以前夫が勤めていた会社の倒産のため経済的な不安の時期が重なっていた。同様の境遇の方のためにも妊娠中の医療費をいくらか市で負担してほしい。
- 市の保健師さんは電話相談や直接会って相談をさせてもらい助かった。近隣の小児科医の健診では発達が遅れている子へのアドバイスが全く無く、不安と心配しか無かった。健診ではそのような部分をもっと重点的にしてもらえたらみんな安心して子育てが出来ると思う。

- 赤ちゃん訪問で不安だったことがきけた。これからも続けてほしい。
- 2歳までの年1回のごみ袋の配布を市役所に取りに行くのではなく、郵送してほしい。小さい子を連れて行くのは大変なので
- 健診の際、男性の保健師さんで授乳や体の不調の話が出来なかった。健診に関しては経産婦がいい。作業でこなされると意味ない。
- 母子手帳を近くで手続きできるようにしてほしい。
- 梅毒が広がっているとニュースで見るので、感染の予防や中絶を減らすために中1、2年生くらいできちんとした教育をしてほしい。
- 市の博物館や動物園等、3人以上子を持つ家族は、入園料を障害者割引のようにし、3人以上産みたくなるような特典を与えてほしい。
- 妊婦さんや他のママさんたちが気軽に交流できる場を増やしてほしい。
- 病後児保育を増やしてほしい。
- パパママ教室や離乳食教室などを平日ではなく、土曜などに行って貰えると行きやすい。
- 事業を行う場所を各保育園などにすると、入園するときに不安が軽減されて入りやすくなると思う。
- ごみ袋のサービスを2、3年目も続けてほしい。
- 大曲の病児、病後保育がなくなってしまったから2、3件できるところがほしい。
- 健診を午前中にしてほしい。
- 1歳になったら無料でフッ素塗布をしてほしい。
- もっと企業むけの妊娠、出産、育児に対する理解や融通が利く社会になるような何かをしてほしい。
- 県北では病院で病児保育をやっている働くママさんに重宝されている。刈和野と太田にあるようだが、国道沿いでそのようなサービスがあればいいと思う。
- 乳児健診はとていい交流の場で悩みも相談できていいが時間が長い。もう少し手短かにしてほしい。
- 母子手帳の交付曜日が限られていて、受け取りにくかった。
- こんにちは赤ちゃん訪問で訪問予定の連絡がもう少し余裕を持ってほしかった。
- 虐待のニュースをよく目にしますが、大仙市でも育児に悩んでいて虐待に近いようなことや虐待をしてしまっている人が身近にいるかもしれないので、気軽に相談できる電話サービスや強制参加の親子サークルなどをやってみたらいいと思う。
- 子育て支援センターは増えてほしい。センター内で昼食が取れて、1日いられるとなお良い。
- 乳幼児健診の開始時間を午前中か午後にして選べるようにしてほしい。
- 健診の医師はもう少し若い医師にしてほしい。年配だと適格なアドバイスが貰えず、健診を受けに行っている意味がない。
- 訪問してくれた保健師さんが身長を測ってくれなかった。相談しても「うん」と言うだけで悩みが解決されなかった。できれば経験豊富な方に聞いてほしい。
- 妊娠から育児まで大仙市は安心して子育てができる場所だと思う。
- 健診の開始時間について、お昼寝の時間と重なるからぐずる子どもが多い。医師などとの兼ね合いもあると思うが、午後2時からにしてくれるとありがたい。
- 大曲地域の栄養士さんの対応が悪かったときがある。
- 隣の美郷町ではチャイルドシートを買うための助成金等を支給していると聞いたことがある。そのような取組をして金銭的にも子育てが家族世帯を応援してもらえるようなサービスがほしい。
- 2人の子どもが同時に病気になり、自分も体調が悪いとき、買い物にも行けず、食料がなくなってしまうので手伝ってもらえるサービスがほしい。
- 困ったときは今後も相談に乗ってほしい。

- 市で行っているサービスがあまりよく分からない。どこで情報を知ることができるかも分からない。
- 出産する前に家庭訪問してほしい。出産の不安や出産後のいろいろな手続きのことを教えてほしい。
- 子どもの健診時、いつも優しく話を聞いてくれたり、丁寧に育児に関する情報を教えてもらえるので助かっている。
- 疾病がある子どもの育児の場合、実際に育児をしている境遇の同じ方との連携を深め、声をかけていただくと心の支えになると思う。
- 母子手帳の交付が水曜の午前中に限られていて不便。
- 出産祝いでおむつをもらえたのはうれしかったが、希望するメーカーサイズやおむつ引き替え券などにしてほしい。
- 妊娠から育児まで同じ方に相談できるサービスがあれば安心。信頼関係が築けると心の拠り所になり、子育て支援が充実していると感じる。

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 問1、問3の調査結果より、約4割の方が妊娠・出産・育児に困ったことや不安を抱えていることがわかった。しかし、現在実施されている母子関係の相談事業について認知度の低い事業や、認知度と利用希望率が高くても、実際の利用率は低い事業もあることが問7の結果でわかった。今後は、子育て支援アプリの導入やメール配信等を活用し、利用のきっかけとなるような周知方法を検討する。また、子育て支援アプリについては、産後に利用したいサービスの上位となっていたことから、早速平成31年1月から導入することとした。
- 問2の調査結果では、半数以上の方が産後の体調の不調を感じていた。忙しい母親が気軽に相談できるよう、専用の電話番号やメールの利用を導入し、相談しやすい体制を整備していく。また、母親自身の体調不調や育児に苦慮する家庭へのサービスの充実を図るため、産後ケアに関する新規事業も検討する。
- 妊娠中から産後にかけて、母親の不安や困りごとは多岐にわたっており、自由記載欄でも多くのご意見を頂いている。すぐに対応できるものもあるが、行政全体で取り組まなければいけない課題も多い。保健師や職員のスキルアップを図り、事業や健診体制等について検討していくとともに、平成31年度に設置予定の子育て世代包括支援センターにおいて、今回いただいた意見を参考にしながら、他課とも連携を図り、地域全体で支援する体制づくりを進めていく。

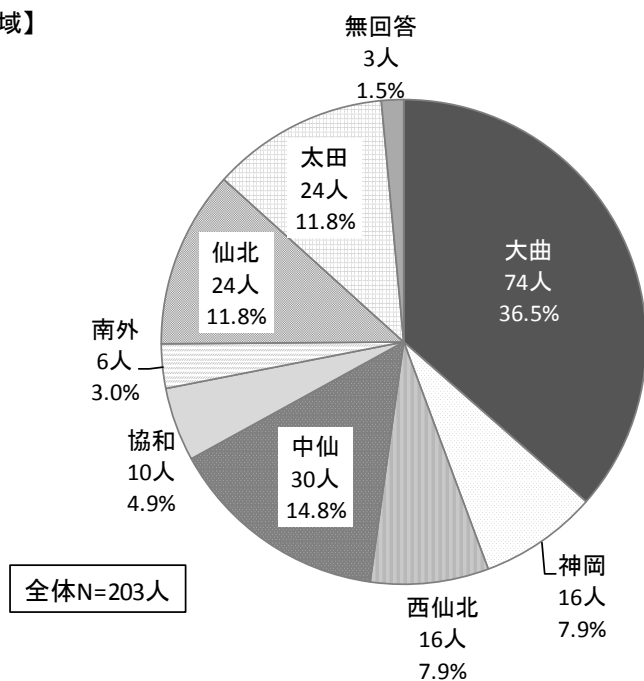
3.2.2 成人保健事業について

(健康福祉部健康増進センター)

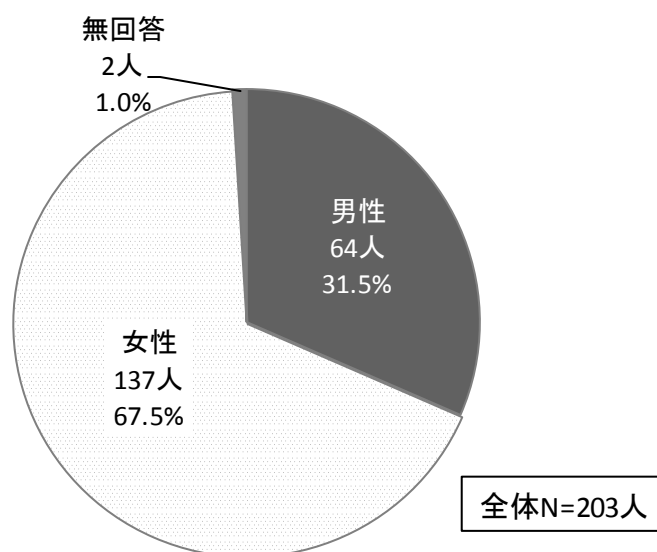
- ◆ **調査目的：** 胃がん検診、大腸がん検診の受診率向上を図るため、市で配布しているがん検診無料クーポン券の効果を検証すると共に、受診者のその後の検診の継続受診の勧奨方法や、継続してがん検診を受診できる体制整備を検討するため、継続受診の動機や継続を阻害している要因を調査する。
- ◆ **調査対象：** 平成 27 年度及び平成 28 年度に「胃がん検診無料クーポン券」、「大腸がん検診無料クーポン券」を送付した方で、無料クーポン券を利用して検診を受診した方 309 人
- ◆ **回収数・回答率：** 回収数 203 回収率 65.7%

回答者属性

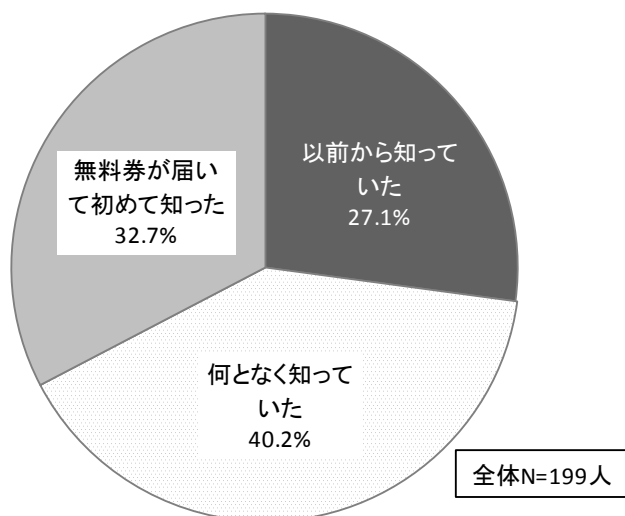
【地域】



【性別】

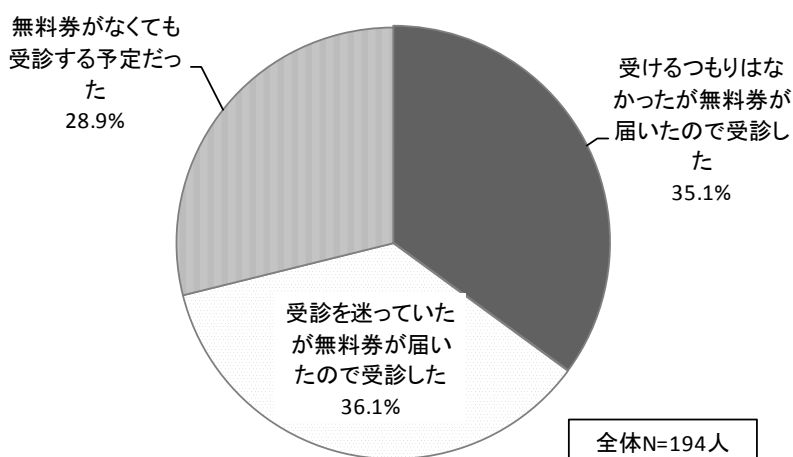


【問 1】あなたは、胃がん検診・大腸がん検診の対象年齢が「40 歳以上」と知っていましたか。

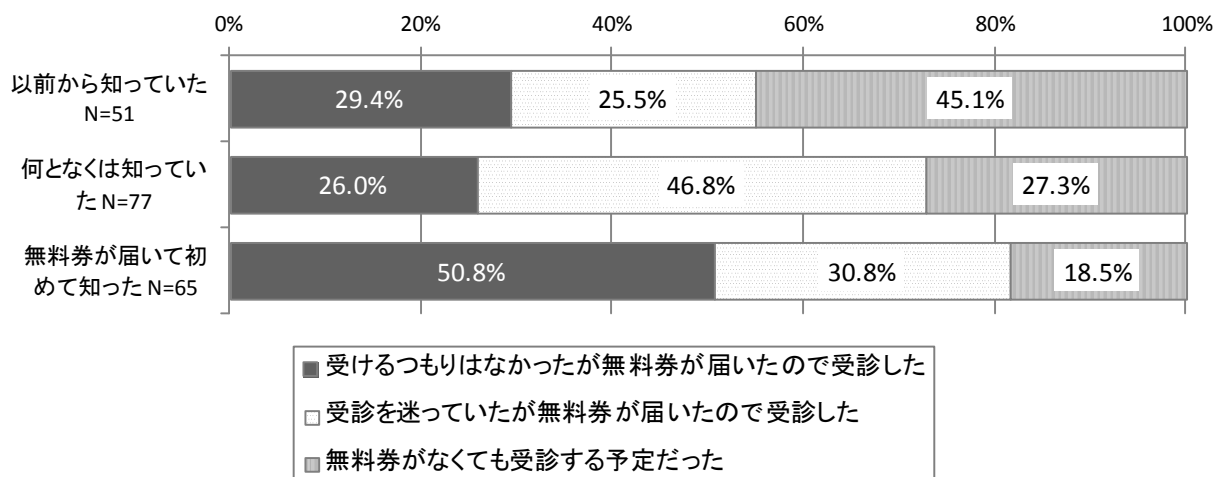


- 胃がん・大腸がん検診の対象年齢が40歳以上であることを「何となく知っていた」が最も多く40.2%、次に「無料券が届いて初めて知った」方が32.7%となっている。
- 「以前から知っていた」方と「何となく知っていた」方を合わせると、67.3%となっており、対象年齢を知っていたのは7割弱の方となっている。

【問2】送付された「がん検診無料クーポン券」は、がん検診を受けるきっかけになりましたか。



【問1「胃がん・大腸がん検診の対象年齢は「40歳以上」であることを知っていたか」の回答別】

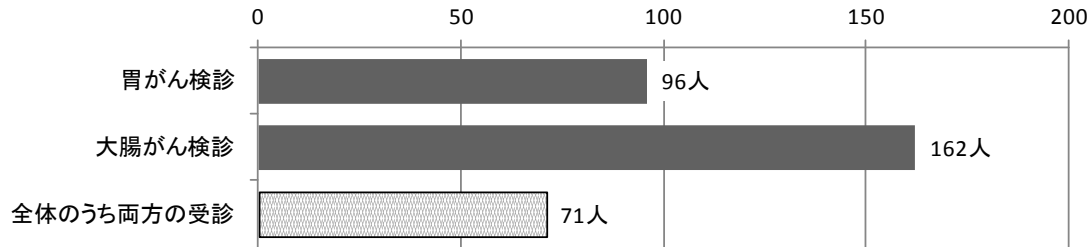


- 「受診を迷っていたが無料クーポン券が届いたので受診した」と回答した方が 36.1%で最も多く、次に多かったのは「受けるつもりはなかったが無料クーポン券が届いたので受診した」と回答した方で 35.1%となっている。
- 「受診を迷っていたが無料クーポン券が届いたので受診した」と「受けるつもりはなかったが無料クーポン券が届いたので受診した」と回答した方を合わせた、無料クーポン券が受診のきっかけになった方は、全体の 71.2%となっている。
- 問1「胃がん・大腸がん検診の対象が 40 歳以上だと知っていたか」の回答別で見ると、「受けるつもりはなかったが無料券が届いたので受診した」という、無料クーポン券が届いたことが直接的ながん検診受診のきっかけになった方は、胃がん・大腸がん検診が 40 歳以上だと「無料券が届いて初めて知った」方で割合が最も高く、50.8%となっている。
- 「無料券がなくても受診する予定だった」割合は、「以前から知っていた」方が 45.1%に対して、「無料券が届いて初めて知った」方では 18.5%となっている。がん検診が 40 歳からで

あることを以前から知っていた方と、知らなかった方では、無料クーポン券がなくても受診する予定だったかの割合の差が 26.6 ポイントある。

【問 3】 「がん検診無料クーポン券」を利用して受診したがん検診はどれですか。

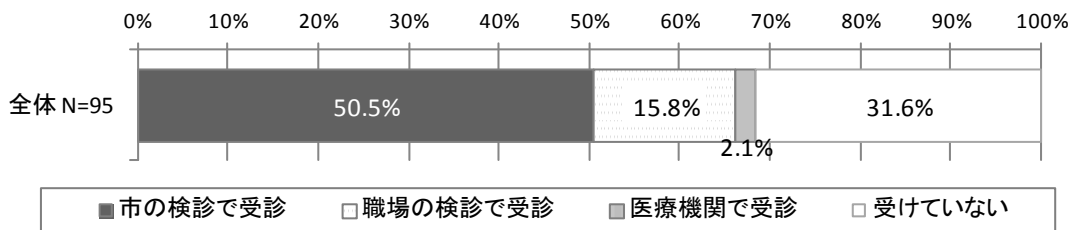
(複数回答可)



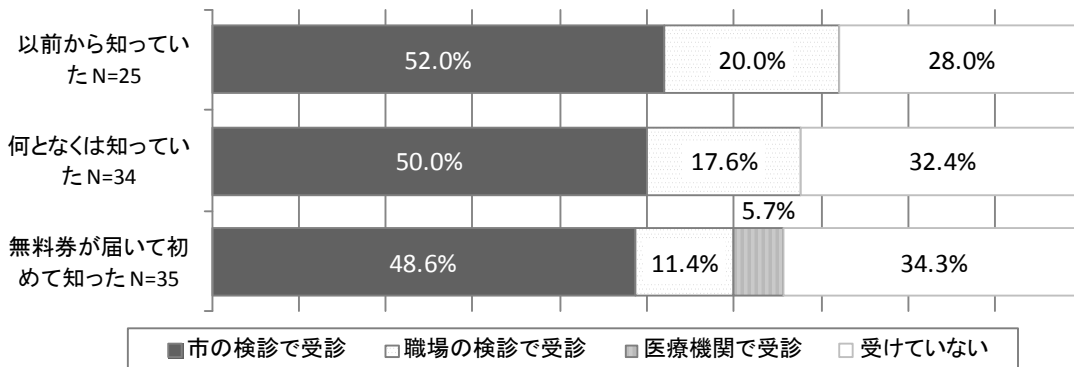
○無料クーポン券を利用して受診した方のうち、胃がん検診を受診した方は 96 人、大腸がん検診を受診した方は 162 人となっている。このうち、両方の検診を受診した方は 71 人となっている。

【問 4】 「がん検診無料クーポン券」で受診したがん検診を、その次の年も受診しましたか。

【胃がん検診】

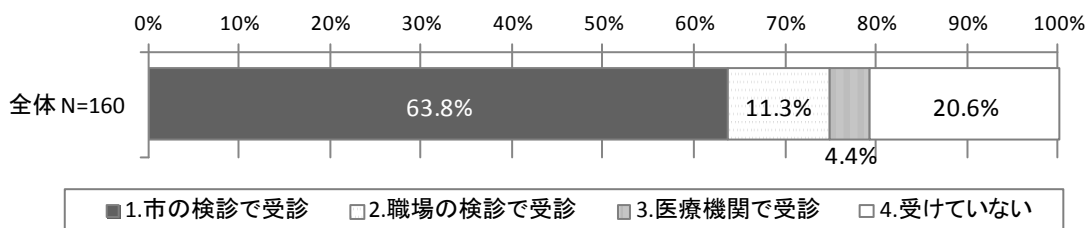


【問1「胃がん・大腸がん検診の対象年齢が「40歳以上」であることを知っていたか」の回答別】

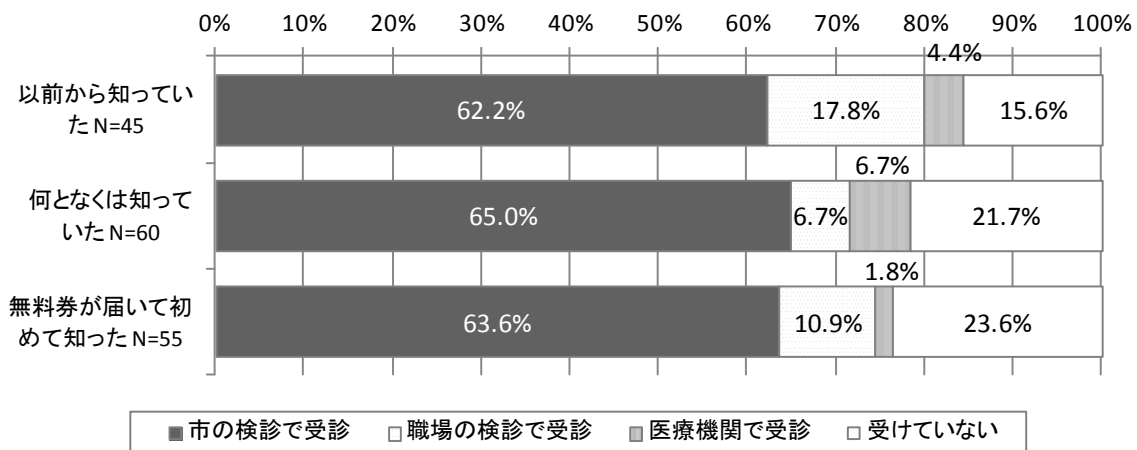


- 無料クーポン券で受診した胃がん検診を、次の年には「市の検診で受診した」方が最も多く 50.5%、次に多かったのは「受けていない」方で 31.6%となっている。
- 次の年に、市、職場、医療機関のいずれかで受診した方は合わせて 68.4%となっており、7割近い方が無料クーポン券で受診した胃がん検診を、受診した次の年も受診している。
- 問1より「胃がん・大腸がんの対象年齢が40歳以上であることを知っていたか」の別で見ると、いずれの受診機関でも「受けていない」割合は「無料券が届いて初めて知った」方が最も高く 34.3%で、「以前から知っていた」方が最も低く 28.0%となっている。

【大腸がん検診】



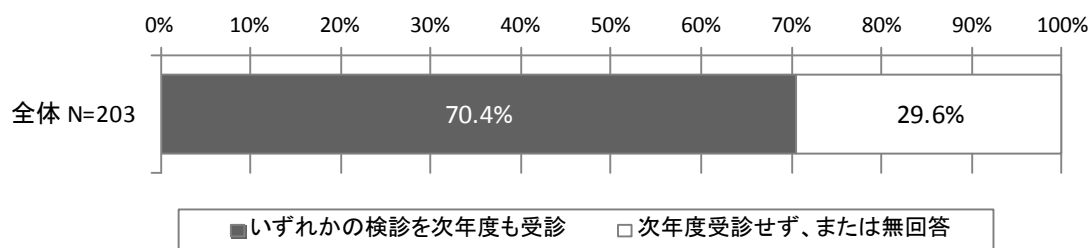
【問1「胃がん・大腸がん検診の対象年齢が「40歳以上」であることを知っていたか」の回答別】



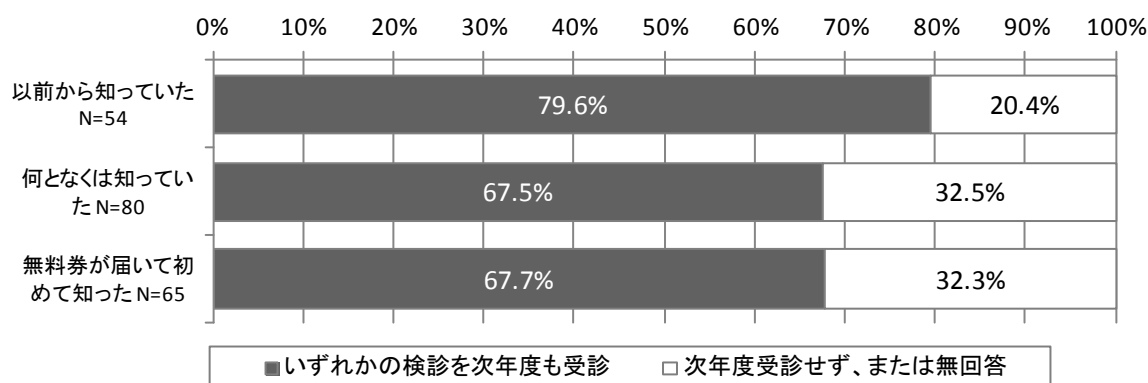
- 無料クーポン券で受診した大腸がん検診を、次の年には「市の検診で受診した」方が最も多く 63.8%、次に多かったのは「受けていない」方で 20.6%となっている。
- 次の年に、市、職場、医療機関のいずれかで受診した方は合わせて 79.5%となっており、8割近い方が無料クーポン券で受診した大腸がん検診を、受診した次の年も受診している。
- 問1の「胃がん・大腸がんの対象年齢が40歳以上であることを知っていたか」の別で見ると、いずれの受診機関でも「受けていない」割合は「無料券が届いて初めて知った」方が最も高く 23.6%で、「以前から知っていた」方が最も低く 15.6%となっている。

【胃がん・大腸がんいずれかの検診】

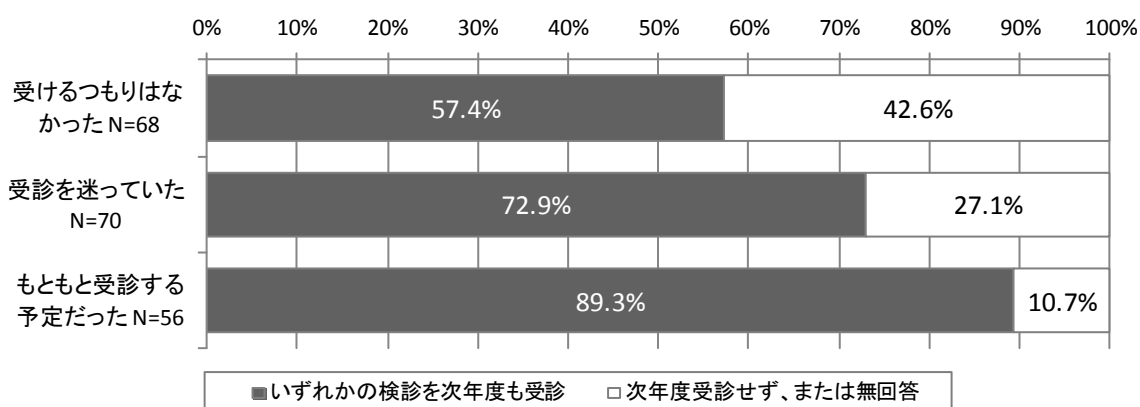
(胃がん・大腸がんの区別無く、いずれかを受診場所に関係なく受診した人)



【問1「胃がん・大腸がん検診の対象年齢が「40歳以上」であることを知っていたか」の回答別】



【問2「無料クーポンが届く前にかん検診を受ける予定だったか」の回答別】



○胃がん・大腸がんのいずれかのがん検診を、無料クーポン券で受診した翌年受診したかどうかで見ると、70.4%の方が翌年もいずれかの検診を受診していることがわかる。

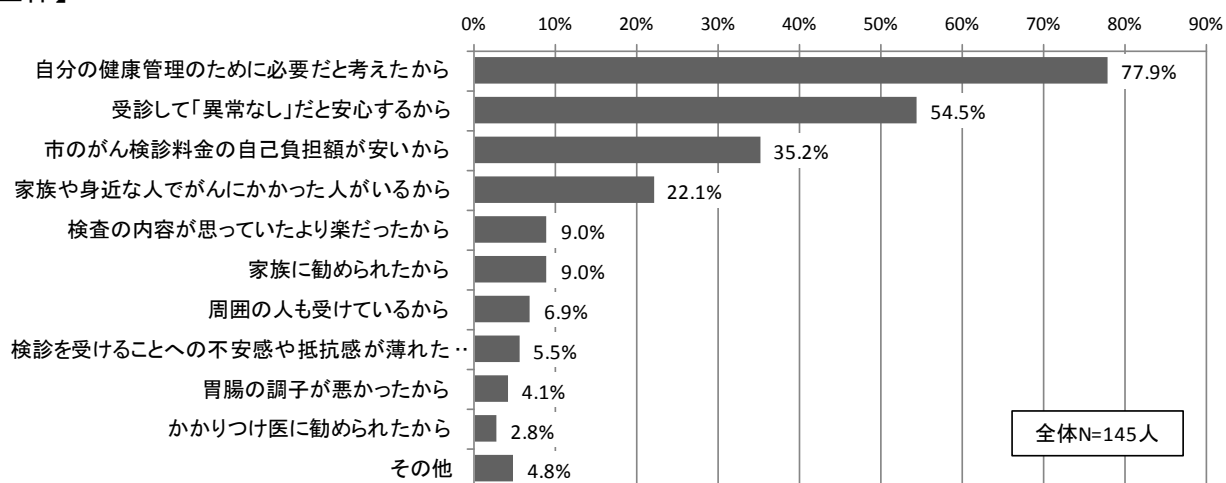
○問1の「胃がん・大腸がんの対象年齢が40歳以上であることを知っていたか」の別で見ると、「以前から知っていた」方が次年度もいずれかの検診を受診している割合が高く79.6%となっており、「何となくは知っていた」「無料券が届いて初めて知った」方とは12ポイント以上の差がある。

○問2の「無料クーポン券が届く前にかん検診を受ける予定だったか」の回答別では、もともと受診するつもりだった方の割合が最も高く89.3%であるが、受けるつもりはなかった方でも57.4%の方が翌年もいずれかの検診を受診している。

【問4-1】 継続してがん検診を受けている理由は何ですか。（複数回答可）

（無料券を利用して受診した年以降もがん検診を受診している方）

【全体】



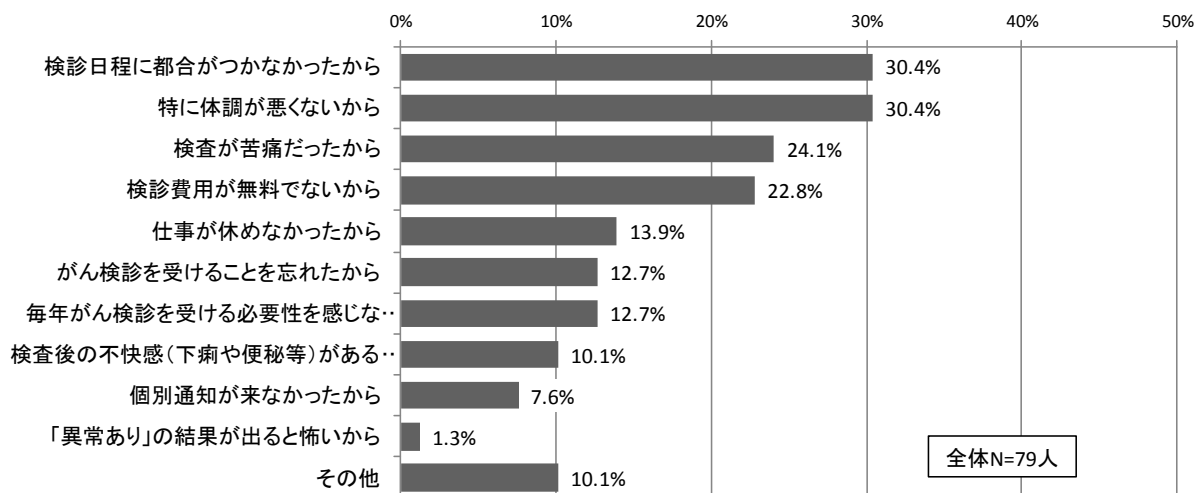
■その他意見

- ・ 研究に参加しているから
- ・ 10年無料だから
- ・ 日曜日の検診ができるから
- ・ なんとなく
- ・ がん死亡率が高い県に在住しているから
- ・ 毎年職場の検診があるため
- ・ 早期発見の大切さを思っ

○ 「自分の健康管理のために必要だと考えたから」と回答した方が最も多く 77.9%、「受診して『異常なし』だと安心してから」と回答した方が次に多く 54.5%となっている。

【問 4 - 2】（無料クーポン券を利用してがん検診を受診した翌年に）がん検診を受けることが出来なかった理由は何ですか。（複数回答可）
 （無料券を利用して受診した翌年にがん検診を受診出来なかった方）

【全体】



■その他意見

- ・ 家の事情、自分の入院等で出来なかった
- ・ 妊娠の可能性がゼロではなかったため
- ・ 1年未満
- ・ 面倒だから
- ・ 胃カメラなどの検査が怖い

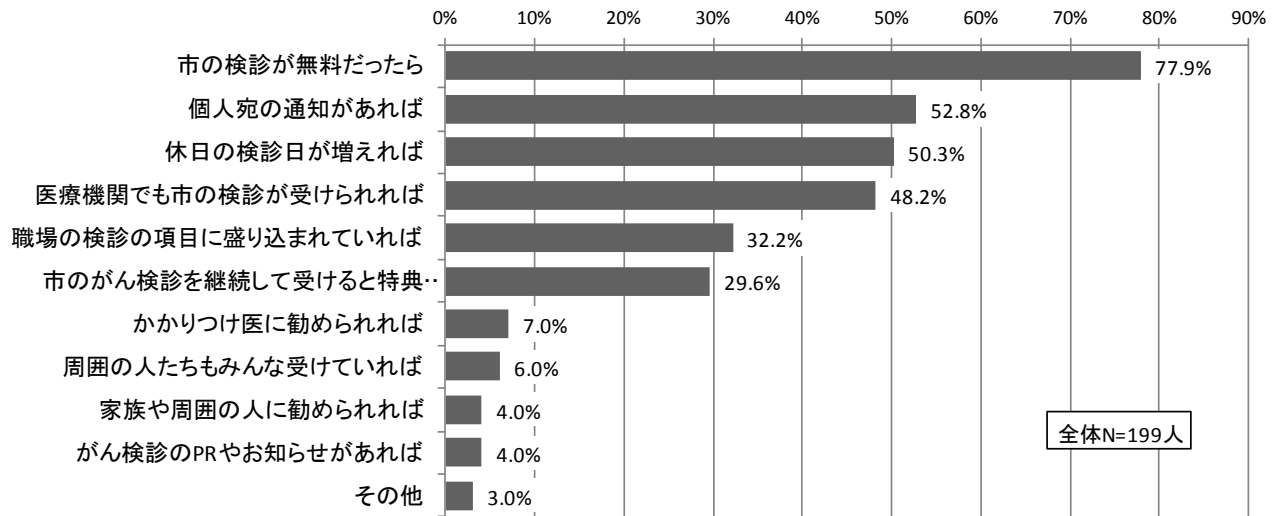
○「検診日程に都合がつかなかったから」「特に体調が悪くないから」と回答した方が同じ割合で30.4%となっている。

○三番目に回答した方が多かったのは「検査が苦痛だったから」で24.1%、「検診費用が無料でないから」がその次に多く22.8%となっている。

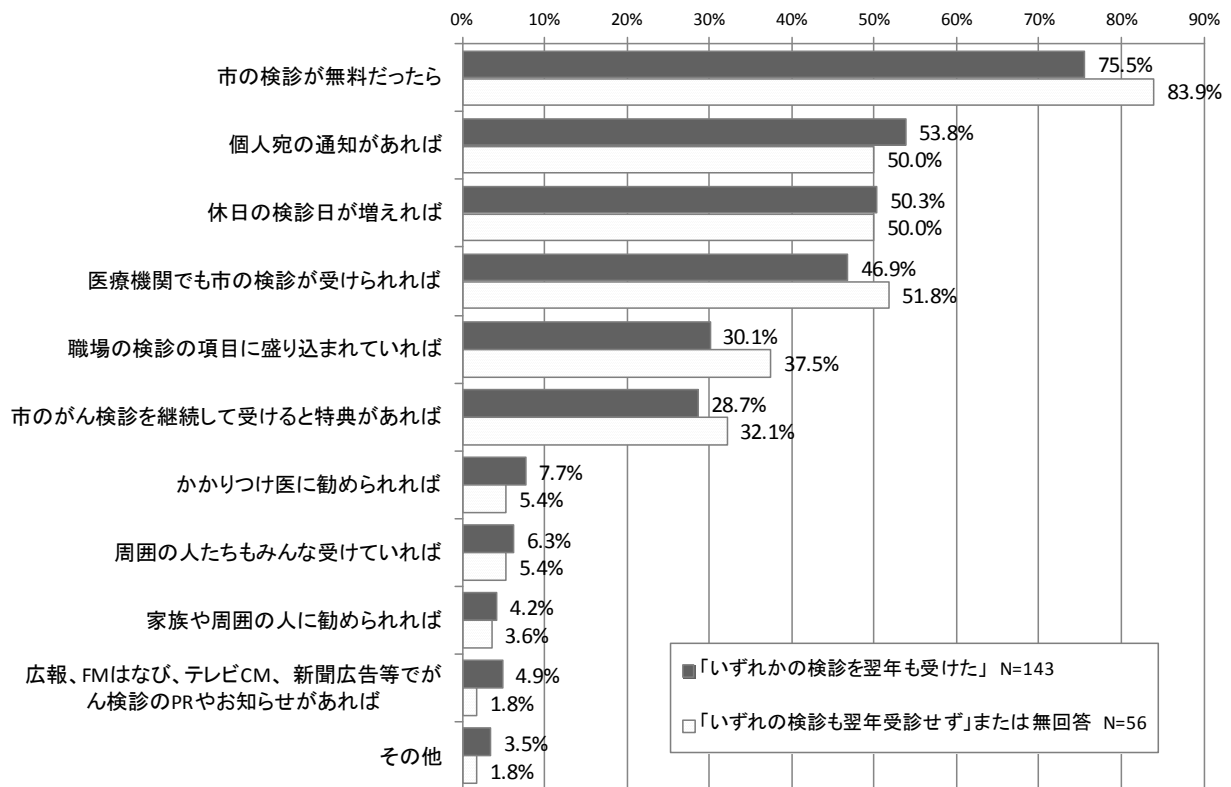
【問5】どんな働きかけがあれば、がん検診を継続して受けることが出来ると思いますか。

(最大5つまで)

【全体】



【問4より「無料クーポン券利用後の検診の継続受診」別】



■その他意見

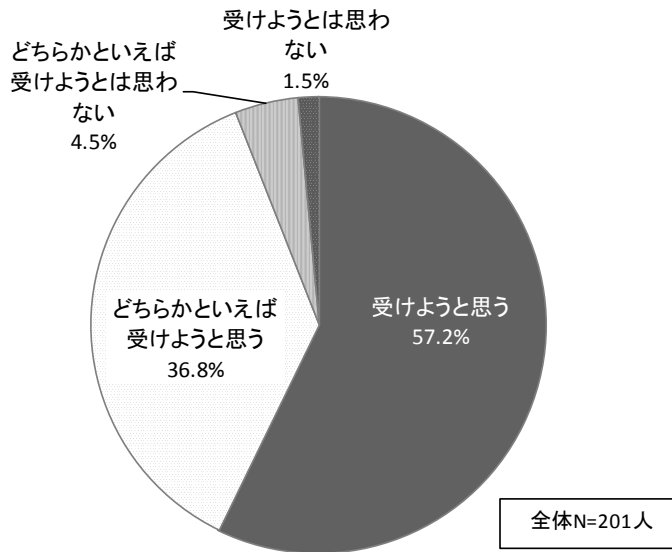
- ・ 待ち時間が少ないといい
- ・ 胃の検診のアナウンスが怖い
- ・ 平日の夕方から検診ができれば受診しやすい
- ・ 胃ガン検診の受け付け時間をもう少し延ばしてほしい。子どもを登校させてから会場に行きたいので
- ・ 年間を通じて受診できる日時がもっと多ければ。仕事や家のことで受けられない人も多いと思う。日曜検診の混み方にはうんざりする。
- ・ 早期発見が大事なことだと再確認するきっかけがあればいいと思う

○全体では、「市の検診が無料だったら」が最も多く 77.9%、「個人宛の通知があれば」が次に多く 52.8%となっており、一番目と二番目では 25.1 ポイントの差があり大きく開いている。三番目に多い「休日の検診日が増えれば」は 50.3%、その次の「医療機関でも市の検診が受けられれば」は 48.2%となっており、二番目、三番目、四番目はいずれも半数程度の方が「がん検診を継続的に受ける働きかけ」として回答している。

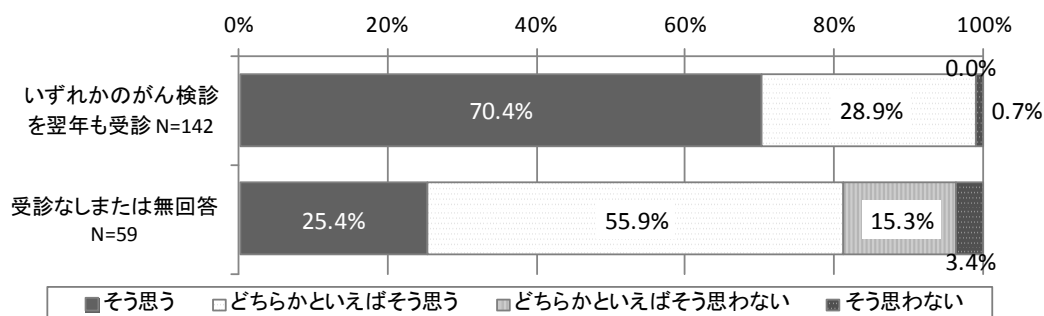
○問 4 より「無料クーポン券利用後の検診の継続受診」別で見ると、「市の検診が無料だったら」、「医療機関でも市の検診が受けられれば」、「職場の検診の項目に盛り込まれていれば」という項目で、5 ポイント程度の差で「いずれの検診も翌年は受診しなかった方、または翌年の受診について無回答」の方の方が高くなっている。

【問6】今後も定期的にがん検診を受けようと思いますか。

【全体】



【問4より「無料クーポン券利用後の検診の継続受診」別】

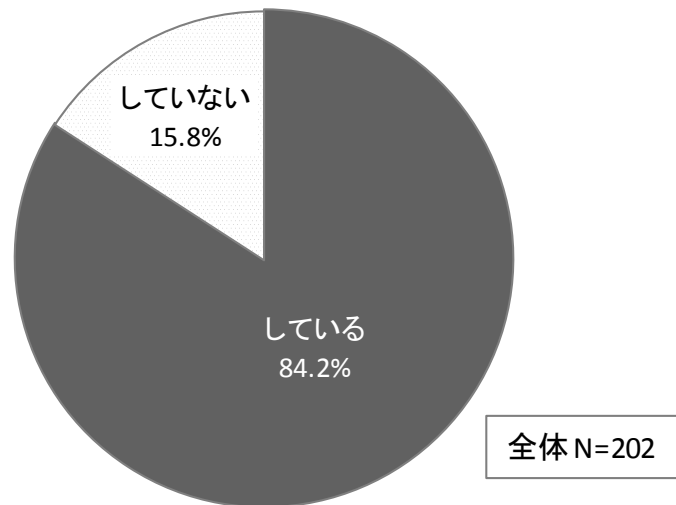


○全体では、「受けようと思う」と回答した方が57.2%で最も多く、次に「どちらかといえば受けようと思う」と回答した方が36.8%となっている。

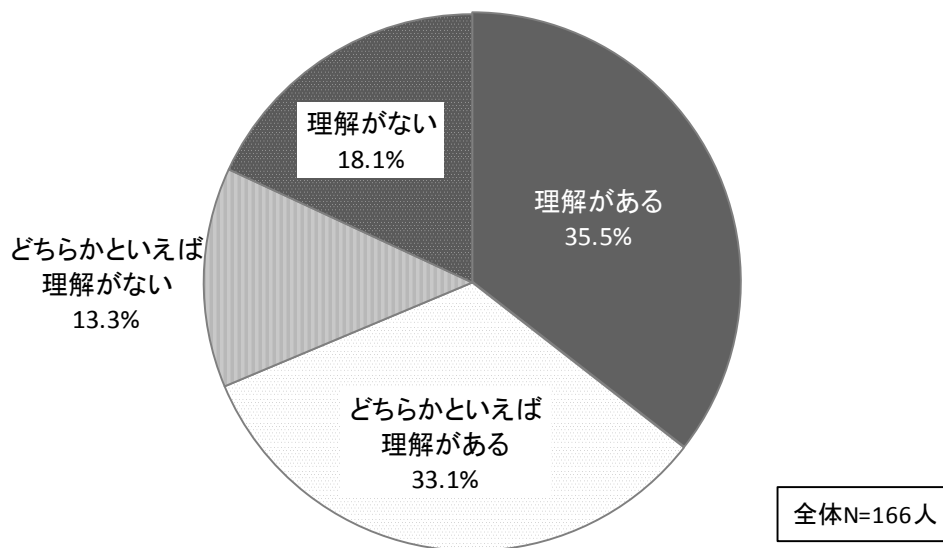
○本調査の対象者（H27、H28に無料クーポン券でがん検診を受診した方）においては、「受けようと思う」「どちらかといえば受けようと思う」を合わせると、94.0%の方が今後も受ける可能性が高い結果となっている。

○問4より、無料クーポン券利用後のがん検診の継続受診別で見ると、無料クーポン券での受診後もいずれかのがん検診を継続して受診している方では、今後も定期的ながん検診を受けようと思う方が70.4%、無料クーポン券での受診後いずれかのがん検診受診できていない方（無回答含む）では、25.4%となっており、45ポイントの差がある。がん検診を継続して受診している方では、「どちらかといえばそう思う」方と「そう思う」方と合わせると99.3%の方に、今後の定期的ながん検診の受診が期待される。

【問7】現在仕事をしていますか。

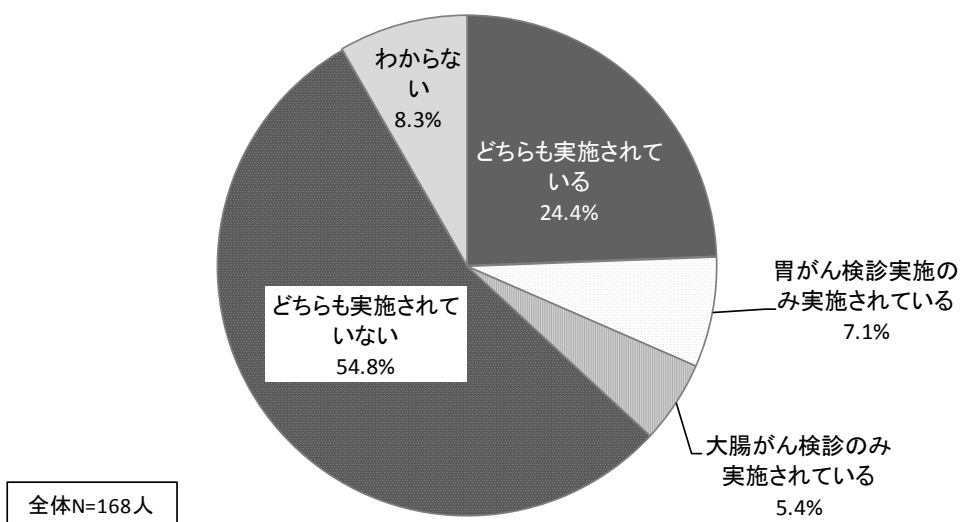


【問7-1】あなたの職場は、がん検診受診のための休暇取得について理解がありますか。
(問7で仕事をしていると回答した方)



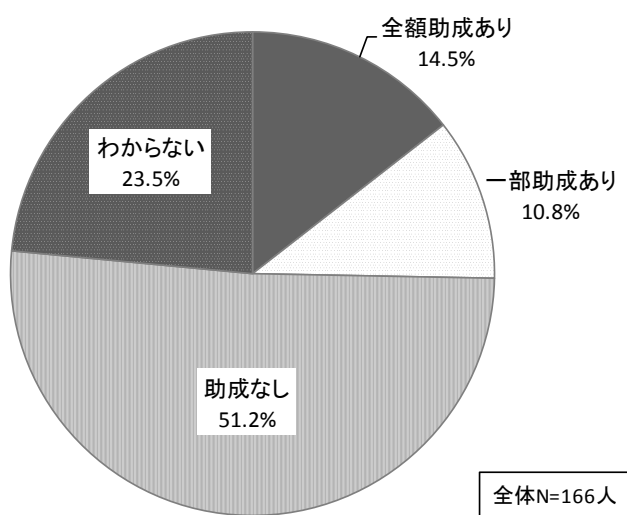
- 「理解がある」が最も多く 35.5%、「どちらかといえば理解がある」が次に多く 33.1%となっている。
- 「理解がある」、「どちらかといえば理解がある」と回答した方は合わせると 68.6%となっており、7割近くの方が、がん検診での休暇取得について職場の理解があると感じられている。

【問7-2】あなたの職場では、職場の検診として「胃がん検診」「大腸がん検診」が実施されていますか。（問7で仕事をしていると回答した方）



○「どちらも実施されていない」が最も多く 54.8%、「どちらも実施されている」が次に多く 24.4%となっている。

【問7-3】あなたの職場では、がん検診の受診費用の助成はありますか。（問7で仕事をしていると回答した方）



○「助成なし」と回答した方が 51.2%で最も多く、半数以上の職場でがん検診に対する助成がない。

○「わからない」と回答した方は二番目に多く 23.5%で、四分の一程度の方が自社の助成を知らない。

【問 8】市で行っている「がん対策」へのご意見やご要望をご記入ください。（自由記述）

検診料やがん検診無料クーポン券について

- 仕事をしていないので、市の方から検診の無料や補助があれば助かるから、検診を受けやすいと思う。（仕事なし／女性）
- 無料クーポンはありがたい。検診を受けるきっかけになる。毎年あると行く気になる。（仕事なし／女性）
- 今後も無料で受けられると良い。（仕事なし／女性）
- 市の検診が安かったらもっと受ける人が増えると思う。（仕事なし／女性）
- 非常によい。特に個人宅への通知や無料クーポンなどきっかけ作りになると思う。（仕事あり／男性）
- 今まで医者にかかったことがなかったが、初めて入院して検診を受けようという気になった。健康に対して自信があるうちは、なかなか検診に対して積極的になれないと思う。（仕事あり／男性）
- 今後も無料クーポンがあれば受診を継続できるので続けてほしい。（仕事あり／女性）
- 無料クーポンの通知が来ることで受診する機会が増えるからありがたい。（仕事あり／女性）
- 無料クーポンでできる検診が増えれば検診を受ける人も増えると思う。（仕事あり／女性）
- 費用を安くしてほしい。あれこれ受けると子育て家庭では金額が大きくなり無理。（仕事あり／女性）
- 花火に税金を使うのではなく、こういうことに税金を使ってください。（仕事あり／男性）
- 無料クーポンはありがたい。（仕事あり／女性）
- 無料クーポンをもらおうと受けてみようかなと思うから、できればガン検診を無料にしてもらいたい。一律 500 円でもいいので。（仕事あり／女性）
- 子育て世代は子どもに多額のお金が掛かるため自分の健康管理にまで手が回らないので、各検診の無料化を希望する。ひとり親の場合も負担が大きいため、検診無料等の特典があればいいと思う。（仕事あり／女性）
- 無料なら助かる。受けたいと思う。（仕事あり／女性）
- 大仙市は、他の市町村に比べれば健康福祉に関しての助成は手厚いと思う。（仕事あり／女性）
- クーポン券は検診を受けるきっかけになりありがたい。婦人科系の検診は足が向きにくいから、これからも婦人科系のさらなるクーポン等の充実を期待する。（仕事あり／女性）
- 検診が無料なのありがたい。（仕事あり／女性）
- 子宮ガン検診の際、初めてのときは大仙市外の病院でも良かったのに次の年はだめだった。市外の病院でも使えると便利。（仕事あり／女性）

検診について

- 乳がん検診はマンモグラフィーのみでは不十分。触診または超音波とセットにした方がいい。異常なしというはぎをもらってから、半年も経たないうちに自ら触診でしこりを見つけガンが見つかった。（仕事なし／女性）
- 医療機関で受けられる検診の項目が増えれば助かる。市の検診は日にちが決まっているので、その日に受けられないと行くのをやめる。（仕事なし／女性）
- 子どもがいると受診に行けない場合があるので、子どもを連れて受診が出来るようにしてほしい。（仕事なし／女性）
- 毎年通知が届くので受けてみようという気になる。職場は健康診断などもないため助かる。ただ、仕事などで都合が付けづらいときがある。（仕事あり／女性）

- 働いていると休みが取りづらい。日曜休みなら小病院はやってないし、予約と言っても平日は時間通りに受けられないので、市の検診は、日曜でも対応しているところがあるので助かる。(仕事あり／女性)
- 骨密度や血管年齢などもわかれば健康につながる。(仕事あり／女性)
- 去年子宮ガン検診をバスで受け、早くてよかったが、知らない人と2人で下着を脱ぐのは恥ずかしい。(仕事あり／女性)
- 日曜検診を増やしてほしい。(仕事あり／女性)
- 待ち時間が長い。(仕事あり／男性)
- もっと働いている人が検診を受けやすいといいと思う。受けたくても平日ばかりで日曜日だと混んでいて大変。(仕事あり／女性)
- 乳がん検診を平日の夕方からでもしてもらえると仕事を休まず受診できるからありがたい。休日は子どものスポ少などがあり、なかなか行けない。(仕事あり／女性)
- ガン検診の対象を40歳より前にすべきだと思う。(仕事あり／男性)
- もっと積極的にお願いしたい。できれば夕方から夜(仕事あり／女性)
- がん検診をおこなっていただけてありがたいが、男女別にやってほしい。下着姿に近い格好で同じところで待っているのがすごく嫌。せめて1日だけでも男女別の検診日を設けてほしい。(仕事あり／男性)
- 医療機関で受けたいが、期間が短い。翌年3月までとかにしてほしい。乳がん検診の無料の案内を何度ももらっているが、毎年検診に行っている時期が異なるため、自費で、使用したことがない。(仕事あり／女性)
- 毎回混んで待ち時間が苦痛。一回心電図を忘れられて終わって後にまた呼び出されたので確認してほしい。(仕事あり／男性)
- 休日にも検診を実施してほしい。無料項目を増やしてほしい。(仕事あり／女性)
- 胃ガン検診をバリウムではなく、胃カメラにしてほしい。乳がん検診に視触診、超音波の加えてほしい。(仕事あり／女性)
- 若い人(40歳)がほとんどいないような気がする。(仕事あり／男性)
- 1年に1度定期的に検診を受けることで安心できる。(仕事あり／女性)
- 日曜検診を増やしてほしい。(仕事あり／女性)
- 胃、肺、大腸だけでなく全身わかるような検診を希望。(仕事あり／女性)
- 混雑するのが本当に嫌。(仕事あり／女性)

その他

- 高齢者になってから検診の必要性を知るのでは遅いから、若い世代から検診を受けようという取組があればいいと思う。(仕事あり／女性)
- ガン対策事業を知らない人が多いから、認知活動を広げてほしい。(仕事あり／男性)
- 夫に肺がんが見つかった。昨年の市の検診では異常が無かったから、少し昨年の検診の結果を疑問に思う。検診結果で異常がなくても、体調不良のときはすぐに受診してください。という広報やパンフレットがあればいい。(仕事あり／女性)
- 検診も重要だが、ガンになりにくい食生活等の情報発信、対策をもっと増やすといいと思う。(仕事あり／女性)
- 生活習慣、食事の見直し、検診による早期の発見など、旧市町村ごとに対応または活動推進に温度差があると思うので、若年層から高年層まで幅広くガン対策への意識レベルを高める活動を実施してほしい。(仕事あり／男性)

- 小さいときから、成人病・喫煙・塩分のリスクを強く促す。(仕事あり／男性)
- 感謝している。(仕事あり／女性)

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

○今回調査した、無料クーポン券を利用してがん検診を受診した方のうち、「無料券の受領前は受けるつもりがなかった」、「受診に迷いがあった方」は合わせると7割となっており、がん検診無料クーポン券が、受診行動への大きな後押しとなっていたことがわかった。

また、無料クーポン券を利用して受診した方が、次年度も胃がん・大腸がんいずれかの検診を引き続き受診した方は7割で、無料クーポン券を受領する前には受診するつもりはなかった方でも、次年度には6割弱の方がいずれかの検診を受診している。このことから、無料クーポン券を利用して受診した次年度、検診料金が負担となっても継続的に受診する契機となり得ることも確認ができ、無料クーポン券配布が果たす効果は大きいと考える。

○一方で、無料クーポン券を利用したが、翌年受診行動に結びつかなかった割合は、胃がん検診では3割、大腸がんでは2割であった。「検診年齢が40歳以上であることを何となく知っていた」または「無料券が届いて初めて知った」方ほど継続的な受診行動には結びついていない。

また、問2では、検診の対象年齢が40歳以上であることを既に知っていた方ほど、無料クーポン券が届く前からがん検診を受診する予定だった割合が多かった。

さらに、無料クーポン券を利用した翌年、がん検診を受診できなかった理由として、「日程が合わなかった」に並んで「特に体調が悪くないから」が最も多くなっていることを考慮すると、がん検診は自覚症状のない人のためにある、ということが浸透していないと考えられる。

このことから、40歳になってから、検診対象年齢であることをお知らせすることも必要だが、40歳前からのがん検診に関する啓発、がん検診に対する正確な理解を得てもらうための、さらなる情報発信が必要であることを改めて受け止め、今後、どの場面を活用して、効果的に啓発していけるか検討していく。

○がん検診を受診する「働きかけ」となるものについては、「市の検診が無料であれば」という回答が約8割で最も多くなっており、無料クーポン券を利用した翌年に受診しなかった方の理由でも、「検診費用が無料でないから」と回答した方は2割を超えている。

一方で、継続してがん検診を受けている理由(問2-1)として、「市のがん検診料金の自己負担額が安いから」という回答は三番目に多く3割を超えており、今後も定期的ながん検診を受けようと思う(問6)割合も9割を超えている。

現在、市が実施する検診の受診料については、検診を実施するために必要な費用に対して約1/3の自己負担(胃がん1,200円、大腸がん600円)で受診できるため、市の検診における自己負担額の安さについてもわかりやすく説明して理解を得たいと考える。

○次年度継続して受診できなかった理由として、「検診日程に都合がつかなかった」が最も多かった。これまでも、日曜の検診日を設けたり、他のがん検診と共に行っていた大腸がん検診については待ち時間を考慮して大腸がん検診単独の日を設けるなどして、受診しやすい環境づくりに努めており、胃がん検診では年間80日前後、大腸がん検診は年間87日前後の受診可能な日を設定している。受診率向上と継続受診の体制整備のため、今後も受診者の利便性を考慮しつつ、検診の日程や周知方法について検討していく。

4 自由意見

平成 30 年度「市民による市政評価」、平成 30 年度「市民による個別事業評価」【成人保健事業】、平成 30 年度「市民による個別事業評価」【母子保健事業】の調査票に記述のあった、市政に関するご意見・ご提案などの自由意見を、分野別に掲載した。

産業分野

(1) 農林水産業について

- 農業について、今のやり方ではどんどん担い手不足が進むだけなので、農業を取り巻くすべてを一度フラットにして一から考えた方が良い。農産物の価格を農家が決められないのはおかしい。
(40 代／女性／太田)
- 市の顔となる農産物の加工品の開発-発信-販売-拡大。(30 代／女性／中仙)
- 緑豊かで自然環境に恵まれた当地（仙北平野）は、農林業に最適な地でありより有益な生産基盤確立に取り組むことを期待します。とりわけ、花火産業分野に傾きすぎないことを願っています。
(60 代／女性／中仙)
- 農家の担い手が少なくなっている。若者は給料が安く、より安い農業にはなかなか移ろうとは思えない。夏場は農業を担い、冬場は除雪を行うような就労場所は作れないでしょうか。
(30 代／男性／大曲)

(2) 商工業について

- 企業誘致は絶対だと思います。仕事がなければうるおいも生まれません。人口増加も若者がいなくなるのは当然だと。横手市に働きに出ている人たちが増えてますよ。これは秋田県全体の問題でもあるのではと思います。(50 代／女性／大曲)
- 市政の内容がよく見えてこず残念です。早く市に企業誘致して、働ける人達を増やして欲しいです。
(60 代／女性／協和)
- 大仙市の人口は減少するだけです。花火産業に力を入れるより、他の産業に力を入れた方が若者が定住すると思う。(農業以外) (50 代／男性／太田)
- 花火関連に力を入れすぎているのではないかと。他の産業等にも目を向けるべき。
(40 代／女性／仙北)
- もっと全国の企業に対して誘致を行い、雇用を生み出し、それと同時に企業内に保育所を作って女性の雇用にも力を入れてほしい。(30 代／女性／大曲)

(3) 花火産業構想について

- 市では花火に力を入れているようですが、他町村はみんなが一同に他の物に力を入れているように話しています。(60代/男性/太田)
- 花火ミュージアム 本当に必要ですか。花火の大曲でしょうが、それだけでは人は集まらないでしょう。私は行ってみたいとは思いません。花火だけに頼らず、魅力ある産業を考えた方が良いと思います。私達の税金を無駄なく運用してください。(50代/女性/仙北)
- 花火の街ではなく、花火しかない街になってしまっている。(男性/太田)
- 時々大曲かどこかで花火の音が聞こえてます。事前に知っていれば花火を楽しめるな、と残念です。開催される日時場所が前もってわかるとうれしいです。(60代/女性/西仙北)
- 大仙市の魅力は数多くありますが、知名度の上で「大曲の花火」と並ぶものはそうないように思います。故に、花火会場内やその経路での市内製品の販売を優遇する、「地場産品あります」ののぼりの作成と配布等により、地域の商店、屋台、商品の差別化を図ることが必要だと思います。より多くの人に市内産品を見て、触れてもらいその魅力を知ってもらうことでSNS等であとは勝手に広がっていくことが期待されます。ふるさと納税の返礼品の候補としたり、取り寄せ等を簡易にするためのWebページ整備費の助成などを組み合わせるとより効果的かと思います。
(30代/男性/大曲)
- 大曲で生まれ、今日に至っております。花火も小さい頃からなじみがあり、大会が終わると学校で花火大会の絵を描かされたものです。近年花火に「行く」「見る」という気持ちがなく、花火は「営業化」されつつ、花火客を増やしつつ「花火大会」が遠くなっていく気がします。昔の大曲の花火は市民の為にあったように、時代の流れからか「何かちがってきたな」という感じです。しかし、毎年携わっている職員の方々、ご苦労様です。(60代/女性/大曲)
- 花火について 春秋冬など、観光花火、とても頑張られている最近ですが、もとは取れているのでしょうか。一瞬で空に散って、かえってお金がかかりそうな気がします。花火の大仙で有名なものもありますが、過疎化に歯止めをかける施策に力を注いでほしいです。(50代/女性/太田)
- 花火は8月1回で良い(60代/女性/仙北)
- 花火を売りにしているが、インパクトに乏しい。新潟に及ばない。花火以外にも魅力的な前夜祭等が必要と思う。(例えば高橋優にコンサートをお願いするとか) このままでは頭一つ出てトップに立つことは無理ではないか。主催側が日本一と思っているだけでは廃れる。(30代/男性/大曲)
- 毎年の花火大会は本当に市民のためになっているのでしょうか。マナーの悪い観客?市への来客者?市に苦情はないのでしょうか。(50代/女性/大曲)
- 大曲の花火も知名度は上がり全国から来る方は増えた一方、儲けに走りすぎている気がします。大会にお金がかかるのかもしれませんが、昔河川敷で家族とビニールシートを敷いて見る花火が懐かしく思い出されるのは私だけでしょうか(30代/男性/大曲)
- 何かと言えば花火、花火中心の街ですね。大曲地区しか恩恵のない市政は応援できません。
(中仙 60代 男性)

(4) 観光について

- 道の駅の暗さ、商品の薄さ、目玉になる魅力のあるものが無いため、トイレ休憩程度の利用でリピーターを見込めていないのではないかと。勉強不足で簡単に申し上げましたが気になる点のみ。。。
(30代/女性/中仙)

- 若者が楽しめるような施設（ファッションビル、テーマパーク等）があると楽しい。いろいろなお祭りが、たくさんあると外に出る機会が増えると思う。（20代／女性／大曲）
- 常時イベントや地域住民が訪問できる施設があってもよい（例）北上さくら、若者が集まったりする、コンサートなど（例）山形、南陽）のイベントが少ない。花火以外大規模なイベントがない。（40代／男性／太田）
- 外国人の観光客を呼び込める対策が必要。呼び込めば、市も潤う、産業が生まれる。（50代／男性／太田）
- 大仙市の特産品は何ですか？と言われても、すぐ答えられない。（太田 50代 男性）

(5) 雇用・就労について

- 若い人達が住みやすいまちづくり（雇用）をお願いします。出入口となる駅近辺の賑やかさを復活させたいですね。（60代／女性／大曲）
- 土木建設業の若者の就労者が不足しているので、賃金等の底上げを！介護職員も同じ。（30代／男性／大曲）
- 施策でどのようなことが行われているのかがわからないので、満足度重要度のアンケートは答えるのが難しい。ただ思うのは、秋田県から、大仙市から、若者が県外に就職する人、又は進学で離れないように企業誘致、それと、最低賃金でない市でなければいけないのでは。若者が減ると高齢者のみの市になり、ますます介護サービスに力を入れていかなければいけないのではないかと考えています。若者が住みやすい市であることが重要かと。（50代／女性／大曲）
- ふるさとが大好きな若い世代はたくさんいるが、やはり仕事がないと言われる。給料との兼ね合いもあるし単純ではないが、働ける場所がもっとあればと思う。（50代／女性／中仙）

出会い・結婚・子育て分野

(1) 出会い・結婚について

- 若者や低所得者の為の生活援助を早急に充実させて欲しいです。低所得者が家庭を持つのは現実的ではないと思いますし、少子化問題を議論する以前の大きな課題だと思います。（30代／男性／大曲）
- 結婚、子育て支援（助成金）などをもっと増やしてほしい（20代／男性／大曲）
- 若者の意見をもっと取り入れてほしい。職場で出会いがなく結婚していない方が多くいるので、様々な人と交流できるような企画なども考えてほしい。いつも大仙市のために様々なことを考えて下さり、ありがとうございます。（20代／女性／仙北）
- 若者が残っても、結婚しない現状、世話してくれる人も少なくなっている。（50代／男性／太田）
- 独身の男女の出会いに力を入れるべきと考えます。よろしく願いいたします。（50代／女性／大曲）
- 嫁の来てがないと聞くが、日本女性が駄目なら外地より（60代／男性／大曲）
- 出会いの場、婚活をもっと工夫した方が良い。（30代／女性／神岡）

(2) 子育てについて

- 横手市では新生児が生まれた際、市内の店で使える商品券（3万円）がもらえるそうです。大仙市では紙おむつとゴミ袋ですが、おむつの種類などはその家庭によって決めていることもありますので、横手市のように地元でしか使えない商品券や優待券などがあれば、活性化につながるとと思います。（レストランの食事券などであれば「またいってみよう」「友人にすすめてみよう」などとなり、大仙市に貢献できる機会が増えると思います。）もう少し他市町の取組に興味を持たれてはいかがでしょうか。（30代／女性／中仙）
- 子どもを作るのは良いが、経済が何とかならないと生まれてきた子どもたちが不憫でならない。（40代／女性／太田）
- 「男女共同参画社会」、男性の子育て・育休・相談などが充実しておらず意味なし。（40代／男性／大曲）
- 子育て世帯の負担が大きく、地元民間企業の給与水準では生活が厳しい。行政側の支援を頂きたい。今後はさらに大学進学率が上がり、教育費がかさむのではないか。（30代／男性／大曲）
- 保育料だけは第三子以降が誕生すると第二子以降の保育料が全額助成されるが、小学校からは何もないのがおかしいと思う。小学校からがどんどんお金がかかっていくのに、何も助成がないので、子供を多く産むことをやめる人も多いと思います。安心して子どもをたくさん産むためには、小学校・中学校・高校までのサポートが必要だと思います。長寿祝金があるなら、出産祝金もあつては良いのではないかと思います。（30代／女性／仙北）
- 大曲駅近くに子ども（幼児）の遊ばせる施設が欲しい。（横手の駅前施設は最高！）通町にのびのびらんどがあるが、もう少し広いスペースと遊び道具（例えばままごとセット）の充実が欲しいと思う。（60代／女性／大曲）
- 子育てしながら働いていますが、子どもが病気の時小児科が少なく病後児もないため仕事を休まなければならない。ファミサポを利用するように説明されたが高額で利用できない。子供達が利用できる公共施設が少なく、遊具のある公園などの場所も偏りすぎている。（30代／女性／大曲）
- 公園や子どもが安全に遊べる広場等、遠くに出かけなくても良い遊び場をお願いしたいです。職場の後輩（30代女性）が提案しています。親子でふれあえる遊べる施設が少ないと思います。よろしく願いいたします。（50代／女性／大曲）
- 保育施設については、保育士の賃金をもう少し上げるとか、仕事に対する対価を支払うべきと思います。見直しをして欲しいです。（50代／女性／大曲）
- 月に一日くらい夜間消灯日を設定（ろうそくの日）など、少子化を防ぐ一つの方法だと思います。又地域全体での子供達を大事にする道徳、心を育てる環境作り、競争より協力する人づくり推進事業。カネより物づくり。（60代／男性／協和）
- 職場の女性が仕事に復帰するため保育園を探していましたが空きが見つからず、8月復帰予定が4月復帰になった。子育て支援や保育サービスがあるが、これでは少子化なのは当たり前。将来自分の子どもが結婚し子どもができ、働くとなった時に預ける先がなかったら自分に負担がくるかも…と考えればぞっとする。また、何度も申請して空きがなければ連絡なしというのも変だと思う。もう少し考えて下さい。保育園を探しているママさんたちみんなそう思っています。（仙北／40代／女性）
- 今の子供達はお金がかかる。少子化を少しでも止めるため、小学生まで少しでも子供達に支援してほしい。（40代／女性／大曲）
- 保育所の申請方法が現在のままでは途中入園がかなり難しい。（40代／女性／大曲）
- 保育園、小学校が衛生的でないので、新しくしてほしい。（30代／女性／大曲）
- 保育園を2人目以降は無料にしてほしい。（30代／女性／大曲）

- 経済的な支援がいいとは言えない。収入が増えても出ていくお金も増え意味がない。仕事をするために保育園に入れているはずが、料金が高く、そのために仕事をしている気がする。
(30代/女性/太田)
- 1人親世帯だけでなく、マル福対象年齢を18歳までにしてほしい。(30代/女性/大曲)
- 市内に小児科が少なく不便。病児保育等ができる施設がほしい。(20代/女性/太田)
- 第3子の保育料を無料か安くしてほしい。(30代/女性/大曲)
- まるこの広場やうさちゃん広場を利用させていただき、先生からアドバイスをもらったり話を聞いてもらったり、同じ年代の子どもがいるお母さんと知り合ったりと助かった。(30代/女性/大曲)
- もしまた妊娠、出産し、育児休暇をとることになったら会社を辞めないといけない。その後の職場復帰も難しいため新たな子を授かることができない。パートでも子育てに理解してもらえるようになってほしい。(30代/女性/大曲)
- 子どもの健診の担当医があまり信用できない。考えが偏っている。予防接種なども市関係なく受けやすくなるとありがたい。(20代/女性/協和)
- 求職中でも長時間子どもを保育園で預かってほしい。(20代/女性/中仙)
- マル福や2人目以降の保育料無料が大変助かっている。大曲には大きなイベントがある公園が少ないので、広い公園があると助かる。(30代/女性/仙北)
- 自分で子どもを見ている専業主婦の声を聞いてもらって、育児をサポートしてほしい。
(30代/女性/大曲)
- 健診の時間を午前中にしてほしい。(30代/女性/大曲)
- もっと経済的なサポートがほしい。(30代/女性/仙北)
- 児童館の開館時間をもう少し早めてほしい。長期休みや土日だけでも10時開館にしてもらえると利用しやすい。(30代/女性/大曲)
- 子ども支援課の対応が丁寧で引っ越してくる際に心強かった。アンケートの回答のはがきをいただいて、フォローアップもされていてすばらしいと思った。(20代/女性/大曲)
- 母乳育児が推進されている中、粉ミルクで育てている方にとっては赤ちゃんを抱いて、着替えやミルクやお湯の入っているバックを抱えて出かけるのは体力勝負なので、市の施設に授乳室や調乳室を設置してほしい。認定保育施設を増やしてほしい。(30代/女性/大曲)
- すこやか支援が分かりづらい。分かりやすくしてほしい。(30代/女性/神岡)
- 3人以上子どもを出産した世帯に「多子控除」のようなかたちで所得税の控除を導入してほしい。
(30代/女性/大曲)
- 出産したときの手当をもっと手厚くしてほしい。他の県や市より少ないと思う。
(30代/女性/中仙)
- 医療費が掛からないのは助かる。今後も続けてほしい。(40代/女性/大曲)
- 一時保育をお願いしようと連絡すると週3回1日預かりで2800円と言われ、経済的にためらってしまう。利用日数、利用料金を見直してほしい。(30代/女性/南外)
- 6月に初めて不審者のメールを受信したが、「大仙市内の公共施設」という表現は規模が広すぎて分からない。地域を限定してほしい。(20代/女性/大曲)

- ファミサポの預かってくれる場所はまるこの広場にしてほしい。さすがに知らない人の自宅は心配。(20代/女性/大曲)
- 最近、親が子どもを死なせてしまうニュースをよく目にする。保育園から市へは何度も相談していたのに具体的な対応がなされないまま、最悪の結果になってしまったことに強い憤りを感じる。大仙市では絶対にこのようなことが起きないようにあらゆるSOSはしっかりと受け止め、迅速な対応をしてほしい。(30代/女性/大曲)
- 現在上の子2人をこども園にお願いしているが、3子が生まれて1ヶ月で求職しなければ支給認定資格が喪失されるのか。現在上の子2人をこども園にお願いしても一番下の子のみ少しの間だけでも家でゆっくりみることはできないのか。(30代/女性/仙北)
- 保育園の申請に関して職場の関係で秋田市に入れたいが、決まるのが職場復帰の1ヶ月前とのことだった。もし決まらなかったら常に不安。住所が市内か市外かに関わらず県で統一してほしい。(30代/女性/協和)
- 予防接種の助成、保育園の料金なども統一してほしい。(30代/女性/協和)
- 希望する保育園への入園ができない問題を解決してほしい。(30代/女性/大曲)
- 子どもを授かることは嬉しいことだが、臨まない妊娠や妊娠は望むけど、予定外の妊娠であったり個人で考え方が異なる。そういった人たちの支援をもっと充実してほしい。児童扶養手当も前年度の収入で決定するので、現在の状況が反映されないもの変えてほしい。(30代/女性/大曲)
- 今年度から不妊治療助成が拡大され、タイミング法で治療する人にも補助がもらえるようになったと知りうれしい。SNSで発信したところ他の自治体の人にもうらやましがられた。今後もこのようなサポートを貰えると心強い。(30代/女性/大曲)
- 子育てに対する手当やサービスを増やしてほしい。高齢者が多く、若者の県外への流出で人口が減少していることをもっと真剣に考えてほしい。子育て世代にとってメリットが多く、働きやすい環境を作してほしい。家族の介護をしながら、小さな子どもを育てて仕事をしている大変さを理解してほしい。(30代/女性/大曲)
- 現在別居中だが、子ども手当の入金が相手の通帳になっている。市役所に相談しても口座を変えるのは無理と言われた。別居、離婚でお金に困っている人はたくさんいると思う。子どもと一緒に暮らしている人にお金が振り込まれるようにしてほしい。(20代/女性/大曲)
- 自分から行動する健康相談や検診は抵抗がなかったが、生後2ヶ月の家庭訪問は自宅や赤ちゃん、私自身のことを強制的に見られているように感じ、嫌だった。(30代/女性/中仙)
- 保育料、3歳以上誰でも無償化してもらいたい。(30代/女性/大曲)
- 3人子どもがいるが、産後の手当などを増やしてほしい。(30代/女性/中仙)
- 乳幼児健診の際、医師からの言葉にとっても傷つき、不安な思いをした。第一子の4ヶ月健診を楽しみに、どれほど成長しているか胸を躍らせていたが、医師からは母乳で育てていないこと、家族が多いのは混乱する。第二子は4歳あけてなど自分の思いとは全く違うことを言われ、ショックを受けた。そのときはすでに第二子を妊娠していたので、全てを否定されているようだった。初めての育児に不安を抱えているお母さん達に健診の場はもっと温かく、安らげる場であってほしい。(20代/女性/西仙北)
- 正社員ではない場合、産休は取れても、育休が取れず、結局退職しその後は経済的に苦しい。金銭的支援やベビー用品の無料配布や格安レンタルなどがあれば利用したい。(30代/女性/中仙)
- 子育てに関する支援をたくさんしてほしい。(男性/大曲)
- 予防接種のスケジュールをもっとわかりやすくしてほしい。ロタウイルス・おたふくなど任意接種を行う場合のパターンだと同時接種となり、スケジュールが全く意味なかった(30代/女性/大曲)

- インフルエンザの予防接種の助成をしてほしい。3人も子どもがいるので経済的にきついので、少しでもあれば助かる。(30代/女性/大曲)
- 子どものインフルエンザの予防接種費用を助成してほしい。(女性/神岡)
- 予防接種の助成とかもってしてほしい。低賃金で少子化と言われても、今の子どもが高齢者になる時、大人になったときを考えると子どもを産むのが怖い。(30代/女性/大曲)
- 子どもが受けるべき予防接種などは全て無料にしていきたい。土日、祝日休みは今時公務員くらいなので、保育所等は無休であけてほしい。(30代/女性/大曲)
- 予防接種(インフルエンザ)の助成や児童クラブの料金が他の市町村より高い。子どもが2人いると負担。(30代/女性/大曲)
- とにかくインフルエンザの助成や子どもたちが休日に遊びに行ける施設等を作ってほしい。里帰りしてきた友人も、帰ってきてもどこも行くところがないと言ったりしていると残念。出生率も上がらないし、人口は減っていくだけ。もっと市民(母親たちの)意見をきいてほしい。(30代/女性/大曲)
- 子どもが小さいときは病気がちで仕事も父親と交互に休むことたくさんあった。病児保育も利用したが、看護休暇がもっと取りやすい会社の風土が必要。大企業は制度が整っているが、地元企業は取りにくい。特に男性が休むことに理解不足の男性上司が多く、このような風土がなくなればいい。(30代/女性/協和)
- 車に貼るマタニティマークを貰えることを知らなかったし、貰えるのであれば、母子手帳と一緒にもらいたかった。育児休業給付を貰っているが、会社で育児休暇をとるのが自分が初めてであったこともあり、事務の人が手続きを忘れていた。待ってても入金されず電話すると、忙しそうに面倒くさそうな対応をされるのがストレスだった。それが嫌で自分で手続きすると最初に言ったが、会社のハンコが必要だからと言われ任せているが困る。もっといい方法があればいい。(30代/女性/中仙)
- 9月から保育園入園を希望しているが、第一希望に入れるか不安がある。保育園の入園状況がわかればよい。新生児とその次の年にごみ袋をもらえるのはありがたいが、もう1年ほしい。(40代/女性/大曲)
- 保育園の受け入れが難しすぎて、他市へ移住した人を何人か見てるから、少子化や人口減に繋がるこの問題を早期に対策して若い世代が安心して出産できる環境にしてほしい。(男性/大曲)
- 保育園の申込みのとき、市役所の2階でやるのが不便だった。部屋に行く間、たばこの煙が充満していて、子どもを連れて行ったから不快だった。そこに行かなくても申込みできる仕組みがあればいいと思う。(30代/女性/大曲)
- いつもまるこの広場を利用して、先生たちも大好きなので、そこで一時保育やお昼過ぎまで過ごせる環境(電子レンジやお弁当を食べたり、食育教室など)やってほしい。(30代/女性/大曲)
- 小児科の数が少なくて困る。(30代/女性/大曲)
- 病児病後保育園を増やしてほしい。(30代/女性/大曲)
- 日曜日の仕事があるため、日曜日でも預けられる施設や時間単位等で対応してくれる施設がほしい。保育園に入園させているが、子育てと仕事の両立が難しくなっている。(20代/女性/大曲)
- 市の子育て支援の不充実さ。この辺の育児サークルは個人でやっていて、補助もないので、存続の危機。雪深い地域なのに室内で遊ぶ場所が少なすぎる。児童館は開く時間が遅いので、未就学児には不向き。施設がないわけではないので、おもちゃなどを用意し、場所を提供してほしい。子育て中のママさんを時給で雇い、子育てサークルのようなものを市で行うと、利用する人も多いし、ママさんや保育士にもメリットがある。(20代/女性/大曲)

- 幼児食教室を開催してほしい。離乳食は本が出ていてさほど悩みませんが、幼児食は大人と同じようなものを食べられるようですが、それでも悩む。(40代/女性/仙北)
- 学童保育も拡充。曲小4年生も利用出来るように十分な体制。(30代/女性/大曲)
- 産前、産後は無収入なので、お金が無いと子どもは産めない。(30代/女性/仙北)
- 子どもが1歳になり外出する機会が増えたので、子ども連れでも利用しやすい飲食店や遊び場がある施設、子供用の設備がある温泉施設などがまとめられたホームページなどがあるとうれしい。(30代/女性/大曲)

健康福祉、スポーツ分野

(1) 保健・医療について

- もっと若い世代への医療費の負担を軽減してほしい(特殊な病気を持っている方の高額な薬代金などもっと補助してもらいたい)(20代/男性/大曲)
- 予防接種の助成をしてほしい。(30代/女性/大曲)
- 病院(小児科)が少ない。特に、救急、夜間、日中に不満(30代/女性/大曲)
- 老後のことを考えると、老後施設の充実と医療の充実を望むが、特に今の現状では厚生医療センターの医師の質が問題である。対応の仕方に不満を感じる。(60代/男性/大曲)
- 特に医療施策は一部の富裕層の高級車やゴルフのための財源となっていないか、人口に対して個人開業医が多く、肝心な際に対応可能な科が病院(中核)にも欠けている。隣圏の救急アクセスを改善した方が費用対効果が高い。門前薬局が多く、税金投入している病院の院外処方をやめるべき。教育現場のフッ素洗口や給食センターのような業務手順マニュアルは整備されているのか、薬局での感染エリア分離(感染系作業との分離)は疑問だ。財政適正化をお願いします。(50代/男性/大曲)
- 認知症の疑いのある人への保健師在宅訪問を強化して、本人・家族への意識付けや病院へ繋ぐことをしてほしい。市民から集まってもらうのではなくもう少し行政も地域に受け込み、各家々に足を運んでほしい。(女性/西仙北)

(2) 社会福祉について

- 一人暮らしの高齢者が多く、身体に不調があって歩けなくなったりしても誰も気付いてあげられません。見回ってくれるようなボランティアの方がいるとありがたいです。(30代/女性/大曲)
- 貧困問題をもっと考えてほしい。秋田県全体が貧困世帯が多くいるのでは?生涯年収が他県と比べても少なすぎる。仕事は同じなのに年収が違っていると秋田県で仕事する意味を見出せない。これが何とか向上すると自殺率も少なくなるのでは?(40代/女性/太田)
- 今はお年寄りも元気で長生きされている方が沢山います。もっと身近に集まれる場所があったら、気軽に行けるのではないのでしょうか。特に男性などは、出歩かないように見受けられます。役員の方、本人の気持ちもあると思いますが、町内の方たちがもっと声を掛け合って楽しくできたらいいなあと思います。(70代/男性/西仙北)
- 健康年齢(寿命)を長くするため、クアオルトなどの取組があれば幅広い年代で交流したり健康増進ができるのでは。(40代/男性/神岡)

- 多様化している住民に対してイベントの参加率を上げることはナンセンスだと思う。（「敬老の日事業」などについて）男女だけでも違うし、趣向もそれぞれ、それらを決められた日時にたくさん参加してもらうなど企画する側の目線。もちろん人手も予算も限りがあることも理解しているが、いろいろな人が行きたいと思えるいろいろなことを多様に企画するしかないと思う。
（50代／男性／大曲）
- 基本的には住みやすい便利な街だと思いますが、個人的には希望の時期に子どもを保育園に預けられなかったり、本当に必要なのに市営住宅に入れなかったりと、本当に必要な時に助けてもらえない、声を聞いてもらえなかった不満が残ります。多くの方々の住む大きな街ですので数に限りがあるのはわかりますが、こちらにも生活がありますので、本当に困っている人の声を聞いて欲しいと思いました。（30代／女性／大曲）
- 大仙市住みやすいですが、冬期間は光熱費が高く雪寄せの不安もあり老後は心配です。
（30代／女性／大曲）
- 高齢者の自転車講習を行ってほしいです。道路で危険な行動をとる高齢者が目立ちます。
（10代／男性／西仙北）
- 子育て支援への気配りありがとうございます。年寄りの地域に対しての思いやり等につきまして特段ご配慮ください。（80代／女性／仙北）
- 町の景色は美しい。整理されていてよくここまでやってきたと思う。あとは中味、老人いじめはないか、健康か。（70代／女性／太田）
- 長寿社会になっているので、百歳が珍しく無くなっており、お金をあげる必要はないと思う。
（50代／女性／大曲）
- お年寄りの方達が集まってくつろげる場所を提供してもらいたい。歩いて買い物にやっと出かけ、途中疲れたときなど座って過ごせるベンチ等、あちこちに置いてもらいたい。高齢者に優しい地域でありたいと願う。（50代／女性／西仙北）
- 介護に対する利用券の配布を各家庭の事情により配布して欲しい。介護度に関係なくある程度申請すれば配布してもらえるようにして欲しい。（50代／女性／協和）
- 買い物に困っている高齢者も多いので、移動販売やインターネットでの注文により車を利用しなくても自宅に届くような取り組みを進めたら良いと思います。（40代／男性／大曲）

(3) 社会保障について

- 生活保護についてはちゃんと調べてほしい。生保もらって遊んでいる人やずるい人の話をよく聞く。一生懸命働いている人の身にもなってほしい。大変不満。（30代／女性／大曲）
- 生活保護を受けている家庭について、どのような調査をされていますか。私の知っている人で沢山の現金を持って何も無いふりをして生活保護を受けている人もおります。どういうことでそのような人達が生活保護をもらえるのか、不思議でなりません。本当に困っている人は他にも沢山いるのに、そんな人達に目を向けて欲しいと思います。（70代／女性／大曲）
- 調剤薬局に勤務しています。気になるのは生活保護の受給者の増加です。加えて、この人達の喫煙率の高さ。一度に持って帰る薬の量の多さ。全国的な問題なのでしょうが、この人達をこれからの大仙市は背負っていけるのか疑問です。（50代／女性／大曲）

(4) スポーツについて

- 体育館の使用時間を午後10時までにして欲しい。仕事を終えてから使用するため、1時間くらいしか使えない。(50代/女性/中仙)
- スポーツでの利用に対する制限を見直してもらいたい。はびねす大仙でダンスで使いたいと申し出たところ、職員よりダンスなどは許可できないとのことでした。スポーツ支援と言いながら、体育館の床が痛むから、などの理由で制限されるのは理解できません。どんどん解放して、集客する方が活性化に繋がると思っています。施設使用料が全般的に高い。(50代/男性/大曲)
- 大仙市のスポーツ振興について、500歳野球全国大会、大学野球チーム招致により、夏季合宿および野球教室等が行われていますが、期間中の市内球場および関係施設を市民が全く利用できない状況にあります。チャレンジデー等の市のスポーツ事業には積極的に参加しており、市のスポーツ振興について理解はしているものの、屋外スポーツが盛んに行われる時期でもありますので、期間中であっても市民が野球場や関係施設を使用できるような配慮、検討をしていただきたく、お願いします。(30代/男性/協和)

環境・安全分野

(1) 自然・環境衛生について

- 美しい自然のある真木など全然生かされていない。私とすれば、真木ダムなどをもっと働きかけ奥羽山系に観光客が来られるようにしてもらいたい。そのためにももっと道路を整備してほしい。大曲だけでなく、もっとほかの地域もいい所がたくさんある。(60代/男性/太田)
- ゴミの分別を詳しく書いた冊子があったらいい(横手市にはある)(40代/女性/大曲)
- 河川の整備(草刈りも含めて)をしてほしい(60代/女性/仙北)
- 当地区のゴミ収集の若いお二人様には本当に本当に感謝しております。雨の日も風の日も笑顔で挨拶も良く、全ての方々のお手本と思っております。私達もゴミを出すときは注意をし、綺麗に出すことを心がけて出しております。近所の皆様もお二人様を褒めて感謝しております。お二人様にお伝え下さいますと幸いです。市民のために本当にありがとうございます。(70代/女性/大曲)
- 電球、電池の回収ボックスを市役所以外(日曜日に持って行ける場所)にも設置してほしい。(30代/女性/大曲)

(2) 安全・安心体制について

- 仙岩トンネル増設より、神岡堤防を直ちに工事してもらいたい(国へ要望して欲しい)。市内も防災マップを見る限り、安全とは思えない。千年に一度などと侮らず、準備してそれを市民にきちんと伝えて下さい。(40代/女性/仙北)
- 旧大曲市内ばかり道路が整備されたり、便利が良くなっている気がします。去年の大雨で被害を受けた道路は、旧大曲市から遠くなれば遠くなるほど後回しにされ、不便を感じています。花火も大事な事業だとは思いますが、大仙市全体を見て、不便を感じている所を先にしてほしいです。年間予算で決まっているとは思いますが、突然の災害とかで被害があったら、まず先に現状に戻す方が優先されるべきであってほしいと思います。(70代/男性/協和)
- H29年の大雨で山がくずれると豊岡サンビレッヂに避難しました。サービスが悪かった(80代/男性/中仙)

- 雨が降ったときの河川敷の見まわりなどが遅い。水が川などから溢れてきても知らないふりしてそれなりの対応が遅すぎます。役場職員もあんなに人はいらなと思います。(40代/女性/神岡)
- 去年8月の大雨の時、朝6時頃協和支所のジープが黄色のランプ点灯させて巡回していたが、助手席に乗っている人が寝ていた。黄色のランプが点灯しているということは作戦行動中のはず。ヘルメットをかぶり、目を開けて仕事をしろ。危機意識、緊張感が不足しているのではないか。国道巡回、高速道路でも黄色ランプ点灯中はみなヘルメットをかぶっている。協和支所の職員何やってるんだ。(50代/男性/協和)
- 水害防止に全力を尽くして下さい。昔から冠水に見まわられてきましたが、館ノ越地区は去年は2回、今年は1回そのたび畑は全滅で今後が不安でなりません。(50代/女性/神岡)
- 街灯をもっと増やして安心して歩ける町にして下さい。(60代/女性/大曲)
- 災害時仙北地域の防災無線が流れませんので是非とも流して下さいと有り難いです。災害等ありそうな時は市長副市長市議の皆様はお酒を控えてもらいたいです。(30代/男性/仙北)
- 街灯が暗く感じます。防災対策の為に一度夜間街灯チェックしていただきたい。(40代/男性/大曲)
- グローバル化する現在市民の治安(60代/男性/大曲)
- 年々大雨による川の増水で氾濫の不安がなくなりません。自分の身は自分で守ることができますが、家や車などの物に対してはどうしてもできない時があります。実際昨年大雨で新しく家を建てたばかりの人、元々の家に住めなくなってしまった人もいたはず。支援するとは言っても全て完全にはないと思っています。流された物、壊れた物は元に戻せません。まずは二次的な災害を防ぐための対策を行っていくことが大事なのではないでしょうか。早々にこの不安がなくなることを願うばかりです。(30代/女性/大曲)
- 去年の水害が3回目だったが、3回とも同じだけの水の跡が残っていた。(男性/大曲)
- 家の前の道路への街頭の増設(男性/大曲)

(3) 雪対策について

- 毎年間口除雪サービスを利用しています。本当にありがたく助かっています。昨年交通事故がありました。その後警察から除雪しに来てくれる人に道路に駐車するな、隣家の敷地を借りろと言われたそうです。隣家の敷地を借りるにせよ除雪しないと駐車できません。仕方ないので軽トラが入れるスペースを毎朝除雪しましたが、降り続く大雪とブルが入れた雪は堅く大きくて大変でした。85歳の母は足腰が弱く疲れ切ってしまう、今年の冬からどうすればいいか困っています。この状況を考慮していただき、対策を講じていただけますようお願いいたします。(50代/女性/太田)
- 冬期間の冬の除雪が、大曲市内とその他と比べると差があるように思う。30cm以上積もっても1日中除雪されない日が結構あった。すべてにおいて、格差のない体制をお願いしたい。(50代/女性/中仙)
- 消雪対策についてもっと市民の声を聞いてほしい。(30代/女性/神岡)
- 除雪に塩カルを使用なら、春先などに下回り洗浄を期間を設けて一回無料の市民サービス(男性/大曲)
- 大仙市になって2,3年位は小さい道路の除雪もやっていましたが、3年くらい前からはあまり除雪は良くできていませんので、在の方はよくやっていますが町の方の小路の方もよく除雪してもらいたいと思っています。よろしくお願いします。(80代/男性/西仙北)

- 除排雪してくれるのはありがたいが、雪が溶けた後の道路の穴を埋めてほしい。何のための地域の議員がいるのか。偉いのか？さっぱりわからない。地域のことを思うなら、きちんと確かめやることはやってほしい。(30代/女性/大曲)
- 藤木地区に住んでいます。普段から市民の声に耳を傾けて下さり、ありがたく思っています。除雪も毎年頑張っていますが、時々子どもたちが登校する7:30前後にブルドーザーが除雪しているときがあり心配です。手を挙げて止まってくれたのを確認して通り過ぎるのを見守ったりもしていますが、できれば登校前に除雪が終わっていると安心です。大変なのは承知していますが、安全面からもうどうかご配慮をお願いします。(40代/女性/大曲)
- 特に大きな不満はありませんが、地域性から雪に大きな不安があります。消雪・融雪の整備、除雪先の確保、除雪車の稼働数などを考えてほしいです。朝夕、通勤～帰宅時の除雪の時間、早すぎて再度積もったり、遅くて間に合わなかったり。天気次第ですが、朝は回数増やしてほしい。また、各家庭の意見を取りまとめて除雪担当の方に言える・理解してもらうのが必要だと思う。意見がなければ白紙、ある人は住所氏名連絡先を書くなどするアンケートなど。(20代/女性/大曲)
- 雪が多く降った朝は、ブルはもっと早く来てほしいです。少し降ったときは早く来て、多く降った日は遅いようです。(70代/女性/大曲)
- 冬の除雪が悪い。もう少し丁寧にやってもらいたい(40代/女性/大曲)
- 雪が降った時に道にたまった雪のせいで曲がり角が見えにくくなり事故につながると思うのでもう少し雪寄せをしてほしい。(10代/女性/大曲)
- 雪の除雪がとても悪い。駅前、消防署付近は特に。(大曲 30代 女性)

(4) 空き家対策について

- 持ち家のリフォーム支援を今回知りました。後継者がなく必ず解体をやらなければと常々考えています。解体費用を何%か支援して欲しいと願っています。(70代/女性/太田)
- 空き家について、我が家では新築後も古い家を取り壊さずに使っていますが、春先の強風でトタンがめくれ、新しい家の壁やガラスにも被害が及ぶのでは、とヒヤヒヤしたことがありました。もう人も住んでいない、取り壊しも修理もするわけがない住宅が増えている最近、強風でトタンが飛んで人がけがをするような廃墟がどんどん増えそう。問題が大きくなって取り返しがつかなくなる前に、早めの対応をしてはいかがでしょうか。家主が死亡した後、相続人に住む意志がない場合、国や市が取り壊す代わりに土地は没収するような法改正をすとか。一番悪いのは、「どうしよう困ったね」と何も手を付けないままでさらに状況を悪化させることです。住民が活着しているうちに覚悟を決められるように、早めの対策をすれば全国に先駆けてゴーストタウン化を免れることができるかも(50代/女性/太田)
- 空き家、未使用の土地を市を通して安く販売してもっと若い人たちが増えてほしい。(女性/大曲)
- 空き家と思われる家があちこちに見られるが、中古住宅や借家を探しているのになかなか見つからないという方もいる。空き家情報や土地を売りたい人がいれば、そういう情報を収集して教えてほしい。(女性/太田)

(1) 公共交通について

- 家に高齢者がいますが、自動車も運転せずバスも通らなくなり、大変不便だと言っています。大曲市内はバスも通り、循環バスも通っています。本当に交通手段が無くて困っている人たちにはバスも無く、自分の食べ物を買いに行くのも大変です。(30代/女性/大曲)
- 買い物弱者の交通の方法を考えてもらいたい(70代/男性/協和)
- 車の運転ができないので一番困っています。駅には歩いて20分かかります。バス乗り場には10分強で行けます。行き帰りも数が少ないので不便です。バスの数を多くできると良いな、と時々思うときがあります。老人二人生活なので何かと不便です。買い物も大変です。良い案を出して下さい。(80代/女性/中仙)
- 巡回バスの運用について 老人社会、バス停まで歩くのが大変と良く聞く(60代/男性/大曲)

(2) 地域情報化について

- 人生において普通に暮らしていて市政に求めるものは、多分ほとんどの方はないと思いますが、何か援助、疑問、不安に感じたとき、どんな解決方法があるのか分かれば、そこに市政の内助の功があれば最大の強みです。今このアンケートで強く感じたことは、この田舎で、全ての市民にネット回線ができ、その人が何か助けてほしいとき、TV電話みたいな繋がりがあれば、とても有意義かつ大仙市ほど人生、就活、終活に良いお手本になれるような気がします。(60代/女性/西仙北)

(3) 市街地について

- 旧大曲市内の整備だけでなく、他の旧町村にもバランスよく整備してもらいたい。(50代/女性/神岡)
- 都市整備が大曲中心に思える所が多く、地域の発展と言われても疑問に感じる。完全に一カ所集中にされると、不便な地域もあると思う。(20代/男性/太田)
- 他自治体の後追い(マネ)ではなく、10年後、20年後、50年後を見据えた政策を実施して欲しい。花火産業の推進は大曲地区のみであり、他地域は全く関心を持っていないのでは？いずれ、大曲地区に集約されたスマートアベニュー、コンパクトシティになると推測されるのであれば、早めに街づくりをした方がよいと思う。又、外国人労働者を積極的に誘致し、他自治体と差別化して欲しい。(50代/男性/大曲)
- 市の中心地に手を入れるのは大事ですが、旧市外地域にも目を向けて欲しい(80代/男性/神岡)
- もっと魅力的だと思えるような大仙市に生まれ変わって欲しいです。秋田市では老若男女が集まれるイベントが多く開かれていて、実際に足を運ぶことがあります。そういったイベントが企画されることで、元気な街づくりができるのではないのでしょうか。また、花火の時には沢山の人があふれていますが、それ以外はさみしい感じです。駅前がもっと活性化されこの場所に行ってみたく思うような施設があった方がよいと思います。病院と飲み屋街だけでは・・・と思います。これらの目的でしか人が行かない、集まらないというのは、せっかく新幹線も止まるのにもったいないです。(30代/女性/西仙北)

- 駅周辺でのイベントは楽しく活気が出てきていると思います。(30代/女性/大曲)
- 地方都市の未来はコンパクトシティ以外にない。住宅のリフォームを支援している場合ではない。高齢化で住居の維持・管理ができなくなったら集住できるように。将来的に市街地から離れた集落のインフラを維持しなくても良い方向に。課題は高齢者の説得。夕張のように、行政が身の丈に合わせていかなければ未来はない。エデンの園（関東の老人ホーム）やラウンドワンのような施設を行政が運営できたら素晴らしいと思う。(30代/女性/大曲)
- 駅前にもっと商業施設を建てた方がいいのでは？ 県外や市外から駅を使う人に駅前には何もないねと言われることが多いです。大曲駅を利用する人にとって駅前が大曲の印象になると思う。もっと活気ある街づくりをお願いします。(60代/女性/大曲)
- もっと駅前に人々が集まれる場所がほしいです。たとえば温泉と、食事と、体力づくりができるような所です。車だけではなく駅から歩いてでも行けるような所です。そんな所が無さすぎると思います。(50代/女性/大曲)
- 以前は大曲駅周辺にお店がありよく利用していました。新しく病院が出来て買い物が出来ると期待しましたが、何もなくなりました。器を用意することは良いことです。駅周辺は交通の便も良いというのでしようがもう少し考えて下さい。見舞いに来てちょっと買い物、病院に来てちょっと買い物、と思う場所が全然ありません。花火の町で力を入れても人が集まるのは一時です。もう少し、市内に人を呼ぶ魅力ある器を作ってください。これからは遅いのですか？ 花火ばかりに力を入れないで下さい。(60代/女性/中仙)
- 駅前をもっと賑わいのあるものにしてほしい。新幹線が止まる駅なのに、気軽に立ち寄れる場所が少なく、学生でも郊外に行かないといけない。街歩きで楽しいスポットなどが増えれば観光客も増えると思う。(女性/大曲)
- 住んでいて楽しい街にしてほしい。トレーニングなど仕事が終わってからでも通えたり、有名なアーティストが来てくれたり、子どもからお年寄りまで楽しめるような街になって人口が増えればいい。(女性/大曲)
- 駅前あたりにアーケード商店街（男性/大曲）

(4) 交通インフラについて

- 子どもの通学路で、車の往来が多い場所でも歩道がないところがあり危険に感じる。(40代/女性/大曲)
- 富士見町と幸町にある踏切の道幅を広げてほしい。駅裏の道路、駅ロータリーを含む交差点が全方向「止まれ」の標識をやめてほしい。(30代/女性/大曲)
- 冬の除雪が悪い。夏は市道、歩道まで草がのび放題、草刈りもしっかりしてほしい。(40代/女性/大曲)
- 和合の子供達の通学路がキケンです。かわいそうです。歩くスペースがありません。(80代/男性/大曲)
- 福田町ファミリーマート側の歩道に水がたまって困っております。(冬場春先ひどい) 歩道の下は水路なので予算で改善可と思います。(70代/男性/大曲)
- 新しく出来た住宅地に通じる道等、工事車両で悪くなったところ、上下水道等の工事後の補修を簡素化せず、しっかり路肩まで修繕してもらえればありがたい。(50代/女性/大曲)
- 私の家は主要道より少し離れています。市の方へ生活安全道路として申請しましたがその後連絡ありません。冬場の除雪が大変です。一度も見に来ません。(80代/男性/中仙)

- 道路の補修は一度に出来ないのか？ちょこちょこやっているようだが、数日経てば結局穴になっていて車の運転が大変（20代／女性／大曲）
- 大曲地域に事業、予算が集中していて、他の地域の道路整備維持に予算を配分して欲しい。（60代／男性／太田）
- 道路（住宅街）がつぎはぎだらけでガタガタです。（40代／男性／大曲）
- 私が日々車を走らせる市内の道路は、幹線道路（バイパス等）から外れると状態の悪さが大変目立ちます。大きな事故につながる可能性もありますので、気にかけていただきたいと思います。こんなことでも「気づき」は大切です。（50代／女性／西仙北）
- 中仙地域館郷踏切について、国道と県道を結ぶ重要な路線であるが、踏切部分が狭小であり大型ダンプが通るたび危険である（70代／男性／中仙）
- 道路があちこちデコボコの穴があって大変危険な状況です。道路補修をお願いします。（70代／女性／中仙）
- 緊急を要する時道路が狭いために車（救急車）などが入ってこられないので少しでも協力をもらいたいです。（70代／女性／中仙）
- 大仙市の市道は他の市町村より道路の舗装の損傷が激しいので、一度では出来ないと思うため計画を立てて予算を取ってください。仙北中央の道路ですが毎日のように交通量が多く、事故も多く舗装もわだちができ宅地に水しぶきがひどく何か良い考えを練ってください。朝夕の通勤時はひどいです。お願いします。（70代／女性／仙北）
- 道路を広げて下さい。穴を埋めて下さい。遊ぶ場所を増やして下さい。店の営業時間を延ばす。病院（皮膚科）の確保。ガソリン代が高い。南外にコンビニがほしいです。軽自動車の税金をコンビニで払えるようにしてください。（20代／女性／中仙）
- 大仙市内の道路が悪い。（40代／女性／大曲）

(5) 上・下水道について

- 私達の地区は上下水道の普及地区ですが、下水道工事もしないまま生活排水を垂れ流しの家が多くあり、環境にも良くないし下水道料金を払っている人から見ると不公平だと思います。そのような人の家から下水環境税をいただき、下水道の整備に充ててほしいと思います。（50代／女性／神岡）
- 市は下水道を推進しているようですが、延長するのも良いですが良く選定し、浄化槽で良い所はそのままで良いと思います。下水道の管を延長しすぎて維持コスト（利用者負担）が増すことのないように願います。（40代／男性／大曲）
- 下水について 10年以上前に地域に下水道が通りました。我が家は下水道に接続する工事をし、料金もちゃんと払っていますが、加入していない家も半数以上見られます。加入した人は料金を払っているのに、そういう人達は払わなくても済むのでしょうか。罰金とかもないなら、何だかずるい、不公平な気がします。（50代／女性／太田）
- 上水道について、県道から部落の中に入るとまだまだ入らない所もあります。上下水道関係を早急にしてもらいたい。自分の地域としては上水道です。（60代／女性／大曲）
- 下水道工事は5月から始めてほしい。花火大会後は遅い。（20代／女性／大曲）

(6) 住環境、公園、緑地について

- 多目的運動公園（サッカー・陸上など）を作ってほしい（50代／女性／中仙）
- 協和に住んで47年になります。平成元年から住宅に入って30年近くになります。ドアも大分古くなり、隙間もあります。自分で防犯をしていますが、限界があります。見た目だけで大丈夫だと思っても、いろいろと悩んでいる人もおります。ドアを換えてもらえるよう検討下さい。よろしくをお願いします。（60代／女性／協和）
- 市内の公園の整備をお願いしたい。孫の遊び場として利用したいが、とても安心して遊べない。神岡とかとても立派な公園があるが、なぜ大仙市内は満足な公園がないのか残念です。（50代／女性／大曲）
- 自宅隣の公園の整備がここ何年もされていない。今年は地元地域で草刈りしているようだ。公園内の樹木も枯れている物もあり、台風の時には倒れてこないか毎回気になっている。公園の整備の対象になっていないのか。（30代／女性／太田）
- 住宅リフォーム支援事業等の支援事業を、一覧（まとめたものなど）にしたものを配布してほしい。利用したいときに、ホームページを見られない方もいるし、広報からだけだと探しにくいので。（30代／女性／大曲）
- 立派な遊具等がなくてもいいから子どもたちがのびのび遊べる場所がほしい。古四神社の土地について検討してもらいたい。（女性／大曲）
- 公園はいくつもあるが、夏場の暑い時には利用しない。秋田市の小泉公園の噴水広場や御所野総合公園など、水遊びもでき、家族でBBQやピクニックできる大きな公園があれば、子育て世代としては助かる。大曲市内にあれば活性化にも繋がると思う。（30代／女性／大曲）
- もう少し子どもたち（0～5歳くらい）が安心して遊べる施設や遊具のある公園を増やしてほしい。あまりにも近くになくて散歩コースでも気軽に行けたらいいと思う。水遊びのできるスペースもほしい。親子共々運動不足解消のためにも（20代／女性／太田）
- 子ども達が遊べる場所がもっとほしい。（30代／女性／大曲）
- 外遊び出来るスペースを増やしてほしい。（30代／女性／太田）
- 乳幼児のみが安全に遊べる公園などがあればいい。（20代／女性／太田）

教育・交流分野

(1) 学校教育について

- 少子化と騒いでいるが、いつになったら豊岡・豊川小の合併になるのか（30代／女性／大曲）
- 保育園、小学校、中学校の各校長先生を紹介していただく機会があればいいなと思います。特色ある学校ごとの勉強・イベントが就学前にわかっていると、住宅建築や購入を考えている世代には助かると思います。（40代／女性／大曲）
- 高齢化が加速し、日々の生活の中で大変さを実感している。地域の人達に助けられながらも協力できることはすると自覚しながら毎日を楽しんでいる。教育の充実、その中で地域性を生かした体験学習を思い切って取り入れ、生きる力を育てたいと思う。行政、地域、学校が一体になって、子供達の未来を育んでいきたい。（70代／女性／協和）

- 他県の山村地域で、英語教育に力を入れ全国から子どもを募集している制度があると聞いている。大仙市も統合で小学校が閉鎖されているので、空いた学校の活用を、より価値のある利用を考えていったら良いのでは、と思う（60代／女性／神岡）
- 子どもたちの今後を考え、中学校を統合してほしい。部活動の面及び友人関係の拡大の面でも。また、秋田市は保育料全額免除となっているが、大仙市は半額となっている。同じ秋田県でも違いがあるなら少しでも条件のいい地へ移りたい。（30代／女性／中仙）

(2) 生涯学習について

- 生涯学習について 健康意識改革について、収入の少ない人々が楽しんで学習できる場が増えれば良いと思う。また、地域の意識を変える取組がもっと増えてもよいと思う。健康面で全国ワーストが続いているのはどういうものか。外食先での減塩も進めてはどうか。ちなみに、秋田県の味付けは他県から来た者たちはみんな「しょっぱい」「糖分が多い」と感じている。（60代／女性／中仙）
- 子どもがよく勉強できる場所、交流する場がないと言います。誰でも気軽に勉強や交流ができる場所はないですか。児童館やはびねす大仙など、使用していない時の無料使用はできないのでしょうか。（30代／女性／大曲）
- 頻繁に図書館を利用しています。返却の仕方等助かりますが、平日1週間か2週間に1回程度閉館時間を17:30まで30分程度遅らせてもらえないか。職員への手当、光熱費等の兼ね合いもあると思うが、検討してほしい（50代／女性／南外）
- さまざまな広い分野において、著名人の講演会を開いてほしい。必ずしも大きな会場でなくても。特に有名人であれば、大きな会場が必要な場合もあると思います。（60代／女性／大曲）
- 図書館の利用時間を元に戻してほしい。図書館が大切とっておいて利用時間を減らすとは何事だ。利用しやすく利用時間を拡大してほしい。（30代／女性／神岡）
- 大曲図書館でのジャスティンタイムすごくいい。続けてほしい。（30代／女性／大曲）
- 図書館での貸出冊数を無制限にしてもらいたい。（30代／女性／大曲）

(3) 芸術・文化について

- 仙北太田中仙に伝わるささらにおいては、後継者が不足しておりいつか文化交流会にてやってみたいです。（30代／男性／仙北）
- 子どもの頃から美術や芸術に触れることで感性を磨けるように、美術館を建設し、展覧会を催せるようにしてほしい。（60代／女性／大曲）
- 秋の芸術・文化まつりと、市の秋まつりが別々の日になったために芸術・文化の方は人の出入りがほとんどありません。昔のように、秋まつりと同じ日に行ってはいかがでしょうか。活気が出ると思います。（70代／女性／大曲）

(4) 地域間・国際交流について

- 大仙市の国際交流が韓国が多いように感じる。東アジアとして大切な仲間であるが、もっと多くの国々と交流してみてもどうか。(40代/男性/神岡)

地域活性化・市民との協働・行政運営分野

(1) 地域活性化について

- 大仙市になって、大曲だけが盛り上がっている。地域の支所は、建物は立派だが職員のレベルが低下していて職員も少ない。もう少し、ハードの部分を考えるべきでないか。ムダな施設を建設するより、あるものの有効利用を考えて下さい。(60代/男性/中仙)
- 更なる地域の発展を期待するとともに、住みやすい環境づくりをお願いします。(30代/男性/大曲)
- 大仙市全体でコミュニティスクールを導入してはどうか。地域と学校が持続可能な開発目標を持つことで活性化に役立つのでは。子どもたちが元気で「人が生き」地域活性化で「人が集う」高齢者が生き生きとした「夢のある」大仙市になるように微力ながら「連携」と「協働」に協力していきたいと思います。(40代/男性/神岡)
- 今回のアンケートに答えることになり自分がいかに行政、市政その他色々に無知、無関心であったか実感させられました。よく知らないながらも感じることは、市の中心部以外の地域にもっと目を向け、要望を聞き入れてもらいたいと思います。(50代/女性/中仙)

(2) 移住・定住について

- 若者の定住促進より前に、中央で活躍していた中高年の定住を先に力を入れるべき。管理職を立て直さないと若者は育たない。(市職員の社会人経験採用の年齢制限を上げる)
(40代/男性/大曲)
- この街で生まれ育った若者が生きるすべを求めて県外へ出て行かざるを得ないことは一市民としても心の痛むところです。地域の最大の資源は人です。Aターン、市外からの移住、大仙市が選ばれる理由づくりとそれに続き仕組み作りをしていくこと、そのためには働く環境をつくる仕事とても大切なことと考えます。妥協のつながりは妥協を生みます。JAの米問題や各企業の不祥事は、楽をして金を得るといふ安易な気持ちと志を失った結果が招いたことと考えられます。正しいお金の使い方、良い習慣、人の心と力を束ねられるつながりを作ること、そういったことが新たにこれからこのまちに住んでみようかな、という思いにつなげていけると考えます。(60代/男性/大曲)
- 学ぶところ、働くところが沢山あれば、地元に残るはずですが、それが無いから若い人はみんな県外や大都市へと出ていくと思います。農業に力を入れても、若い人は農業をこれからも進んでやっていこうと思うのでしょうか。学校(大学)や働く場所(会社、企業の誘致)を地元で創ることです。人の集まる、そして働く場所を出来るだけ多く企画すること、考えていただけますか?
(60代/女性/大曲)
- 先日スポーツレクリエーションに出かけました。若い人や子どもの少なさを感じました。若い人が安心して暮らすことのできる場所、仕事をする場所等を考えて欲しい。保育所があるので年寄りと一緒に住まなくても良いと言っていた。自分で子育てをしてしっかり生きて行って欲しい。近くで家族で出かける場所が少ない。(60代/女性/中仙)
- 若者を支援する取り組みを充実させてほしいです(減税や優遇など) (30代/男性/大曲)

- 若者が定住しやすい街にするために、働く場所や遊ぶ場所、スポーツする場所が足りなさすぎる。仕事が終わって学ぶ場所やスポーツする場所がない。仕事に魅力がなくても、アフター5が充実すれば、高校生は県外を選ばない人は今より増えるはず。例えば、毎日ナイターでできるフットサルコートやサッカー場がイオン大曲の駐車場にあれば、お互いwinwinではないか？秋田市のSPDF（人工芝サッカー場）は、人がいない時がないくらい予約がいっぱいでにぎわっている。
（40代／男性／仙北）
- もっと企業誘致に力を入れて、市県外からのAターンや移住者を増やすべき。年に数回の花火だけでなく、色々なイベント（全国的、国際的スポーツ、eスポーツ、野外フェス）等を開催して若い人が集まり活気を出してくれる街を作るべき。高齢者を大切にするのは悪くないが、若い人を集めないと20～30年後には大仙市（秋田県）はなくなってしまうのでは？（40代／男性／大曲）
- 地元の良い所を若年層に知ってもらい、地元定着を促進してもらいたい。（40代／男性／大曲）
- 市政には関係ないと思われるが、今春また多くの若者が県外へ進学・就職の為旅立っていきました。知り合いの子どもが、勉強したい学科各部が秋田大学に無いと言って、県外へ数多く出て行った。雇用等を確保するのも大事だが、若者の中には地元に残りたいが県外に行かざるを得ないという子が沢山いる。小中高と優秀で、人間性も立派な大仙市の子供達を当然のように県外に送り出すのもうそろそろ考え直さなければいけないのではないかと。勉強したい学科・学部が無いので地元には残りたいのに残れない、といった子達が、果たして秋田へ戻ってきてくれるだろうか。
（女性／大曲）

(3) 市民協働について

- 年一回ではありますが、河川の草刈りがあり、高齢化が進み大変です。草刈りに出ないと金額負担となりなるべく出ております。市で業者へお願いするのは難しいのでしょうか。
（60代／女性／仙北）
- 大仙市は住みやすい場所だと思っています。若者だけでなく、高齢者も一緒にまちづくりに関わっていけるような事業等があれば良いと思います。（40代／女性／大曲）
- 地域産業の将来への不安を強く感じる。難題であるが、現役世代の知恵とエネルギーを結集して、次世代へとバトンタッチできたら。是非この分野の取り組みを！（70代／女性／協和）
- 大仙市は花火で有名ですが、花火の他にも大曲の知名度を上げるような何かがあればよいと思う。例えば、樹海ドームのような屋根付きの野球やイベントで県内外から人を呼び込むような施設を作る。現在ある大曲球場は屋根がない中途半端な球場と思うからです。若い人達の声を聞いて、大曲を花火だけじゃない活気ある町にしたいといつも考えています。（50代／女性／大曲）
- 各地域の現状把握と今後の目指す地域のあり方を、住民が考える「50人(例)委員会」を設けたらどうかと思う。（60代／男性／南外）
- 市政には、人口減少など喫緊の対策が迫られている課題が山積しています。そうした中で、市長さんはじめ市職員の皆さんが必死に頑張っておられます。感謝を申し上げるとともに、敬意を表します。しかしながら、世の中の進むスピードが速く、これらの課題に対応する時間はそれほど多くのこっていないのが実情だと思います。全国の各自治体でも同じような問題を抱え、今やそれぞれの「知恵比べ」ともいえる様相を呈しています。幸いにも、大仙市民の中には知識・経験豊富な人材を数多く見受けられます。この人達にも協力して頂いて、まさに「オール大仙」で取り組んでいくのも一つの方法だと思います。その方法としては、このような「アンケート方式」では限界があり、市民から直接具体的な意見・アイデアを募り、共に検討する「市民モニター制度（仮称）」のようなものを設置されてはどうでしょうか。是非検討していただきたいと思います。
（70代／男性／協和）

- このアンケートが届くまで、大仙市基本構想について全く知りませんでした。そして、同封されていたパンフレットを見ても、市がどういう事業を行っているのか、具体例がなく分かりづらかったです。私はこの先もこの街に住みたいと思っていて何かできることがあれば貢献できる大人になりたいと思っています。しかし、情報が無ければ何もできないので、大仙のTwitterやInstagramを是非開設してほしいです。友人達は、「進学先（大学・専門学校）がない」という理由で秋田から離れていきました。確かに企業誘致も大事だと思いますが、多種多様な専門性を高める教育機関をつくることで若者流出を減らすことができるのではないかと思います。今の秋田県や自治体は、もっと若者の声をしっかり聞いた方が良いと思います。若者を行政にがつつり巻き込んで欲しいです。（10代／女性／協和）

(4) 行財政運営について

- HPが見づらいので、他の市のHPのようにアイコンから目的を検索、ページを参照できるように視覚的に簡単にした方がよいのではないかと思います。（特にスマートフォンからの場合）（20代／女性／南外）
- 花火構想に市が経費をかけすぎている。文化財の保護は大切だが、経費のかけすぎ。公共施設の統廃合についても計画はあるようですが、西仙北公民館の改築や花火資料館の新築など計画とは逆に進んでいるように見えます。市の財政は大丈夫でしょうか？若者に、負の財産は残したくありません。（50代／女性／神岡）
- 軽自動車の税金がコンビニで払えないのは、いかがなものかと思う。他の地域ではコンビニで払えるのに。（30代／男性／協和）
- 市長の公用車等は必要だとしても、セダン系ではなく軽自動車の方が燃費、税金的にも良いと思う。セルシオなどはいらぬ。市の車はおおむね軽が良い。i-move等電気自動車も良い。（30代／男性／大曲）
- 行政、施設等の総合センター（全てがあちこちにあり移動が大変ではないだろうか。今後の建設予定施設に関しては、出来る限り一カ所に集めた方がよいのでは）（30代／女性／中仙）
- 市政については分からないことが多く、広報なども興味のある部分しか読まないで、もっと若者にも読まれやすいような情報提供をしたらいいと思う。（20代／女性／協和）
- 知識や情報に恵まれている方だけが得する時代になったと思います。申請しないと利用出来ないサービスが多く、ネット等を利用していない方には不親切だと思います。需要があるかは不明ですが、相談役的な方が身近にいたら、非ネットの方も助かるかと思っています。（50代／女性／協和）
- 年功序列的な所があると感じられる市役所なんだと思いました。仕事出来る方を課のトップにと願います。市役所の雰囲気がとても嫌いです。独特で行きづらい。（40代／女性／西仙北）
- 大仙市において毎回の大水害で市の財政も本当に大変だと思いますが、どうか災害の復旧と市が管理している建物への管理への補助金をどうかよろしくお願いします。縮小できるところは減らして、大事なところへ財政を充ててほしいです。（60代／男性／協和）
- 大仙市になってから大曲だけお金を使いそのほかは昔より良くない。（60代／女性／太田）
- 税金等をコンビニ支払できるようにしてほしい。働き盛りの人材が定着しません。（40代／男性／大曲）
- ふるさと納税のお礼を花火の栈敷席にしたらいいと思う。夏の花火でなくても、多く確保できない時は、春、新作など分けてもいいと思うが、栈敷席にしたらふるさと納税は増えると思う。（30代／女性／大曲）
- ふるさと納税をもっと推進すべきである。経済基盤の確保のためにも。（50代／女性／中仙）

その他

- 市職員の態度の悪さ。市役所に相談に行っても人をバカにした態度、上から目線で気分が悪くなる。ペットボトルを飲みながら雑談している課がある。職員の教育をしてほしい。(40代/女性/大曲)
- 市役所に勤めている人達、窓口の人は特に対応をしっかりと欲している。送ってくる文書も、きちんと見直して出して欲しい。名字を間違えたまま送ったりしている。市長の印が押印してある物だと思うので、そういう対応をされると不快です。(30代/男性/大曲)
- 移住支援、住みやすい街とうたっても、住民が相手に対して気づかないモラハラ・パワハラ・セクハラをしていることもあるので、(特に高齢者)ゆるやかに啓発していただくと(広報などで、これはやっていませんか?とか)ありがたい。(40代/女性/仙北)
- 老人や子どもに優しい市とはいいますが、そこに携わる皆さんもいずれは向かう年齢であることを意識して業務に取り組んでもらいたいと思います。相手がどう感じるかという事を考えて言葉にしてもらいたいですね。一般企業は対顧客への言葉づかい一つで苦情になります。(腰の手術をし、2階に上がる階段に手すりを作りたいとお願いにいったところ「毎日2階に上がる用事があるのか?」と強い口調で言われました。一人暮らしで何でもできることは自分で、とっていましたので、とてもがっかりした言葉でした。)(70代/女性/西仙北)
- このアンケートに何回か答えているが、変わっている様子がうかがえない。子どもに関することや合併の意見のことは特に。何十年も合併に関しては変わらない(他の学校や親たちの話を聞くが)(30代/女性/大曲)
- アンケートを書いてもらうということは良いけれど、ただ「聞いた」だけで終わらせてほしくない。(30代/女性/大曲)
- このアンケートにはあまり関係ないことですが、毎年花火大会の日はお客さんの対応でゆっくり花火をみる事ができません。会食させ、一泊させて花火大会の日には本当に疲れてしまいます。どうすることもできませんが、身体にあまり負担をかけない方法はないのでしょうか。(30代/男性/大曲)
- 市役所の窓口案内(何階のどこにあるか等)をネット上にあげてほしい(20代/女性/大曲)
- 生活上の情報は広報から得ることが多いです。テーマ4に「・・・年2~3回程度お知らせしています」とありますが、この事業以外でも、繰り返し掲載していただくことは、改めて確認できるので助かります。(60代/女性/大曲)
- 駅の駐車場で中に人がいないのに長時間おきっぱなしの車が多い(10代/女性/大曲)
- 横手のY2プラザや、サンサン横手など、市民や市民外の人たちも利用できる公共施設が切実に欲しいと思う。ヒカリオもそのような施設だと建設前は期待していたが、何も無くて残念です。本当に活気がないと思う。(20代/女性/大曲)
- このアンケートは無作為に抽出となっていますが、それなりに行政について分かっている方に出しているのでしょうか。率直に言うと、とても分かりにくいアンケートだと思います。一般の主婦の方に「インフラ」「戦略的推進」「Aターン」等々質問をして理解できる人は少ないと思います。今の時代、世の中の事をただ見ているだけではダメだと思いますが、このような行政用語(ビジネス用語)がたくさん入ったアンケートでは答えても内容的にはよく分かっていないと思います。市側で「アンケートをとりました」という結果が欲しいだけのように思えてしまいます。市民の要望をきちんと聞きたいのであれば、そのレベルまで落としてアンケートをとることをお勧めします。基礎資料になるようですが、なんとなく答えを出している人が多いと思います。(30代/女性/大曲)

- 住みよい街づくりのため、日々おつかれさまです。ありがとうございます。感謝しております。時折、横柄な職員の方がいて、悲しい思いをします。ご配慮いただけると大変ありがたいです。
(40代/女性/大曲)
- やろうとしている施策がよく分からないのと評価基準が分からないのでアンケートの返答が難しい
(30代/男性/大曲)
- 年金での生活だけでも大変なのに、払うお金が毎回上がって行って大変です。税金はすぐ払いなさいと言うけれどみんなこのことで悩んでいます。払わなければ電話をかけてくることをやめてほしいものです。よろしくお願いします。(80代/男性/西仙北)
- 大曲中心でなく、他の市町村中心でなく見て下さい。大仙市になる前は、他の町村は活気があった。他は良くなって何のための合併なのか。このアンケートはみな不満に思っている。昔の町に戻してもらいたい。議員方、もう少し町を思ってください。みんなの市を大事にしてください。最低な市でないようにがんばってください。(60代/男性/中仙)
- 大仙市役所の前の桜並木の道路は狭く、行くときは気にならないが出るときの出口が狭く非常に不安です。出口をもっと広くして欲しいと思っています。(70代/男性/大曲)
- 市長副市長のご活躍応援しております。災害時の時消防団、市防災の方の連携にプラスして各地域の市議会の皆様にも協力していただければ良いなと思っています。(30代/男性/仙北)
- これからも誠心誠意がんばってください。(20代/女性/仙北)
- 現在車を運転できるので大丈夫ですが、出来なくなったときはゴミ出しや買い物など日常の細かい事もどうなるのだろうと考えます。今の行政では不安な事がたくさんあります。
(50代/女性/仙北)
- 市役所に行くたび、職員の方達の高飛車な対応にイライラしています。頑張って仕事して払った税金が、あのような人達に行くと思うと頭にきます。就業中にポケモン探してうろつく人には税金は払いたくありません。以前、同期の市役所職員に注意したところ、逆ギレされました。そのような人達を見ていると、本当に今の人数が市役所に必要なか疑問です。3分の1でもいいのではないかと思います。各税金があまりにも高額なのでこのように思うのかもしれませんが。(40代/男性/大曲)
- だいせん日和の表紙、子供達の元気な笑顔に勇気をいただいています。(70代/女性/仙北)
- 毎日のお仕事お疲れ様です。職員のみなさまの頑張りに期待しております。(60代/男性/大曲)
- 満足度、重要度についてはどちらともいえないの「3」がない方が、重要性や満足度がわかるのでは？(60代/女性/中仙)
- 格差のない社会にしてもらいたいです。(50代/女性/大曲)
- 身体が弱く医療費等は世の中の皆さんに大変迷惑をかけていると常日頃思っております。赤十字などには出来るだけの寄付をしているつもりです。これからもこの制度を継続して助けてもらいたいです。よろしくお願いします。(70代/女性/大曲)
- このアンケートの必要性がわからない。わからないことに適当に答えたので参考にされても困る。
(30代/女性/大曲)
- おどろいたのは、JA あきたおぼこの件、もう少し頭のいい人はいなかったのか、朝早くから遅くまで頑張っている人達のことを思うと悲しい。(70代/女性/太田)
- このアンケートが市政に本当に役立つのか、声が届くのか現在の市政を見ていて信用ができない。このアンケートの意味があるのか？(60代/女性/大曲)

- 雄物川沿いの道路を歩行者専用にし、市民が散歩したり雄物川の水運で栄えたという町の歴史を感じることができるようにしてほしい。この街の車は運転マナーが劣悪すぎる。花火よりも教育を。図書館を充実させてほしい。(30代/女性/大曲)
- 古い昔のテレビを市で回収していますか。家に3台もあるので困っています。(60代/女性/大曲)
- 市長さんが変わってから、色々な面で予算を付けて下さったりして、すごく行き届くようになり良いことだと喜んでいきます。(60代/女性/太田)
- とても住みにくい地域となることは、是非避けてもらいたいことだと思っています。市長がかかわってから、不満に感じます。(50代/男性/協和)
- 色々大変だと思いますが、楽しみにして参加しています。(80代/女性/西仙北)
- アンケートは多く的人是外普通に考えていないことだと思う。まして一人や二人暮らしの年金暮らしは生活していくことでいっぱいいろいろなことを考えることはそんなになんかと思う。近所の何でもわかっている同年代の人と話したり笑ったり心配したりすることが一番幸せでないかと思えます。そんなに生活に豊かな人はいないと思えます。(70代/女性/大曲)
- このアンケートの質問項目や回答方法は十分に検討されたものなのではないでしょうか。このアンケートでは統計的に必要な情報が得られるのか疑問です(施策の満足度と重要度、推進すべき取り組みの部分)。大仙市としてどのような活動をしているのか十分に把握していないので、答えようがないというのが現状です。同封の「第2次大仙市総合計画基本構想」も概要版ということで、具体的にどのようなことをするのか全くわからず残念です。(50代/男性/大曲)
- 以前にも記入したことがあるように思いますが、対象者の抽出はどのように行っているものなのではないでしょうか。一度記入したことがある人は対象から外れる等あるのでしょうか。できるだけ違う人の意見も聞くべきかと思いました。(30代/女性/大曲)
- 市民にもっと身近なことであってほしい。分かりやすくしてほしい。(60代/女性/太田)
- 私達の住む集落は、少し利己主義の人達が多いと思います。少し淋しいです。(70代/女性/協和)
- 横手市のY2プラザのような施設があれば助かります。子供達は高校在学中毎日利用し、卒業後も自分たち保護者も何度か利用している。いつも利用者の多さに驚かされます。(50代/女性/南外)
- 車が運転できないと生活ができない地域。介護の施設はお金がかかるし、家で生活したいと思っても介護のサービスでは足りない。来てくれるヘルパーの会社もない。このような地域で自分らしく生活をしろと言われても無理です。(70代/女性/西仙北)
- 大曲市の時は広報が楽しみでしたが、合併後あまりにも内容が見づらいです。(70代/女性/大曲)
- 大仙市のため、みんなでがんばりましょう。(40代/女性/大曲)
- 若い人にも負担をかけすぎ。税金その他取られ結婚もできない。わずかなお金から介護料取られ生活できません。国だけ潤っています。国の税金でまかなってください。国民一人一人しぼられて、老いた人、若い人もお金がないので行動できません。何とかして。(60代/女性/太田)
- ご迷惑かけてます。ありがとうございます。(40代/男性/大曲)
- 必要があり同じ日に支所を3箇所回ったことがあるが、職員の住民への対応は親切でとても良いものだった。(女性/太田)
- 地域の未来に若干不安を感じる。職員の方々、少なくとも管理職の方には経営感覚を持ってほしい。よりよい大仙市のために頑張っている方がいる一方、安定企業で時をやりすごすように見える方もいる。市税がそのような方の給料になっていると思うと、ふるさとへの愛着も薄れる。(女性/大曲)

- 市役所の対応が悪い。接客販売員として気分が悪い。上から目線は不快。講習を受けるべき。
(30代/女性/大曲)
- 市役所内の雰囲気は暗く、わかりにくい。(40代/女性/大曲)
- 広報の配布がいつも遅い。担当を変えるか、注意をお願いしたい。(30代/女性/協和)

5 資料（調査票）

大仙市の将来のために
平成30年度市民による市政評価
ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政の推進に対してご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

大仙市では、『人が生き人が集う夢のある田園交流都市』を将来都市像とし、平成28年度から37年度までの10年間のまちづくりの基本的指針を示したまちづくりの羅針盤として、「第2次大仙市総合計画基本構想」を策定し、まちづくりを推進しています。

この「市民による市政評価」は、市民の皆さまが日ごろ感じていらっしゃることや、市政に対する要望をお聞きするものです。

皆さまからいただいたご回答は、施策の見直しや市民と協働のまちづくりを進めるための大切な基礎資料となります。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願い申し上げます。

平成30年 6月

大仙市長 老松博行

《ご記入にあたって》

- ◆ このアンケートは、市内にお住まいになっている18歳以上の方の中から無作為（性別、年齢、地域については考慮）で1,000人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- ◆ このアンケートは原則として封筒の宛名ご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方（ただし、18歳以上の方）がお答えいただいても結構です。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。

《ご記入の方法》

- ◆ ご回答は、この調査票に直接ご記入ください。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書きください。
- ◆ 回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。あてはまる項目がないときは、「その他（ ）」に具体的な内容をご記入ください。

(例) 5 (4) 3 2 1

(例) 1. 電車	2. バス
3. 自家用車	4. 徒歩
(5) その他(友人の車での送迎)	

《回答の返送について》

回答を記入した調査票は、**6月22日(金)まで**に、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です。)

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班

電話:0187-63-1111(内線278) FAX:0187-63-1119

メール:sougou@city.daisen.akita.jp

問1 施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の現状にどのくらい満足していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい重要であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」についてあなたのお考えに一番近い番号をそれぞれ1つずつ選んで、○印をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度										
		5 満足	4 まあ満足	3 いどちらないとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 いどちらないとも	2 ではあまり重要	1 重要ではない						
		〈記入例〉					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
Ⅰ 魅力ある産業のまちを創ります！ 産 業 振 興 ・ 雇 用 な ど	①	【農林水産業】 農畜水産物の消費拡大や生産基盤整備などの取り組み・支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【商工業】 魅力ある産業の創出や地場産業への支援及び企業誘致について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【花火産業構想】 さまざまな分野における大曲の花火ブランドの戦略的推進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【観光】 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【雇用・就労】 地元の若者やAターン希望者などの就業希望者に対する各種支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
Ⅱ みんなの元気を応援します！ 出 会 い ・ 結 婚 ・ 子 育 て ・ 健 康 ・ 福 祉 な ど	①	【出会い・結婚】 出会い・結婚の促進に向けた取り組みについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【子育て】 安心して子育てできる社会環境の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【保健・医療】 健康増進にすすんで取り組める環境や医療体制について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度等の適正な実施について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥	【スポーツ】 スポーツ機会の充実やスポーツを通じた地域のにぎわい創出、交流人口の拡大について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(つづき)

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない
Ⅲ 住みよいまちを築きます！ 安全・安心、都市整備など	① 【自然・衛生環境】 緑豊かな自然環境の保全と環境にやさしいまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【空き家対策】 空き家の適正管理と利活用の推進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【公共交通】 長寿社会に対応した公共交通の確保について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【地域情報化】 情報基盤の整備と地域の情報発信の推進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥ 【市街地】 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑦ 【交通インフラ】 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑧ 【上・下水道】 快適な暮らしの基盤となる上・下水道等の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑨ 【住環境】 市営住宅や宅地、公園、緑地の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
		満足度					重要度				
Ⅳ 豊かな心と想像力を育みます！ 教育、生涯学習、芸術・文化など	① 【学校教育】 学習意欲と能力を養う学校教育の充実について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【生涯学習】 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【芸術・文化】 芸術、文化活動、文化財に触れる機会の創出について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【地域間・国際交流】 地域間ネットワークの強化や国際化の推進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(つづき)

満足度と重要度		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
設問項目											
V 時代に合った地域を創ります！ 市民との協働、行政運営など	① 【地域活性化】 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【移住・定住】 市の魅力発信等による、移住・定住の促進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【市民協働】 市民と行政などが協働により推進する地域づくりについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【男女共同参画】 男女共同参画意識の醸成と女性の参画推進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【行財政運営】 市の行財政運営の効率化等について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問2 今後、さらに推進すべき取り組みについて

設問1 あなたが「産業分野」で、さらに推進すべきであると考える取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 農業の担い手確保、育成 | 2. 農業生産基盤の整備 |
| 3. 稲作・畑作等複合経営の推進 | 4. 農産物の6次産業化 |
| 5. 畜産業、林業、水産業の振興 | 6. 地域商業の活性化 |
| 7. 企業誘致の強化 | 8. 中小企業への支援 |
| 9. 若者の起業支援 | 10. 花火産業の振興 |
| 11. 特産品の振興 | 12. 魅力ある観光地づくり |
| 13. 雇用・就労への支援 | 14. 外国人を含む観光誘客の推進 |
| 15. その他() | |

設問2 あなたが「**出会い・結婚・子育て分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答可）

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 結婚を応援する環境づくり | 2. 結婚相談会・出会いイベントの開催 |
| 3. 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 4. 検診相談等の母子保健事業の充実 |
| 5. 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 6. 子育て支援サービスの充実 |
| 7. 保育ニーズ量に対応した受入体制の整備 | 8. 夜間・休日保育の充実 |
| 9. 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 10. 放課後児童クラブ・子供教室の充実 |
| 11. 虐待防止対策の実施 | 12. ワーク・ライフ・バランスの推進 |
| 13. その他() | |

設問3 あなたが「**健康福祉・スポーツ分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答可）

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. からだの健康づくりの推進 | 2. こころの健康づくりの推進 |
| 3. 地域医療体制の整備 | 4. 病気予防体制の充実 |
| 5. 地域住民による支え合い体制の構築 | 6. ひとり親家庭への福祉の充実 |
| 7. 地域包括ケアの推進 | 8. 生活支援サービスの充実 |
| 9. 介護サービス基盤等の整備 | 10. 障がい者福祉サービスの充実 |
| 11. 社会保障制度の周知 | 12. 生活保護制度の適正な実施 |
| 13. スポーツ活動への支援 | 14. スポーツ環境の整備 |
| 15. その他() | |

設問4 あなたが「環境・安全分野」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答可）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自然環境の保全 | 2. 新エネルギー導入の推進 |
| 3. 交通安全、防犯体制の強化 | 4. 交通弱者への福祉施策の推進 |
| 5. 消費者トラブル対策 | 6. 消防団員の確保 |
| 7. 地域の防災体制の整備 | 8. 水害対策設備の整備 |
| 9. 除排雪体制の充実 | 10. 消融雪施設の整備 |
| 11. 空き家の管理と利活用の推進 | 12. 廃棄物の排出抑制・適正処理 |
| 13. 河川とその周辺環境の保全・整備 | 14. 公園・緑地の整備、緑化の推進 |
| 15. その他() | |

設問5 あなたが「都市基盤分野」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答可）

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 主要道路網・幹線道路の整備促進 | 2. 生活道路の整備 |
| 3. 道路・橋りょうの維持管理 | 4. 駅舎、駐車場の整備・維持管理 |
| 5. 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 6. 計画的な市街地整備 |
| 7. 住宅環境の整備 | 8. 住宅耐震化率向上の推進 |
| 9. 市内の情報網、通信網の整備 | 10. 地域情報化の推進 |
| 11. 安全で安定した水道水の供給 | 12. 下水道施設の整備 |
| 13. 下水道未普及地区の解消 | 14. 水道事業の適正な実施 |
| 15. その他() | |

設問6 あなたが「**教育・交流分野**」で、さらに推進すべきであると考える取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答可）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 生きる力を育む学校教育の推進 | 2. 学校と地域の交流・連携 |
| 3. 家庭教育の推進 | 4. 学校施設の整備 |
| 5. ふるさと教育の推進 | 6. 特別支援教育の充実 |
| 7. 生涯学習支援体制の充実 | 8. 学びを生かす生涯学習の推進 |
| 9. 生涯学習の機会拡大・情報発信 | 10. 芸術、文化活動の振興 |
| 11. 文化財の保護保全・整備と活用 | 12. 非核平和の啓発 |
| 13. 他自治体との連携・交流 | 14. 国際交流の促進 |
| 15. その他() | |

設問7 あなたが「**地域活性化・市民との協働・行政運営分野**」で、さらに推進すべきであると考える取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答可）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 地域資源の掘り起こしと活用の推進 | 2. 地域活動の情報発信 |
| 3. 行政への市民参加の機会拡大 | 4. 自治組織づくり、自治会活動への支援 |
| 5. 地域独自の活性化への支援 | 6. 小規模集落・高齢化集落への支援 |
| 7. 移住・定住への支援 | 8. 若者が活躍できる環境づくり |
| 9. 男女共同参画社会の推進 | 10. 事務組織の見直しと職員資質の向上 |
| 11. 行政情報の提供と公開 | 12. 効果的・効率的な行政運営 |
| 13. 公共施設の見直し | 14. 公文書館の利用促進 |
| 15. その他() | |

問3 大仙市の住みやすさについて

設問1 大仙市は、住みやすいまちだと思いますか。あなたのお考えに一番近いものを選び、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

設問2 これからも大仙市に住み続けたいと思いますか。あなたのお考えに一番近いものを選び、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の別の場所へ移りたい |
| 3. 市外に移りたい | 4. 住み続けたいが、移らざるを得ない |

ここから先は、個別の事業に対する市民の皆さまの評価・要望を伺うアンケート調査です。
ご自身に直接関係がないと思われる設問もあるかもしれませんが、幅広い市民の皆さまのご意見を伺い今後の事業の参考としますので、可能な限りすべての設問にお答えくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

テーマ1 市の広報活動について

市では、市民の皆さまに市の施策・事業等に関する情報をお知らせするため、月2回の広報紙「だいせん日和」の発行に加え、ホームページ、SNS、コミュニティFMを活用した情報発信をしています。

本調査は、市民の皆さまに効果的で効率的な広報活動ができるように、見直しを進めていくための参考とさせていただきます。

問1 市政や市のイベントに関する情報を何から得ていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. 新聞 | 2. テレビ |
| 3. コミュニティFM(FMはなび) | 4. FMはなび以外のラジオ放送局(NHKなど) |
| 5. 広報「だいせん日和」 | 6. 大仙市議会広報 |
| 7. 大仙市ホームページ | 8. 大仙市ソーシャルメディア(フェイスブックなど) |
| 9. 広報紙以外の印刷物(チラシやポスターなど) | 10. 電照広告や掲示板 |
| 11. 窓口や電話などで直接問い合わせる | 12. 友人・知人からの口コミ |
| 13. ソーシャルメディアでの友人・知人の発信 | 14. その他() |

問2 市の広報紙「だいせん日和」を読んでいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------------------|
| 1. 必ず読んでいる | 2. 時々読んでいる |
| 3. あまり読んでいない | 4. まったく読んでいない →次ページ問3へ |

問2-1 問2で「1.」「2.」「3.」と答えた、広報紙「だいせん日和」を読んでいる方にお聞きします。紙面構成・内容は分かりやすいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 分かりやすい | 2. おおむね分かりやすい |
| 3. 少し分かりにくい
(具体的に:) | 4. とても分かりにくい
(具体的に:) |

問2-2 広報紙「だいせん日和」の紙面レイアウト、デザイン、配色、文字の大きさなどは読みやすいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 読みやすい	2. おおむね読みやすい
3. 少し読みにくい (具体的に:)	4. とても読みにくい (具体的に:)

問3 現在、「だいせん日和」は毎月1日、16日の月2回(8月と1月は1日のみ)発行しています。発行回数についてどう思われますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 多い	2. 少ない
3. ちょうどよい	4. わからない

問4 広報紙「だいせん日和」のページ数はどう思われますか。1)、2)のそれぞれ、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1) 毎月1日発行号 (カラー刷り、平均28ページ)	2) 毎月16日発行号 (黒1色刷り、平均10ページ)
1. 多い	1. 多い
2. 少ない	2. 少ない
3. ちょうどよい	3. ちょうどよい
4. わからない	4. わからない

問5 ソーシャルメディア(SNS)を利用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

1. フェイスブック (Facebook)	2. ツイッター (Twitter)
3. インスタグラム (Instagram)	4. ライン (LINE)
5. その他()	6. 利用していない

→次ページは テーマ2 「コミュニティFM (FMはなび)」の利用について

テーマ2 コミュニティFM (FMはなび) の利用について

コミュニティFMとして平成27年に開局したFMはなび(周波数87.3MHz)は、地域密着の情報を発信してまちの賑わいを創出するとともに、災害の時の緊急避難情報や、被害情報を発信する情報発信手段として、市と協力しながら、市の第三セクターである株式会社TMOが運営しています。

本調査は、平常時や、平成29年夏、平成30年5月の大雨の際の利用状況を伺い、放送内容の充実を図るための参考とさせていただきます。

問1 あなたは、コミュニティFM「FMはなび」を聴いたことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. よく聴いている | 2. ときどき聴いている |
| 3. ほとんど聴かない | 4. 聴いたことがない →問2へ |

問1-2 問1で「1.」「2.」「3.」と答えた、FMはなびを聴いたことがある方にお聞きします。普段、FMはなびをどの機器で聴いていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. カーラジオ | 2. 防災ラジオ(白色の立方体型のラジオ) |
| 3. 小型ラジオ・ラジカセ(防災ラジオ以外) | 4. スマートフォンアプリ |
| 5. その他() | |

問2 緊急時の避難情報や災害情報はどのようにして入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. テレビ | 2. 防災ネットだいせん(携帯メール) |
| 3. コミュニティFM(FMはなび) | 4. FMはなび以外のラジオ放送局(NHKなど) |
| 5. 市のホームページ | 6. 自治会・自主防災組織等の連絡網 |
| 7. 防災行政無線 | 8. 市の広報車、消防団 |
| 9. 家族からの連絡 | 10. 近所の方等の訪問 |
| 11. SNS() | 12. その他() |

問3 平成29年夏、今年5月の大雨の際には、FMはなびで緊急放送を流しました。その際の緊急放送についてあてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 聴かなかった | 2. 放送内容は適切でちょうど良いと思う |
| 3. アナウンサーの話すスピードが早すぎる | 4. アナウンサーの話すスピードがゆっくりすぎる |
| 5. 音楽は必要なく、アナウンスだけが良い | 6. 音楽は短く、アナウンスが長い方が良い |
| 7. アナウンスの時間が長すぎる | 8. 地名がわからない |
| 9. 用語がわからない | 10. 緊急の状況が伝わり切れていない |
| 11. その他() | |

平成28年に販売を開始した「大仙市防災ラジオ」(白色の立方体型のラジオ)は、通常時にはFMはなび、NHK-FM、FM秋田を受信できる機器で、災害などの非常時には緊急信号を受信し、自動的に電源が入りFMはなびの緊急放送に切り替わります。

販売価格は14,000円で、市が半額を助成しています。また、70歳以上の方のみの世帯などには無償貸与されています。

問4 非常時、自動的に電源が入り緊急放送が流れる「防災ラジオ」は、緊急の情報伝達手段として有効だと思いますか。どちらか1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 有効だと思う | 2. 有効だとは思わない |
|-----------|--------------|

問5 防災ラジオ(白色の立方体のラジオ)を持っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 自分の家で持っている →次ページへ | 2. 自宅にはないが、職場等にある |
| 3. 知っていたが、持っていない | 4. 「防災ラジオ」を知らなかった |

問5-1 問5で「2.」「3.」「4.」と答えた、自宅で防災ラジオを持っていない方にお聞きします。「防災ラジオ」を自宅用に購入したいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| 1. 販売金額に関係なく購入したい →次ページへ | 2. 販売金額次第では購入する →次ページへ
()円以下 |
| 3. 無償なら利用する →次ページへ | 4. 必要性を感じない |

問5-2 問5-1で「4. 必要性を感じない」と答えた方にお聞きします。「必要ない」と思う理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 別の情報手段を利用する | 2. 避難や危険は自分で判断し対応する |
| 3. 緊急事態が起きても避難する気はない | 4. その他() |

→次は テーマ3 「敬老の日事業」について

テーマ3 「敬老の日事業」について

市では、満76歳以上の方を対象に、長寿をお祝いし敬意と感謝の意を表すとともに、高齢者の交流の場や生きがいくりの場を提供することを目的に、敬老会を開催しています。また、88歳と100歳の方には長寿祝金を贈呈しています。

近年、敬老会は、参加率の低下や、高齢化による対象者の増加により事業経費が増大しているなどの課題が生じています。社会情勢を踏まえつつ、幅広い年代の皆さまにご意見を伺い、今後の事業の見直しを進めていくための参考とさせていただきます。

【敬老会】

対象者	満76歳以上の方
実施地区	15地区（大曲7・神岡1・西仙北2・中仙1・協和1・南外1・仙北1・太田1）
内容	式典、アトラクション（文化団体、地域保育園児の発表等）、祝宴
記念品	対象者全員へ手ぬぐい、傘寿（80歳）の方へ湯飲み

【長寿祝金】

満88歳の方	2万円
満100歳の方	在宅の方：20万円 施設入所の方：10万円

問1 近年の敬老会への参加率は、約4分の1となっています。あなたは、どのようなきっかけがあると敬老会に参加すると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（複数回答可）

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| 1. 魅力的なアトラクション →問2へ | 2. 魅力的な祝宴 →問2へ |
| 3. 友人・知人の誘い →問2へ | 4. 関係者(案内を届ける地域の方など)の声かけ →問2へ |
| 5. その他() →問2へ | 6. あまり参加したいと思わない |

問1-1 問1で「6. あまり参加したいと思わない」と答えた方にお聞きします。参加したいと思わない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（複数回答可）

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 内容が魅力的でないから | 2. 友人・知人が参加しないから |
| 3. 参加するための交通手段がないから | 4. 身体の健康に不安があるから |
| 5. 自分の仲間や家族で集まるだけで十分だから | 6. その他() |

問2 敬老会では、式典に続き、アトラクションと祝宴が行われます。参加費は無料で、実施費用は市が負担しています。あなたは、敬老会の内容についてどう思われますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（複数回答可）

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 現状のままで良い | 2. 祝宴(飲食)は必要ない |
| 3. 自己負担があっても飲食があった方が良い | 4. アトラクションは必要ない |
| 5. 式典のみで良い | 6. わからない |
| 7. その他() | |

問3 敬老会は、現在、市内15地区毎に実施していますが、地区割りについてどう思われますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 現状のままで良い | 2. まとめて実施した方が良い |
| 3. もっと小さい地域で実施した方が良い | 4. どちらでも良い |
| 5. わからない | |

問4 敬老会は、現在、76歳以上の方全員を対象に実施していますが、このことについてどう思われますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|------------------------|
| 1. 現状のままで良い | 2. 喜寿、傘寿、米寿など節目の方だけで良い |
| 3. わからない | 4. その他() |

問5 敬老会の記念品として、76歳以上の対象者全員に毎年手ぬぐいなどを、80歳の傘寿となる方には湯飲みなどを贈呈しています。この記念品についてどう思われますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 現状のままで良い | 2. 76歳以上の対象者への記念品のみで良い |
| 3. 傘寿(80歳)の記念品のみで良い | 4. どちらも必要ない |
| 5. その他() | |

問6 市の長寿祝金の額(100歳:20万円(施設入所者は10万円)88歳:2万円)についてどう思われますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 現状のままで良い | 2. 引き上げた方が良い |
| 3. 引き下げた方が良い | 4. どちらでも良い |
| 5. 必要ない | 6. わからない |
| 7. その他() | |

問7 市が行っている敬老の日事業(敬老会・長寿祝金)について、ご意見などをご自由にお書きください。

→次は テーマ4 「住宅リフォーム支援事業」について

テーマ4 「住宅リフォーム支援事業」について

市では、住宅の居住環境の向上を図るリフォーム工事（修繕は除く）を行う方に対し、補助金を交付しています。

環境対策等工事については、20万円を上限に工事費の10%、それ以外の工事については、30万円を上限に工事費の15%を補助しています。なお、補助上限額に達するまでは、再申請が可能です。（既に工事した箇所については対象になりません）

本調査は、「住宅リフォーム支援事業」が平成21年の事業開始から10年目を迎えることから、今後の事業の方向性を検討するための参考とさせていただきます。

【平成30年度 住宅リフォーム支援 事業内容】

①環境対策等工事（1. 環境対策工事、2. 省エネ対策工事、3. バリアフリー化工事） 1. 下水道、農業集落排水又は浄化槽に接続する工事（トイレ等の水廻りの改修工事を含む） 2. 床、壁、窓、屋根等の改修による断熱化工事、太陽光発電設備、又は省エネ型給湯器の設置等 3. 居室、トイレ、浴室等の段差解消工事、便器の洋式化、又は手すり設置工事等	補助率 10% 上限20万円
②克雪対策化工事 屋根の落雪防止器具や融雪装置設置等、住宅敷地内の消雪・融雪施設工事	補助率 15% 上限30万円
③耐震化工事 平成12年5月31日以前に建築された木造住宅の改修工事（耐震診断、耐震設計等も含む）	
※子育て世帯改修工事 18歳以下の3人の子と同居している親子世帯が環境対策等工事を行う場合は、補助率15%、上限30万円に拡充	

問1 住宅リフォーム支援事業について、ホームページや広報で年2～3回程度お知らせしています。この事業があることを知っていましたか。あてはまるもの1つに○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 利用したことがあり、知っている | 2. 利用したことはないが、知っている |
| 3. 知らなかった →次ページへ | |

問1-1 問1で「1.」「2.」と答えた、この事業を「知っている」方にお聞きします。この事業をどのようにして知りましたか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。（複数回答可）

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 広報で見た | 2. 市のホームページで見た |
| 3. 市のチラシで見た | 4. 知人・友人から聞いた（業者は除く） |
| 5. 業者から聞いた、業者のチラシ等で見た | 6. その他（ ） |

住宅リフォーム支援事業は、平成21年の事業開始から今年度で10年目を迎え、これまでのべ3,500件を超える申請を受け付けています。

県および県内25市町村のうち22市町村においても、住宅改修に対する補助（補助メニューは自治体によって異なります）があり、近年事業内容の見直しや予算の縮小等が行われています。

当市でも、この事業が10年目を迎えることから、今後の方向性について市民の方に広くご意見を伺います。

【参考】

	平成30年度当初予算	10年間の合計
申請件数	約400件	3,558件
補助金	6,000万円	6億370万円
対象工事費	(工事内容によります)	87億2,640万円

※災害に関する補助金は含みません

問2 リフォーム工事に対する市の補助金について、どのようにお考えですか。あてはまるもの1つに○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 補助金はなくてもよい →最終ページへ | 2. 事業内容を見直した方がよい |
| 3. 継続して実施するべき →最終ページへ | 4. わからない →最終ページへ |

問2-1 問2で「2. 事業内容を見直した方がよい」と答えた方にお聞きします。どのように見直した方がよいと思われますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。（複数回答可）

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 対象工事を増やした方がよい | 2. 補助要件を緩和した方がよい |
| 3. 補助率や限度額を上げた方がよい | 4. 補助上限額に達しても再度申請できる方がよい |
| 5. 補助率や限度額を下げた方がよい | 6. 補助要件を厳しくした方がよい |
| 7. 対象工事を減らした方がよい | 8. 補助金全体の予算額を縮減した方がよい |
| 9. その他() | 10. わからない |

アンケートは、あと1ページで終了です

■あなたご自身のことについてお伺いします。

- ・あなたの性別を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

- ・あなたの年齢を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 18・19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～64歳	7. 65～69歳	8. 70～74歳
9. 75～79歳	10. 80歳以上		

- ・あなたの居住地域を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 大曲地域	2. 神岡地域	3. 西仙北地域	4. 中仙地域
5. 協和地域	6. 南外地域	7. 仙北地域	8. 太田地域

■自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見・ご提案などがありましたら、ご記入願います。

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの冊子は、同封の返信用封筒に入れ、**6月22日(金)まで**に、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。

大仙市の将来のために
平成30年度市民による個別事業評価
「母子保健事業」に関するアンケート
ご協力をお願い

市民の皆様には、日ごろから市政の推進に対してご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市ではこれまで、市政運営を効果的かつ効率的に行うため「市民による市政評価」を実施し、評価結果を施策等に反映するよう努めてまいりました。

今回実施する「市民による個別事業評価」は、「市政評価」では得られない、市で実施する個別の事業に対する具体的な評価・要望を調査し、来年度以降の施策に活用させて頂くものです。

市民の皆さまが日ごろ感じていらっしゃることや、市政に対する要望をお聞きし、施策の見直しや市民と協働のまちづくりを進めるための大切な基礎資料となります。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願い申し上げます。

平成30年 6月

大仙市長 老松博行

《ご記入にあたって》

- ◆ このアンケートは、「母子保健事業」の対象となる、大仙市に住民登録している「0歳児(H29.4.1～H30.3.31生れ)」「1歳児(H28.4.1～H29.3.31生れ)」「2歳児(H27.4.1～H28.3.31)」のお子さんの母親から、無作為に300人を抽出し、調査票をお送りしています。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書き下さい。
- ◆ 回答は、あてはまるところの番号に○印を付けるか、「その他()」に具体的な内容をご記入ください。

《回答の返送について》

- ◆ ご記入いただいたアンケート用紙は、**6月22日(金)まで**に、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です)
- ◆ アンケート用紙や返信用封筒にお名前をご記入いただく必要はありません。

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班
電話:0187-63-1111(内線278) FAX:0187-63-1119
メール:sougou@city.daisen.akita.jp

調査対象の個別事業：「母子保健事業」について

市では、安心して妊娠・出産・子育てができる体制作りを行うため、妊娠期から子育て期の切れ目ない支援を行う「子育て世代包括支援センター」を平成31年度に設置する予定です。

子どもの保護者、特に母親となる方々に求められる事業・サービスを提供できるよう、現在市内にお住まいの0歳から2歳のお子さんをお持ちのお母さんのご意見を伺い、事業の参考とさせていただきます。

■ 属性について

問1 あなたのお住まいの地域はどこですか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- | | |
|---------|--------|
| 1 大曲地域 | 2 神岡地域 |
| 3 西仙北地域 | 4 中仙地域 |
| 5 協和地域 | 6 南外地域 |
| 7 仙北地域 | 8 太田地域 |

問2 あなたの現在の年齢は何歳ですか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- | | |
|----------|----------|
| 1 19歳以下 | 2 20～24歳 |
| 3 25～29歳 | 4 30～34歳 |
| 5 35～39歳 | 6 40歳以上 |

問3 対象のお子さん（平成27年4月～平成30年3月生まれのお子さんで、対象が2人以上いる方は一番下のお子さん）は、第何子ですか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- | | |
|-------|---------|
| 1 第1子 | 2 第2子 |
| 3 第3子 | 4 第4子以降 |

問4 お子さんの祖父母にあたる方のお住まいは、次のどれですか。あてはまるものそれぞれ1つに○を付けて下さい。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1) 母方の祖父母（あなたの両親） | 2) 父方の祖父母（夫の両親） |
| 1 同居 | 1 同居 |
| 2 概ね30分以内で行き来できる範囲 | 2 概ね30分以内で行き来できる範囲 |
| 3 その他 | 3 その他 |

■ 妊娠・出産・子育てについて

問1 あなたが妊娠中、特に困ったことや不安を感じたことを、**最大3つまで**○を付けて下さい。（○は3つまで）

- | | |
|----------------------|--|
| 1 自分の体のこと | 2 精神的に辛かったこと |
| 3 出産への不安があったこと | 4 出産後の子育てに不安があったこと
(子どもを育てる自信がないなど) |
| 5 経済的なこと | 6 職場の理解に関すること |
| 7 赤ちゃんの健康や病気に関すること | 8 パートナーとの関係に関すること |
| 9 困ったことや不安なことは特になかった | |
| 10 その他 () | |

問2 あなたの産後の体調について、あてまるもの**すべてに**○を付けて下さい。
(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1 睡眠が十分にとれなかった | 2 イライラした |
| 3 体の疲れがとれなかった | 4 気がめいった |
| 5 乳房の状態が良くなかった(乳腺炎などの病気) | 6 産後の回復が遅かった |
| 7 育児放棄しそうになった | 8 突然涙が出てくることがあった |
| 9 食欲がなかった | 10 産後の体調は良好だった |
| 11 その他 () | |

問3 育児に関して困ったことや辛かったことはありましたか。あてはまるもの**すべてに**○を付けて下さい。（複数回答可）

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 授乳のこと | 2 子どもの食事のこと(離乳食、幼児食等) |
| 3 子どもの発育(身長や体重など)のこと | 4 子どもの発達(ことばの遅れなど)のこと |
| 5 兄弟・姉妹のこと | 6 子どもへの接し方に関すること |
| 7 家事(掃除、洗濯、料理)に関すること | 8 経済的なこと |
| 9 仕事と育児の両立のこと | 10 家族の協力が得られないこと |
| 11 育児に関して困りごとなどはなかった | |
| 12 その他 () | |

問4 普段、子育てに関する情報はどこから得ていますか。主に利用しているものを最大3つまで○を付けて下さい。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 インターネット情報(パソコンやスマートフォン) | 2 出産・育児に関する雑誌やテレビなどのメディア |
| 3 両親、兄弟姉妹 | 4 友人、知人 |
| 5 保育園や幼稚園の保育士、教諭 | 6 市の保健師 |
| 7 乳幼児健診で配布されるリーフレット類 | 8 市のホームページや広報 |
| 9 その他 () | |

問5 市では、母子健康手帳交付時に保健師による「妊婦健康相談」を実施しています。手帳交付時にこの健康相談を受け、安心感や満足感が得られましたか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1 十分得られた | 2 まあまあ得られた |
| 3 あまり得られなかった | 4 全く得られなかった |
| 5 大仙市で母子健康手帳を受け取っていない | |

問6 市では、おおむね生後2ヶ月頃の赤ちゃんがいるご家庭に保健師や助産師が訪問し、健康相談や育児情報を提供する「こんにちは赤ちゃん訪問事業」を行っています。この訪問によって、安心感や満足感が得られましたか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 十分得られた | 2 まあまあ得られた |
| 3 あまり得られなかった | 4 全く得られなかった |
| 5 訪問を受けてない | |

問6-1 「こんにちは赤ちゃん訪問事業」で行うご家庭への訪問の時期は、いつ頃がいいですか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 生後1か月未満 | 2 生後1～2か月 |
| 3 生後2～3か月 | 4 その他() |

問7 市が実施している次の事業について、知っていましたか。また、利用したことありますか。今後新たに妊娠、出産した場合、利用したいと思いませんか。あてはまるものそれぞれ1つに○を付けて下さい。

事業名	事業内容	知っていますか	利用したことがありますか	今後利用したいですか
1 パパママ教室	・妊婦とその家族に妊娠生活や子育ての情報を提供する ・参加者同士の交流を図る	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
2 小児科医による育児相談室	・産婦人科医と小児科医の連携による育児相談を行う	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
3 だいせん たまごのお部屋	・助産師を交えて、妊娠期の相談や妊婦同士の交流を図る	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
4 乳幼児健康相談	・保健師、栄養士、保育士による相談支援を行う ・参加者同士の交流を図る	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
5 離乳食教室	・月齢にあった離乳食の調理実習と試食を行う ・参加者同士の交流を図る	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ

問8 産後のサービスとして次のうち利用したいと思うものはありますか。あてはまるものすべてに○を付けて下さい。（複数回答可）

- 1 病院や産科医院での個別の相談
- 2 健康増進センターや子育て支援センターでの育児相談
- 3 医師や保健師、助産師等専門職の家庭訪問による育児相談
- 4 病院や産科医院に宿泊し、休養をとりながら育児のアドバイスを受けるサービス
- 5 自宅の家事を手伝ってもらうサービス
- 6 自宅で育児を手伝ってもらうサービス
- 7 乳幼児の一時預かりサービス
- 8 子育て支援アプリ(市の子育て情報や子どもの成長記録、予防接種スケジュールを管理できるアプリ)
- 9 その他()
- 10 特に利用したいと思うサービスはない

問9 あなたが市の保健師や栄養士と相談する場合、利用しやすい方法はどれですか。あてはまるものすべてに○を付けて下さい。（複数回答可）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 電話による相談 | 2 メールによる相談 |
| 3 来所による相談 | 4 教室等の場での相談 |
| 5 家庭訪問による相談 | 6 その他() |

問10 市が行っている妊娠、出産、育児に関する事業、サービス、市の保健師へのご意見やご要望がありましたらご記入ください。

■ 自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見・ご提案などがありましたら、ご記入下さい。

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの冊子は、同封の返信用封筒に入れ、**6月22日(金)までに**、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。

大仙市の将来のために
平成30年度市民による個別事業評価
「成人保健事業」に関するアンケート
ご協力のお願い

市民の皆様には、日ごろから市政の推進に対してご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市ではこれまで、市政運営を効果的かつ効率的に行うため「市民による市政評価」を実施し、評価結果を施策等に反映するよう努めてまいりました。

今回実施する「市民による個別事業評価」は、「市政評価」では得られない、市で実施する個別の事業に対する具体的な評価・要望を調査し、来年度以降の施策に活用させて頂くものです。

市民の皆様が日ごろ感じていらっしゃることや、市政に対する要望をお聞きし、施策の見直しや市民と協働のまちづくりを進めるための大切な基礎資料となります。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願い申し上げます。

平成30年 6月

大仙市長 老松博行

《ご記入にあたって》

- ◆ このアンケートは、「成人保健事業(がん検診)」の対象となる方で、平成27年度および平成28年度において「胃がん検診無料クーポン券」、「大腸がん検診無料クーポン券」を利用した方にお送りしています。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書き下さい。
- ◆ 回答は、あてはまるところの番号に○印を付けるか、「その他()」に具体的な内容をご記入ください。

《回答の返送について》

- ◆ ご記入いただいたアンケート用紙は、**6月22日(金)まで**に、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です)
- ◆ アンケート用紙や返信用封筒にお名前をご記入いただく必要はありません。

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班
電話:0187-63-1111(内線278) FAX:0187-63-1119
メール:sougou@city.daisen.akita.jp

調査対象の個別事業：「成人保健事業（がん検診）」について

市では、胃がん検診、大腸がん検診の受診率向上を図るため、40代、50代のそれぞれ特定の年齢の市民を対象に、「胃がん検診無料クーポン券」、「大腸がん検診無料クーポン券」を個別に送付しています。

これらの無料クーポン券を送付することで、がん検診のきっかけづくりを行うとともに、その後のがん検診の受診を定着させ、がんの早期発見、早期治療の促進とがんによる死亡者数の減少を図ることを目的としています。

	平成30年度 がん検診無料クーポン券 配布対象者
胃がん検診	本年度中に、40歳、51歳、53歳、55歳、57歳、59歳を迎える方
大腸がん検診	本年度中に、40歳を迎える方

※年度により、対象年齢が異なります

本調査では、平成27年度と平成28年度に胃がん検診または大腸がん検診の無料クーポン券を利用して、いずれかのがん検診を受診した方を対象にその後のがん検診の受診状況等を伺い、今後の事業の参考とさせていただきます。

■ 属性について

問1 あなたの住まいの地域はどこですか。あてはまる番号1つに○を付けて下さい。

- | | |
|---------|--------|
| 1 大曲地域 | 2 神岡地域 |
| 3 西仙北地域 | 4 中仙地域 |
| 5 協和地域 | 6 南外地域 |
| 7 仙北地域 | 8 太田地域 |

問2 あなたの性別を選び、番号に○を付けて下さい。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

■ がん検診の受診について

問1 あなたは、胃がん検診・大腸がん検診の対象年齢が「40歳以上」と知っていましたか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1 以前から知っていた | 2 何となくは知っていた |
| 3 がん検診無料クーポン券が届いて初めて知った | |

問2 平成27年度または平成28年度にあなたに送付した「がん検診無料クーポン券」は、がん検診を受けるきっかけになりましたか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- | |
|----------------------------------|
| 1 受けるつもりはなかったが、無料クーポン券が届いたので受診した |
| 2 受診を迷っていたが、無料クーポン券が届いたので受診した |
| 3 無料クーポン券がなくても受診する予定だった |

問3 平成27年度または平成28年度に「がん検診無料クーポン券」を利用してあなたが受診したがん検診はどれですか。あてはまるものすべてに○を付けて下さい。（複数回答可）

- | | |
|---------|----------|
| 1 胃がん検診 | 2 大腸がん検診 |
|---------|----------|

問4 あなたは、「がん検診無料クーポン券」で受診したがん検診を、その次の年も受診しましたか。あてはまるものそれぞれ1つに○を付けて下さい。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1) 胃がん検診 | 2) 大腸がん検診 |
| 1 市の検診で受けた | 1 市の検診で受けた |
| 2 職場の検診で受けた | 2 職場の検診で受けた |
| 3 医療機関で受けた | 3 医療機関で受けた |
| 4 受けていない | 4 受けていない |

問4-1 無料クーポン券を利用した年以降も継続してがん検診を受診している方にお聞きします。継続してがん検診を受けている理由は何ですか。あてはまるものすべてに○を付けて下さい。（複数回答可）

- 1 がん検診は自分の健康管理のために必要だと考えたから
- 2 市のがん検診料金の自己負担額が安いから
- 3 検査の内容が思っていたより楽だったから
- 4 がん検診を受け「異常なし」と安心してから
- 5 検診を受けることへの不安感や抵抗感が薄れたから
- 6 胃腸の調子が悪かったから
- 7 家族に勧められたから
- 8 家族や身近な人でがんにかかった人がいるから
- 9 かかりつけ医に勧められたから
- 10 周囲の人も受けているから
- 11 その他()

問4-2 無料クーポン券を利用した年以降はがん検診を受診していない方にお聞きします。がん検診を受けることが出来なかった理由は何ですか。あてはまるものすべてに○を付けて下さい。（複数回答可）。

- 1 検査が苦痛だったから
- 2 検査後の不快感(下痢や便秘等)があるから
- 3 「異常あり」の結果がでると怖いから
- 4 検診日程に都合がつかなかったから
- 5 仕事が休めなかったから
- 6 検診費用が無料でないから
- 7 個別通知がこなかったから
- 8 がん検診を受けることを忘れたから
- 9 毎年がん検診を受ける必要性を感じないから
- 10 特に体調が悪くないから
- 11 その他()

問5 皆さんにお聞きします。どんな「働きかけ」があれば、がん検診を継続して受けることが出来ると思いますか。受診するきっかけとなる主なものを最大5つに○を付けて下さい。（○は5つまで）

- 1 個人宛にがん検診の通知があれば
- 2 市の検診料金が無料であれば
- 3 休日の検診日が増えれば
- 4 医療機関でも市のがん検診が受けられれば
- 5 職場の検診の項目に盛り込まれていれば
- 6 家族や周囲の人に勧められれば
- 7 かかりつけ医に勧められれば
- 8 周囲の人たちもみんな受けていれば
- 9 広報やFMはなび、テレビCMや新聞広告等でのがん検診のPRやお知らせがあれば
- 10 市のがん検診を継続して受けると特典があれば
(検診が無料になる、地域商店で使える商品券がもらえる、地域の特産物がもらえる等)
- 11 その他()

問6 あなたは、今後も定期的ながん検診を受けようと思いますか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

問7 あなたは、現在仕事をしていますか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- | | | |
|--------|---------|------|
| 1 している | 2 していない | →問8へ |
|--------|---------|------|

問7-1 あなたの職場は、がん検診受診のための休暇取得について理解がありますか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 ある | 2 どちらからといえばある |
| 3 どちらかといえばない | 4 ない |

問7-2 あなたの職場では、職場の検診として「胃がん検診」「大腸がん検診」が実施されていますか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 どちらも実施されている | 2 胃がん検診実施のみ実施されている |
| 3 大腸がん検診のみ実施されている | 4 どちらも実施されていない |
| 5 わからない | |

問7-3 あなたの職場では、がん検診の受診費用の助成はありますか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- | | |
|----------|----------|
| 1 全額助成あり | 2 一部助成あり |
| 3 助成なし | 4 わからない |

問8 市が行っている「がん対策」へのご意見やご要望がありましたらご記入ください。

■ 自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見・ご提案などがありましたら、ご記入下さい。

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの冊子は、同封の返信用封筒に入れ、6月22日(金)までに、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。